

病院年報

第 31 卷

－ 2 0 2 1 －



愛知県●豊橋市民病院

「病院年報」

表紙題字 名誉院長 故 森 泰 樹

序



院長 浦 野 文 博

2021 年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による第 3 波のなかで始まり、COVID-19 が猛威を振るった年でした。2021 年の病院年報を発刊するにあたり、COVID-19 を中心に、この 1 年間を振り返ってみたいと思います。

1 月 14 日には 2 回目の緊急事態宣言が発出されました。この新型コロナウイルスは、変異によって拡大収束を繰り返し、その都度感染力を強め、多くのひとが感染してきました。5 月の第 4 波、夏の第 5 波と、感染者数、入院患者数ともに増加してきました。この間、従来のステロイド薬に加えて、幾種類もの抗ウイルス薬や中和抗体薬が使用できるようになりましたが、決定的な薬剤は未だ開発されていません。第 4 波では、COVID-19 入院患者数の増加により、従来のコロナ専用病棟を最大限利用するため、ひとつの病棟を閉鎖しました。第 5 波では、さらに入院患者数は増え、さらに一病棟を閉鎖し、新たにひとつの病棟をコロナ専用病棟に転用しました。このため、8 月後半には一部の予定手術を延期せざるを得ない事態となりました。ワクチン接種が進んだこともあり、9 月中旬以降、第 5 波は急速に収束し、10 月中旬から 3 か月程度は COVID-19 入院患者がいまませんでした。2022 年 1 月になり、オミクロン株による第 6 波の急激な拡大があり、COVID-19 入院患者は 55 人まで増加しました。オミクロン株での重症化例は稀でしたが、その感染力の強さのため、職員、入院患者の感染も相次ぎ、いくつもの病棟で入院制限が必要となり、また、2 度目の予定手術の延期が必要でした。2 月の後半になりコロナ入院患者数は減少し始め、比較的落ち着いた年度末となりました。

COVID-19 のパンデミックの影響もあり、医業収支は決して良好とは言えませんが、2020 年度より好転しました。コロナ禍においては、COVID-19 患者診療のため、コロナ患者以外に使用可能な病床数は制限されましたが、本来の使命である急性期医療、がん診療においては、ごく短期間を除いて、支障なく診療が継続できました。これは、早期退院を目指して、医師、看護師のみならず、他の医療スタッフや患者総合支援センター、入退院支援センターの方々がご努力されたおかげと感謝しています。平均在院日数の短縮は、コロナ医療と一般医療の両立のみでなく、2022 年度に作成する“持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化プラン”にも大きな影響をあたえ、より充実したプランの作成を可能にしたと考えています。

最後に、膨大な業績をまとめられた医療情報課の皆さんに深く感謝します。

豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術と、人に優しい思いやりのある心を持ち、
地域に開かれた安らぎのある病院を目指します。

豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

患者の権利と責任

豊橋市民病院は、十分に説明され、理解し納得した上での同意を基本姿勢として、患者さんと信頼関係で結ばれた医療を目指しています。ここに患者さんの権利と責任について明らかにし、病院と患者さんが協力して理想的な医療を行うために以下のことを確認します。

1. 最善の医療を受ける権利

患者さんは、生命の尊重と人間愛に基づいた最善の医療を受ける権利を有します。

2. 知る権利

患者さんは、病名、症状、予後、検査と治療の内容と危険性、薬の効果と副作用などについて十分に理解できるまで説明を受けることができます。医師は、薬の治験など、研究途上にある医療行為を行う場合には事前に患者さんに説明をする義務があります。患者さんは、治療に要する見込みの費用や、要した費用の明細について説明を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によりご家族、代理の方に説明することがあります。

3. 自己決定の権利

患者さんは、緊急時などの場合を除き、十分な情報と医療従事者の助言を得た上で、ご自分の意志により、検査、治療などの医療行為に同意、選択或いは拒否する権利を有し、その場合に医学的にどのような結果になるかを知らされる権利を有します。また、患者さんは担当医などの医療従事者を選択すること、紹介状を請求して別の病院にかかわること及び患者さんの求める他の医師の意見を聞くことができます。

4. プライバシーが保護される権利

患者さんは、個人の情報を直接医療にかかわる医療従事者以外の第三者に開示されない権利を有します。また、私的なことに干渉されない権利を有します。

5. 参加と共同の責任

これらの権利を守るため、患者さんは医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。

目 次

I	沿革	1
II	現況	3
	1. 施設の概要	3
	2. 承認事項・診療科の状況	4
	3. 病床の状況	4
	4. 機構図	5
	5. 職員数	6
	6. 病棟別病床数	6
	7. 施設案内	7
	8. 指定医療機関及び専門医研修施設等	8
III	患者動向	13
	1. 入院科別患者数	13
	2. 外来科別患者数	14
	3. 病棟別患者数	15
	4. 救急外来センター来院方法別受診状況	15
	5. 救急外来センター受診後の動向	16
	6. 救命救急センター患者数	16
	7. 地域別患者割合	16
	8. 紹介・逆紹介患者数及び率	17
	9. 手術件数	17
	9-2. 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数	18
	10. 分娩件数	18
IV	疾病統計	19
	1. 入院患者の疾病分類別（大分類）患者数	19
	2. 死亡症例	19
	3. 悪性新生物新患者数	20
V	診療業務概要・活動報告	21
	総合内科	21
	呼吸器内科・アレルギー内科	22
	消化器内科	24
	循環器内科	27
	腎臓内科	30
	糖尿病・内分泌内科	32
	脳神経内科	34
	血液・腫瘍内科	37
	一般外科・小児外科	40
	呼吸器外科	46
	心臓外科・血管外科	48
	移植外科	50
	整形外科	52
	リウマチ科	55
	脊椎外科	58
	脳神経外科	60
	小児科	63
	小児科（新生児部門）	66
	産婦人科	67
	産婦人科（生殖医療）	74

女性内視鏡外科	76
耳鼻いんこう科	77
眼科	79
皮膚科	82
泌尿器科	84
放射線科	87
こころのケア科	90
麻酔科（ペインクリニック）	92
リハビリテーション科	95
病理診断科	97
臨床検査科	98
歯科口腔外科	100
健診科	103
経営企画室	104
医療安全管理室	106
診療記録管理室	109
臨床研究管理室	111
感染症管理センター	112
シミュレーション研修センター	116
卒後臨床研修センター	117
専門医研修センター	119
救急外来センター	121
救急入院センター	124
集中治療センター	126
総合周産期母子医療センター（母体・胎児部門）	127
総合周産期母子医療センター（新生児部門）	128
総合生殖医療センター	129
リハビリテーションセンター	130
血液浄化センター	131
予防医療センター	132
輸血・細胞治療センター	135
ゲノム診療センター	137
外来治療センター	138
手術センター	140
口唇口蓋裂センター	142
患者総合支援センター	143
入退院支援センター	146
一次脳卒中センター	149
診療技術局	150
放射線技術室	151
中央臨床検査室	154
リハビリテーション技術室	164
臨床工学室	167
栄養管理室	178
薬局	181
看護局	190
事務局	203
医師事務作業補助者	211
Ⅵ 研究・業績	217
Ⅶ 院内委員会の活動記録	243

I 浴 革

I 沿革

明治21 (1888) 年	6 月	私立豊橋慈善病院として開業
明治35 (1902) 年	6 月	社団法人豊橋病院と改組
昭和 7 (1932) 年	6 月	社団法人豊橋病院を買収して、市立豊橋病院を開院
昭和21 (1946) 年	7 月	豊橋市立豊橋市民病院と改称
昭和26 (1951) 年	7 月	豊橋市民病院改称 (医療法による総合病院に指定)
昭和46 (1971) 年	3 月	人工腎臓センター新設
昭和57 (1982) 年	3 月	救命救急センター完成 (地下 1 階、地上 6 階)
	3 月	リハビリテーションセンター完成 (地下 1 階、地上 3 階)
平成 5 (1993) 年	4 月	「臨床研修病院」の指定
平成 8 (1996) 年	5 月	豊橋市民病院桜ヶ岡分院を統合し、青竹町地内に移転
	5 月	健診センター新設
	6 月	病診連携室新設
	11月	「地域災害医療センター」の指定 (災害拠点病院の指定)
平成 9 (1997) 年	12月	(財) 日本医療機能評価機構より「病院機能評価」の認定を受ける
平成10 (1998) 年	4 月	輸血センター新設
	7 月	「地域周産期母子医療センター」の認定を受ける
平成11 (1999) 年	4 月	「第 2 種感染症指定医療機関」の指定
	4 月	不妊センター新設
平成12 (2000) 年	8 月	許可病床数 910 床に変更
平成13 (2001) 年	4 月	人工腎臓センターを血液浄化センターに変更
平成14 (2002) 年	4 月	「へき地医療拠点病院」の指定
	4 月	未熟児センターを新生児医療センターに変更
	8 月	治験管理センターを設置
平成15 (2003) 年	2 月	(財) 日本医療機能評価機構より 2 回目の「病院機能評価 (一般病院)」の認定を受ける
	4 月	感染症管理センターを設置
	8 月	「地域がん診療拠点病院」の指定を受ける
平成16 (2004) 年	4 月	健診センターを予防医療センターに変更
平成17 (2005) 年	4 月	機構改革により医療安全管理室の設置
	6 月	「D P C (診断群分類による包括医療制度) 調査協力病院」の認定を受ける
平成18 (2006) 年	4 月	院内保育所開設
	5 月	外来治療センターを設置
	6 月	「D P C 対象病院」に認定され D P C 制度による診療報酬請求の開始 文書作成支援システム開始 (各科外来)
平成19 (2007) 年	12月	(財) 日本医療機能評価機構より 3 回目の「病院機能評価 (審査体制区分 4)」の認定を受ける
平成20 (2008) 年	2 月	「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受ける (2 回目)
平成21 (2009) 年	2 月	「豊橋市民病院改革プラン」を策定
平成22 (2010) 年	4 月	患者総合支援センター開設
	5 月	病院総合情報システム (電子カルテシステム) 稼働

平成23（2011）年	7月	「7対1看護基準」の取得
	2月	「豊橋市民病院改革プラン（改訂版）」を策定
	12月	「NPO 法人卒後臨床研修評価機構」の認定を受ける〔認定期間 2011.12.1 ～ 2013.11.30〕
平成24（2012）年	4月	許可病床数836床に変更（一般病床811床・結核病床15床・感染症病床10床）
	12月	（財）日本医療機能評価機構より4回目の「病院機能評価（審査体制区分6）」の認定を受ける
平成25（2013）年	10月	手術支援ロボットシステム「ダヴィンチ」を導入
	11月	救命救急センターを、救急外来センター、救急入院センター及び集中治療センターに変更
	12月	地域連携登録医制度の導入
	12月	「NPO 法人卒後臨床研修評価機構」の更新認定〔認定期間 2013.12.1 ～ 2017.11.30〕
平成26（2014）年	2月	「第2次豊橋市民病院改革プラン」を策定
	4月	許可病床数820床に変更（一般病床800床・結核病床10床・感染症病床10床）
	4月	総合周産期母子医療センター及びパースセンターを設置
	9月	「地域医療支援病院」の名称承認を受ける
	10月	輸血センターを輸血・細胞治療センターに変更
平成27（2015）年	3月	「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受ける（3回目）
	5月	入院支援センターを設置
平成28（2016）年	4月	許可病床数800床に変更（一般病床780床・結核病床10床・感染症病床10床）
	4月	「D P C 医療機関群Ⅱ群」の指定を受ける
	10月	高度放射線棟開設
平成29（2017）年	4月	診療記録管理室、臨床研究管理室及びシミュレーション研修センター開設
	4月	卒後臨床研修センターを初期臨床研修センター及び後期臨床研修センターに変更
	12月	（財）日本医療機能評価機構より5回目の「病院機能評価（一般病院2）」の認定を受ける
	12月	「NPO 法人卒後臨床研修評価機構」の更新認定〔認定期間 2017.12.1 ～ 2019.11.30〕
平成30（2018）年	3月	厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」の指定を受ける
	4月	ゲノム診療センター開設
	4月	初期臨床研修センターを卒後臨床研修センター、後期臨床研修センターを専門医研修センターに変更
	4月	入院支援センターを入退院支援センターに変更
平成31（2019）年	3月	臨床検査室認定機関国際規格「ISO15189」の認定を取得
	4月	経営企画室を設置
令和2（2020）年	3月	「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受ける（4回目）
	4月	一次脳卒中センター開設
令和3（2021）年	3月	「第3次豊橋市民病院改革プラン」を策定
	12月	「NPO 法人卒後臨床研修評価機構」の更新認定〔認定期間 2021.12.1 ～ 2025.11.30〕

Ⅱ 現 況

Ⅱ 現 況

令和4年3月31日

1. 施設の概要

所在地 豊橋市青竹町字八間西 50 番地

施設規模 敷地面積（企業会計財産） 92,204.52㎡

建物延面積 63,130.92㎡

建物 地上 9 階 鉄骨・鉄筋コンクリート造

診療部門 13,526.74㎡

病棟部門 21,376.79㎡

（感染症病床422.78㎡を含む）

救命救急センター 2,620.90㎡

（集中治療室 1,451.72㎡を含む）

新生児医療センター 619.83㎡

リハビリテーションセンター 818.97㎡

血液浄化センター 418.03㎡

予防医療センター 199.15㎡

外来治療センター 259.30㎡

患者総合支援センター 235.15㎡

入退院支援センター 95.01㎡

高度放射線棟 4,129.09㎡

サービス部門 10,946.79㎡

管理部門 5,542.59㎡

特別高圧変電所 813.08㎡

手術センター棟 1,529.50㎡

2. 承認事項・診療科の状況

(1) 承認事項

開業開始年月日	法適用年月日	法適用区分	救急告示の有無
昭和7年6月1日	昭和39年4月1日	当然財務	有(30床) (平成29年7月18日)

(2) 診療科

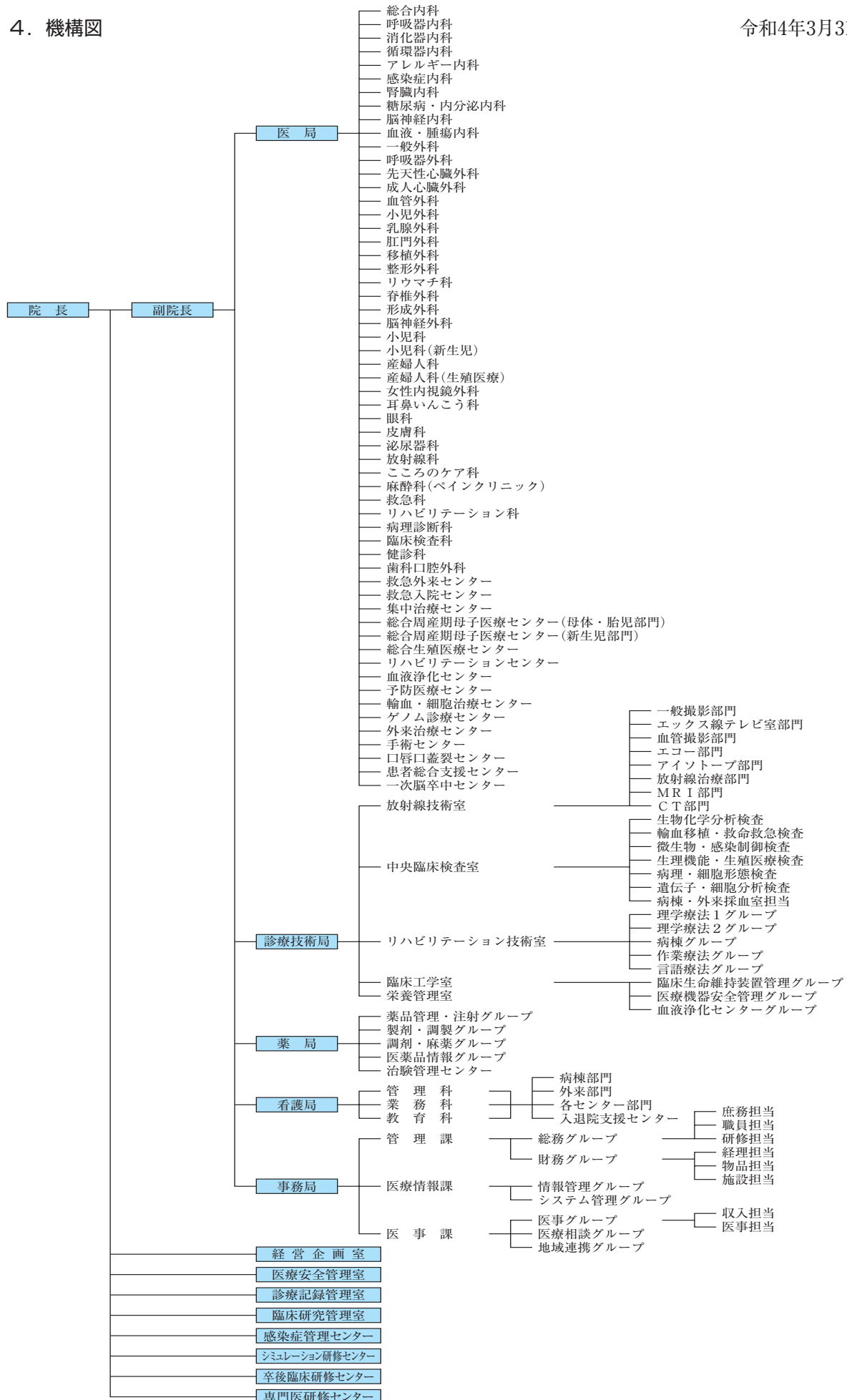
内 科	呼 吸 器 内 科	消 化 器 内 科	循 環 器 内 科
ア レ ル ギ ー 科	感 染 症 内 科	腎 臓 内 科	糖尿病・内分泌内科
脳 神 経 内 科	血 液・腫 瘍 内 科	外 科	呼 吸 器 外 科
心 臓 外 科	血 管 外 科	小 児 外 科	形 成 外 科
肛 門 外 科	移 植 外 科	整 形 外 科	リ ウ マ チ 科
脳 神 経 外 科	小 児 科	小 児 科 (新 生 児)	産 婦 人 科
産 婦 人 科 (生 殖 医 療)	女 性 内 視 鏡 外 科	耳 鼻 い ん こ う 科	眼 科
皮 膚 科	泌 尿 器 科	放 射 線 科	精 神 科
麻 酔 科	救 急 科	リハビリテーション科	病 理 診 断 科
歯 科 口 腔 外 科			

3. 病床の状況

許 可 病 床 数	一 般	精 神	結 核	感 染 症	合 計
	780床	—	10床	10床	800床

特定入院料算定病床	救急入院	I C U	M F I C U	N I C U	小児 (NMC)	小児 (東2)
	24床	6床	6床	12床	23床	43床

令和4年3月31日



5. 職員数

令和4年3月31日

区 分	人数(人)
医 師 職	198
研 修 医	37
薬 剤 師	55
臨床検査技師	65
臨床工学技士	26
診療放射線技師	52
歯 科 衛 生 士	7
理 学 療 法 士	25
作 業 療 法 士	12
言 語 聴 覚 士	8
視 能 訓 練 士	6
管 理 栄 養 士	15
公 認 心 理 師	2

区 分	人数(人)
看護保健職	852
准 看 護 師	23
保 健 師	2
一般行政職	28
管 理 課	12
医 療 情 報 課	22
経 営 企 画 室	3
医 療 安 全 管 理 室	2
技能労務職	4
介 護 福 祉 士	2
事務労務職助手	74
看 護 補 助 者	26
ドクタークラーク	26
外 来 ク ラ ー ク	84
その他(事務等)	1,668
計	

6. 病棟別病床数

令和4年3月31日

区 分	許可(稼働)病床	病 床 内 訳(床)
東病棟 2階	43 床	小児科 35 小児外科 4 耳鼻いんこう科 (小児) 4
〃 3階	50 床	循環器内科 25 呼吸器外科 8 心臓・血管外科 9 腎臓内科 8
東病棟 4階	50 床	バースセンター 20 婦人科 6 MFICU6 産科 18
西病棟 4階	46 床	一般外科 37 脳神経内科 7 移植外科 2
東病棟 5階	52 床	消化器内科 49 総合内科 3
〃 6階	49 床	呼吸器内科 34 耳鼻いんこう科 15
〃 7階	51 床	整形外科・リウマチ科 51
〃 8階	47 床	糖尿病・内分泌内科 12
〃 9階	44 床	産婦人科 10(うち生殖医療 2) 眼科 10 脳神経内科 15
西病棟 2階	30 床	脳神経外科 29 脳神経内科 15
〃 3階	46 床	集中治療 6 救急入院 24
〃 5階	50 床	一般外科 33 皮膚科 13
〃 6階	52 床	消化器内科 45 腎臓内科 5
〃 7階	46 床	呼吸器内科 44 歯科口腔外科 8
〃 8階	49 床	泌尿器科 35 整形外科 11
〃 9階	40 床	血液・腫瘍内科 49
南病棟 1階	20 床	脳神経内科 27 整形外科・リウマチ科 13
〃 2階	35 床	結核 10 感染症 10
新生児医療センター	35 床	NICU 12 GCU 23
計	800 床	

診療科別病床数

呼 吸 器 内 科	78 床	心臓外科・血管外科	9 床	耳 鼻 い ん こ う 科	23 床
消 化 器 内 科	94	呼 吸 器 外 科	8	眼 科	10
循 環 器 内 科	25	小 児 外 科	4	皮 膚 科	13
腎 臓 内 科	13	移 植 外 科	2	泌 尿 器 科	35
糖尿病・内分泌内科	12	整 形 外 科・リウマチ科	75	歯 科 口 腔 外 科	8
脳 神 経 内 科	64	形 成 外 科	0	集 中 治 療	6
血 液 ・ 腫 瘍 内 科	49	脳 神 経 外 科	29	救 命 救 急	24
綜 合 内 科	3	小 児 科	66	感 染 症 病 棟	10
一 般 外 科	70	産 婦 人 科	60	結 核 病 棟	10
				計	800

7. 施設案内

令和4年3月31日

名 称	各階	主 な 施 設
診 療 棟	1 階	総合内科 呼吸器内科・アレルギー内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 脳神経内科 血液・腫瘍内科 整形外科 脊椎外科 リウマチ科 形成外科 産婦人科(生殖医療)・総合生殖医療センター 放射線科 一般外科 小児外科 呼吸器外科 移植外科 心臓外科 血管外科 肛門外科 麻酔科(ペインクリ ニック) 脳神経外科 泌尿器科 救急外来センター 救急外来・入院受付 外来治療センター 患者総合支援センター がん相談支援センター 入退院支 援センター エックス線撮影室 CT室 X線テレビ室 MRI室 内視鏡室 エコー・乳腺検査室 薬局 医事課 総合案内所 防災センター 喫茶室
	2 階	こころのケア科 皮膚科 糖尿病・内分泌内科 耳鼻いんこう科 産婦人科 女性内視鏡外科 小児科 病理診断科 臨床検査科 歯科口腔外科・口唇口蓋 裂センター 眼科 血液浄化センター 回復室 予防医療センター 中央臨床検査室 輸血・細胞治療センター 薬局 臨床工学会 中央滅菌材料室 中央倉庫 中央監視室 レストラン コンビニ
	3 階	新生児医療センター 手術センター 院長室 副院長室 医局長室 看護局長室 事務局長室 経営企画室 医療安全管理室 診療記録管理室 臨床研究管理室 医局 看護局 管理課 医療情報課 医学情報室 情報研修室 講堂 応接室 会議室 当直室 仮眠室 電話交換室 職員食堂
管 理 棟	1 階	院内保育所
	2 階	専攻医室 レセプト点検室
	3 階	研修医室
手 術 セ ン タ ー 棟	1 階	委託業者等更衣室 清掃業者控室等 職員組合
	2 階	大型機材室 自己採血室 幹細胞処理室 感染症管理センター
	3 階	ハイブリッド手術室 内視鏡手術室
東 病 棟	1 階	栄養管理室 厨房
	2 階	小児科 小児外科 耳鼻いんこう科(小児)
	3 階	呼吸器外科 心臓外科・血管外科 循環器内科 腎臓内科
	4 階	産婦人科 パースセンター
	5 階	一般外科 脳神経内科 移植外科
	6 階	総合内科 消化器内科
	7 階	呼吸器内科 耳鼻いんこう科
	8 階	整形外科 リウマチ科
	9 階	糖尿病・内分泌内科 眼科 産婦人科 産婦人科(生殖医療)
西 病 棟	1 階	リハビリテーションセンター 解剖室 霊安室
	2 階	脳神経外科 脳神経内科 耳鼻いんこう科
	3 階	集中治療センター(ICU) 救急入院センター
	4 階	産婦人科 母体胎児集中治療室
	5 階	一般外科 皮膚科
	6 階	消化器内科 腎臓内科
	7 階	呼吸器内科 歯科口腔外科
	8 階	泌尿器科 整形外科
	9 階	血液・腫瘍内科
南 病 棟	1 階	整形外科 脳神経内科 リウマチ科
	2 階	結核病床 感染症病床
高 度 放 射 線 棟	1 階	放射線治療室 CTシミュレーター室 腔内照射室 アイソトープ検査室 PET-CT検査室 ガンマカメラ室 SPECT-CT室
	2 階	シミュレーション研修センター 治験管理センター 医薬品情報室 モニタリング室 ME機材庫 屋上庭園
	3 階	備蓄倉庫 看護学生用学習室

8. 指定医療機関及び専門医研修施設等

(1) 機関指定

- ・ 保険医療機関
- ・ 労災保険指定病院
- ・ 更生医療指定病院
- ・ 育成医療指定病院
- ・ 母体保護法指定医
- ・ 被爆者一般疾病医療機関
- ・ 児童福祉施設（助産施設）
- ・ エイズ治療拠点病院
- ・ 日本病院会・優良短期人間ドック施設
- ・ 救命救急センター
- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 総合周産期母子医療センター
- ・ 特定不妊治療指定医療機関
- ・ 難病指定医療機関
- ・ がんゲノム医療連携病院
- ・ 救急病院
- ・ 生活保護法等指定医療機関
- ・ 養育医療指定病院
- ・ 結核指定医療機関
- ・ 身体障害者福祉法指定医
- ・ 公害医療機関
- ・ 基幹型臨床研修病院
- ・ 単独型臨床研修施設（歯科）
- ・ 災害拠点病院
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ へき地医療拠点病院
- ・ DMAT指定医療機関
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・ 小児がん連携病院

(2) 施設基準届出事項

○基本診療料

- ・ 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）
- ・ ADL維持向上等体制加算
- ・ 結核病棟入院基本料（7対1入院基本料）
- ・ 総合入院体制加算2
- ・ 救急医療管理加算1
- ・ 超急性期脳卒中加算
- ・ 診療録管理体制加算1
- ・ 医師事務作業補助体制加算1（20対1）
- ・ 急性期看護補助体制加算（25対1：看護補助者5割以上）
- ・ 急性期看護補助体制加算（夜間100対1急性期看護補助体制加算）
- ・ 急性期看護補助体制加算（夜間看護体制加算）
- ・ 看護職員夜間配置加算
- ・ 療養環境加算
- ・ 重症者等療養環境特別加算
- ・ 無菌治療室管理加算1
- ・ 緩和ケア診療加算
- ・ 栄養サポートチーム加算
- ・ 医療安全対策加算1
- ・ 感染防止対策加算1
- ・ 感染防止対策地域連携加算
- ・ 抗菌薬適正使用支援加算
- ・ 患者サポート体制充実加算
- ・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・ ハイリスク妊娠管理加算
- ・ ハイリスク分娩管理加算
- ・ 呼吸ケアチーム加算
- ・ 後発医薬品使用体制加算2
- ・ 病棟薬剤業務実施加算1
- ・ 病棟薬剤業務実施加算2
- ・ データ提出加算2（イ 200床以上）
- ・ 入退院支援加算1
- ・ 入院時支援加算1（地域連携診療計画加算）
- ・ 入退院支援加算3
- ・ 認知症ケア加算
- ・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・ 精神疾患診療体制加算
- ・ 排尿自立支援加算
- ・ 地域医療体制確保加算
- ・ 救命救急入院料1
- ・ 救急体制充実加算2（注3）
- ・ 小児加算（注6）
- ・ 特定集中治療室管理料4
- ・ 小児加算（注2）
- ・ 早期離床リハビリテーション加算（注4）
- ・ 早期栄養介入管理加算（注5）
- ・ 新生児特定集中治療室管理料1
- ・ 総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児・集中治療室管理料）
- ・ 小児入院医療管理料2
- ・ プレイルーム加算（注2）
- ・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- ・ 歯科外来診療環境体制加算2
- ・ 歯科診療特別対応連携加算

○特掲診療料関係

- ・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算
- ・糖尿病合併症管理料
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・がん患者指導管理料イ
- ・がん患者指導管理料ロ
- ・がん患者指導管理料ハ
- ・がん患者指導管理料ニ
- ・外来緩和ケア管理料
- ・移植後患者指導管理料（臓器移植後）
- ・移植後患者指導管理料（造血細胞移植後）
- ・糖尿病透析予防指導管理料
- ・乳腺炎重症化予防ケア指導料
- ・婦人科特定疾患治療管理料
- ・院内トリアージ実施料
- ・外来放射線照射診療料
- ・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
- ・開放型病院共同指導料
- ・がん治療連携計画策定料
- ・外来排尿自立指導料
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・ハイリスク妊産婦連携指導料1
- ・薬剤管理指導料
- ・医療機器安全管理料1
- ・医療機器安全管理料2
- ・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
- ・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- ・在宅経肛門の自己洗腸指導管理料
- ・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定（皮膚下連続式グルコース測定）
- ・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定（持続血糖測定器）
- ・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
- ・遺伝学的検査
- ・骨髓微小残存病変量測定
- ・BRCA1／2遺伝子検査
- ・がんゲノムプロファイリング検査
- ・先天性代謝異常症検査
- ・抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）
- ・HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- ・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、等
- ・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
- ・経皮的中隔心筋焼灼術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
- ・両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
- ・両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
- ・植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
- ・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極拔去術
- ・両室ペーシング機能付植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）及び両室ペーシング機能付植込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
- ・両室ペーシング機能付植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
- ・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- ・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
- ・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術等
- ・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術等
- ・腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）
- ・腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・胆管悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る）
- ・体外衝撃波胆石破碎術
- ・腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）
- ・腹腔鏡下肝切除術（亜区域、1区域切除（外側区域切除除く）2区域切除及び3区域切除のもの）
- ・腹腔鏡下膀胱腫瘍摘出術
- ・腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- ・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）

- ・検体検査管理加算（Ⅰ）
- ・検体検査管理加算（Ⅳ）
- ・国際標準検査管理加算
- ・遺伝カウンセリング加算
- ・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・長期継続頭蓋内脳波検査
- ・神経学的検査
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・内服・点滴誘発試験
- ・経気管支凍結生検法
- ・ポジトロン断層撮影
- ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- ・CT撮影及びMRI撮影
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・外来化学療法加算1
- ・連携充実加算
- ・無菌製剤処理料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・摂食機能療法の注3に掲げる摂食嚥下支援加算
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・リンパ浮腫複合的治療料
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
- ・硬膜外自家血注入
- ・人工腎臓
- ・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
- ・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・センチネルリンパ節加算
- ・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
- ・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。））
- ・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
- ・後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）
- ・椎間板内酵素注入療法
- ・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
- ・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- ・同種死体腎移植術
- ・生体腎移植術
- ・膀胱水圧拡張術
- ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
- ・人工尿道括約筋植込・置換術
- ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- ・腹腔鏡下仙骨腫固定術
- ・腹腔鏡下仙骨腫固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術（胃瘻造設術等）
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
- ・輸血管管理料Ⅰ
- ・輸血適正使用加算
- ・貯血式自己血輸血管理体制加算
- ・コーディネート体制充実加算
- ・同種クリオプレシピテート作製術
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・麻酔管理料（Ⅰ）
- ・麻酔管理料（Ⅱ）
- ・歯科麻酔管理料
- ・放射線治療専任加算
- ・外来放射線治療加算
- ・高エネルギー放射線治療
- ・1回線量増加加算
- ・強度変調放射線治療（IMRT）
- ・画像誘導放射線治療（IGRT）
- ・体外照射呼吸性移動対策加算
- ・定位放射線治療
- ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- ・病理診断管理加算1
- ・悪性腫瘍病理組織標本加算

- ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）
- ・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
- ・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
- ・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
- ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
- ・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡支援機器を用いる場合）
- ・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- ・医療機器安全管理料（歯科）
- ・精密触覚機能検査
- ・歯科口腔リハビリテーション料2
- ・手術用顕微鏡加算
- ・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
- ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- ・歯根端切除手術の注3
- ・口腔病理診断管理加算1
- ・クラウン・ブリッジ維持管理料
- ・口腔粘膜処置
- ・レーザー機器加算

(3) 専門医研修施設等

- ・日本内科学会認定教育病院
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本消化器がん検診学会認定指導施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本循環器学会循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- ・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・日本腎臓学会認定教育施設
- ・日本透析医学会認定施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設 I
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
- ・日本甲状腺学会認定専門医施設
- ・日本神経学会教育施設
- ・日本血液学会研修認定施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設（認定施設）
- ・日本乳癌学会認定施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設（一次一期再建）
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設（一次再建）
- ・呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修基幹施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定関連施設
- ・日本小児外科学会認定名古屋大学小児外科教育関連施設 B
- ・日本睪臓学会認定指導施設
- ・日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会認定実施施設
- ・日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
- ・日本整形外科学会研修施設
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修病院
- ・日本脳神経外傷学会専門医制度研修施設
- ・日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設
- ・日本小児科学会専門医研修支援施設
- ・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医基幹研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）基幹認定施設
- ・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ・日本生殖医学会生殖医療専門医制度研修施設
- ・日本産科婦人科学会生殖補助医療実施登録施設
- ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本放射線腫瘍学会認定施設
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本病理学会研修認定施設B
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設

- ・日本高血圧学専門医認定施設
- ・日本内分泌外科学会専門医制度関連施設
- ・日本超音波医学会専門医研修施設
- ・日本認知症学会教育施設
- ・日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設
- ・名古屋大学医学部附属病院東海圏救急科専門研修プログラム連携施設
- ・非血縁者間抹消血幹細胞採取認定施設
- ・胸部ステントグラフト実施施設
- ・日本口腔科学会認定医制度研修施設
- ・日本女性医学学会専門医制度認定研修施設
- ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本不整脈心電学会不整脈専門医研修施設

(4) 研修施設等（名称・認定団体）

①放射線技術室

マンモグラフィ検診施設認定
日本消化器がん検診学会認定指導施設
日本診療放射線技師会臨床研修実習指導施設

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
日本消化器がん検診学会
日本診療放射線技師会

②中央臨床検査室

日本臨床検査標準協議会精度保障施設
日本臨床細胞学会認定施設
認定臨床微生物検査技師制度研修施設
認定輸血検査技師制度指定施設
骨髓検査技師認定制度研修施設
日本病理学会研修認定施設
臨床輸血看護師制度指定研修施設
日本輸血・細胞治療学会 I&A 認証施設

日本臨床検査標準協議会
日本臨床細胞学会
日本臨床微生物学会
日本輸血細胞治療学会
日本検査血液学会
日本病理学会
日本輸血・細胞治療学会
日本輸血・細胞治療学会

③薬局

がん専門薬剤師研修施設
薬学生実務実習受入施設

日本医療薬学会
薬学教育協議会

Ⅲ 患者動向

Ⅲ 患者動向

1. 入院科別患者数

区 分	令和3年度				令和2年度				令和元年度			
	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)
内 科	109,238	299	47.5	8,083	110,106	302	47.5	7,741	120,289	328	46.4	8,031
総 合 内 科	1,613	4	1.5	115	1,236	3	1.1	77	1,619	4	1.3	88
呼 吸 器 内 科	25,941	71	23.7	1,749	24,717	68	22.4	1,539	28,447	78	23.6	1,728
消 化 器 内 科	25,124	69	23.0	2,475	30,850	85	28.0	2,583	31,993	87	26.6	2,647
循 環 器 内 科	10,153	28	9.3	1,046	9,306	25	8.5	925	10,219	28	8.5	963
アレルギー内科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
感 染 症 内 科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
腎 臓 内 科	5,229	14	4.8	331	5,743	16	5.2	389	6,359	17	5.3	455
糖尿病・内分泌内科	2,666	7	2.4	212	2,955	8	2.7	238	3,856	11	3.2	303
脳 神 経 内 科	15,244	42	14.0	911	15,584	43	14.2	954	20,003	55	16.6	1,022
血液・腫瘍内科	16,650	46	15.2	845	16,040	44	14.6	794	16,632	45	13.8	790
結 核	1,605	4	1.5	28	1,345	4	1.2	21	1,016	3	0.8	17
感 染 症	5,013	14	4.6	371	2,330	6	2.1	221	145	0	0.1	18
外 科	25,720	70	11.2	2,179	23,145	63	10.0	1,932	24,591	67	9.5	2,192
呼 吸 器 外 科	1,761	5	0.8	262	1,517	4	0.7	202	1,649	5	0.6	198
心臓外科・血管外科	2,241	6	1.0	155	2,263	6	1.0	127	2,998	8	1.2	161
移 植 外 科	550	2	0.2	59	684	2	0.3	74	524	1	0.2	55
整 形 外 科・ リウマチ科	20,693	57	9.0	1,004	22,407	61	9.7	1,135	22,360	61	8.6	1,213
形 成 外 科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
脳 神 経 外 科	14,980	41	6.5	828	15,801	43	6.8	805	16,134	44	6.2	747
小 児 科	14,830	41	6.5	1,696	14,044	38	6.1	1,469	18,508	51	7.1	1,940
産 婦 人 科	15,862	43	6.9	2,197	16,221	44	7.0	2,159	19,938	54	7.7	2,407
耳鼻いんこう科	8,447	23	3.7	733	8,280	23	3.6	758	9,792	27	3.8	925
眼 科	1,682	5	0.7	341	1,478	4	0.6	269	3,817	10	1.5	768
皮 膚 科	2,639	7	1.1	194	3,224	9	1.4	279	4,458	12	1.7	297
泌 尿 器 科	8,886	24	3.9	985	10,306	28	4.4	1,143	11,829	32	4.6	1,258
放 射 線 科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
麻 酔 科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
リハビリテーション科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
こころのケア科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
歯科口腔外科	2,267	6	1.0	448	2,328	6	1.0	425	2,550	7	1.0	534
計 ①	229,796	630	100	19,164	231,804	635	100	18,518	259,437	709	100	20,726
前 年 度 ②	231,804	635	—	18,518	259,437	709	—	20,726	251,670	690	—	20,611
比較 (①－②)	△2,008	△5	—	646	△27,633	△74	—	△2,208	7,767	19	—	115

2. 外来科別患者数

区 分	令和3年度				令和2年度				令和元年度			
	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)
内 科	173,397	717	37.4	13,679	159,749	657	36.2	12,426	167,114	696	34.8	14,729
総合内科	5,624	23	3.2	1,495	4,282	18	2.7	1,373	5,057	21	3.0	1,703
呼吸器内科	32,146	133	18.5	1,999	27,971	115	17.5	1,826	29,073	121	17.4	2,373
消化器内科	55,751	230	32.2	5,213	49,648	204	31.1	4,665	52,604	219	31.5	5,644
循環器内科	19,769	82	11.4	1,400	17,586	72	11.0	1,210	17,744	74	10.6	1,321
アレルギー内科	0	0	0.0	0	4	0	0.0	1	13	0	0.0	7
感染症内科	69	0	0.0	1	40	0	0.0	0	63	0	0.0	0
腎臓内科	9,934	41	5.7	417	8,949	37	5.6	373	10,229	43	6.1	408
糖尿病・内分泌内科	19,822	82	11.4	1,051	20,999	87	13.1	1,102	21,666	90	13.0	1,133
脳神経内科	12,366	51	7.1	1,534	11,758	48	7.4	1,384	12,443	52	7.4	1,556
血液・腫瘍内科	17,916	74	10.3	569	18,512	76	11.6	492	18,222	76	10.9	584
外 科	38,401	159	8.3	2,187	36,016	148	8.2	1,970	39,564	165	8.2	2,295
呼吸器外科	3,454	14	0.7	340	2,937	12	0.7	279	2,893	12	0.6	320
心臓外科・血管外科	3,215	13	0.7	137	2,979	12	0.7	121	3,108	13	0.6	166
移植外科	1,343	6	0.3	48	1,333	6	0.3	57	1,380	6	0.3	46
整形外科・ リウマチ科	37,123	153	8.0	3,820	35,466	146	8.0	3,666	38,657	161	8.0	4,437
形成外科	1,110	5	0.2	332	1,022	4	0.2	192	1,651	7	0.3	297
脳神経外科	14,678	61	3.2	2,008	13,147	54	3.0	1,716	13,638	57	2.8	1,949
小 児 科	26,960	111	5.8	2,510	24,374	100	5.5	1,807	29,031	121	6.0	2,763
産 婦 人 科	38,825	160	8.4	2,658	37,603	155	8.5	2,230	41,244	172	8.6	2,619
耳鼻いんこう科	25,550	106	5.5	3,001	24,572	101	5.6	2,786	26,844	112	5.6	3,512
眼 科	15,164	63	3.3	1,300	15,050	62	3.4	1,012	19,547	81	4.1	1,434
皮 膚 科	21,966	91	4.7	2,536	24,394	101	5.5	2,493	27,624	115	5.7	3,012
泌尿器科	24,234	100	5.2	1,779	24,373	100	5.5	1,678	27,039	113	5.6	1,895
放射線科	15,666	65	3.4	965	16,034	66	3.6	803	15,576	65	3.2	822
こころのケア科	756	3	0.2	47	681	3	0.2	72	694	3	0.1	68
麻 酔 科	373	2	0.1	246	314	1	0.1	227	309	1	0.1	205
リハビリテーション科	4,253	18	0.9	9	4,297	18	1.0	16	6,731	28	1.4	54
歯科口腔外科	17,208	71	3.7	2,821	17,186	71	3.9	2,776	17,931	75	3.7	4,382
計 ①	463,676	1,916	100	40,423	441,527	1,817	100	36,327	480,575	2,002	100	45,005
前 年 度 ②	441,527	1,817	－	45,005	480,575	2,002	－	45,005	471,981	1,934	－	44,624
比較 (①－②)	22,149	99	－	△4,582	△39,048	△185	－	△8,678	8,594	68	－	381

3. 病棟別患者数

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度		令和元年度	
	延患者数(人)	1日平均(人)	延患者数(人)	1日平均(人)	延患者数(人)	1日平均(人)
東 病 棟 2 階	11,013	30	9,355	26	12,174	33
西 病 棟 2 階	15,572	43	15,921	44	16,215	44
東 病 棟 3 階	17,685	48	16,514	45	17,730	48
西 病 棟 3 階	3,379	9	3,605	10	4,058	11
東 病 棟 4 階	8,372	23	6,594	18	7,769	21
西 病 棟 4 階	7,158	20	5,914	16	7,512	21
東 病 棟 5 階	16,687	46	16,427	45	16,652	45
西 病 棟 5 階	16,394	45	15,109	41	15,969	44
東 病 棟 6 階	16,346	45	17,565	48	18,209	50
西 病 棟 6 階	1,469	4	17,029	47	17,777	49
東 病 棟 7 階	17,648	48	16,960	46	17,785	49
西 病 棟 7 階	17,963	49	17,151	47	18,653	51
東 病 棟 8 階	17,165	47	16,679	46	17,178	47
西 病 棟 8 階	15,532	43	15,585	43	15,839	43
東 病 棟 9 階	15,811	43	13,792	38	15,376	42
西 病 棟 9 階	17,066	47	16,028	44	16,725	46
新生児医療センター	7,918	22	7,118	19	8,649	24
南 病 棟 1 階	0	0	2,637	7	14,014	38
南 病 棟 2 階	6,618	18	1,821	5	1,153	3
計	229,796	630	231,804	635	259,437	709

※感染症病床に入院した患者は南病棟 2 階に合算（令和 3 年度）

4. 救急外来センター来院方法別受診状況

来院方法	入外区分	令和 3 年度		令和 2 年度		令和元年度	
		患者数(人)	合計に占める比率(%)	患者数(人)	合計に占める比率(%)	患者数(人)	合計に占める比率(%)
救 急 車	外来	3,812	16.4	3,459	16.3	3,685	14.3
	入院	3,933	16.9	3,740	17.6	3,676	13.1
	計	7,745	33.4	7,199	33.9	7,361	27.4
ドクターヘリ・ 防 災 ヘ リ	外来	14	0.1	20	0.1	16	0.1
	入院	28	0.1	22	0.1	20	0.1
	計	42	0.2	42	0.2	36	0.2%
ウォークイン	外来	12,620	54.4	11,278	53.2	16,321	61.1
	入院	2,807	12.1	2,695	12.7	3,168	11.3
	計	15,427	66.5	13,973	65.9	19,489	72.4
合 計	外来	16,446	70.8	14,757	69.6	20,022	75.5
	入院	6,768	29.2	6,457	30.4	6,864	24.5
	計	23,214	100.0	21,214	100.0	26,886	100.0

5. 救急外来センター受診後の動向

受診後	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	患者数 (人)	うち、救急搬入数 (人)	比 率 (%)	患者数 (人)	うち、救急搬入数 (人)	比 率 (%)	患者数 (人)	うち、救急搬入数 (人)	比 率 (%)
帰 宅	16,399	3,784	23.1	14,718	3,447	23.4	19,993	3,679	18.4
入 院	6,570	3,772	57.4	6,240	3,548	56.9	6,666	3,500	52.5
転 院	47	42	89.4	39	32	82.1	29	22	75.9
死 亡	198	189	95.5	217	214	98.6	198	196	99.0
計	23,214	7,787	33.5	21,214	7,241	34.1	26,886	7,397	27.5

※救急搬入とは、救急車、ドクターヘリ、防災ヘリのこと

6. 救命救急センター患者数

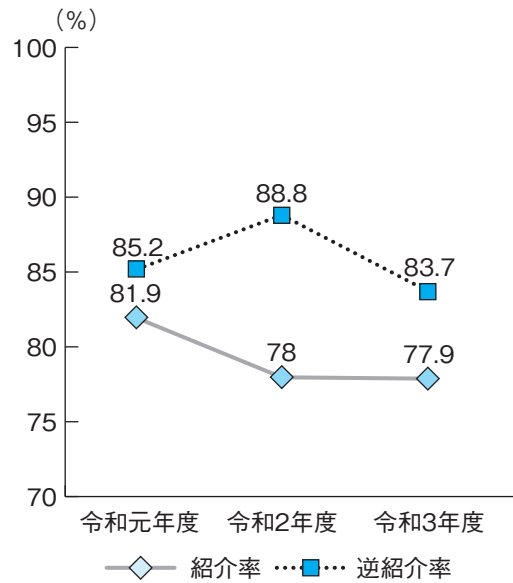
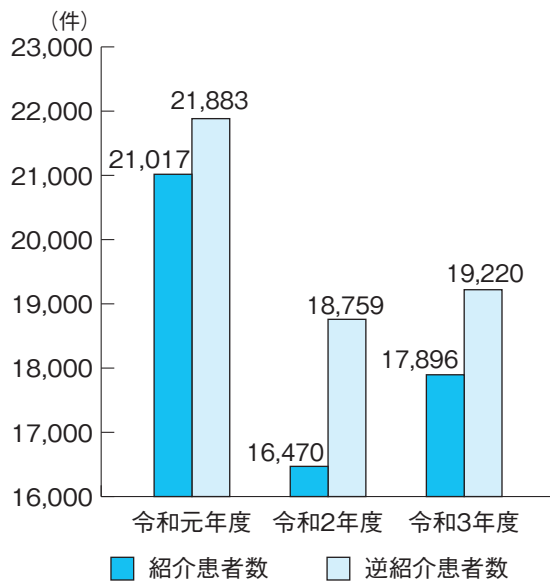
区 分	病床数 (床)	実患者数 (人)	延患者数 (人)	平均在院日数 (日)	1日当たり患者数 (人)
内 科	11	567	1,153	2.0	3
外 科	11	324	655	2.0	2
心臓血管・呼吸器外科	3	225	368	1.6	1
脳 神 経 外 科	5	606	1,025	1.7	3
そ の 他	—	206	379	1.8	1
計	30	1,928	3,580	1.9	10
内訳:集中治療センター	6	699	1,520	2.2	4

7. 地域別患者割合

(%)

区 分		入 院			外 来		
		令和3年度	令和2年度	令和元年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
豊 橋 市		73.2	73.8	73.7	73.0	72.9	72.1
豊 川 市		10.1	10.2	9.7	10.8	11.4	11.1
蒲 郡 市		2.1	2.3	2.7	2.4	2.9	3.1
田 原 市		7.7	6.9	7.1	7.8	7.6	7.7
新 城 市		2.9	2.8	2.8	2.4	2.3	2.4
その他	県 内	2.3	2.3	2.3	2.0	1.9	1.7
	県 外	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.9
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

8. 紹介・逆紹介患者数及び率



9. 手術件数

区 分		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
外科	一般外科	1,572	112.2	1,401	87.8	1,595	98.2
	心臓血管・呼吸器外科	347	136.1	255	90.7	281	88.1
	小児外科	116	112.6	103	79.8	129	101.6
	肛門外科	—	—	19	90.5	21	91.3
整形外科		1,391	93.1	1,494	97.3	1,536	106.4
リウマチ科		12	42.9	28	116.7	24	126.3
形成外科		6	120.0	5	62.5	8	800.0
脳神経外科		371	92.5	401	105.5	380	103.3
産婦人科		1,485	107.8	1,377	87.4	1,575	99.6
耳鼻いんこう科		400	84.7	472	77.1	612	137.8
皮膚科		53	54.6	97	129.3	75	83.3
泌尿器科		492	82.1	599	91.9	652	103.8
眼科		424	96.8	438	53.7	815	92.5
歯科口腔外科		396	101.8	389	80.0	486	108.2
その他		108	53.2	203	118.7	171	111.0
計		7,173	98.5	7,281	87.1	8,360	102.6

9-2. 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数

区 分		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
外科	一般外科	622	116.0	536	96.1	558	106.7
	(内:ダヴィンチ)	18	81.8	22	62.9	35	102.9
	心臓血管・呼吸器外科	212	151.4	140	145.8	96	152.4
	(内:ダヴィンチ)	14	127.3	11	55.0	2	—
	小児外科	52	96.3	54	67.5	80	117.6
整形外科		53	51.5	103	84.4	122	108.9
リウマチ科		0	0	0	0	1	—
産婦人科		511	107.6	475	97.5	487	95.1
(内:先進医療、自費診療)		2	100.0	0	0.0	6	150.0
(内:ダヴィンチ)		226	135.3	167	123.7	135	210.9
泌尿器科		106	82.8	128	84.2	152	99.3
(内:ダヴィンチ)		59	73.8	80	84.2	95	126.7
その他		9	150.0	6	200.0	3	60.0
計		1,565	108.5	1,442	96.2	1,499	104.4

10. 分娩件数

区 分		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
産婦人科		762	105.1	725	84.6	857	97.1

IV 疾病統計

IV 疾病統計

1. 入院患者の疾病分類別（大分類）患者数

(人)

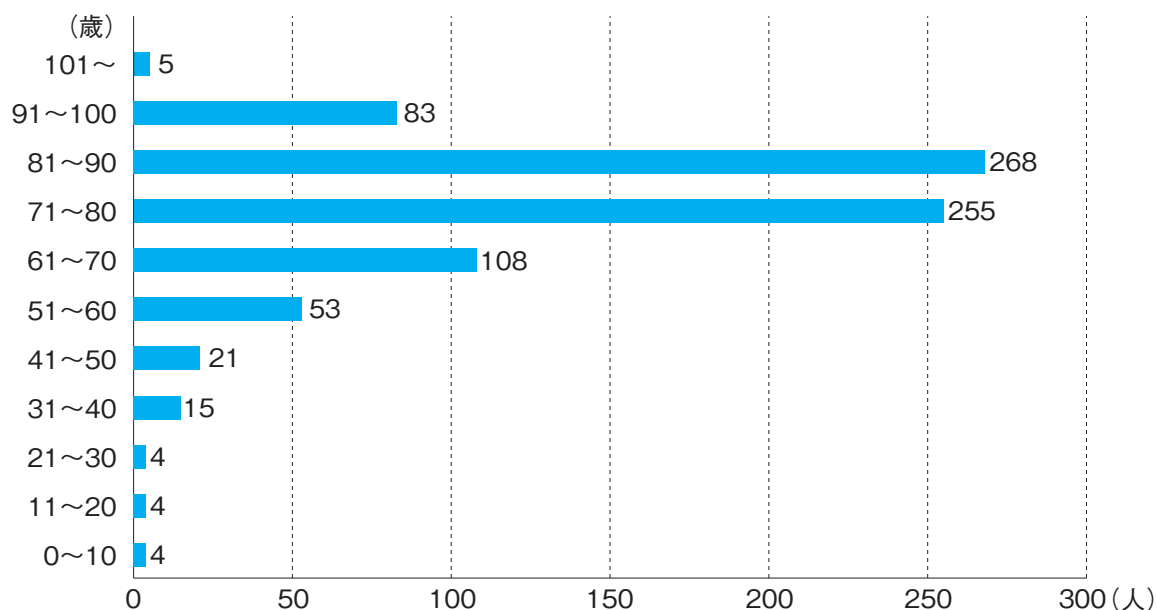
MDC2桁	疾患名	2021年	2020年	2019年
01	神経系疾患	1,595	1,553	1,546
02	眼科系疾患	265	405	790
03	耳鼻咽喉科系疾患	688	733	851
04	呼吸器系疾患	2,555	2,149	2,761
05	循環器系疾患	1,113	1,017	1,023
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	4,006	4,053	4,312
07	筋骨格系疾患	571	592	664
08	皮膚・皮下組織の疾患	329	433	446
09	乳房の疾患	164	144	180
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	678	637	657
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	1,419	1,687	1,755
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,700	1,700	1,850
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	953	959	854
14	新生児疾患、先天性奇形	546	533	597
15	小児疾患	30	58	95
16	外傷・熱傷・中毒	841	809	946
17	精神疾患	37	12	16
18	その他	569	355	220
計		18,059	17,829	19,563

※EVE抽出データより集計しています。

2. 死亡症例

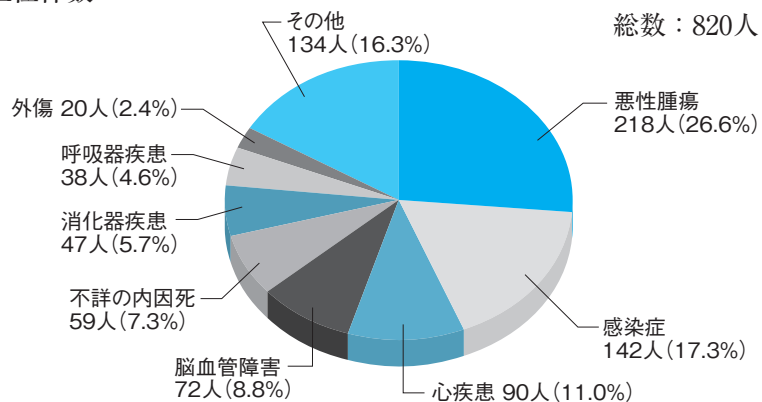
(1) 年代別年間死亡患者数

総数：820人



(2) 24時間以内の死亡患者数・・・・・・・・・・273人

(3) 死亡要因上位件数



3. 悪性新生物新患者数

部 位	2021年 診断年症例数	部 位	2021年 診断年症例数
頭頸部（咽頭・喉頭を除く）	50	多発性骨髄腫	32
咽頭・喉頭	76	他の造血管腫瘍	41
食道	61	皮膚（黒色腫を含む）	103
胃	217	乳房	236
小腸	14	子宮頸部	142
結腸	265	子宮体部	88
直腸	146	卵巣	36
肝臓	64	女性生殖器	10
胆嚢	9	前立腺	140
肝外胆管	12	男性生殖器	13
脾臓	102	腎	62
肺	356	尿路（腎・膀胱を除く）	31
胸腺・胸膜	8	膀胱	104
骨・軟部腫瘍	9	脳腫瘍	83
白血病	70	甲状腺	40
悪性リンパ腫	55	その他	43
計			2,718

※がん診療連携拠点病院院内がん登録全国集計への報告件数

V 診療業務概要・ 活動報告

～解説～

①概要について

1年間の活動内容等を掲載しています。

②新規登録疾患について

2021年に登録した病名を診療科別に抽出し、ICD-10（国際疾病分類）3桁で集計を行い円グラフで掲載しています。

1. 抽出条件：
 - ① 2021年1月1日から2021年12月31日に受診した患者。
 - ② 診療科別で対象患者に主病名登録した病名（疑いは除外）を抽出。
 - ③ ICD-10 3桁で集計、上位を表記し、それ以下はその他と表記。
2. 留意事項：
 - ① 複数の病名が登録されている患者については病名ごとに集計（延べ）。
 - ② 比率については小数点第2位 四捨五入。

③活動報告について

この項目は、各々の希望に応じた資料を掲載しています。

V 診療業務概要・活動報告

総合内科

1. 概要

高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患の強力な危険因子である。これまで総合内科では、糖尿病を中心に、内臓脂肪の過剰蓄積・耐糖能障害・高血圧症・高中性脂肪血症をあわせもつメタボリックシンドロームや高尿酸血症を含め、積極的に診療を行ってきた。

1996 年以来、総合内科では永らく上記の外来診療や糖尿病体験入院などを行ってきたが、2010 年の糖尿病・内分泌内科の新設に伴い、糖尿病外来や糖尿病教育入院は主に同科で行われるようになった。それ以降、総合内科では、新規を除く糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの外来診療を継続するとともに、原因不明の発熱など専門診療科にすぐには振り分けられない患者の診療を行っている。なお、総合内科の病床は 2012 年からなくなっていたが、2018 年 4 月から定数 3 床が復活している。

2018 年に始まった新専門医制度において、「総合診療専門医」が基本領域のひとつとなっている。当院は、名古屋大学医学部附属病院総合診療専門医養成プログラム（基幹施設：名古屋大学医学部附属病院総合診療科）および愛知県東三河総合診療科専門研修プログラム（基幹施設：新城市民病院総合診療科）の連携施設となっており、総合診療専門医を育成する使命も帯びている。2020 年度には専攻医 1 名が当院で研修を行った。

※ 2022 年 4 月、総合内科は「総合診療科」に名称変更した。

（部長 稲垣 大輔）

2. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	5,103人	年間外来新患者数	1,385人
年間入院患者数	1,444人	年間入院新患者数	106人

呼吸器内科・アレルギー内科

1. 概要

2021 年は、前年と同様、計 7 名の常勤医と 3 名の非常勤医により診療を行った。

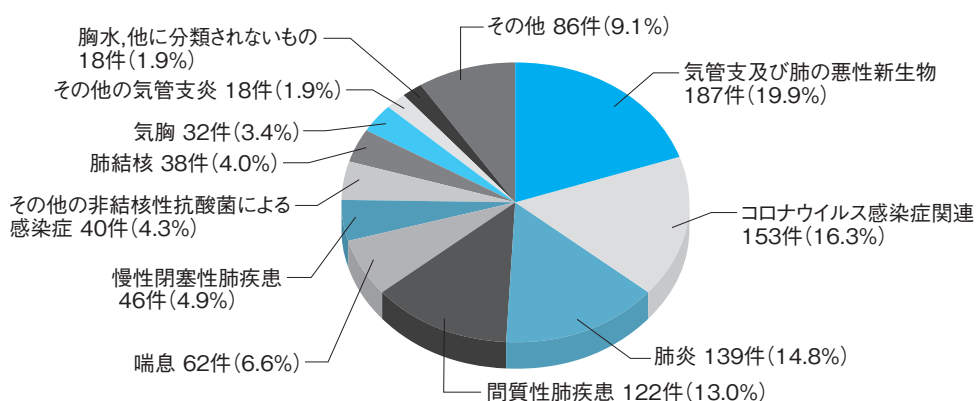
科としては、前年から施行している週 2 回のカンファレンスの施行、毎朝のブリーフィングによる情報共有などが定着してきており、チームワークがアップしてきていると感じている。皆で、相談、確認しながら診療し、また若い医師の教育に注力していくという姿勢を更に浸透させたい。

実際の診療では、2021 年も、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に振り回された 1 年であった。入院患者は他科の先生方にも協力いただきながら、基本的にメインは当科で担当した。病気のことがわかるようになってきていたが、患者数、重症度が前年より上がり、苦心して診療した。当科の医師たちは、精神的にもとてもつらい仕事であるが、よく我慢し対応してくれた。新型コロナウイルス感染症が終息するまで、さらに、まだ時間がかかりそうであるが、南病棟の看護師をはじめとした様々な職種の医療従事者や、協力してくれる他科の医師と力を合わせて、この異常時を乗り切りたいと考えている。

（部長 牧野 靖）

2. 新規登録疾患

総数：941件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
気管支及び肺の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物,気管支又は肺,部位不明	136	C349
	気管支及び肺の悪性新生物,上葉,気管支又は肺	24	C341
コロナウイルス感染症関連	C O V I D - 1 9	153	U071
肺炎	肺炎, 詳細不明	89	J189
	食物及び吐物による肺臓炎	29	J690
間質性肺炎	間質性肺疾患, 詳細不明	79	J849
	肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	29	J841
喘息	喘息, 詳細不明	59	J459
慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患, 詳細不明	39	J449
その他の非結核性抗酸菌による感染症	非結核性抗酸菌感染症, 詳細不明	34	A319
肺結核	肺結核, 細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	28	A162
気胸	その他の自然気胸	26	J931
その他の気管支炎	気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの	10	J40
胸水, 他に分類されないもの	胸水, 他に分類されないもの	18	J90

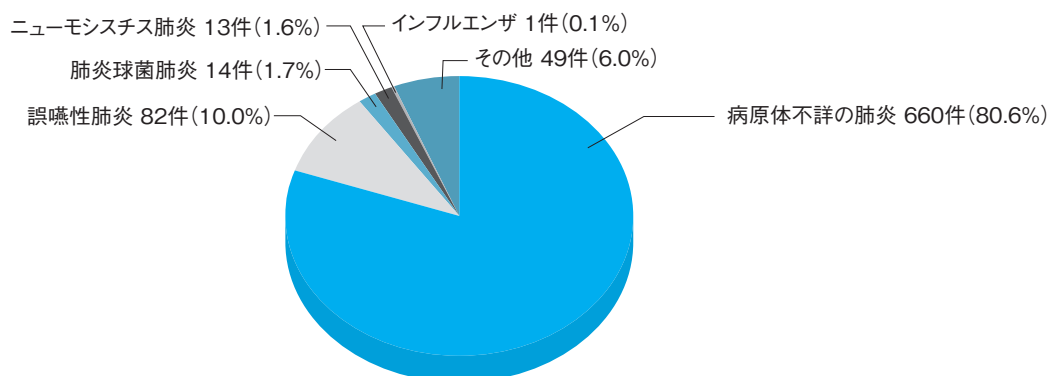
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	31,308人	年間外来新患者数	1,947人
年間入院患者数	25,174人	年間入院新患者数	1,720人

(2) 肺炎別頻度

総数：819件



(3) 科指定5疾患

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	肺炎	819	4	気管支喘息	333
2	間質性肺炎	561	5	慢性閉塞性肺疾患	239
3	肺癌	506		計	2,458

消化器内科

1. 概要

浦野院長を筆頭とする6名のスタッフ、専攻医6名、後期研修医1～2名で診療に従事している。
山田、山本、服部が消化管、浦野、内藤が肝臓、松原、鈴木が胆道・膵臓を担当し、

- ① 消化器癌のX線・内視鏡・US診断
- ② 食道・胃・大腸腫瘍に対する、ESDをはじめとする内視鏡的治療
- ③ IBDに対する内科的治療
- ④ 胆道・膵疾患に対するEUS(-FNA)、造影US・EUS、ERCP(-IDUS)の診断成績
- ⑤ ERCP後膵炎の予防
- ⑥ 閉塞性黄疸に対するERCP(経乳頭的内視鏡)下と、EUS(超音波内視鏡)下治療
- ⑦ ウイルス性肝炎の治療と長期経過
- ⑧ 肝臓の画像診断と内科的治療-TACE、RFA、リザーバーを用いた化学療法など

を主な研究テーマとしている。

一方、全消化器領域に対応すべく日常診療を行っており、嚥下困難患者に対する内視鏡的胃瘻造設術の依頼にも随時対応している。

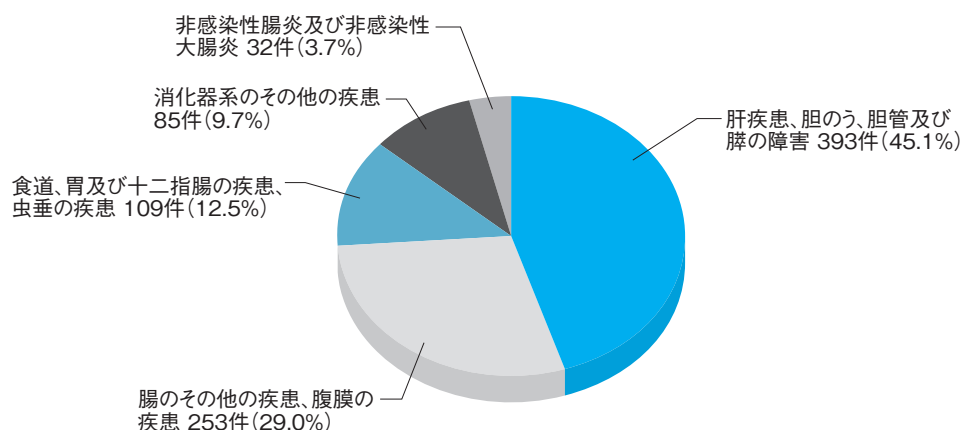
この他、食道胃静脈瘤、胃・十二指腸潰瘍、大腸憩室などからの急性消化管出血に対するEIS、EVLやクリッピング止血、内因性肝出血や壊死性膵炎に対するIVR、急性胆道炎に対するERCP、PTBD、PTGBD、EUS下ドレナージ、そして劇症肝炎や重症急性膵炎など重症消化器疾患に対する集中治療を積極的に行い、地域の救命救急医療に貢献している。

(第一部長 松原 浩)

2. 新規登録疾患

(1) 新生物以外

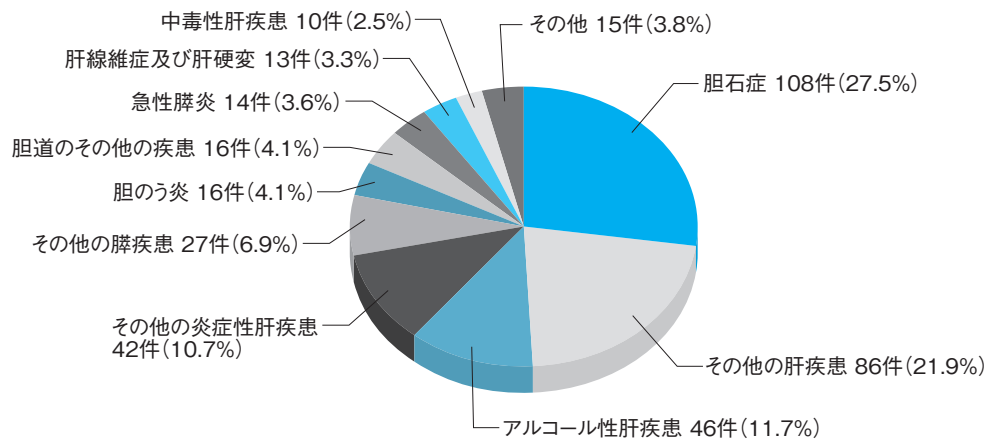
総数：872件



上位3位の詳細

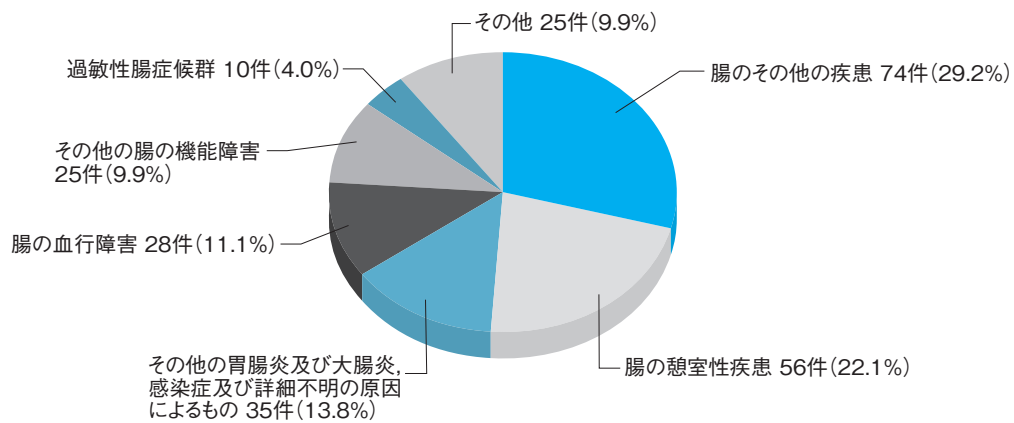
① 肝疾患、胆のう、胆管及び膵の障害

総数：393件



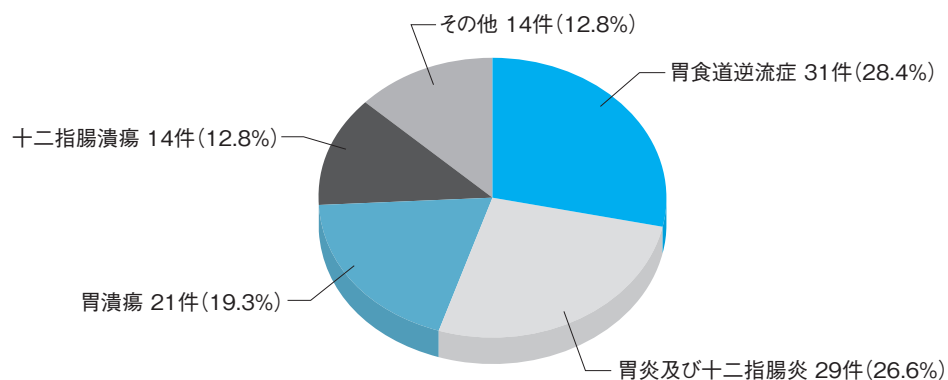
② 腸のその他の疾患、腹膜の疾患

総数：253件



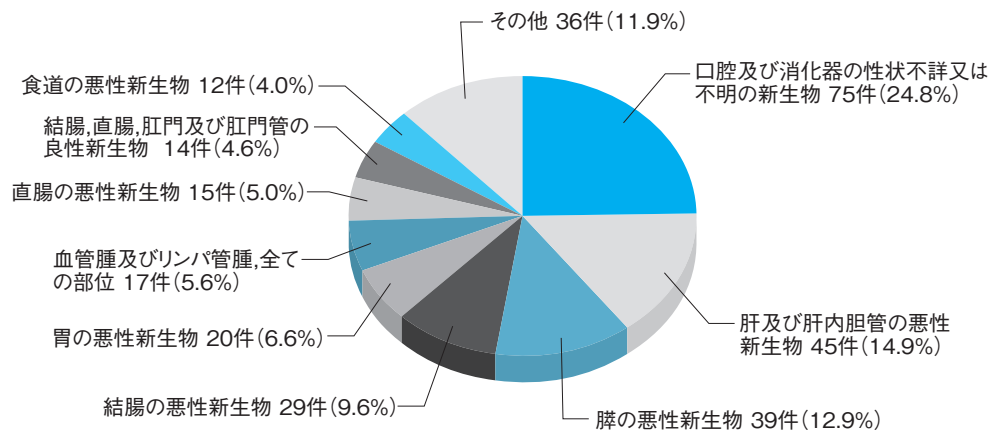
③ 食道、胃及び十二指腸の疾患、虫垂の疾患

総数：109件



(2) 新生物

総数：302件



3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	53,872人	年間外来新患者数	5,022人
年間入院患者数	26,479人	年間入院新患者数	2,541人

(2) 主な検査治療実績

胃内視鏡検査		6,568件
大腸内視鏡検査		4,091件
小腸内視鏡検査	バルーン内視鏡	25件
	カプセル内視鏡	46件
消化管超音波内視鏡検査	上部	86件
	下部	7件 (うち穿刺生検8件)
内視鏡的粘膜下層切開剥離術	食道/胃	90件
	大腸	73件
胆膵超音波内視鏡検査		289件 (うち穿刺生検95件)
内視鏡的逆行性胆管膵管造影		488件
腹部血管造影検査		77件
うち動脈塞栓術		72件
動注化学療法		7件
リザーバー留置による動注化学療法		1件
ラジオ波焼灼術		33件
経皮的エタノール注入療法		21件
経皮経肝門脈塞栓術		1件
デンバーシャント造設術		1例

循環器内科

1. 概要

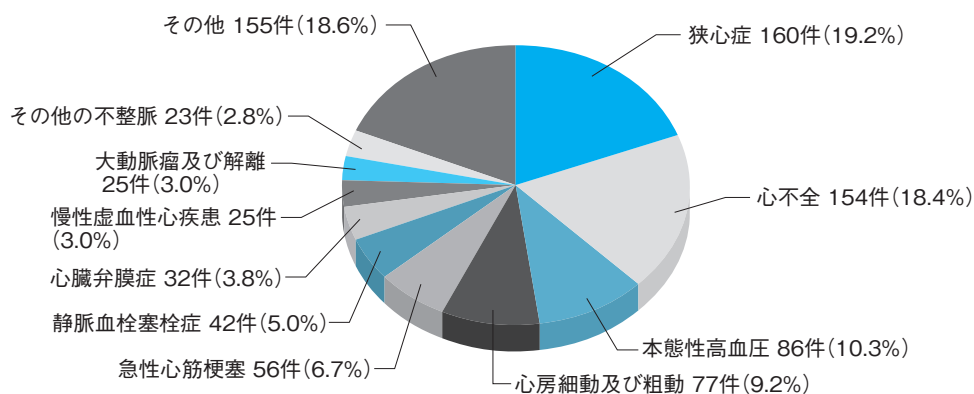
2021 年は、心血管カテーテル検査を 845 件（うち緊急検査 231 件）に施行した。経皮的冠動脈インターベンションは 253 例（成功率 98.0％）で、その内、血管内超音波を 247 例に、ステント留置術は 231 例に施行した。再狭窄防止のための薬剤溶出性バルーンは 16 件に使用した。観血的虚血評価のため、圧ワイヤー検査を 51 件に施行した。また、血行動態の悪い症例には、大動脈内ポンピングを 19 例に施行した。心原性ショック例・心停止例（来院時心肺停止も含む）には、経皮的心肺補助装置を装着した（6 例）。一方、不整脈診断の為の心臓電気生理学的検査を 79 例に、カテーテルアブレーションを 73 例（心房細動に対するもの 58 例）に施行した。さらに多列検出器 CT による冠動脈 CT 検査を 212 例に施行した。

本年度より、豊橋心不全地域連携研究会準備会を立ち上げ活動を開始した。

（第一部長 成瀬 賢伸）

2. 新規登録疾患

総数：835件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
狭心症	その他の型の狭心症	75	I208
	狭心症, 詳細不明	49	I209
心不全	うっ血性心不全	103	I500
	心不全, 詳細不明	44	I509
本態性高血圧	本態性 (原発性) 高血圧 (症)	86	I10
心房細動及び粗動	心房細動及び心房粗動, 詳細不明	47	I489
	発作性心房細動	30	I480
急性心筋梗塞	前壁の急性貫壁性心筋梗塞	32	I210
	下壁の急性貫壁性心筋梗塞	18	I211
静脈血栓塞栓症	下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓 (性) 静脈炎	42	I802
心臓弁膜症	大動脈弁狭窄 (症)	23	I350
慢性虚血性心疾患	陳旧性心筋梗塞	18	I252
大動脈瘤及び解離	大動脈の解離 [各部位]	19	I710
その他の不整脈	心室性早期脱分極	12	I493

3. 活動報告

(1) 患者状況

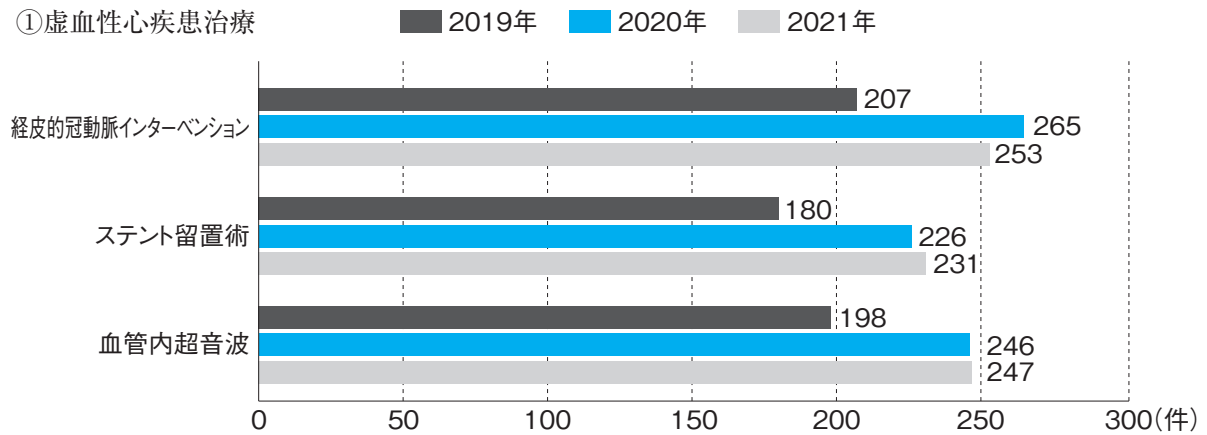
年間外来患者数	19,288人	年間外来新患者数	1,346人
年間入院患者数	9,756人	年間入院新患者数	1,028人

(2) 科指定4疾患

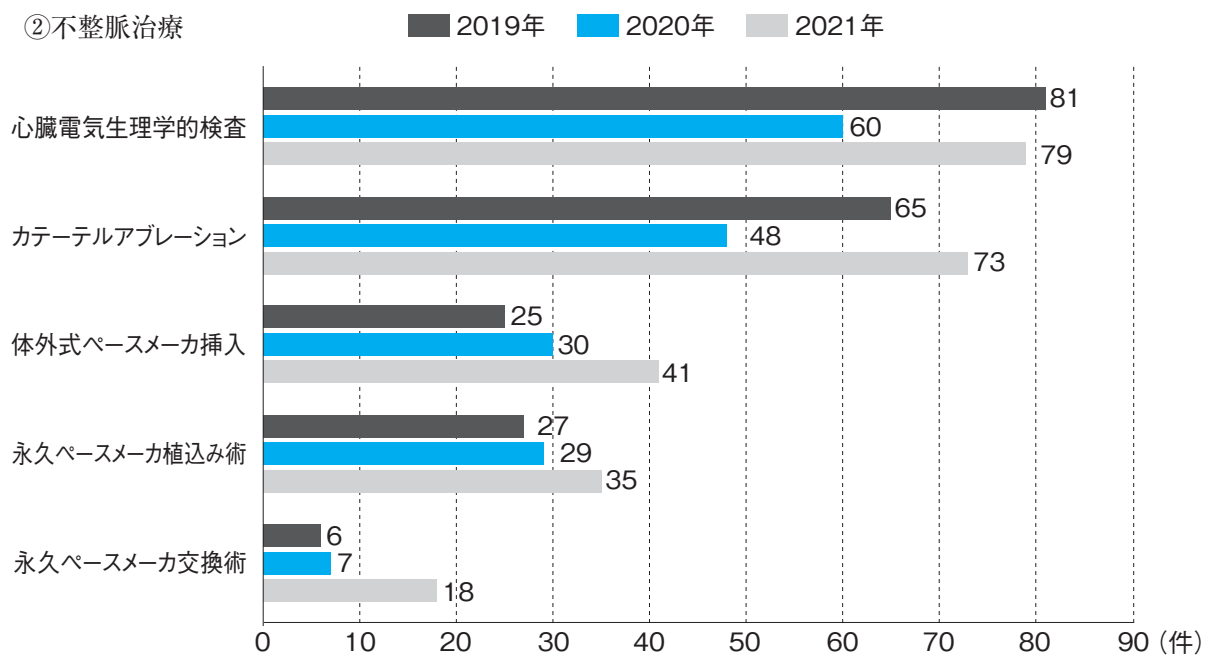
	疾 患 名	件 数 (件)		疾 患 名	件 数 (件)
1	心不全	872	4	肺血栓塞栓症	44
2	狭心症	522		計	1,579
3	急性心筋梗塞	141			

(3) 治療実績

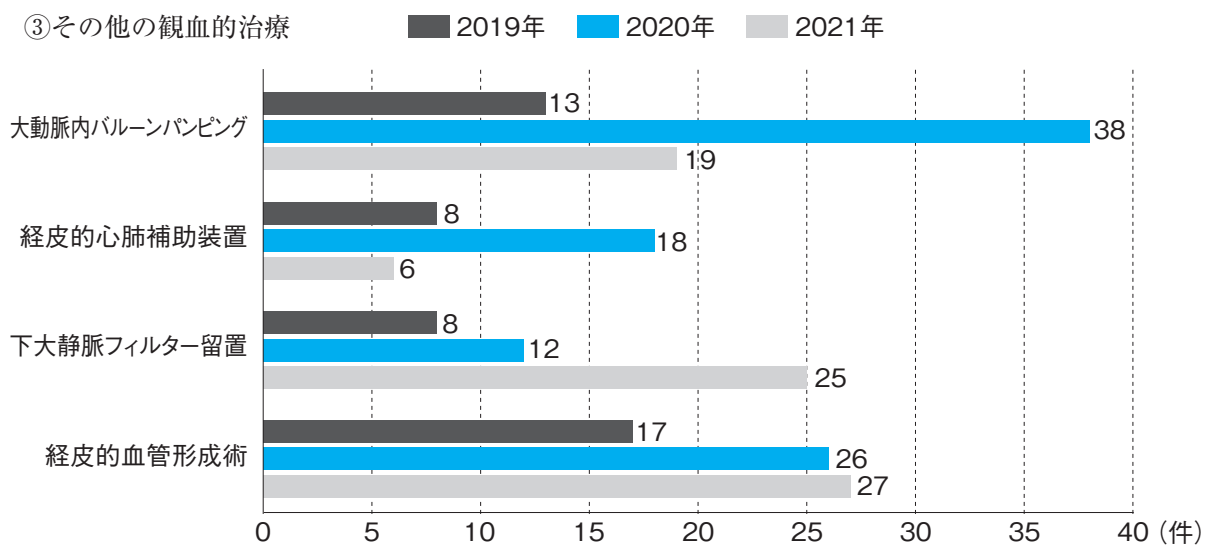
①虚血性心疾患治療



②不整脈治療



③その他の観血的治療



腎臓内科

1. 概要

当科の主な診療領域は、腎炎やネフローゼ症候群の診断・治療、慢性腎臓病の指導・管理・治療、血液浄化を含む腎代替療法の提供である。

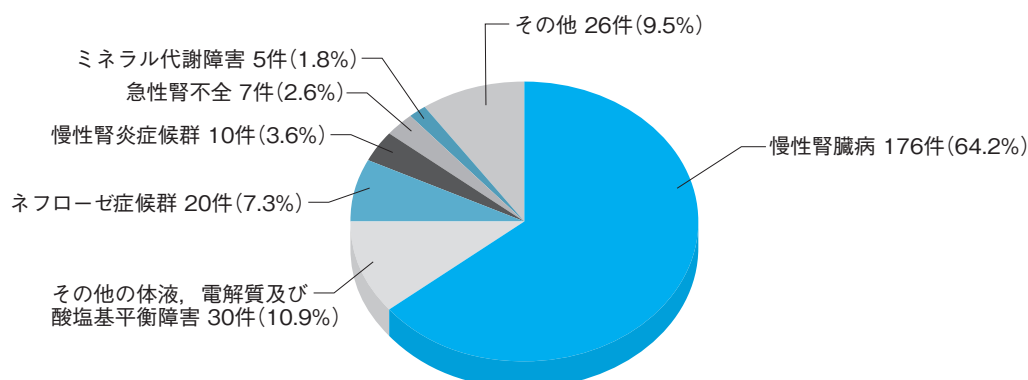
腎炎やネフローゼ症候群の診断には、名古屋大学腎臓内科ご支援のもと、積極的に腎生検を行ない、その後の腎予後推定や治療選択を行っている。慢性腎臓病に対しては栄養士による栄養指導を含めた生活の指導や腎不全による合併症の管理・治療を行っている。末期腎不全に対する腎代替療法としては血液透析・腹膜透析・腎移植を選択できる体制にある。通院の維持血液透析については受け入れができず、近隣の病院にお願いをしている。腎移植については移植外科と連携して対応を行っている。

また東三河地区の基幹病院として、急性腎不全に対する血液透析、各種血漿交換や免疫吸着など病態に合わせた血液浄化を行っている。これら血液浄化には臨床工学技士や看護師の協力は必要不可欠であり、病態に応じて適宜意見を交換しながら治療を行っている。

(副部長 渡邊 智治)

2. 新規登録疾患

総数：274件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
慢性腎臓病	慢性腎臓病, 詳細不明	156	N189
	慢性腎臓病, ステージ5	16	N185
その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	低浸透圧及び低ナトリウム血症	11	E871
	低カリウム血症	11	E876
ネフローゼ症候群	ネフローゼ症候群, 詳細不明	18	N049
慢性腎炎症候群	慢性腎炎症候群, 詳細不明	10	N039
急性腎不全	その他の急性腎不全	6	N178
ミネラル代謝障害	マグネシウム代謝障害	5	E834

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	9,810人	年間外来新患者数	433人
年間入院患者数	5,546人	年間入院新患者数	358人

(2) 科指定5疾患

	疾 患 名	件 数 (件)		疾 患 名	件 数 (件)
1	慢性腎不全	710	4	急速進行性糸球体腎炎	18
2	ネフローゼ症候群	154	5	IgA 腎症	17
3	急性腎不全	80		計	979

糖尿病・内分泌内科

1. 概要

当科の診療内容は、糖尿病と各種内分泌・代謝疾患である。糖尿病看護認定看護師、透析看護認定看護師の他、日本糖尿病療養指導士 13 名や愛知県糖尿病療養指導士 4 名等の協力で、糖尿病教育入院や療養指導外来、フットケア外来、糖尿病透析予防指導外来を設置している。インスリンポンプ療法(CSII)とSAP(CGMつきCSII)療法は引き続き 20 数名が継続している。2 週間連続で血糖値を記録できる Flash Glucose Monitoring 式の isCGM も引き続き数十名が利用している。

11 月の全国糖尿病週間に合わせた院内での公開イベントは新型コロナウイルス感染症の影響で今年も中止となったが、日本糖尿病協会の支部である患者会では、アンケートで要望の高かった院内での講演会を総会に合わせて開催した。

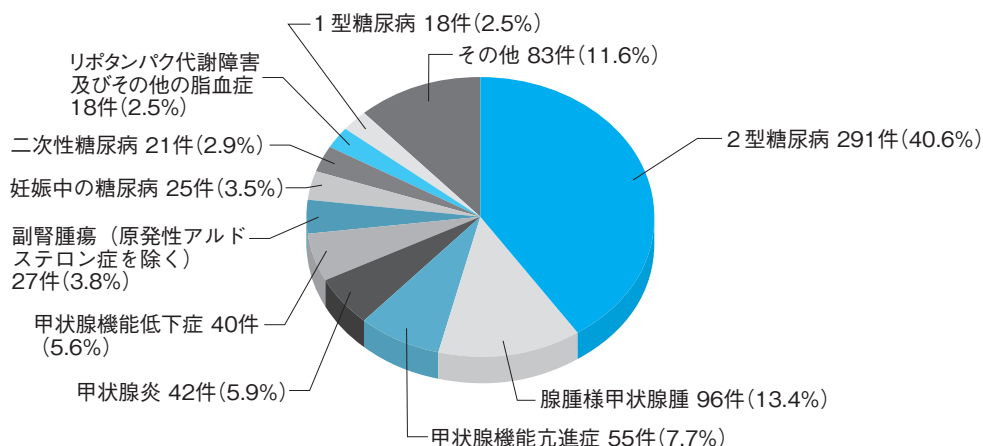
各種内分泌疾患に対しては各種負荷試験、画像診断を元に正確な診断を行い、一般外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、移植外科、脳神経外科、放射線科などとの密接な連携の下に治療を行っている。放射線科には原発性アルドステロン症に対する選択的副腎静脈サンプリングも依頼している。

人事面では七原医師が 3 月に離任し、代わって奥村医師が 4 月に着任した。

(部長 山守 育雄)

2. 新規登録疾患

総数：716件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
2 型糖尿病	2 型糖尿病	213	E11
	2 型糖尿病, 腎合併症を伴うもの	37	E112
腺腫様甲状腺腫	非中毒性甲状腺腫, 詳細不明	90	E049
甲状腺機能亢進症	びまん性甲状腺腫を伴う甲状腺中毒症	49	E050
甲状腺炎	自己免疫性甲状腺炎	38	E063
甲状腺機能低下症	甲状腺機能低下症, 詳細不明	37	E039
副腎腫瘍 (原発性アルドステロン症を除く)	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物, 副腎	21	D441
妊娠中の糖尿病	妊娠中に発生した糖尿病	25	O244
二次性糖尿病	その他の明示された糖尿病	18	E13
リポタンパク代謝障害及びその他の脂血症	高脂血症, 詳細不明	15	E785
1 型糖尿病	1 型糖尿病	9	E10

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	19,918人	年間外来新患者数	1,033人
年間入院患者数	2,479人	年間入院新患者数	200人

1. 概要

2021 年のスタッフは、常勤医 3 名に加え、時短勤務の小野田統医師が病棟管理の担い手となり、それぞれが獅子奮迅の勤務を行った。小野田統医師についてはご家庭の事情により 2021 年 9 月までの勤務となり、同年 10 月からは関連医局である名古屋大学脳神経内科の人事異動により、八木覚医師をお迎えした。常勤医 4 名体制となった。

総入院患者数については、新型コロナウイルス感染症による社会情勢・医療情勢の影響もあり、わずかに前年より減少した 2020 年に引き続き、2021 年は 936 人と更に少し減少した。(2020 年 978 人、2019 年 1,010 人、2018 年 985 人、2017 年 911 人、2016 年 795 人) ただし医師数も減少していたため、医師一人当たりの負担としてはかなり過重であった。

定床 45 床となったため、入院収容については以前よりもスムーズになった。ただこちらも新型コロナウイルス感染症関連により、南 1 階病棟が使えないため、メインは西 2 階病棟・東 5 階病棟・東 9 階病棟で対応した。状況によっては更に多くの病棟に入院患者が分散してしまうことも多く、回診に時間を要した。

2021 年の主なトピックは、以下のとおりである。

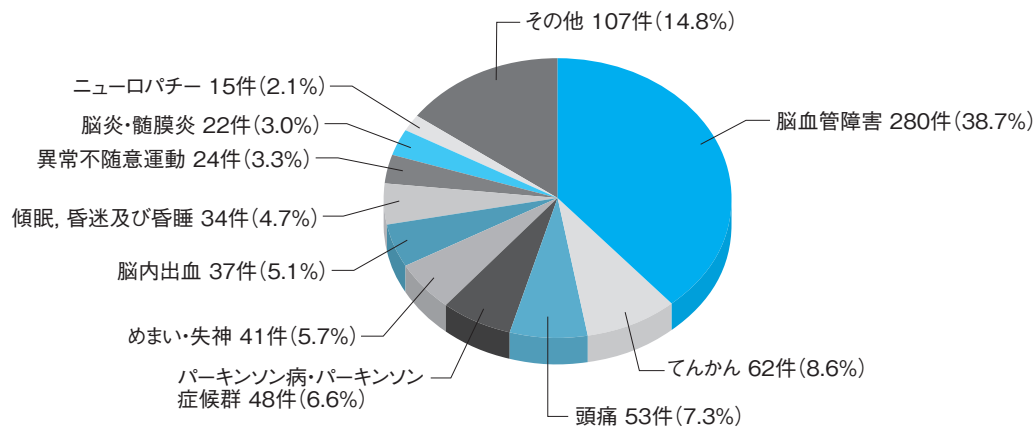
- ① 慢性炎症性脱髄性多発神経炎、多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症等、神経免疫疾患の患者さんに対し、ステロイドパルス療法や γ グロブリン静注大量療法を行うための入院は多い。
- ② 脳卒中の患者さんが 4 割程度と多いことは変わらず、高齢患者さんの軽症脳梗塞や一過性脳虚血発作も以前に比べて目立つのは同様である。
- ③ 高齢者のてんかん関連、意識障害関連の入院も変わらず目立つ。
- ④ 他科から、免疫チェックポイント阻害薬の副作用として神経・筋障害が起こった疑いのある患者さんの診療依頼がしばしばみられた。
- ⑤ 家族背景や社会的背景の難しい患者さんも多く、安定後の療養先について患者や家族への早期説明の実施、また患者総合支援センターによる介入が更に増えた。

外来診療においては、第 20 及び第 21 診察室があり、基本的には前者にて常勤医が対応。後者においては、月曜日から金曜日まで毎日、名古屋大学医局から派遣していただいた非常勤医の応援を得て診療を行った。外来の年間受診者総数は、12,379 人で前年の 11,618 人と比べて 760 人余り増加。また初診患者数は、1,499 人と前年の 1,396 人と比べて 100 人余り増加した。MCR 体制に加え、紹介状持参での予約外患者も多いが、診察数等を増やし、可能な範囲で対応している。

(第一部長 岩井 克成)

2. 新規登録疾患

総数：723件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
脳血管障害	脳動脈の血栓症による脳梗塞	126	I633
	脳梗塞の続発・後遺症	48	I693
てんかん	その他のてんかん	37	G408
	てんかん, 詳細不明	14	G409
頭痛	頭痛	47	R51
パーキンソン病・パーキンソン症候群	パーキンソン病	46	G20
めまい・失神	めまい感及びよろめき感	36	R42
脳内出血	脳内出血, 詳細不明	19	I619
	(大脳) 半球の脳内出血, 皮質下	12	I610
傾眠, 昏迷及び昏睡	昏睡, 詳細不明	34	R402
異常不随意運動	(有痛性) けいれん	9	R252
脳炎・髄膜炎	脳炎, 脊髄炎及び脳脊髄炎, 詳細不明	11	G049
ニューロパチー	多発(性)ニューロパチー, 詳細不明	9	G629

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,379人	年間外来新患者数	1,499人
年間入院患者数	14,732人	年間入院新患者数	924人

(2) 神経難病6疾患

	疾 患 名	件 数 (件)
1	パーキンソン病・パーキンソン症候群	48
2	重症筋無力症	8
3	多系統萎縮症	6
4	脊髄小脳変性症	4
5	多発性硬化症	4
6	筋萎縮性側索硬化症・球脊髄性筋萎縮症	3
	計	73

血液・腫瘍内科

1. 概要

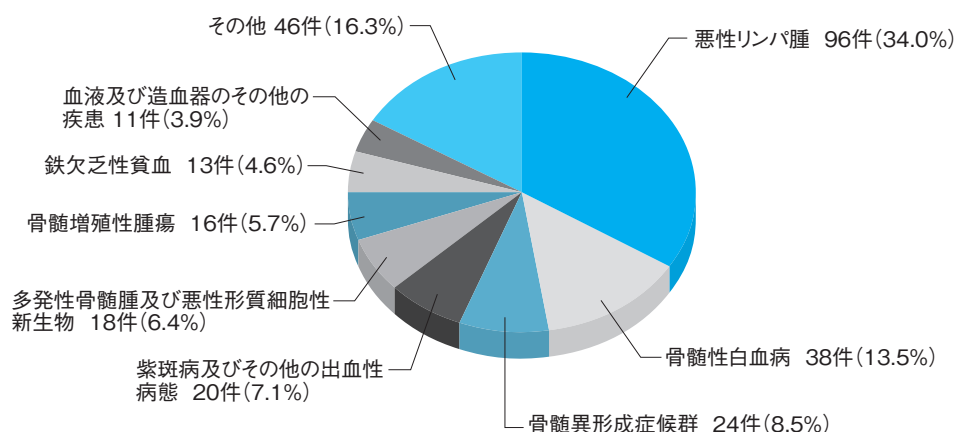
東三河地域の中核施設として、血液悪性疾患に対する化学療法、自家および同種造血幹細胞移植、血液良性疾患に対する免疫療法や補充療法、血栓・止血疾患に対する治療など、血液疾患の治療ほぼ全てに対応している。本年度も東三河全域や静岡県西部などから、多くの患者さんが来院された。2021年度は6名のスタッフにて、1日平均約45人の入院と、同様に約75人の外来患者に対する診療を行った。

疾患のほとんどは造血器腫瘍であるが、化学療法で治癒や深い奏功を目指せる疾患も多く、若年者のみならず高齢者においても積極的に化学療法を行っている。同種造血幹細胞移植に関しても、血縁のみならず非血縁、臍帯血、HLA半相致移植など、あらゆるドナーからの移植を適切な時期に行えるよう体制を整えており、比較的高齢であっても疾患としての適応があれば施行を検討している。造血幹細胞移植や高齢者の化学療法などにおいては、治療の合併症が比較的起きやすいが、他領域専門職種とのチーム医療を行うことで、生活の質を下げずに速やかに外来治療に移行できるよう、本年度も取り組んだ。

(部長 倉橋 信悟)

2. 新規登録疾患

総数：282件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	41	C833
	非ホジキンリンパ腫，詳細不明	25	C859
骨髄性白血病	急性骨髄芽球性白血病 [AML]	29	C920
骨髄異形成症候群	骨髄異形成症候群，詳細不明	23	D469
紫斑病及びその他の出血性病態	特発性血小板減少性紫斑病	20	D693
多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	多発性骨髄腫	15	C900
骨髄増殖性腫瘍	本態性（出血性）血小板血症	5	D473
	骨髄線維症	5	D474
鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血，詳細不明	13	D509
血液及び造血器のその他の疾患	続発性赤血球増加症	7	D751

3. 活動報告

(1) 患者状況

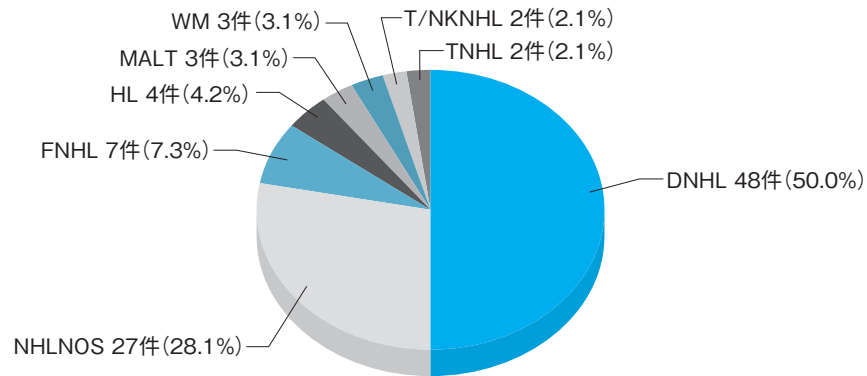
年間外来患者数	18,276人	年間外来新患者数	573人
年間入院患者数	16,557人	年間入院新患者数	855人

(2) 造血幹細胞移植

種 類			件 数 (件)
自家移植			11
同種移植	血縁者間	同胞	1 (骨髄：1 末梢血：0)
		半合致	0
	非血縁者間	骨髄バンク	7
		臍帯血バンク	8

(3) 悪性リンパ腫の組織分類 (ICD-10 C81-C88)

総数：96件



略語	疾患名
DNHL	びまん性非ホジキンリンパ腫
FNHL	ろ胞性〔結節性〕非ホジキンリンパ腫
NHLNOS	非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型
T/NKNHL	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
MALT	MALTリンパ腫
HL	ホジキン病
TNHL	末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫
WM	ワルデンシュトレームマクログロブリン血症

一般外科・小児外科

1. 概要

(1) 一般外科・小児外科

2021 年も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、良性疾患などの不要不急の手術の制限も 2 か月間ほどあった。しかし緊急手術、悪性腫瘍手術など延期できない手術を安定して行ったため、手術総数も昨年の 1,584 件から、1,653 件と回復した。ただコロナ前の 2019 年 1,724 件と比較するとまだ少し減少していた。そのうち 15 歳以下の小児手術は 110 件（去年 135 件）と昨年より減少した。一方、全緊急手術は若干増加して 340 件（昨年 325 件）（340/1,653、20.5%）であった。緊急手術での鏡視下手術は 155 件で昨年の 134 件より増加していた。

全症例について総覧すると対象疾患は、当院の性格上、虫垂炎（129 件）やヘルニア（170 件）といった日常的な疾患から甲状腺（18 件）・消化器（931 件）・乳腺（141 件）まで幅広い。消化器・乳腺は増加し、他は去年の実績よりは減少していた。

腹腔鏡下手術は、全全身麻酔件数中 708 件（708/1,405、50.4%）となった。胃癌手術（単開腹、バイパス除く）39 件（39/99、39.4%、昨年 32.5%、一昨年 32%）でその割合は徐々に増加し、大腸癌切除（腸瘻、バイパス手術除く）では 125 件（125/211、59.2%、昨年 50.6%、一昨年 48%）とこちらもその割合を増加し続けている。腹腔鏡下肝部分切除 9 件（9/17、53%、昨年 39%、一昨年 48%）で総数は変わらなかったがその割合は若干増加した。また腹腔鏡下腓体尾部切除は 3 件（3/11、27%、昨年 25%、一昨年 6.7%）が行われ、その割合を増加した。虫垂や成人鼠径ヘルニアに対してもさらに積極的に腹腔鏡を導入し、虫垂炎手術で 123 件（123/129、95.3%、昨年 93 件 86%、一昨年 63%）、鼠径ヘルニア手術 51 件（51/145、35.2%、昨年 40 件、22.8%、一昨年 16%）と症例数、割合とも増加した。最近では臍ヘルニアや腹壁癭痕ヘルニア、閉鎖孔ヘルニアに対しても腹腔鏡を用い、計 7 件（7/24 件、29.2%、昨年 11.5%）に行った。

2014 年 11 月より直腸癌に対するロボット支援下手術を開始したが、一昨年より新型コロナウイルス感染症の影響で減少し、2019 年 16 件、2020 年 14 件と減少し、2021 年は 4 件に留まった。また 2015 年 4 月から早期胃癌に対して行っているロボット支援手術も、同様に新型コロナウイルス感染症の影響で 2019 年の 17 件に対し 2020 年は 12 例と減少したが 2021 年には 16 件と持ち直した。乳癌手術も新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたが 134 件と一昨年レベルに回復した（昨年 91 件、一昨年 131 件）と減少した。乳房温存手術は 32 件（32/134、23.9%、昨年 81%）で昨年より減少した。肝切除は 27 件（昨年 35 件、一昨年 40 件）であった。腓頭十二指腸切除は 17 件（昨年 18 件）行われた。また腓全摘は 2 例（昨年 1 例）に行った。専門医の加入により食道悪性腫瘍は 14 件（昨年 5 件）と著しく増加し、その多くは胸腔鏡下に施行されていた（12/14、86%）。上部消化管潰瘍穿孔手術は 16 件行い、うち 4 件は腹腔鏡下に行った。非手術的保存療法はわずかに 1 件（7.7%）だった。腸閉塞入院は 153 件のうち 43 件（28.1%）に手術が施行された。

小児外科手術は名古屋大学小児外科と連携して治療に当たっており 114 件で、このうち新生児手術は 4 件であった。

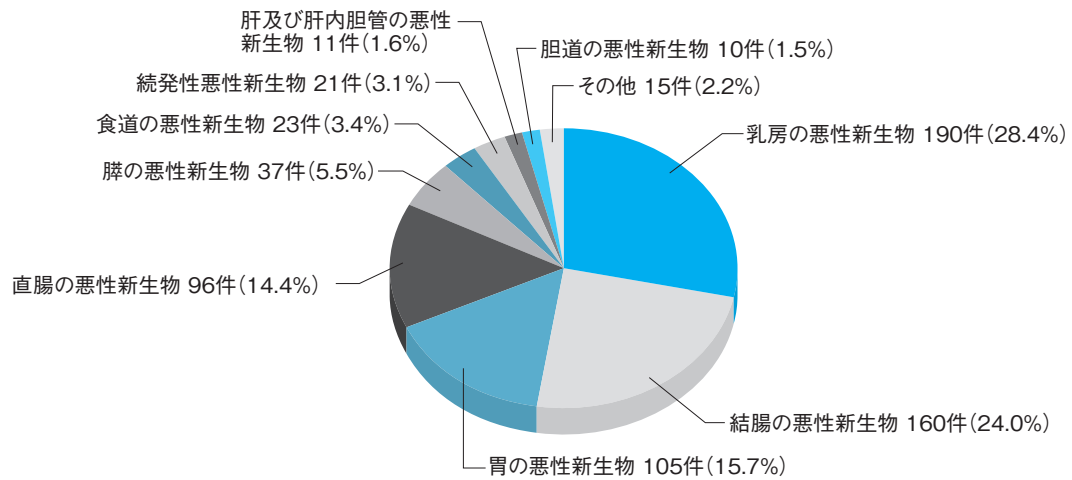
一般外科全体の入院総数は 2,215 人で、昨年の 2,099 人より 116 人増加した。平均入院期間は 11.1 日で昨年の 10.9 日よりわずかに増加した。

（第一部長 平松 和洋）

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物

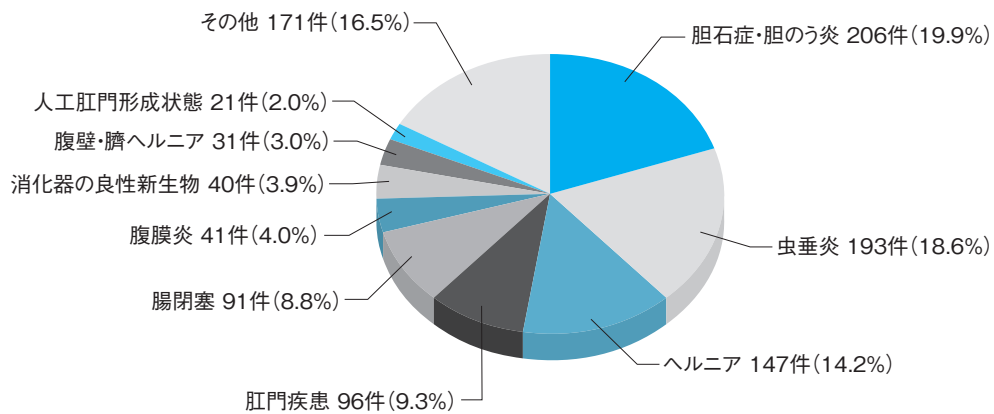
総数：668件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房上外側 4 分の 1	77	C504
	乳房の悪性新生物, 乳房上内側 4 分の 1	33	C502
結腸の悪性新生物	結腸の悪性新生物, S 状結腸	50	C187
	結腸の悪性新生物, 上行結腸	40	C182
胃の悪性新生物	胃の悪性新生物, 胃, 部位不明	87	C169
	胃の悪性新生物, 幽門前庭	7	C163
直腸の悪性新生物	直腸の悪性新生物	96	C20
膵の悪性新生物	膵の悪性新生物, 膵, 部位不明	23	C259
	膵の悪性新生物, 膵頭部	6	C250
食道の悪性新生物	食道の悪性新生物, 食道, 部位不明	12	C159
	食道の悪性新生物, 胸部食道	5	C151
続発性悪性新生物	肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物	16	C787
	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物, 腹腔内リンパ節	3	C772
肝及び肝内胆管の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物, 肝細胞癌	7	C220
	肝及び肝内胆管の悪性新生物, 肝内胆管癌	2	C221
胆道の悪性新生物	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物, 胆道の境界部病巣	6	C248
	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物, ファーター乳頭膨大部	2	C241

(2) 悪性新生物以外

総数：1,037件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
胆石症・胆のう炎	胆のう炎を伴わない胆のう結石	122	K802
	急性胆のう炎	27	K810
虫垂炎	急性虫垂炎, その他及び詳細不明	141	K358
	詳細不明の虫垂炎	27	K37
ヘルニア	一側性又は患側不明のそけいヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	139	K409
	両側性そけいヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	2	K402
肛門疾患	痔核, 詳細不明	55	K649
	肛門膿瘍	10	K610
腸閉塞	閉塞を伴う腸癒着[索条物]、イレウス, 詳細不明	34	K565, K567
	軸捻 (転)	23	K562
腹膜炎	急性腹膜炎	40	K650
消化器の良性新生物	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物, その他の消化器	11	D377
	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物, 肝外胆管	7	D135
腹壁・臍ヘルニア	癒痕ヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	14	K432
	臍ヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	12	K429
人工肛門形成状態	人工肛門造設状態	19	Z933

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	37,783人	年間外来新患者数	2,105人
年間入院患者数	24,844人	年間入院新患者数	2,109人

(2) 2021年1月～12月入院概要(全2,215人、平均入院期間11.1日、2022年4月14日現在未退院0人)

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 期間(日)
イレウス	緊急手術	34	12.9
	予定手術	9	20.6
	保存療法	110	8.4
外傷	手術	5	23.4
	IVR	3	20.3
	保存療法	10	9.1
血管系緊急 (塞栓・解離など)	手術	1	104
	IVR	4	9.8
	保存	3	4.7
合併症治療 (感染性)	手術	1	18
	IVR	1	34
	保存療法	15	11.6
合併症治療(出血性)	保存療法	1	6
合併症治療 (その他)	手術	5	23.4
	IVR	1	19.0
	内視鏡治療	1	4
抗がん剤有害事象	保存療法	12	12.5
その他	保存療法	37	13.6
	IVR	1	3
	保存治療	20	16.6
	予定手術	20	6.1
	緊急手術	2	7
その他	その他	2	1.5
	保存治療	2	13.0
その他/悪性	IVR	1	14
	予定手術	4	22
甲状腺/良性	手術	9	4.8
甲状腺/悪性	手術	9	6.8
副腎良性	予定手術	1	5
新生児	緊急手術	4	小児科管理
非新生児	予定手術	65	1.8
	緊急手術	2	5
	検査入院	1	1
	保存療法	4	3.3
	緊急手術	1	31
腹腔内癌再発	手術	7	14
	IVR	1	37
	保存療法	4	9
	緊急手術	30	26.9
腹膜炎	予定手術	8	26.1
	IVR	2	29
	保存療法	19	8.9
	緊急手術	11	15.3
ヘルニア	予定手術	191	2.6
	保存療法	1	40.0
	手術中止	1	1
	緊急手術	4	6.3
痔核・痔瘻	予定手術	6	10
	保存療法	2	17
	待機手術	41	5.9
虫垂	緊急手術	95	4.9
	保存療法	44	7.2

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 期間(日)
胃十二指腸/ 良性	予定手術	22	14.6
	緊急手術	13	34.2
	保存療法	5	18.6
胃十二指腸/ 悪性	予定手術	107	18.2
	緊急手術	2	46
	化学療法	1	8
	緩和療法	1	21
	放射線治療	1	27
	保存療法	32	13.5
肝胆膵脾	予定手術	262	9
	緊急手術	20	17
	IVR	1	7
	保存療法	49	13.8
	手術中止	4	8
小・大腸/悪性	検査目的	1	3
	予定手術	229	18.7
	緊急手術	22	20.7
	保存療法	53	13.2
	化学療法	9	6.9
小・大腸/良性	放射線治療・IVR	9	15.8
	手術中止	2	12
	予定手術	53	14.9
	緊急手術	1	20.0
	保存療法	5	27.4
食道/悪性	予定手術	13	41.2
	緊急手術	1	23
	化学療法	39	12.4
	内視鏡治療	1	4
食道/良性	保存療法	10	15.2
	予定手術	1	59
乳腺/その他	保存療法	1	9
	予定手術	9	3.9
乳腺/悪性	保存療法	1	1
	予定手術	130	6.1
	化学療法	5	13.4
	放射線治療	11	20.6
	緩和療法	8	21
	保存療法	42	13.4
CVポート関連	手術中止	1	0
	予定手術	68	2.7
	緊急手術	7	1.4
	内視鏡治療	1	2
術後後遺症その他	手術中止	3	3.3
	予定手術	1	7
	保存療法	54	11
	IVR	3	16.3
左単径部脂肪肉腫 仙骨転移	内視鏡治療	2	6.5
	その他	1	9
左単径部脂肪肉腫 仙骨転移	予定手術	1	20

(3) 一般外科・小児外科手術数(2021年) 1,653例

①一般外科	1,653	(g)試験開腹／その他	2
全身麻酔	1,405	(オ)小腸・大腸	
脊髄麻酔	15	a 良性疾患	108
局部麻酔	233	(a)小腸切除	20(4)
(ア)甲状腺	18	(b)腸瘻造設	8(1)
a 良性疾患	9	(c)腸瘻閉鎖	31
(a)部分切除	0	(d)腸吻合	0
(b)葉切、亜全摘、全摘	9	(e)結腸直腸切除	12(4)
b 悪性疾患	8	(f)大腸亜全摘	2
(a)部分切除、亜全摘、他	5	(g)癒着剥離	29(1)
(b)全摘	2	(h)経肛門／経仙骨	0
(c)その他	1	(i)単開腹／その他	4
(イ)乳 腺	112	b 悪性疾患	254
a 良性疾患	7	(a)腸瘻造設	30(6)
摘出	7	(b)腸吻合	2
腺管区域切除	0	(c)小腸切除	3
b 悪性疾患	134	(d)結腸切除	134(73)
(a)定型乳切	1	(e)直腸切除(高位、低位) …	63(42、ロボット4)
(b)非定型乳切(Bt+Ax)	22	(f)直腸切斷	16(12、ロボット0)
(c)Bt±SLNB	77	(g)経肛門／仙骨の切除	0
(d)乳房温存手術±SLNB	30	(h)骨盤内臓全摘	5
(e)Tm他	2	(i)大腸亜全摘	1
(f)単乳切・他	2	(j)単開腹／その他	0
(ウ)食 道	15	(カ)虫垂炎(虫垂／回盲部切除)	129(123)
a 良性疾患	1	(キ)肝/胆/膵/脾	
b 悪性疾患	14	(a)肝部分切除	21(10)
(a)胸部食道切除	14	(b)肝区域／葉切除	8
(b)その他	0	(c)胆嚢床切除	2
(エ)胃・十二指腸		(d)開腹胆嚢摘出術	20
a 良性疾患	37	(e)腹腔鏡下胆嚢摘出術	219
(a)胃切除、胃全摘	1	(f)開腹胆管切開術	3
(b)体網充填	16(4)	(g)胆嚢摘出＋郭清	1
(c)スリーブ状胃切除	19(19)	(h)胆管消化管吻合	0
b 悪性疾患	106	(i)胆管切除	1
(a)幽門側胃切除	68(29、ロボット10)	(j)膵頭十二指腸切除(PD)	1
(b)胃全摘	26(7、ロボット3)	(k)亜全胃温存PD	16
(c)噴門側胃切除	5(3、ロボット3)	(l)膵体尾部切除	11(3)
(d)胃腸吻合	3	(m)膵全摘	2
(e)楔状切除／十二指腸切除	2(2、LECSX)	(n)膵部分切除	0
(f)PD	0	(o)膵管空腸吻合	0

(p)脾摘	1(1)	(ス)腹膜炎	54(4)
(q)胃腸吻合	3(2)	(セ)腹腔内癌再発	16
(r)単開腹／その他	5(2)	(ソ)その他	49
(ク)内分泌		(a)非悪性	45(2)
(a)副甲状腺	0	(b)悪性	5
(b)副腎	1(1)	②小児外科(全例全身麻酔)	114
(ケ)ヘルニア	170	(ア)新生児手術	4(1)
(a)鼠径大腿	145(51)	(イ)鼠径ヘルニア	53(51)
(b)腹壁・臍・閉鎖孔など	25(7)	(ウ)虫垂切除	7(7)
(コ)痔核痔瘻	9	(エ)精巣固定	14(1)
(サ)局麻手術	144	(オ)臍形成	22
(a)摘出、生検	22	(カ)幽門筋切開	1(1)
(b)CVポート	119	(キ)その他	13(3)
(c)その他	3	(ク)局麻手術	0
(シ)外傷／医原性	8	()内はその内の鏡視下手術件数、ロボット支援手術	

呼吸器外科

1. 概要

当科は、東三河地区の重要な基幹病院として、肺癌などの悪性疾患、気胸のような良性疾患、胸部外傷など、地域医療に必要とされる胸部外科疾患を幅広く取り扱い、体への負担が少ない低侵襲手術を積極的に実施している。

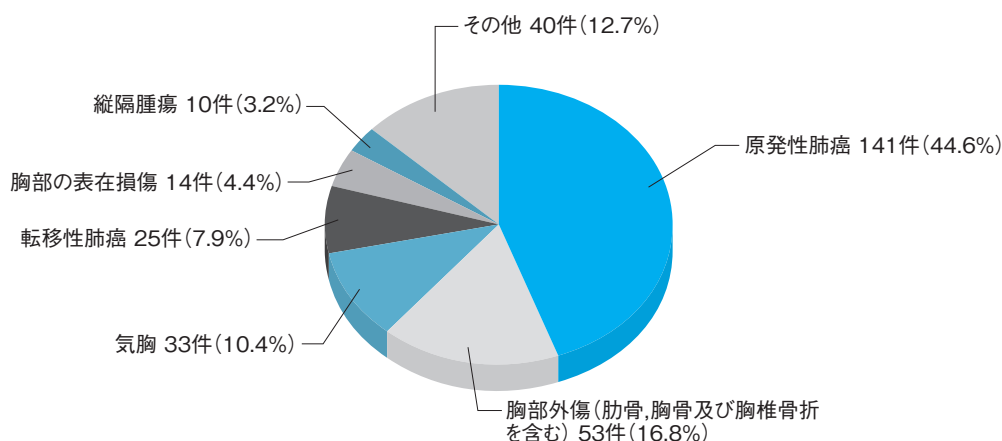
早期肺癌の標準術式は肺葉切除だが、ごく早期の肺癌もしくは低肺機能の患者には、より切除範囲が小さく呼吸機能を温存できる肺区域切除や部分切除を検討する。また、肺葉切除に関しても、従来行われてきた標準的な開胸手術や胸腔鏡下手術だけでなく、できるかぎり体に負担の少ない低侵襲手術を適応することができるか十分に検討し、治療を提案している。

毎週定期的に開催するカンファレンスでは、呼吸器内科や放射線科とともに症例検討を行い、患者さんに応じた治療を複数の医師で検討している。

(部長 成田 久仁夫)

2. 新規登録疾患

総数：316件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
原発性肺癌	気管支及び肺の悪性新生物，気管支又は肺，部位不明	136	C349
胸部外傷（肋骨，胸骨及び胸椎骨折を含む）	肋骨骨折	21	S2230
	外傷性気胸	10	S270
気胸	自然気胸	16	J931
	続発性気胸	11	J938
転移性肺癌	肺の続発性悪性新生物	25	C780
胸部の表在損傷	胸部の挫傷	14	S202
縦隔腫瘍	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物，胸腺	5	D150
	中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物，縦隔	4	D383

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	3,376人	年間外来新患者数	311人
年間入院患者数	1,854人	年間入院新患者数	262人

心臓外科・血管外科

1. 概要

先天性心疾患：NMCにおいて1kgに満たない小さな子たちに救命的な手術を行っている。以前より一貫して将来を見越した胸筋温存による手術を行っており、この術式を取り入れている施設は全国でもごくわずかである。それ以外の症例については他院へお連れして手術を行っている。

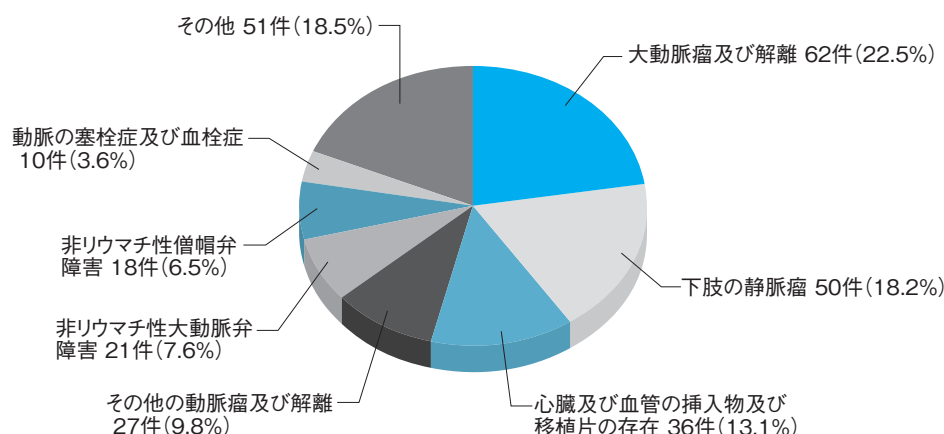
成人心疾患：症例数が少なく、チームの練度が上がらないのが現状であるが、日々のカンファレンスを充実させ一步一步進んでいる。

血管外科：胸部大動脈瘤・腹部大動脈瘤に対してステント治療を行っている。80代90代といったご高齢の方も、短い入院期間で元気に退院されその効果を我々も実感している。下肢静脈瘤に対して血管内焼灼手術についても安定した成績を確保している。より安全で早期回復を目指した手術を行うよう、スタッフともども進めていく所存である。

(部長 中山 雅人)

2. 新規登録疾患

総数：275件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
大動脈瘤及び解離	腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの	40	I714
	大動脈の解離 [各部位]	11	I710
下肢の静脈瘤	潰瘍又は炎症を伴わない下肢の静脈瘤	48	I839
心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	その他の心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	36	Z958
その他の動脈瘤及び解離	腸骨動脈瘤及び解離	12	I723
	部位不明の動脈瘤及び解離	11	I729
非リウマチ性大動脈弁障害	大動脈弁閉鎖不全 (症)	19	I351
非リウマチ性僧帽弁障害	僧帽弁閉鎖不全 (症)	18	I340
動脈の塞栓症及び血栓症	詳細不明の動脈の塞栓症及び血栓症	6	I749

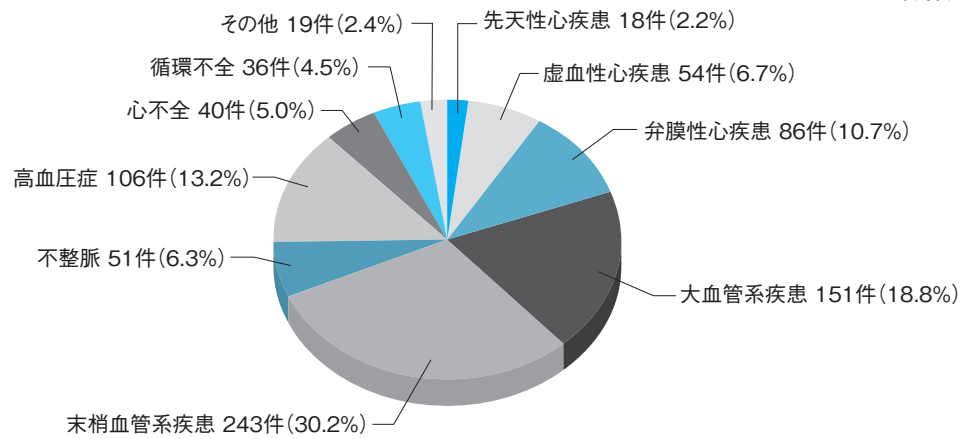
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	3,183人	年間外来新患者数	136人
年間入院患者数	2,179人	年間入院新患者数	143人

(2) 疾患別頻度

総数：804件



移植外科

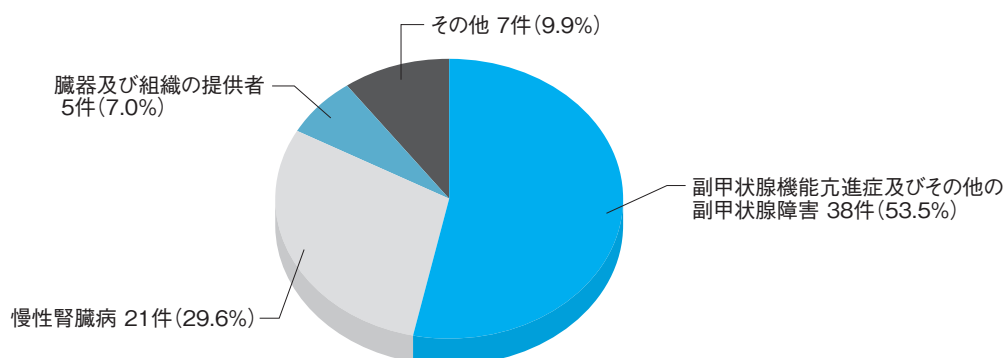
1. 概要

2010年4月に移植外科が標榜され、2012年5月に大塚聡樹医師（15年間勤務）が異動し、2021年3月から岩瀬勇人医師が1年間勤務した。2012年10月からは東三河地域において唯一の腎移植認定施設となったため、当地域の献腎移植登録患者の待機期間中のフォローアップは当院のみで行っている。また他院で移植された腎移植患者や肝臓・膵臓移植患者の定期通院も受け入れており、東三河だけでなく全国の移植施設との間で病診連携がなされている。生体腎移植は当地域に居住の患者さまを中心に実施している。長期透析に伴い骨代謝異常をおこす続発性副甲状腺機能亢進症や、原発性副甲状腺機能亢進症に対する外科的手術も行っている（2020年は続発性に対する手術件数は全国で二番目に多かった）。当科の使命は当地域における上記患者さまを長期にフォローアップしてゆくことである。

（部長 長坂 隆治）

2. 新規登録疾患

総数：71件



3. 活動報告

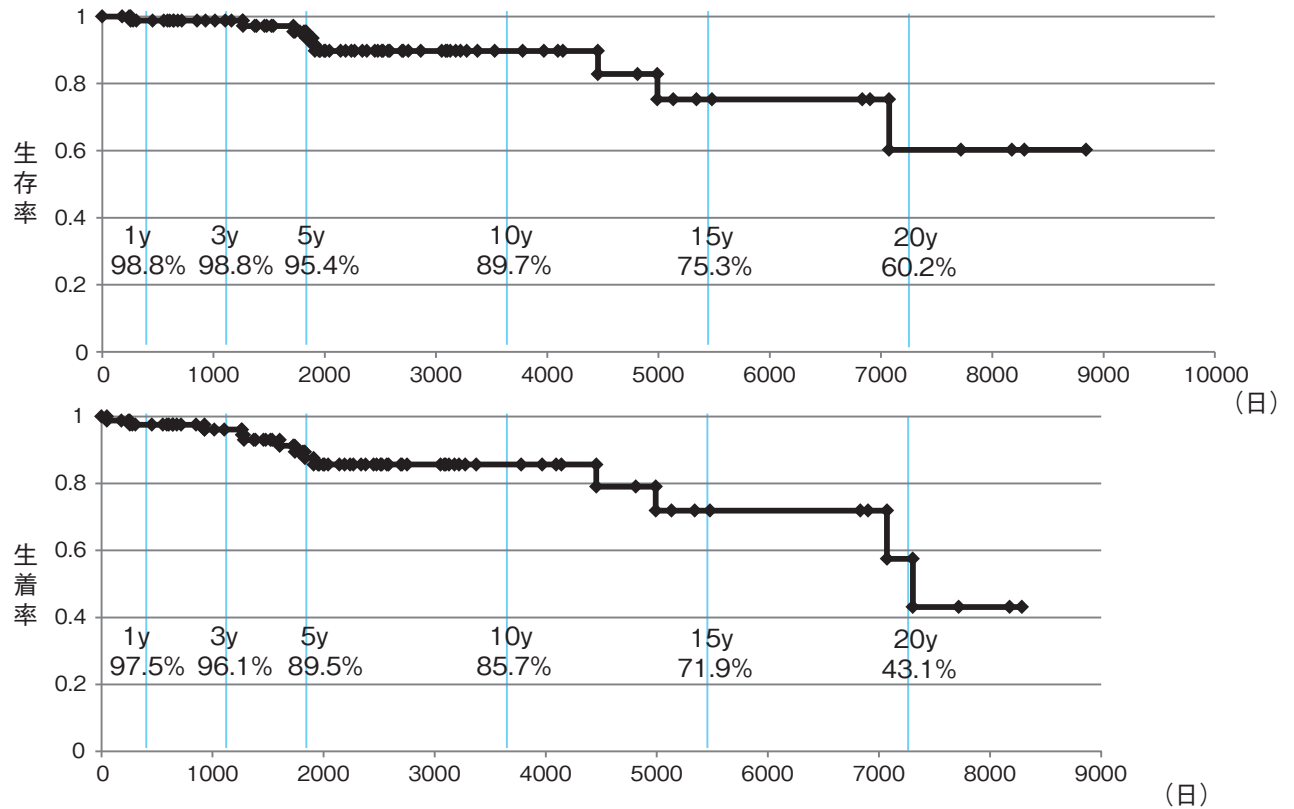
(1) 患者状況

年間外来患者数	1,360人	年間外来新患者数	51人
年間入院患者数	638人	年間入院新患者数	68人

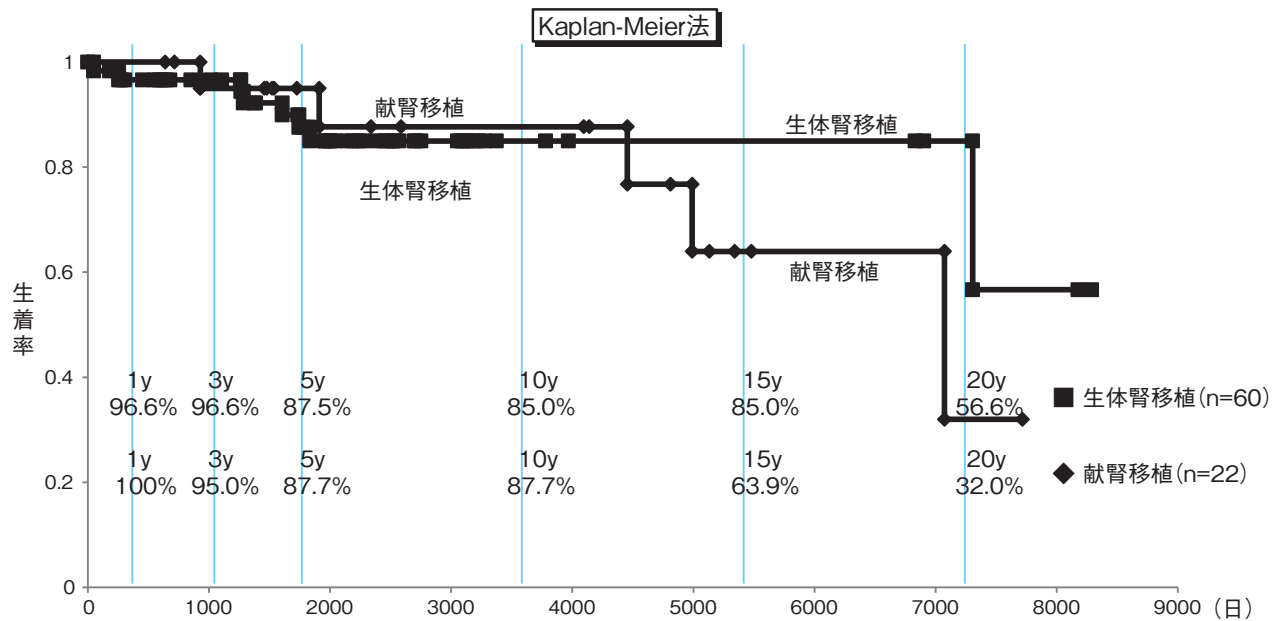
(2) 外来患者の状況（2022年3月31日現在）

	外来種別	患者数（人）		外来種別	患者数（人）
1	腎移植後	94	5	副甲状腺手術後	69
2	肝移植後	9	6	生体移植ドナー術後 (肝臓、腎臓、膵臓)(当院外患者)	72
3	膵移植後	1			
4	献腎移植登録外来	106		計	351

(3) 当院腎移植症例の生着率と生存率（2022年4月現在, N=82）



(4) 当院腎移植症例の生着率（生体腎移植 vs 献腎移植）（2022年4月現在, N=82）



整形外科

1. 概要

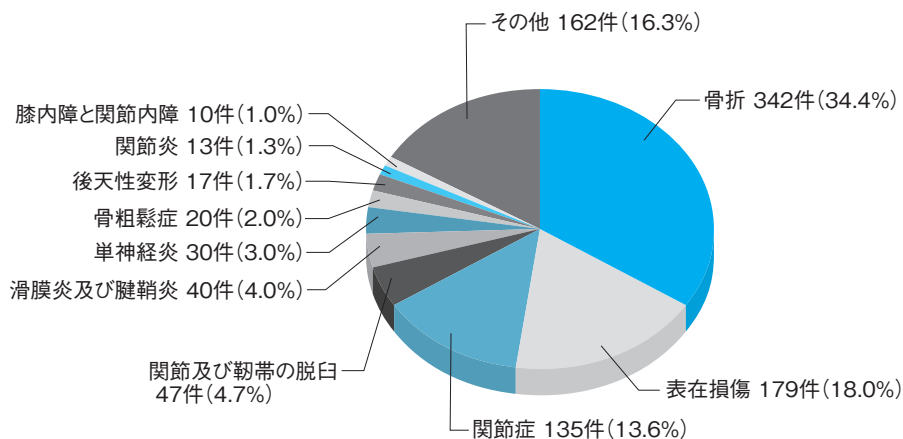
2021年12月31日時点での構成は常勤医（山内、藤田、三矢聡、武田、三矢未）と専攻医4名（柴田、高橋、倉橋、松野）である。専門外来は股関節（山内）、膝・肩関節（藤田）、上肢、骨盤外傷（三矢聡）、上肢（武田、三矢未）が担当している。小児整形症例は毎週火曜日に古橋範雄先生に診療をお願いしている。腫瘍関連症例は全員で診療を行い、毎月1回名古屋大学整形外科腫瘍グループに骨軟部腫瘍外来をお願いしている。

東三河整形外科医会に参加し研修、及び近隣の医療機関の医師との交流に努めている。また毎月名古屋大学整形外科主催のWEBカンファレンスに参加している。

（部長 山内 健一）

2. 新規登録疾患

総数：995件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
骨折	大腿骨頸部骨折	43	S7200
	橈骨遠位端骨折	39	S5250
表在損傷	手首及び手のその他の部位の挫傷	24	S602
	爪の傷害を伴わない指の開放創	14	S610
関節症	股関節症，詳細不明	65	M169
	その他の原発性膝関節症	46	M171
関節及び靱帯の脱臼	半月裂傷，新鮮損傷	13	S832
	膝の（前）（後）十字靱帯の捻挫及びストレイン	10	S835
滑膜炎及び腱鞘炎	ばね指	14	M6534
	滑膜炎及び腱鞘炎，詳細不明	12	M6599
単神経炎	尺骨神経の病変	14	G562
骨粗鬆症	骨折の骨癒合不全〔偽関節〕	8	M8419
後天性変形	指の変形	14	M200
関節炎	単（発性）関節炎，他に分類されないもの	3	M1313
膝内障と関節内障	膝内障，詳細不明	3	M2399

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	25,681人	年間外来新患者数	3,709人
年間入院患者数	21,655人	年間入院新患者数	1,031人

(2) 骨折頻度

	部 位	件 数 (件)		部 位	件 数 (件)
1	肩及び上腕	55	5	手首及び手	43
2	大腿骨	98	6	足（足首を除く）	11
3	前腕	53	7	その他	29
4	下腿（足首を含む）	53		計	342

(3) 手術実績

①手術症例件数 1,218件

②麻酔別症例件数（重複あり）

名 称	件 数 (件)
全身麻酔	223
腰椎麻酔	439
伝達麻酔	545
局所麻酔	410
その他	46
計	1,663

③分野別症例件数（重複あり）

(ア)関節外科

a 人工関節

名 称	件 数 (件)
人工股関節	73
人工骨頭股関節	36
人工膝関節	30
人工肩関節	2
人工肘関節	0
計	141

b 関節形成術

名 称	件 数 (件)
股関節	0
膝関節	1
肩関節	2
足関節	4
計	7

c 関節鏡視下手術

名 称	件 数 (件)
手関節	29
膝関節	28
肩関節	4
足関節	0
計	61

a + b + c

216件

(イ)手の外科

名 称	件 数 (件)
肘・前腕	154
手指	179
手関節	52
マイクロサージャリー	38
足趾、多合指（趾）	4
計	427

(ウ)骨軟部外傷

名 称	件 数 (件)
骨盤	4
大腿骨近位部	163
大腿	13
膝	21
下腿	87
足関節－足	46
鎖骨－上腕	59
抜釘	151
計	544

(エ)切断術（手指を除く） 28件

(オ)骨髄炎・感染症 38件

(カ)腫瘍 19件

(キ)その他 79件

計

1,344件

リウマチ科

1. 概要

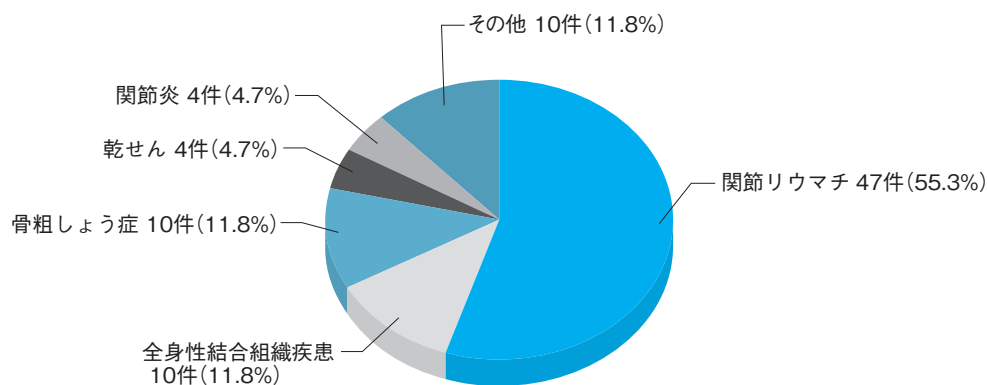
当科は内科的治療を基本としているが、整形外科より発展したため外科的治療も行っている。当科の診療の4本柱について記す。2021年は平野、長谷川、大野で診療を行ってきた。2人のリウマチ科常勤医を中心に、研修中の整形外科若手医師、当院研修医の助けも借りて診療を行った。

- ① 関節リウマチ（RA）の薬物治療：MTXを中心とした古典的抗リウマチ薬を早期から使用し、効果不十分例には生物学的製剤やJAK阻害剤を導入し関節破壊の防止に努めている。新薬の治験も行っている。
- ② 各種リウマチ性疾患（強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、リウマチ性多発筋痛症、SAPHO症候群、分類不能の脊椎関節炎、RS3PE症候群、炎症性腸疾患関連関節炎、好酸球性筋膜炎）：比較的珍しい疾患群であるが対応している。疾患ごとの適切な治療を行っている。
- ③ 骨粗鬆症の診療：古典的薬剤（ビスホスホネート剤）に加え、新規薬剤（テリパラチド、デノスマブ、ロモソズマブ）が出現し、パラダイムシフトが起こっている。骨折診療の潮流は治療から予防に向かっている。
- ④ RAの外科的治療：長期罹病RA患者には外科的治療が必要であり、薬物治療とのコンビネーションこそが最高の結果をもたらす。人工関節置換術、関節固定術、関節形成術を行っている。

（部長 平野 裕司）

2. 新規登録疾患

総数：85件



3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	10,860人	年間外来新患者数	158人
年間入院患者数	362人	年間入院新患者数	22人

(2) 実績

関節リウマチ患者背景		
症例数(例)		1020
新患者数(各年)(人)		82
性別	男(人)	251
	女(人)	769
	女性率(%)	75.4
平均年齢(歳)		67.6
平均罹病期間(年)		14
罹病期間分類(%)	2年以下	13
	3年～9年	30.1
	10年以上	56.6
Stage(%)	I	27.7
	II	15.1
	III	25.4
	IV	31.8
Class(%)	1	47.4
	2	40.1
	3	9.7
	4	2.9
RF陽性率(%)		76.3
ACPA陽性率(%)		75.0

関節リウマチ薬物治療	
MTX 投与者(例)	610
MTX 投与率(%)	59.8
投与例の平均 MTX 投与量(mg/w)	7.4
GST 投与者(例)	16
GST 投与率(%)	1.6
SASP 投与者(例)	187
SASP 投与率(%)	18.3
TAC 投与者(例)	129
TAC 投与率(%)	12.6
IGU 投与者(例)	175
IGU 投与率(%)	17.2
BUC 投与者(例)	10
BUC 投与率(%)	1.0
PSL 投与率(%)	12.3
投与例の平均 PSL 投与量(mg/day)	5.1
生物学的製剤経験者(例)	456
生物学的製剤経験率(%)	44.7

手術件数	
人工膝関節全置換術(件)	9
人工膝関節単顆置換術(件)	0
人工股関節置換術(件)	3
足趾形成術(件)	2
RA 手関節手術(件)	0
足関節固定術(件)	0
その他(件)	4
合計手術件数(件)	18

関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療		
骨粗鬆症治療の施行(例)	あり	455
	なし	565
骨粗鬆症治療の施行率(%)		44.6
ビタミンD製剤(例)	エディロール	250
	α カルシドール	53
	ロカルトロール	0
	デノタス	53
ビスホスホネート製剤(例)	アクトネル	50
	ボノテオ	154
	ボナロンゼリー	6
	ボンビバ	5
	リクラスト	43
SERM(例)	エビスタ	10
	ビビアント	4
PTH製剤(例)	フォルテオ(投与中)	0
	フォルテオ(延べ数)	81
	テリパラチドBS	0
	テリパラチドBS(延べ数)	3
抗 RANKL抗体(例)	プラリア(投与中)	129
	プラリア(延べ数)	171
抗スクロスチン抗体(例)	イベニティ(投与中)	8
	イベニティ(延べ数)	32
その他(例)	グラケー	1

関節リウマチ患者の通院中断		
死亡(例)		19
連絡無く通院中断(例)		7
他医紹介	通院困難(例)	18
	関節リウマチ以外の病気の転院に伴って(例)	6
	遠方への転居(例)	7
	患者希望で紹介(転居通院困難以外)(例)	7
関節リウマチから他疾患に診断変更(例)		3
寛解などで終了(例)		4
その他・分類不能(例)		4
計		75

関節リウマチ類縁疾患	累 計	通院中
強直性脊椎炎	14	9
乾癬性関節炎	64	42
リウマチ性多発筋痛症	144	57
SAPHO症候群	32	14
RS3PE症候群	34	11
炎症性腸疾患関連関節炎	8	3

※通院中の患者数

関節リウマチ以外の患者の骨粗鬆症診療	
閉経後骨粗鬆症(例)	88
ステロイド性骨粗鬆症(例)	81
性腺機能不全による骨粗鬆症(例)	11
妊娠後骨粗鬆症(例)	3
男性骨粗鬆症(例)	9
内分泌性骨粗鬆症	1
廃用性骨粗鬆症	6
分類不能の骨粗鬆症	0
計	199

脊椎外科

1. 概要

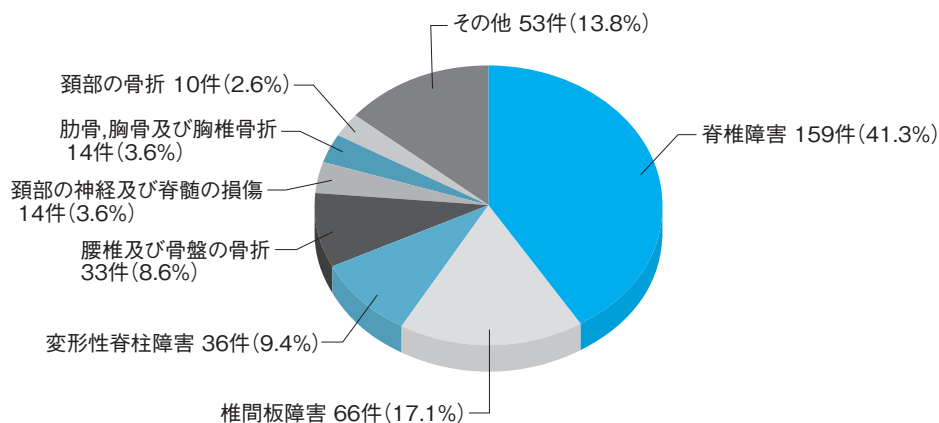
脊椎外科は2005年4月1日より院内標榜科として新設された。2021年度は、脊椎外科医は吉原永武（部長 専門医、指導医）、井上太郎（副部長 専門医 指導医）の2人であり、整形外科スタッフの協力を得ながら診療を行い、年間200件程の手術治療を行っている。

主な疾患は、頸髄症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアであるが、当院が3次救急病院であるため、脊椎外傷の治療も精力的に行っている。稀な疾患においては、名古屋大学整形外科脊椎グループと連携をとりながら治療を行っている。2014年から手術室に術中CT装置（O-arm CT）とナビゲーション機器を導入し、より安全性を向上させた。また、高齢化に伴い増加している骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対してはセメント治療（BKP）も導入を始めた。また腰椎椎間板ヘルニアに対しては、保存療法として椎間板酵素注入療法も開始した。手術治療のみでなく、神経根ブロックなどの保存治療も積極的に行っている。

（部長 吉原 永武）

2. 新規登録疾患

総数：385件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
脊椎障害	脊柱管狭窄（症）	60	M4806
	ミエロパチーを伴うその他の脊椎症	32	M4712
椎間板障害	その他の明示された椎間板ヘルニア	43	M512
	その他の頸部椎間板ヘルニア	16	M502
変形性脊柱障害	脊椎すべり症	22	M4316
腰椎及び骨盤の骨折	腰椎骨折	33	S3200
頸部の神経及び脊髄の損傷	頸髄のその他及び詳細不明の損傷	14	S141
肋骨、胸骨及び胸椎骨折	胸椎骨折	13	S2200
頸部の骨折	第2頸椎骨折	5	S1210

3. 活動報告

(1) 主な対象疾患

腰椎椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症 頸椎症性頸髄症 腰椎圧迫症・分離症 頸椎椎間板ヘルニア 後縦靱帯骨化症・黄色靱帯骨化症・黄色靱帯石灰化症 リウマチ脊椎 透視脊椎 脊髄腫瘍・脊椎腫瘍 脊椎感染症 脊椎外傷 その他

(2) 手術実績

術 式	件数(件)
頸椎椎弓形成術	52
脊椎固定術	46
腰椎椎弓形成術	44
頸椎後方固定術	16
胸腰椎後方固定	16
椎間板ヘルニア摘出	14
胸椎椎弓切除	10
頸椎椎間孔拡大術	7
頸椎前方除圧固定	6
脊椎脊髄腫瘍	5
胸腰椎前方固定	4
胸椎前方固定	2
頸椎靱帯形成術	2
胸椎除圧固定	1
その他	16
計	241

脳神経外科

1. 概要

当科では新生児から超高齢者まで脳神経外科疾患のほぼ全ての領域（脳血管障害、脳腫瘍、外傷、先天性疾患、感染など）を対象としている。治療においては、高侵襲な手術から、血管内治療や神経内視鏡手術などの低侵襲かつ最先端の治療を導入して可能な限り当院にて治療が完結できるよう努めている。ここ数年の新型コロナウイルス感染症の影響も受けてはいるが、地域医療に支障を来さないよう救急疾患をはじめ、該当疾患の受け入れに最大限努めている。幸い手術件数は概ね例年並みを維持しているが、このうち血管内治療は年々増加の一途をたどり、特に急性期の血栓回収療法の増加が顕著である。

脳卒中においては2019年に施行された「脳卒中・循環器病対策基本法（略）」に基づき、脳神経内科と連携・協力して脳卒中ユニットを設置し、2020年度から一次脳卒中センターを開設している。需要が高まる血栓回収療法を中心に緊急かつ高度な医療の提供に積極的に努めていきたい。

また地域医療では「穂の国脳卒中地域連携パス」を通じて、急性期から回復期および維持期医療への円滑な地域連携を図っている。今後も東三河地域の関連施設と一緒に検討・改訂しながらさらに良好な連携関係の構築に努めたい。

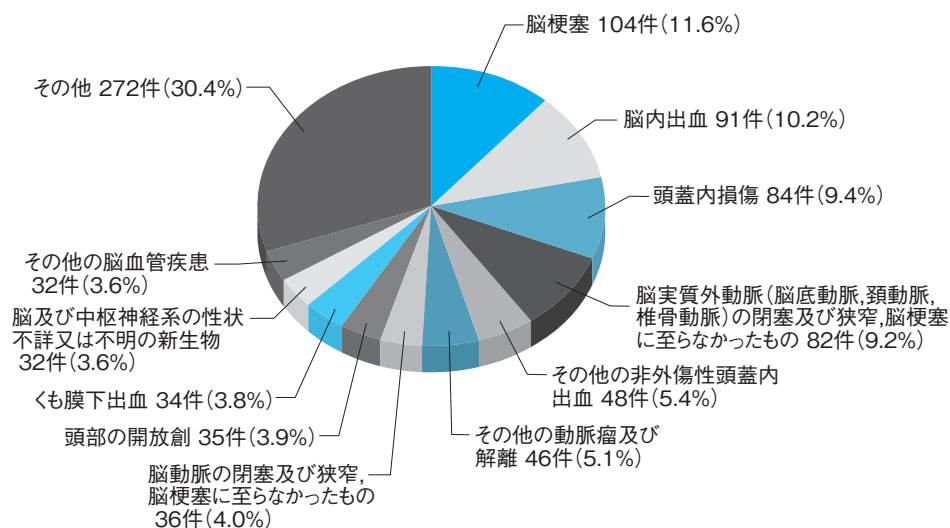
少子高齢化時代の中で、スタッフ一同、迅速・安全・確実な診療を心掛け、地域の皆様に信頼され広く親しまれる病院を目指して努力する所存である。

（第一部長 雄山 博文）

（文責 第二部長 若林 健一）

2. 新規登録疾患

総数：896件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
脳梗塞	脳梗塞, 詳細不明	53	I639
	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	22	I634
脳内出血	(大脳)半球の脳内出血, 皮質下	58	I610
	脳内出血, 詳細不明	25	I619
頭蓋内損傷	外傷性くも膜下出血	25	S066
	外傷性硬膜下出血	24	S065
脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	頸動脈の閉塞及び狭窄	79	I652
その他の非外傷性頭蓋内出血	硬膜下出血(急性)(非外傷性)	48	I620
その他の動脈瘤及び解離	椎骨動脈の動脈瘤及び解離	21	I726
	頸動脈瘤及び解離	19	I720
脳動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	中大脳動脈の閉塞及び狭窄	31	I660
頭部の開放創	頭皮の開放創	31	S010
くも膜下出血	くも膜下出血, 詳細不明	10	I609
脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物 脳, 部位不明	19	D432
その他の脳血管疾患	脳動脈瘤, 非破裂性	26	I671

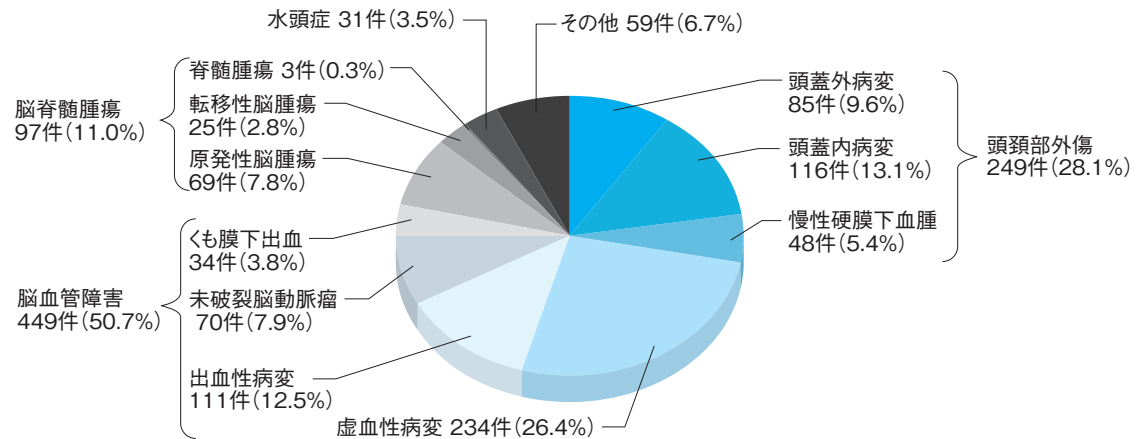
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	15,410人	年間外来新患者数	1,991人
年間入院患者数	14,347人	年間入院新患者数	830人

(2) 疾患群別に見た症例数

総数：885件



(3) 血管内手術件数

術式	件数(件)
経皮的血管形成術	42
急性期再開通療法	57
脳動脈瘤塞栓術	46
硬膜静脈瘻塞栓術	6
脳動静脈奇形塞栓術	2
その他の血管内手術	34
計	187

小児科

1. 概要

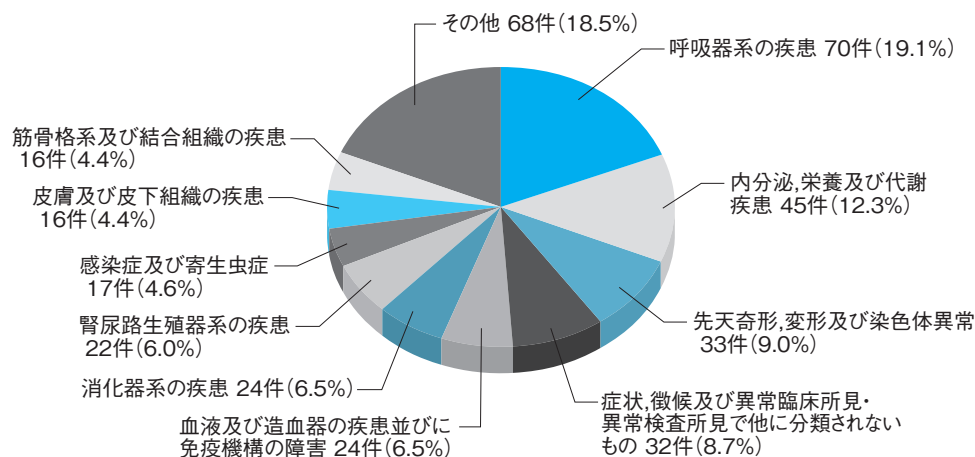
当院小児科は東三河地域の小児科医療最後の砦として存在している。小児科内のサブスペシャリティとしてはアレルギー疾患、神経疾患、循環器疾患、腎疾患、内分泌疾患、血液腫瘍疾患をカバーし、高度特殊医療を除けば各分野ともに専門施設と比べても引けを取らない医療レベルを提供できている。また、患児に最善の医療を提供するよう、各分野で対応困難な症例については他地域の三次施設と連携をとって対応している。私たちがここでの治療にこだわるのは、ここで医療が完結することが患者・家族への最高のサービスになるからである。特に長期入院を必要とする場合や、月に何度も専門外来にかかる必要がある時には患者家族に大きな負担となり切実な問題となりえる。一方で東三河地域の小児医療は、一次医療、二次医療を担う内科・小児科の先生方、休日夜間診療所での業務、健診など多くの方に支えられており、当院が二次、三次医療に集中可能であるということも忘れてはならない。

2021年は新型コロナウイルス感染症の流行により受診控え、健診控えが多く外来患者はおおむね3割減であった。さらに小児の新型コロナウイルス感染者は、オミクロン株流行以前は感染そのものも少なく、重症化はまれで入院数も少なかった。またRSウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症も激減しており、感染症による受診数は著しく減少している。一方、上記で触れた各専門外来数は増加しており、外来での受診対応のバランスをどうとるか再検討が必要となっている。

(第一部長 村松 幹司)

2. 新規登録疾患

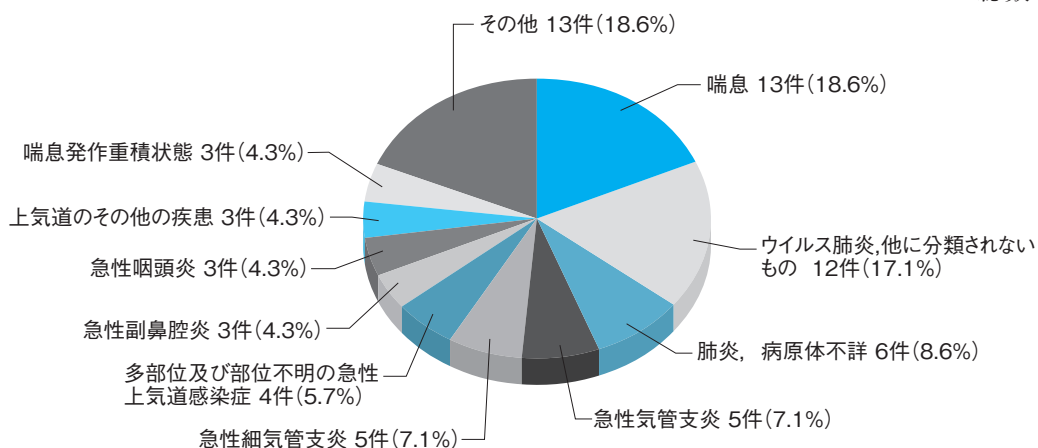
総数：367件



上位3位の詳細

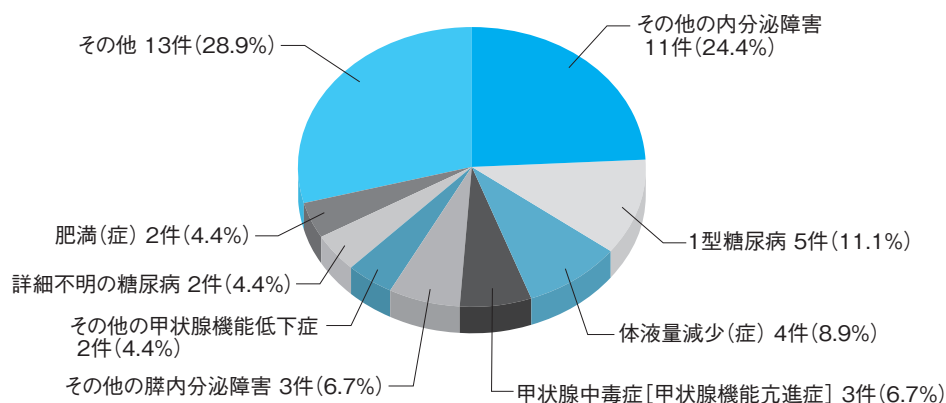
(1) 呼吸器系の疾患

総数：70件



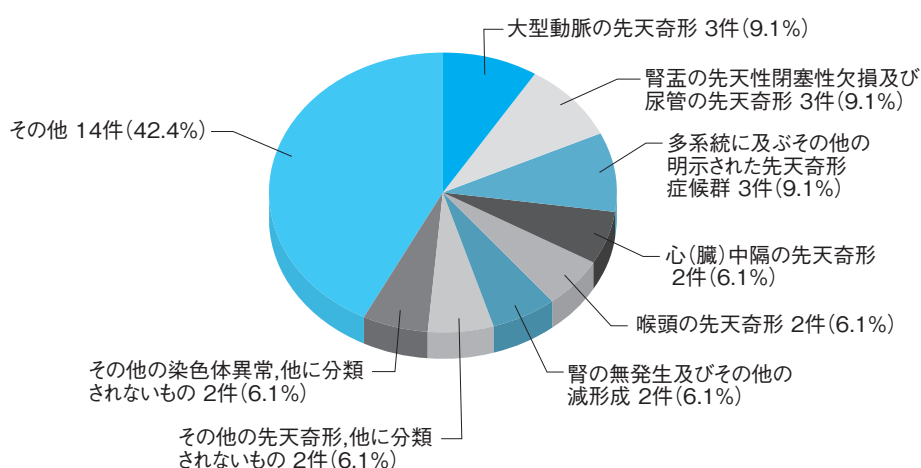
(2) 内分泌, 栄養及び代謝疾患

総数：45件



(3) 先天奇形, 変形及び染色体異常

総数：33件



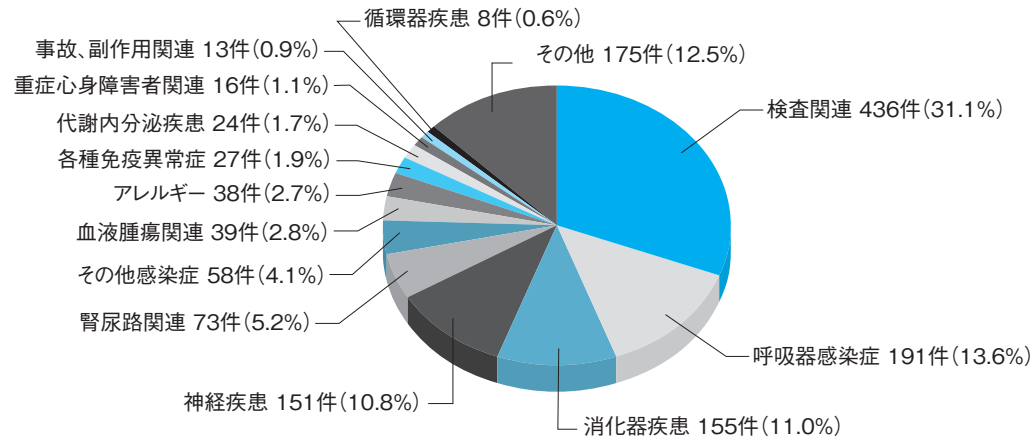
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	26,708人	年間外来新患者数	2,307人
年間入院患者数	15,062人	年間入院新患者数	1,706人

(2) 入院患者疾患別頻度

総数：1,404件



小児科（新生児部門）

1. 概要

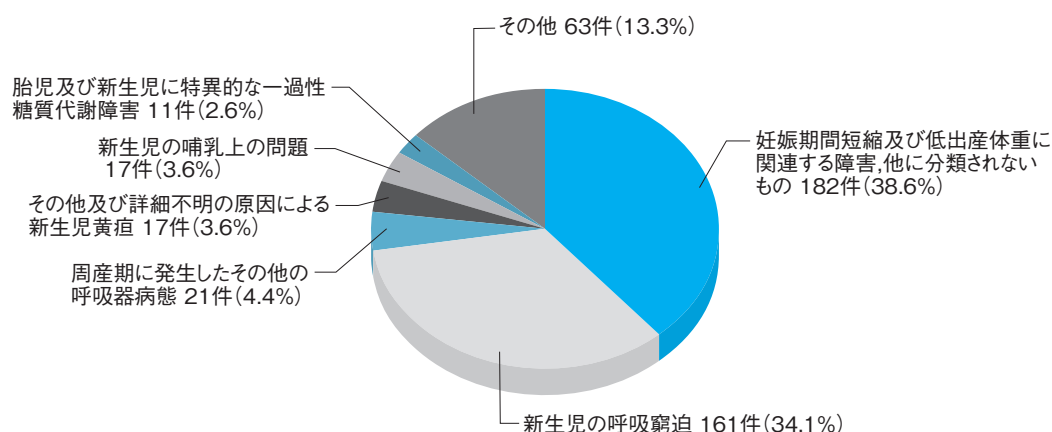
豊橋市民病院新生児医療センターは、東三河地区における総合周産期母子医療センターに指定されている。2021年の入院数は425例で2021年の死亡例は1例であった。入院患者の内126例は院内出生例で、小児科医師や看護師が救急車に同乗して搬送しており、診察依頼があった新生児に対し24時間体制で集中治療を提供している。2021年4月からは日勤帯のみではあるがドクターカーが導入され、より迅速な対応が可能となった。また本年度は新型コロナウイルス感染症の流行下であり、COVID-19陽性母体より出生した児19名に関しても当センターで入院治療・経過観察等を行った。入院患者とその家族に対しては、医療面はもちろん、患児発達支援や、両親の心のサポートを医師、看護師、助産師、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー等多職種で共同して提供している。加えて当センターは周産期（新生児）専門医の基幹研修施設に指定されており、現在1名の専門医を育成中である。

（第一部長 村松 幹司）

（文責 第二部長 杉浦 崇浩）

2. 新規登録疾患

総数：472件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	その他の低出産体重（児）のうち、出産体重1500グラム-2499グラムの児	79	P071b
	その他の早産児	77	P073
新生児の呼吸窮迫	新生児一過性頻呼吸	141	P221
	新生児呼吸窮迫症候群	20	P220
周産期に発生したその他の呼吸器病態	新生児のその他の無呼吸	14	P284
その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	新生児黄疸、詳細不明	15	P599
新生児の哺乳上の問題	新生児嘔吐	15	P920
胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	その他の新生児低血糖	10	P704

1. 概要

周産期部門では新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、当地域でも第5波以降妊婦の感染者が増加した。5月に濃厚接触者の帝王切開を行ったのを皮切りに保健所やクリニックより感染者・濃厚接触者の報告が多数集積し、隔離期間中の健康観察や妊婦健診を多数行った。分娩数はここ数年低下傾向が続いており、分娩予約は低下していたが、紹介症例・母体搬送は例年並みの数字となっており、最終的な分娩数は横ばいとなった。

婦人科手術についてはダ・ヴィンチ2台体制となりロボット手術の症例数が順調に増加した（詳細は女性内視鏡外科の頁を参照）。婦人科悪性腫瘍薬物療法においては新規薬剤が保険適応となり治療選択肢が広がった。また難治症例に対してはがん遺伝子パネル検査も行い常に最適な治療を提供できるよう心掛けている。

子宮筋腫、子宮内膜症をはじめとした良性疾患については挙児希望のある患者については、総合生殖センターと連携し生殖～周産期へと一貫した治療を目指し、患者のQOLやファミリープランニングを念頭に治療選択に患者自身の積極的関与を促す方法を取り入れている。合併症のある女性に対しては必要に応じ不妊治療の前に周産期リスクについてカウンセリングを行うプレコンセプションケアも行っている。

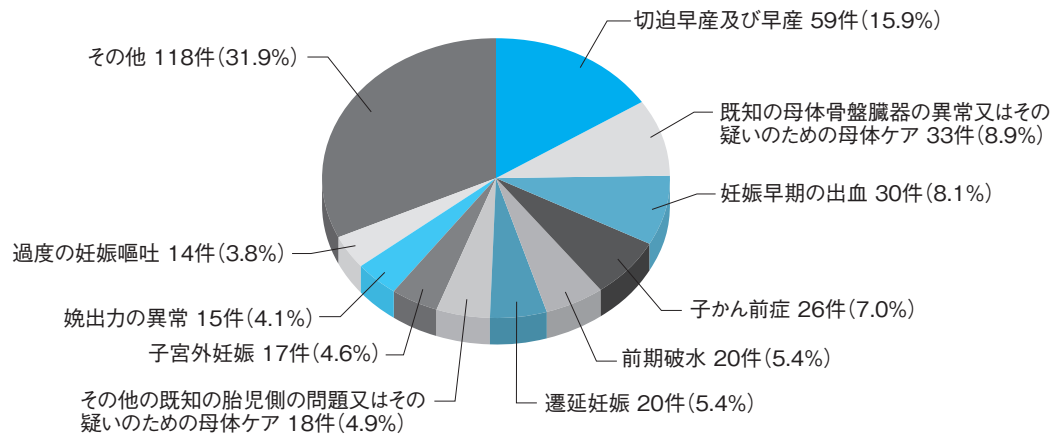
産婦人科（生殖医療含む）医師は2022年4月現在15名、うち産婦人科専攻医3名（うち新専門医制度受け入れ1名）。当院では周産期、腫瘍、生殖、女性ヘルスケアの産婦人科主要4分野プラス内視鏡について充実した研修体制を提供しており、産婦人科専門医取得後引き続き速やかにサブスペシャリティーの研修に移行可能である。

（第一部長 岡田 真由美）

2. 新規登録疾患

(1) 産科（分娩を除く）

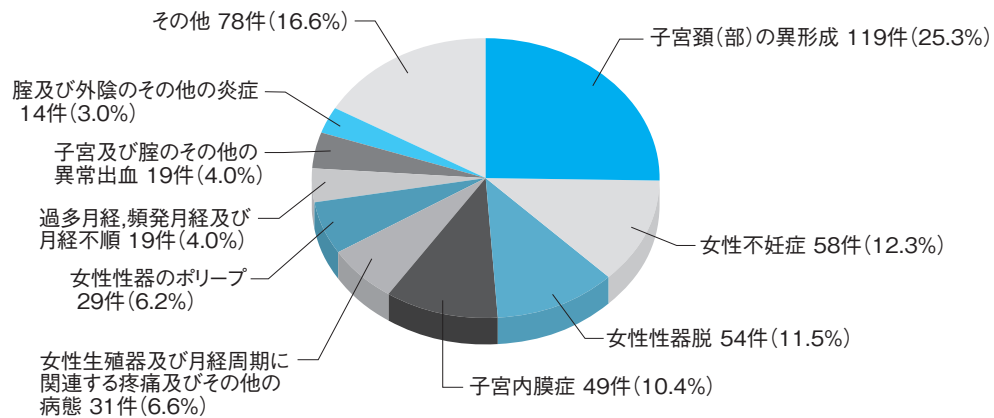
総数：370件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
切迫早産及び早産	切迫早産	54	O600
既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	既往手術による子宮瘢痕による母体ケア	31	O342
妊娠早期の出血	切迫流産	26	O200
子かん前症	重症子かん前症	15	O141
	子かん前症，詳細不明	10	O149
前期破水	前期破水，詳細不明	19	O429
遷延妊娠	遷延妊娠	20	O48
その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	子宮内胎児死亡のための母体ケア	8	O364
子宮外妊娠	子宮外妊娠，詳細不明	8	O009
娩出力の異常	その他の微弱陣痛	10	O622
過度の妊娠嘔吐	代謝障害を伴う妊娠悪阻	8	O211

(2) 婦人科

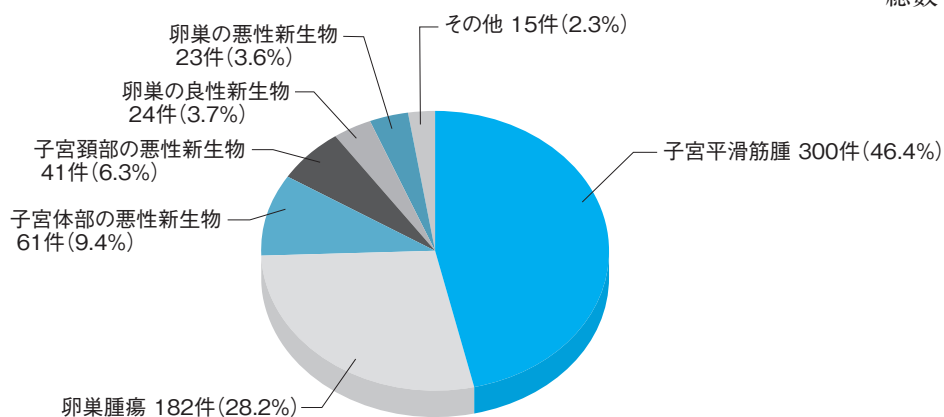
総数：470件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
子宮頸（部）の異形成	子宮頸（部）の異形成，詳細不明	65	N879
	高度子宮頸(部)の異形成,他に分類されないもの	41	N872
女性不妊症	女性不妊症，詳細不明	58	N979
女性性器脱	子宮腔脱，詳細不明	21	N814
	完全子宮腔脱	17	N813
子宮内膜症	子宮内膜症，詳細不明	27	N809
	子宮の子宮内膜症	15	N800
女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態	月経困難症，詳細不明	27	N946
女性性器のポリープ	子宮体（部）ポリープ	14	N840
	子宮頸（部）ポリープ	14	N841
過多月経，頻発月経及び月経不順	不規則周期を伴う過多月経及び頻発月経	10	N921
子宮及び膣のその他の異常出血	子宮及び膣の異常出血，詳細不明	19	N939
膣及び外陰のその他の炎症	急性膣炎	12	N760

(3) 新生物

総数：646件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
子宮平滑筋腫	子宮平滑筋腫, 部位不明	296	D259
卵巣腫瘍	女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物,卵巣	182	D391
子宮体部の悪性新生物	子宮体部の悪性新生物, 子宮体部, 部位不明	45	C549
	子宮体部の悪性新生物, 子宮内膜	15	C541
子宮頸部の悪性新生物	子宮頸部の悪性新生物,子宮頸(部),部位不明	41	C539
卵巣の良性新生物	卵巣の良性新生物	24	D27
卵巣の悪性新生物	卵巣の悪性新生物	23	C56

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	38,304人	年間外来新患者数	2,503人
年間入院患者数	15,815人	年間入院新患者数	2,183人

(2) 実績

分娩統計（2021.1-12）（件）

正常	335
選択帝王切開	201
緊急帝王切開	137
超緊急帝王切開	5
死産選択帝王切開	2
鉗子分娩	0
吸引分娩	31
死産	3
車中分娩	1
未受診正常	2
未受診死産	1
未受診自宅分娩	1
双胎選択帝王切開	10
双胎緊急帝王切開	8
双胎超緊急帝王切開	1
双胎正常分娩	1
計	739
中期中絶	14
中期流産	8
中期中絶緊急帝王切開	1
双胎流産	1
計	24
母体搬送	210

産婦人科悪性腫瘍治療症例数（2021.1-12）（件）

◎子宮頸癌	計42
① 初回手術	21
I A1期	3
I A2期	1
I B1期	6
I B2期	5
II A2期	1
II B 期	1
III C 期	1
AIS	3
② CCRT（同時化学放射線療法 放射線科 と共同治療）	14
II A1期	1
II B期	2
III A期	1
III C期	7
IV A期	2
IVB期	1
③ 放射線療法（主に放射線科で治療）	7
II A2期	1
II B期	1
III B期	1
III C期	2
IVB期	2
◎子宮体癌初回手術（癌肉腫含む）	計70
I A期	45
I B期	9
II 期	3
III A期	2
III B期	1
III C1期	3
III C2期	2
IV A期	1
IVB期	4
◎卵巣癌手術（境界悪性腫瘍を含む）	計29
I A期	7
I C1期	10

I C3期	1
II B期	1
III C期	4
IV A期	3
IV B期	3

化学療法

子宮体癌	71人
子宮頸癌	44人
卵巣癌	29人
腔癌	1人

計 145人に対してのべ356コース施行
(内服抗がん剤は除く)

手術総件数 (2021.1-12) (件)

産科

帝王切開術	363
前置胎盤を伴う帝王切開術	13
分娩後子宮全摘術	0
会陰部裂傷縫合・腔壁血腫除去術	8
子宮内反整復術	0
子宮頸管縫縮術	9
その他	3

開腹術 (良性)

単純子宮全摘出術 (腔上部含む)	19
筋腫核出術	22
子宮付属器手術	32
異所性妊娠手術	0
その他	9

開腹術 (悪性)

子宮悪性腫瘍手術	36
うち広汎子宮全摘術	15
うち拡大子宮全摘術	5
子宮付属器悪性腫瘍手術	33
その他 (試験開腹術含む)	4

経腔的・外陰部手術

腔式子宮全摘術 (前後腔会陰形成術含む)	6
経腔的子宮筋腫核出術	2
円錐切除術 (蒸散含む)	71
子宮内膜全面搔刮術	15
子宮内容除去術 (流産手術)	16
子宮内容除去術 (人工妊娠中絶術)	10
胞状奇胎娩出術	3
その他	16

内視鏡手術

子宮鏡手術	15
腹腔鏡 (補助) 下子宮悪性腫瘍手術	6
うち子宮頸癌	6
うち子宮体癌	0
うち広汎子宮全摘術	2
うち拡大子宮全摘術	1
腹腔鏡 (補助) 下子宮全摘術 (良性)	36
腹腔鏡 (補助) 下子宮筋腫核出術	22
腹腔鏡 (補助) 下子宮付属器手術	122
腹腔鏡下異所性妊娠手術	20

腹腔鏡下手術（その他）	10
ロボット支援下手術.....	217
うち良性疾患（RTLH 子宮全摘術） ...	134
うち良性疾患（RSC 仙骨脛固定術） ...	37
うち子宮頸癌.....	0
うち子宮体癌.....	46
うち広汎子宮全摘.....	0
うち拡大子宮全摘.....	3
計.....	1,387

産婦人科（生殖医療）

1. 概要

多職種・他部署で成り立つ総合生殖医療センターの診療科が当院では産婦人科と別々になっており、産婦人科（生殖医療）という。2021年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るい2年目となった1年間であったが、生殖医療は感染対策を徹底して休むことなく行うことができた。コロナ禍が続いたことに加え、2022年からの不妊治療への保険適用拡大に向けて、全国的には治療中断患者の増加も懸念されていた。しかし、当院の患者さんには当然のことながら待ったなしの難治性や高年齢が多い傾向にあり、豊橋市独自の傑出した助成制度を利用するなどして熱心に治療を継続され、その結果、数年越しの継続妊娠、出産に至った女性も例年よりむしろ多くみられた。

（部長 安藤 寿夫）

2. 活動報告

(1) 生殖補助医療

2021年	刺激周期数	体外受精数	うち、顕微授精	新鮮胚移植	妊娠	融解胚移植	妊娠
1月	11	10	7	7	0	10	3
2月	5	5	4	6	0	11	4
3月	9	8	5	2	1	10	4
4月	11	10	7	3	0	6	2
5月	12	12	8	1	0	12	3
6月	12	10	9	8	1	6	1
7月	13	12	7	2	1	9	4
8月	8	8	4	2	1	3	1
9月	12	10	9	3	1	4	0
10月	15	12	6	10	1	6	1
11月	8	8	1	9	1	12	8
12月	17	16	6	3	1	8	4
計	133	121	73	56	8	97	35
妊娠率					14.3%		36.1%

単胚移植率 100%。多胎は 1 例。異所性妊娠 1 例。

生殖医療の成績データは、症例背景など医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられている。

(2) 不妊症妊娠例（カッコ内は多胎妊娠例）

区分	件数
体外受精－新鮮胚移植	8 (0)
融解胚移植	37 (1)
排卵誘発	1 (0)
人工授精	0 (0)
習慣流産	3 (0)
タイミング法・その他	10 (0)
計（重複例を除く）	59 (0)

生殖医療の成績データは、症例背景など医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられている。

女性内視鏡外科

1. 概要

産婦人科における手術治療のうち、主に腹腔鏡下手術やロボット支援下手術に関わる診療を担当している。従来の開腹術と比べ、早期退院、社会復帰が可能であり患者にとって負担が少ない手術法である。2021年度には、約410件の腹腔鏡下手術を行い、ロボット支援下手術は220件施行した。良性疾患だけでなく、悪性腫瘍疾患に対しても積極的に本術式を導入し、子宮体癌や子宮頸癌に対する低侵襲手術を行った。

2020年度からは、骨盤臓器脱に対してロボット支援下仙骨脛固定術が保険適応となり、従来からの腹腔鏡下手術と比較して、より精密に手術が可能となった。また、日本で4か所目のロボット支援下手術認定証発行施設であり、全国から多くの医師が手術見学のため来院する。当院は、東三河唯一の産婦人科内視鏡技術認定医研修施設であり、多くの若手医師が技術認定医を目指して日々修練している。技術認定医の資格を得るには数多くの腹腔鏡下手術の件数やビデオ審査があるが、当院から多くの合格者を輩出している。

現在、腹腔鏡下手術やロボット支援下手術の指導者として全国多岐にわたり、講演や手術技術指導を行っており、今後もさらなる低侵襲化手術の普及に努める。

(部長 梅村 康太)

耳鼻いんこう科

1. 概要

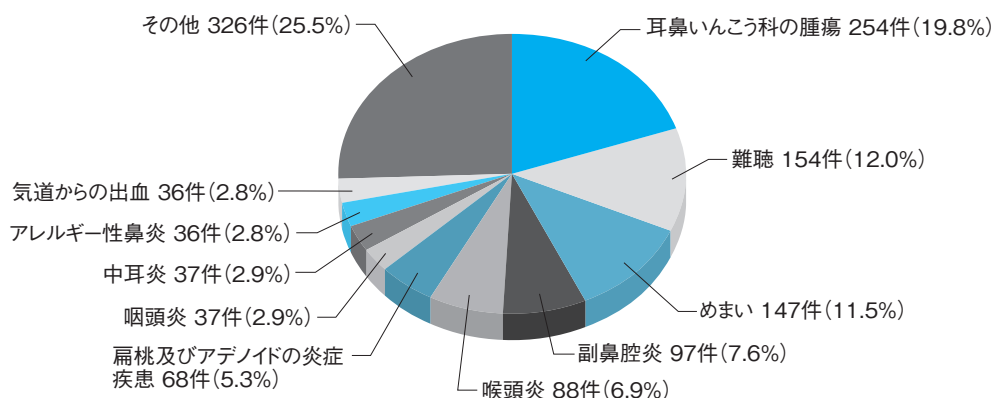
中耳炎、めまい、難聴、顔面神経麻痺に対して投薬治療を行い、改善を認めない場合は当院にて外科的治療を行っている。また、耳鳴り専門外来を設置し、専門的な治療を行っている。

アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症に対して、患者の病態や希望にあった治療（手術療法や投薬治療）を行った。慢性扁桃炎や睡眠時無呼吸症候群に対して、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術を行った。また鼻出血、急性扁桃炎、喉頭蓋炎等の救急疾患については、重症度に合わせて入院治療を行った。咽頭・喉頭・甲状腺・唾液腺等の良性腫瘍に対しては、適応を定めて手術療法を行った。悪性腫瘍に対しては、それぞれの患者の状況に合わせて、根治と機能温存のバランスを取り、手術療法、化学療法、放射線療法の3者を組み合わせて治療を行った。再建を必要とする様な症例も積極的に当院で行った。

（部長 小澤 泰次郎）

2. 新規登録疾患

総数：1,280件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
耳鼻いんこう科の腫瘍	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物,甲状腺	74	D440
	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物, 口唇, 口腔及び咽頭	50	D370
難聴	感音難聴, 詳細不明	59	H905
	難聴, 詳細不明	49	H919
めまい	その他の末梢性めまい	115	H813
	メニエール病	28	H810
副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎, 詳細不明	90	J329
喉頭炎	慢性喉頭炎	88	J370
扁桃及びアデノイドの炎症疾患	急性扁桃炎, 詳細不明	22	J039
	扁桃肥大	16	J351
咽頭炎	急性喉頭咽頭炎	26	J060
	急性咽頭炎, 詳細不明	10	J029
中耳炎	中耳炎, 詳細不明	19	H669
	非化膿性中耳炎, 詳細不明	17	H659
アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎, 詳細不明	36	J304
気道からの出血	鼻出血	35	R040

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	25,448人	年間外来新患者数	2,954人
年間入院患者数	8,551人	年間入院新患者数	738人

(2) 入院患者の状況

①主な救急疾患（入院加療を要した）

疾患名	件数(件)
急性扁桃炎・扁桃周囲の腫瘍	62
急性喉頭蓋炎・喉頭炎	18
顔面神経麻痺	16
突発性難聴	12
めまい	10
鼻出血	3
計	121

②主な手術療法（手術室使用）

術式	件数(件)
口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術	127
内視鏡下副鼻腔手術	59
リンパ節摘出術	50
甲状腺腫瘍手術	40
気管切開術	29
頸部郭清術	23
耳下腺腫瘍手術	20
咽頭悪性腫瘍手術	19
鼓膜チューブ留置術	18
喉頭微細手術	11
喉頭全摘術	7
顎下腺摘出術	2
計	405

眼科

1. 概要

白内障手術においては、保険適応眼内レンズもいろいろな特徴を持ったものが発売され、当科でも使用が進んだ。2020 年度診療報酬改定にて多焦点眼内レンズが先進医療から選定療養に位置付けられ、当科でも今後使用拡大が見込まれる。また、日帰り白内障手術も増加した。

緑内障手術、硝子体手術においても低侵襲手術がすすんだ。

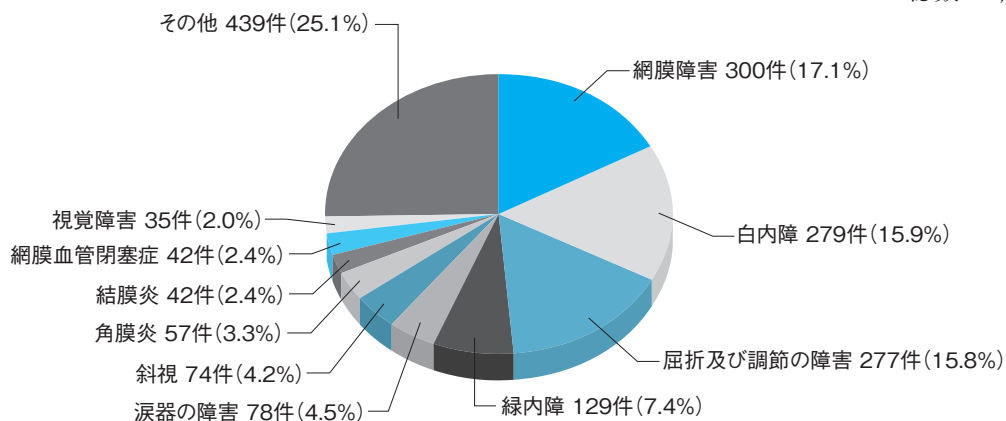
未熟児網膜症に対して、2019 年 11 月に眼科用血管内皮増殖因子阻害剤の使用が保険適応となり、今後使用が見込まれる。また、未熟児網膜症に対する網膜光凝固術治療装置の更新が予定されている。

外来の手術用顕微鏡の更新、携帯型の屈折・眼位検査機器の導入が予定されており、乳幼児等への使用が見込まれる。

(副部長 榑原 由美子)

2. 新規登録疾患

総数：1,752件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
網膜障害	詳細不明の糖尿病，眼合併症を伴うもの	157	E143
	黄斑及び後極の変性	62	H353
白内障	老人性白内障，詳細不明	145	H259
	老人性核白内障	52	H251
屈折及び調節の障害	乱視	268	H522
緑内障	緑内障，詳細不明	59	H409
	原発開放隅角緑内障	26	H401
涙器の障害	涙腺のその他の障害	64	H041
斜視	共同性内斜視	20	H500
	間欠性斜視	20	H503
角膜炎	角膜潰瘍	19	H160
	角膜炎，詳細不明	18	H169
結膜炎	結膜炎，詳細不明	29	H109
	急性アトピー性結膜炎	11	H101
網膜血管閉塞症	その他の網膜血管閉塞症	27	H348
	その他の網膜動脈閉塞症	11	H342
視覚障害	視野欠損	23	H534

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	14,857人	年間外来新患者数	1,241人
年間入院患者数	1,360人	年間入院新患者数	269人

(2) 入院時の疾患内訳

疾患名	人数(人)	疾患名	人数(人)
白内障	180	網膜中心動脈閉塞症	3
糖尿病網膜症	13	角膜潰瘍・角膜炎	1
硝子体出血・混濁	12	眼窩蜂窩織炎	1
網膜剥離	11	眼内異物	1
緑内障	9	眼内炎	1
黄斑前膜	8	眼内レンズ脱臼	1
視神経症	6	虹彩離断	1
黄斑円孔	4	硝子体黄斑牽引症候群	1
増殖硝子体網膜症	3	未熟児網膜症	1
黄斑下出血	2	無水晶体眼	1
角膜穿孔	2	網膜細動脈瘤	1
斜視	2	涙のう炎	1
内反症	2	計	268

(3) 手術・検査数

①外来手術数

術式	件数(件)
硝子体注射・テノン嚢下注射	275
網膜光凝固術(PHC)	117
レーザー後発白内障切開術(YAG)	92
レーザー虹彩切開術(LI)	28
レーザー線維柱帯形成術(LTP/SLT)	8
涙点プラグ挿入	6
睫毛電気分解	2
霰粒腫摘出術	1
計	529

②外来特殊検査件数

検査名	件数(件)
光干渉断層撮影(OCT)	7,311
動的量の視野検査	781
静的量の視野検査	496
蛍光眼底撮影	206
眼鏡処方	135
計	8,929

③手術センター手術数

術式	件数(件)
白内障手術	304
硝子体茎頭微鏡下離断術	47
斜視手術	8
角膜・強膜異物除去術	4
縫着レンズ挿入	4
翼状片手術	4
眼瞼腫瘍切除術	3
増殖性硝子体網膜症手術	3
内反症手術	3
緑内障治療用インプラント挿入術	3
虹彩整復・瞳孔形成術	2
硝子体切除術	2
流出路再建術	2
濾過胞再建術	2
黄斑下手術	1
角膜・強膜縫合術	1
結膜肉芽腫摘除術	1
虹彩切除術	1
霰粒腫摘出術	1
硝子体注入・吸引術	1
前房、虹彩内異物除去術	1
網膜光凝固術	1
網膜復位術	1
計	400

皮膚科

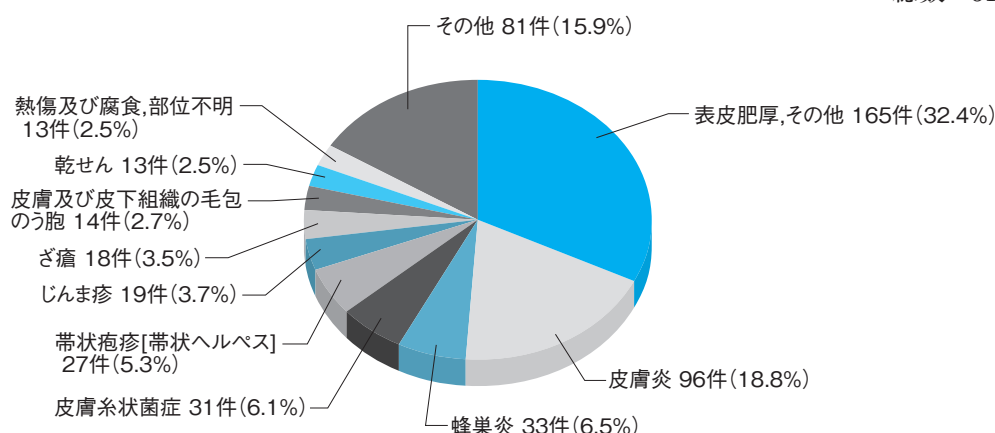
1. 概要

2021年の皮膚科は山田、藤城、岩田、中根、松井の5名体制であった。新型コロナウイルス感染症が第3波、4波、5波と続いて起こり、9月には初めて病棟閉鎖を経験した。それ以降の皮膚科の入院は主に8階に入ることとなった。外来患者数、入院患者数ともに例年よりも少ない印象であった。ただ、蜂窩織炎などの細菌感染症はあまり減少していなかったように思う。

(部長 山田 元人)

2. 新規登録疾患

総数：510件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
表皮肥厚、その他	皮膚乾燥症	74	L853
	皮膚の慢性潰瘍，他に分類されないもの	45	L984
皮膚炎	アトピー性皮膚炎，詳細不明	28	L209
	皮膚炎，詳細不明	26	L309
蜂巣炎	(四) 肢のその他の部位の蜂巣炎	17	L031
	蜂巣炎，詳細不明	12	L039
皮膚糸状菌症	爪白せん	9	B351
	(陰) 股部白せん	9	B356
帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	帯状疱疹，合併症を伴わないもの	24	B029
じんま疹	じんま疹，詳細不明	16	L509
ざ瘡	尋常性ざ瘡	17	L700
皮膚及び皮下組織の毛包のう胞	表皮のう胞	14	L720
乾せん	尋常性乾せん	10	L400
熱傷及び腐食，部位不明	部位不明の熱傷，程度不明	11	T300

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	22,107人	年間外来新患者数	2,430人
年間入院患者数	2,613人	年間入院新患者数	213人

(2) 悪性新生物

	疾 患 名	件 数 (件)		疾 患 名	件 数 (件)
1	基底細胞癌	33	4	悪性黒色腫	4
2	有棘細胞癌	27	5	その他	47
3	パジェット病	7		計	118

(3) 良性腫瘍、熱傷、膠原病

	疾 患 名	件 数 (件)		疾 患 名	件 数 (件)
1	良性腫瘍	1,037	5	シェーグレン症候群	9
2	熱傷	73	6	皮膚筋炎	9
3	血管炎	46	7	全身性強皮症	7
4	全身性エリテマトーデス	20		計	1,201

泌尿器科

1. 概要

2021 年、東三河地区における当院への一極集中状況に大きな変化はなく、新型コロナウイルス感染症の影響においても相変わらず忙しい日々を送っている。受診控えが増えるなかでも泌尿器悪性腫瘍に対する低侵襲手術は小切開手術、腹腔鏡手術を中心に相変わらず月単位の手術待機をお願いする状況である。

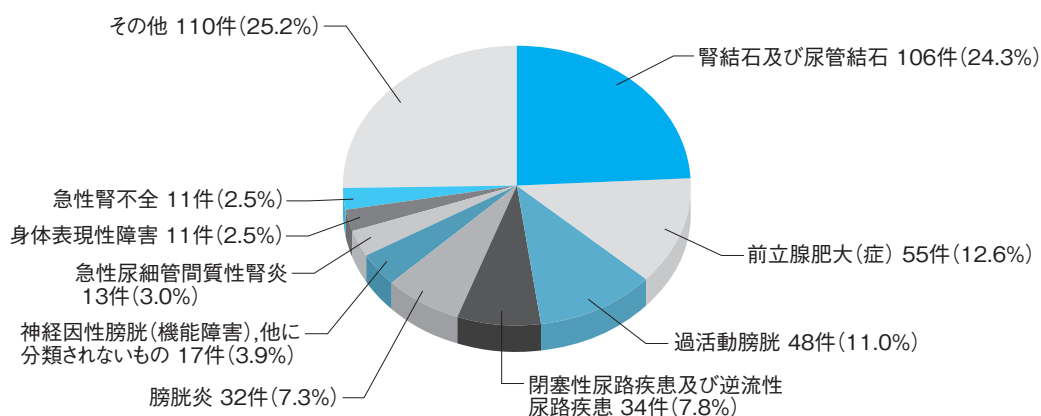
ロボット支援手術は、前立腺癌における前立腺全摘術、腎癌に対する腎部分切除術、膀胱癌に対する膀胱全摘術が標準治療になり、当科における日常的な手術の一つとなっている。分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤等の新規薬剤を含むがん薬物療法の症例も増加の一途をたどるなど、泌尿器科悪性腫瘍の分野においてよりよい医療を提供する努力を引き続き続けている。

(部長 寺島 康浩)

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

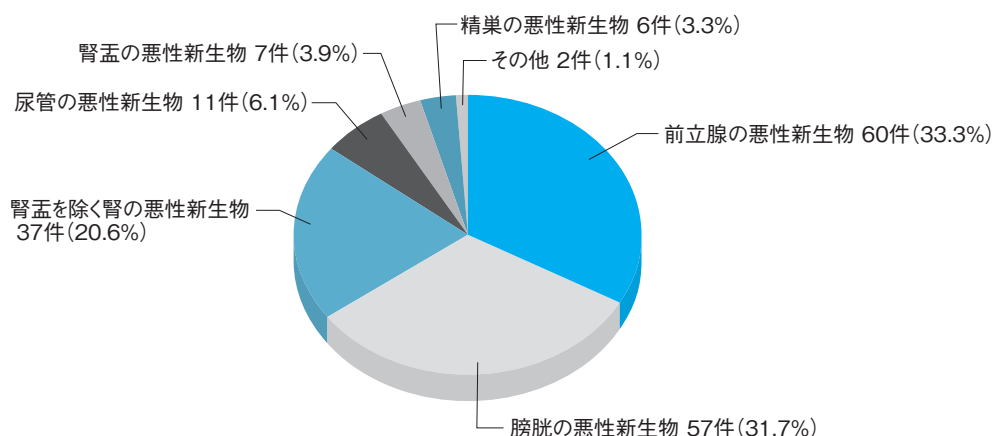
総数：437件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
腎結石及び尿管結石	尿管結石	66	N201
	尿路結石, 詳細不明	23	N209
前立腺肥大 (症)	前立腺肥大 (症)	55	N40
過活動膀胱	過活動膀胱	48	N328
閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	尿管狭窄を伴う水腎症,他に分類されないもの	12	N131
膀胱炎	膀胱炎, 詳細不明	22	N309
神経因性膀胱 (機能障害), 他に分類されないもの	神経因性膀胱 (機能障害), 詳細不明	17	N319
急性尿細管間質性腎炎	急性尿細管間質性腎炎	13	N10
身体表現性障害	身体表現性自律神経機能不全	11	F453
急性腎不全	その他の急性腎不全	11	N178

(2) 悪性新生物

総数：180件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
前立腺の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	60	C61
膀胱の悪性新生物	膀胱の悪性新生物, 膀胱, 部位不明	57	C679
腎盂を除く腎の悪性新生物	腎盂を除く腎の悪性新生物	37	C64
尿管の悪性新生物	尿管の悪性新生物	11	C66
腎盂の悪性新生物	腎盂の悪性新生物	7	C65
精巣の悪性新生物	精巣の悪性新生物, 精巣, 部位不明	6	C629

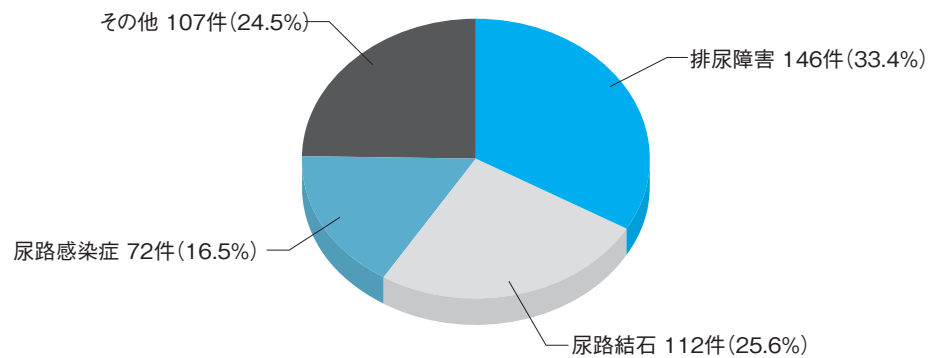
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	24,151人	年間外来新患者数	1,723人
年間入院患者数	8,847人	年間入院新患者数	1,010人

(2) 悪性新生物以外の疾患別頻度

総数：437件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
排尿障害	前立腺肥大（症）	55	N40
	過活動膀胱	48	N328
尿路結石	尿管結石	66	N201
	尿路結石，詳細不明	23	N209
尿路感染症	膀胱炎，詳細不明	22	N309
	急性尿細管間質性腎炎	13	N10

放射線科

1. 概要

2021年1月には石原、高田、山田、島本、伊藤（準）、佐々木の6人であった。4月に佐々木の異動があった。7月には石原が異動し、伊藤（淳二）の赴任があった。

2021年12月には高田、伊藤（淳二）、山田、島本、伊藤（準）の5人で診療している。画像診断は高田、島本、伊藤（準）の3人、放射線治療は伊藤（淳二）、山田の2人が担当している。

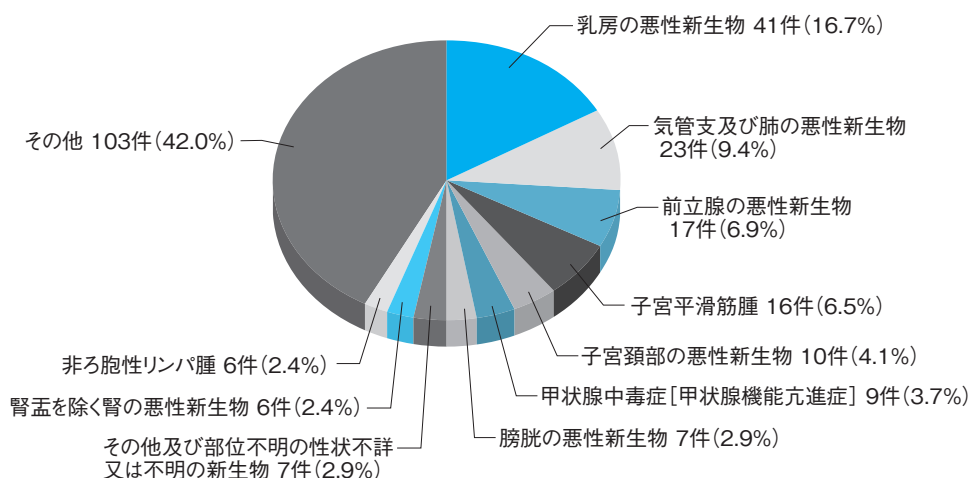
2021年の業務実績は、読影が37,160件（CT 26,206件、MRI 9,155件、アイソトープ 694件、PET-CT 1105件）であった。その他、血管造影・IVR 159件（心臓外科・血管外科、循環器内科共同の大動脈ステントグラフト内挿術 28件含む）、甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法 8件、去勢抵抗性前立腺癌の骨転移に対する塩化ラジウム治療 5件、放射線治療の新患 495件であった。

ガンマカメラの更新に向けて検討を行った。放射線治療部門としては、2021年12月に新たな放射線治療計画装置としてRayStationが納入され、今後臨床で活用していく予定である。また治療法としては、心臓へ当たる線量を低減させる目的で、左乳がんに対して深吸気止めでの放射線治療を開始した。肺がん、食道がんに対するIMRT（強度変調放射線治療）も積極的に行うようにしている。

（部長 高田 章）

2. 新規登録疾患

総数：245件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物，乳房上外側 4 分の 1	17	C504
	乳房の悪性新生物，乳房，部位不明	16	C509
気管支及び肺の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物，上葉，気管支又は肺	10	C341
前立腺の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	17	C61
子宮平滑筋腫	子宮平滑筋腫，部位不明	15	D259
子宮頸部の悪性新生物	子宮頸部の悪性新生物，子宮頸（部），部位不明	10	C539
甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症]	びまん性甲状腺腫を伴う甲状腺中毒症	6	E050
膀胱の悪性新生物	膀胱の悪性新生物，膀胱，部位不明	5	C679
その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物，その他の明示された部位	3	D487
腎盂を除く腎の悪性新生物	腎盂を除く腎の悪性新生物	6	C64
非ろ胞性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	5	C833

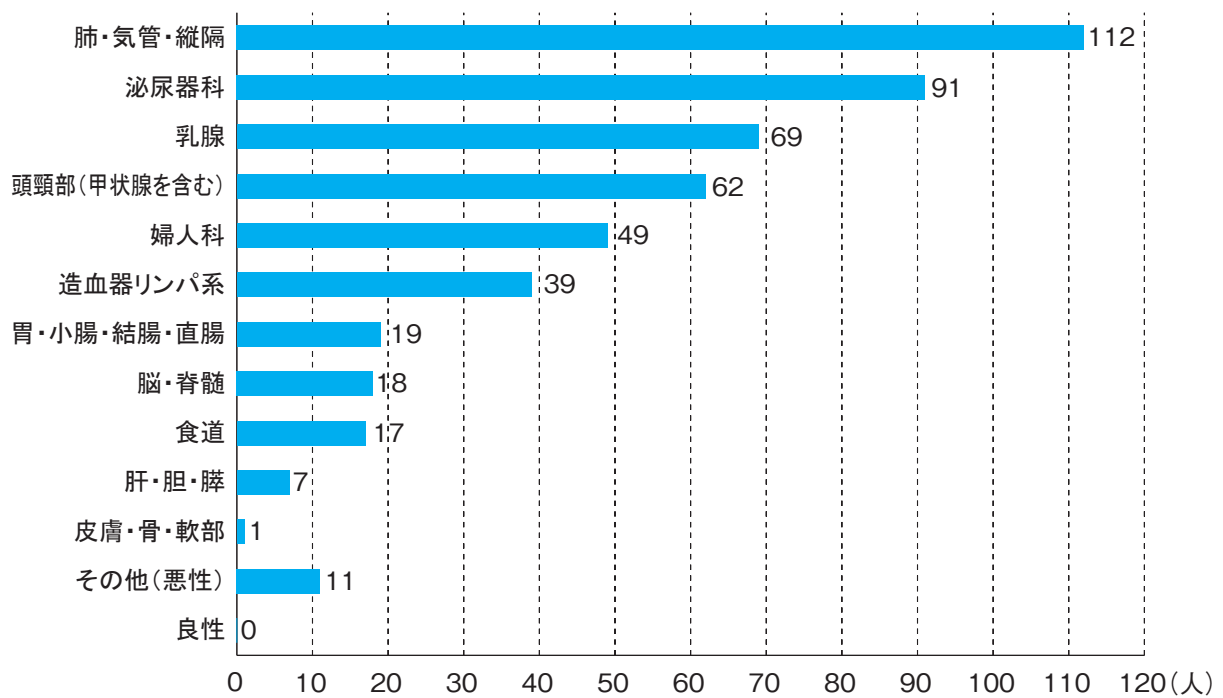
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	15,893人	年間外来新患者数	931人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人

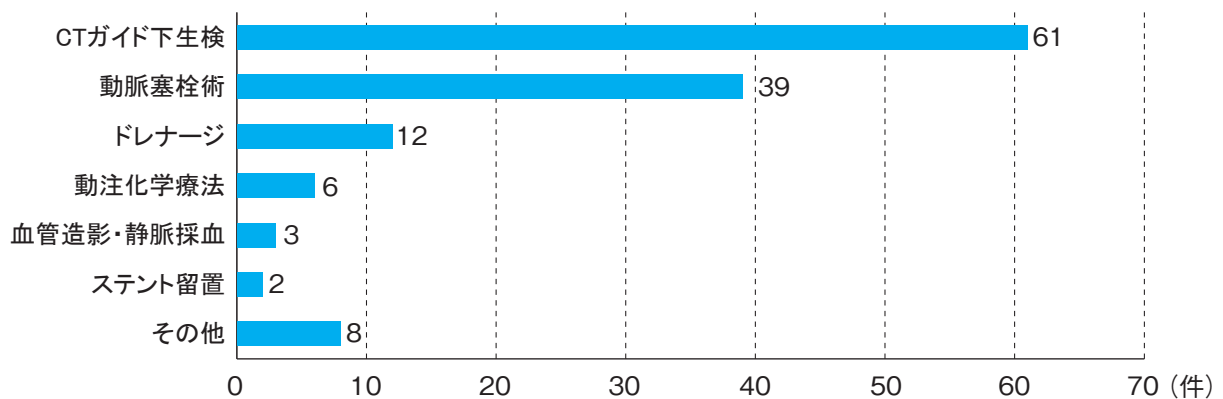
(2) 放射線治療原発部位別患者数

総件数：495人



(3) 血管造影・IVR 手技別件数

総件数：131件



こころのケア科

1. 概要

こころのケア科は、現在外来診療は行っておらず、院内での入院患者への対応が主たる業務である。

業務の主な内容は、1) 入院中の患者の精神科領域での副科業務 2) 緩和ケアチームの一員として、精神的ケアが必要な患者へのメンタル面でのサポート 3) 認知症チームの一員としての活動、の三点である。最も多いのがせん妄への対応であるが、他にも不眠・抑うつ・不安などに対しても依頼があれば対応している。自殺企図によって入院となった患者への入院中の診察、退院後の通院先の紹介等の対応も行っている。

また、もともと精神疾患のある方が、身体疾患治療のため当院入院となった場合の診察・処方調整・かかりつけ医への報告などの対応も行っている。緩和ケアチームの業務としては、週1回のカンファレンスと回診、それ以外でも依頼があれば随時対応する。年2回開催される、当院での緩和ケア講習会にも、コミュニケーション領域の講師として参加している。認知症チームとしては週1回の回診に同行し、処方や対応の助言を行っている。また、せん妄患者・不眠を訴える患者への処方ガイドラインも現在チームとして作成中である。

当科の活動には、院内院外の各部門部署との連携が必須であり、今後も連絡を密にしていきたい。

(部長 古水 克明)

2. 活動報告

(1) 活動報告

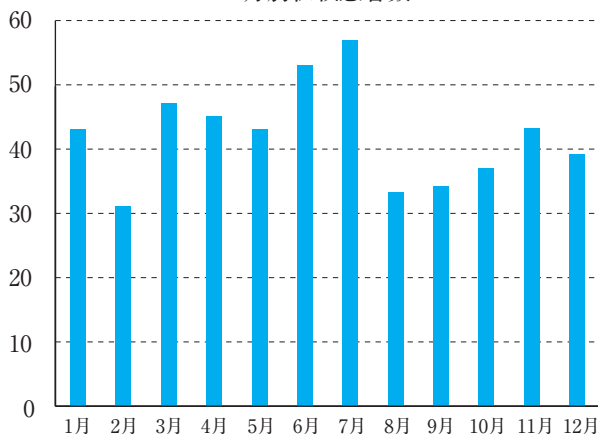
2021年に対応した副科診察依頼は総計で503件であった。年間を通じてどの月にも30件以上の依頼を受けている。依頼元の科は、院内のほぼすべての科にわたっている。

男女はほぼ同数（男性244人、女性263人）となっている。

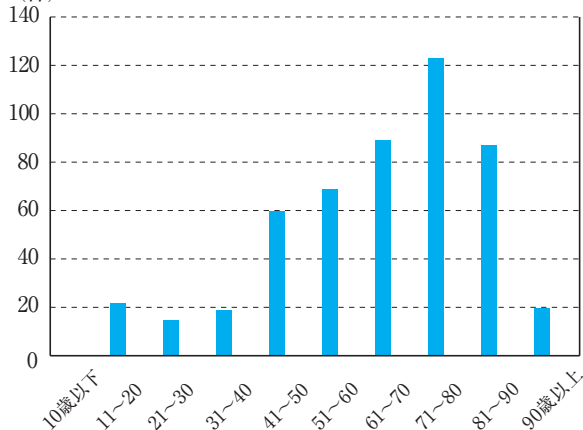
年齢別では60代以降が多く、最多は70代であるが、せん妄対応がこの年齢層では大部分であり、高齢入院患者のせん妄リスクは高いことがわかる。

診断としては、上述のように、せん妄（および、せん妄の症状としての不穏）が最も多い。対応した病名としては、統合失調症などの精神病圏、うつ病・双極性障害など気分障害圏、適応障害・パニック障害・不安障害など神経症圏、認知症・器質性精神障害、また10代の摂食障害など、多岐にわたっている。

(件) 月別依頼患者数



(件) 年齢別依頼数



(2) 当科関連企画

令和3年度 第1回 認知症研修会

2021年7月8日開催

『せん妄について』

講師 こころのケア科部長 古水克明

講師 認知症看護認定看護師 請井綾子主任

令和3年度 第2回 認知症研修会

2021年11月11日開催

『不穏の接遇対応 間違えないで高齢者のせん妄対応』

講師 おいまつクリニック 院長 山崎孝弘先生

麻酔科（ペインクリニック）

1. 概要

2021年には他院からの赴任1名と他院への異動が1名あった。当院研修医からの入局が1名あったが、産休育休取得者が1名いたため人員数に変動はなかった。

年間の総手術件数は7,138件であり、新型コロナウイルス感染症による手術自粛により大きく減少した。全身麻酔件数は3,854件であった。麻酔科管理症例は2,979件であり、そのうち麻酔科管理の全身麻酔は2,699件であった。麻酔科管理症例数は増加し、しかも高齢化に伴うハイリスク症例が増え続けており、麻酔難易度は大きく上がった。麻酔科管理の緊急症例は499件だった。特に超緊急手術にはFullPPEでの対応が必要であり、担当麻酔科医の負担は非常に大きかった。

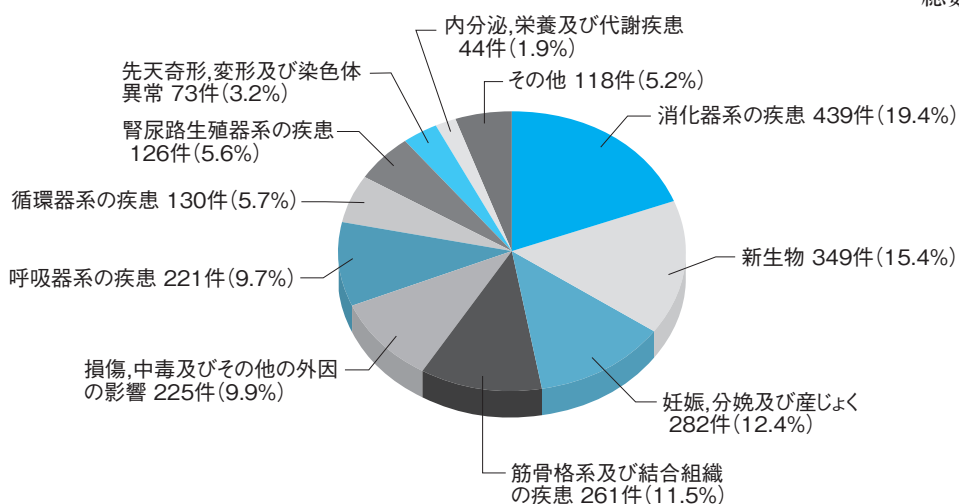
挿管困難対策機器や筋弛緩モニタを更新することで麻酔の安全性を高めることができた。新型コロナウイルス感染対策による病院体制の度重なる変更により、手術室運営が非常に難しい1年であった。2022年には他院への異動が2名と産休育休取得者が1名いるのに対し、4月から当院研修医から1名入局のみのため、麻酔科麻酔の数は減る予定である。

（第一部長 寺本 友三）

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

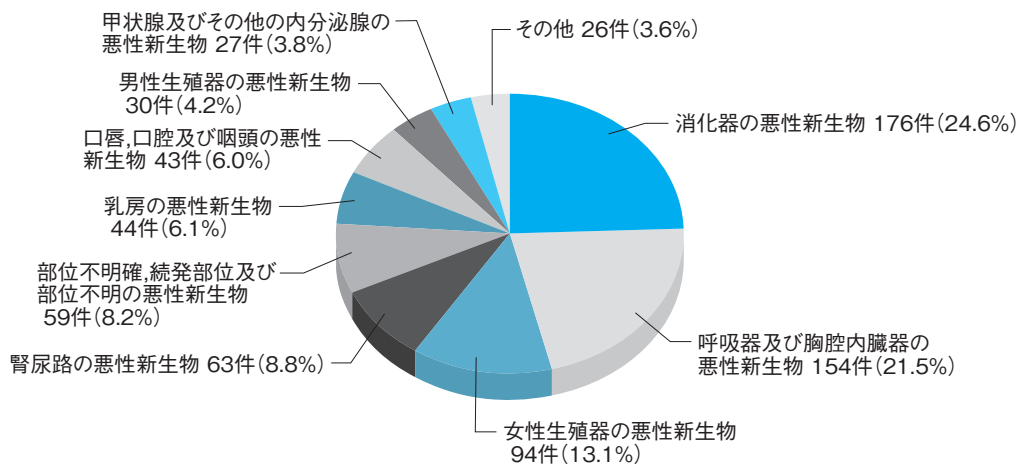
総数：2,268件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
消化器系の疾患	口腔, 唾液腺及び顎の疾患	109	K00-K14
	ヘルニア	93	K40-K46
新生物	良性新生物	268	D10-D36
	性状不詳又は不明の新生物	80	D37-D48
妊娠, 分娩及び産じょく	分娩	92	O80-O84
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	76	O30-O48
筋骨格系及び結合組織の疾患	脊柱障害	123	M40-M54
	関節障害	107	M00-M25
損傷, 中毒及びその他の外因の影響	頭部損傷	41	S00-S09
	腹部, 下背部, 腰椎及び骨盤部の損傷	39	S30-S39
呼吸器系の疾患	上気道のその他の疾患	156	J30-J39
	胸膜のその他の疾患	51	J90-J94
循環器系の疾患	脳血管疾患	66	I60-I69
	動脈, 細動脈及び毛細血管の疾患	37	I70-I79
腎尿路生殖器系の疾患	女性生殖器の非炎症性障害	107	N80-N98
先天奇形, 変形及び染色体異常	唇裂及び口蓋裂	19	Q35-Q37
	生殖器の先天奇形	15	Q50-Q56
内分泌, 栄養及び代謝疾患	その他の内分泌腺障害	37	E20-E35

(2) 悪性新生物

総数：716件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
消化器の悪性新生物	直腸の悪性新生物	44	C20
	結腸の悪性新生物, S 状結腸	21	C187
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物,上葉,気管支又は肺	78	C341
	気管支及び肺の悪性新生物,下葉,気管支又は肺	46	C343
女性生殖器の悪性新生物	子宮体部の悪性新生物, 子宮内膜	51	C541
	卵巣の悪性新生物	25	C56
腎尿路の悪性新生物	腎盂を除く腎の悪性新生物	35	C64
	膀胱の悪性新生物, 膀胱, 部位不明	15	C679
部位不明確, 続発部位及び部位不明の悪性新生物	肺の続発性悪性新生物	20	C780
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房上外側 4 分の 1	19	C504
口唇, 口腔及び咽頭の悪性新生物	舌のその他及び部位不明の悪性新生物, 舌, 部位不明	10	C029
男性生殖器の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	29	C61
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物	甲状腺の悪性新生物	26	C73

リハビリテーション科

1. 概要

リハビリテーション科の診療は、リハビリテーションセンターと院内各病棟のベッドサイドで行っている。

外来診療は、市内の病院・医院では行っていない小児の運動・言語発達遅滞及び神経難病が主な対象疾患である。また、当院入院中のリハビリを外来で継続する場合もある。

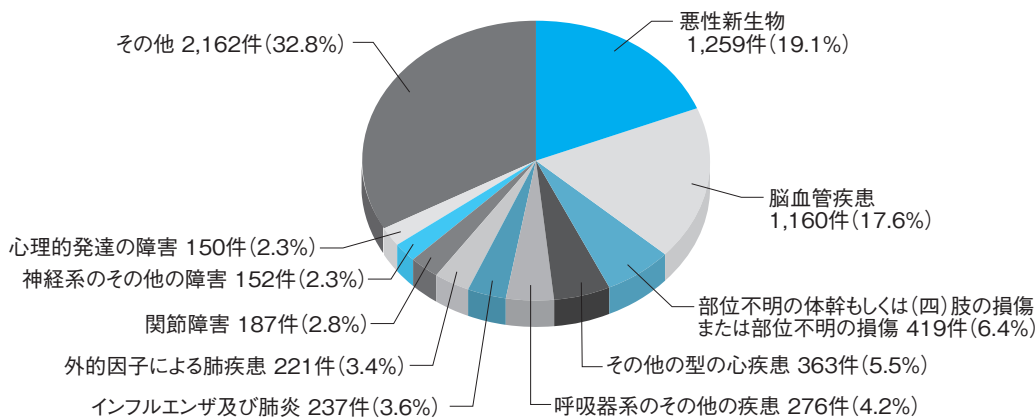
入院診療では、脳卒中、頭部外傷、脳神経・脊髄神経疾患の脳血管リハビリ、骨・関節の外傷や疾患への運動器リハビリ、虚血性心疾患や心不全に対する心大血管リハビリ、肺炎・慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器リハビリ、嚥下障害への嚥下リハビリを行っている。また、がん治療の入院患者に行う、がん患者リハビリにも対応している。当院の診療は急性期リハビリが中心であり、地域連携パスを通じて回復期リハビリ病棟を持つ病院に転院できるシステムが整えられている。

ICUの入室患者に対し、多職種と協力して行う、早期からのリハビリテーション介入を開始した。また、病棟専従の療法士による、一般病棟入院患者の日常生活活動の維持・向上を目的としたリハビリを充実させ、今後拡張する予定でいる。

(部長 石川 知志)

2. 新規登録疾患

総数：6,586件



ICD-10 中間分類項目
C00-C97：悪性新生物
I60-I69：脳血管疾患
T08-T14：部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷または部位不明の損傷
I30-I52：その他の型の心疾患
J95-J99：呼吸器系のその他の疾患
J09-J18：インフルエンザ及び肺炎
J60-J70：外的因子による肺疾患
M00-M25：関節障害
G90-G99：神経系のその他の障害
F80-F89：心理的発達の障害

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	4,370人	年間外来新患者数	11人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人

病理診断科

1. 概要

病理診断科は生検や手術検体の病理組織診断、術中迅速診断、細胞診検査、病理解剖を行っている。また病理診断科を選択した研修医の実習・教育および臨床各科から依頼された学術報告への協力、院内カンファレンスへの参加も同時に行っている。これらの業務を常勤病理医2名と非常勤病理医6名で行った。非常勤病理医は名古屋大学から2名、浜松医大から2名、藤田医科大学から1名、愛知医科大学から1名派遣された。

2021年の病理組織検査の依頼件数は12,150件で、そのうち術中迅速診断は597件であった。病理解剖は19件で、定期的にCPCを開催し、臨床各科を交えて、症例の診断・治療、病態・死因についての詳細な検討を行った。CPCは研修医の教育の場としても重要で、研修医が一例以上を担当し、症例の発表・報告を行った。提示症例は貴重例が多く、教育的効果は大きいと考える。さらに剖検診断結果は日本病理学会が刊行している日本病理剖検輯報に掲載され、広く医学に貢献している。

例年実施している浜松医科大学と名古屋大学の6年次生臨床実習は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された。

(部長 新井 義文)

臨床検査科

1. 概要

2012年8月より臨床検査科が開設され、検体検査管理加算（Ⅰ）・（Ⅳ）算定の許可を受けている。2014年度に日本臨床検査医学会 臨床検査管理医を取得している。急性期医療・高度医療に対応する、精度が高く、信頼性のある臨床検査サービスを、検査を利用する関係者に安全に提供し、診療の質の向上に貢献することを目的としている。

検体検査に基づいたパニック値は直ちに臨床側に報告され、適切な対応に協力している。パニック値報告数は増加し、高度医療を必要とする症例の増加のためと考えられる。

臨床検査の精度の維持・向上のため、内部精度管理、外部精度管理の充実を行っている。外部精度管理として日本医師会・愛知県臨床検査技師会の精度管理調査に参加している。

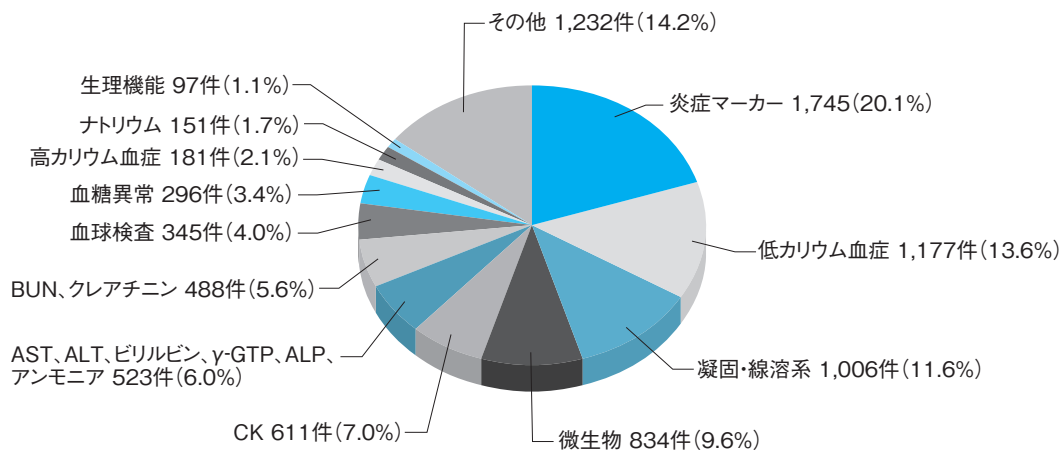
また、2019年3月15日付で臨床検査室に特化した、品質と能力に関する国際規格である ISO15189 の認定施設となり、国際標準検査管理加算の算定が可能となった。第2回定期サーベイランスが2021年7月にあり、適用基準に適合し、認定の継続が承認された。

（副部長 出井 里佳）

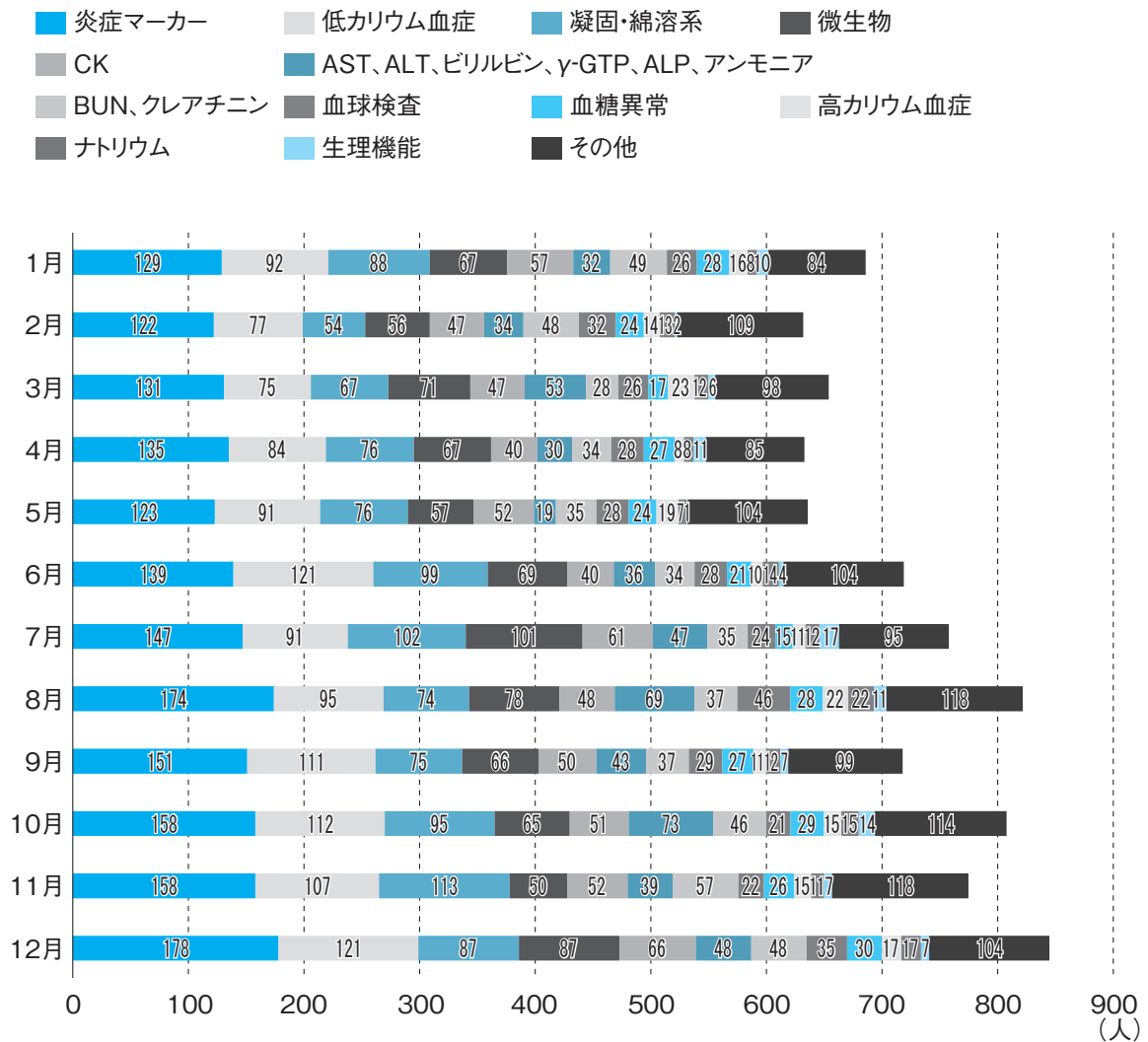
2. 活動報告

（1）パニック値頻度

総数：8,686件



(2) 月別パニック値報告



歯科口腔外科

1. 概要

当科は地域医療支援病院の中の口腔外科としての役割を果たすため、密な病診連携の下、豊橋市内外の医科や歯科から多くの紹介をいただきながら、顎口腔領域及び歯科領域の外科治療、ならびに周術期口腔機能管理を行っている。本年も口腔外科的疾患の各分野においてほぼ例年通りの安定した患者数を維持している。

顎顔面外傷においては、早期対応をモットーに関連各科との医療連携により質の高い医療を提供し、早期治療・早期社会復帰を心掛けている。

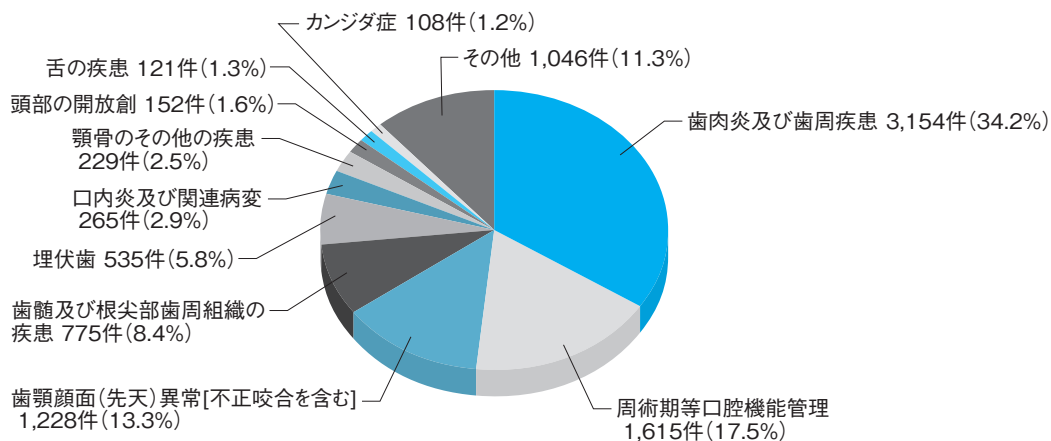
口腔がん治療ではEBMを重視し、根治と機能温存の両面から手術を中心に他科とのカンファレンスのもと集学的治療を提供している。さらに個々の患者の状況に合わせQOLの維持・向上を視野に入れた対応も行っている。

歯科的分野においては、以前にも増して院内患者の周術期等口腔機能管理の依頼件数が増加している。診療報酬改定でその適応範囲がさらに拡大されたこともあり、今後もさらなる増加が見込まれると予想される。2020年4月には入退院支援センター内に歯科衛生士による支援業務が加わり、より必要度の高い患者様へのきめ細かな対応ができるよう体制を整備している。周術期における口腔の合併症予防のためにも密でシームレスな医療連携を基本に、今後も進めていく予定である。

(第一部長 嘉悦 淳男)

2. 新規登録疾患

総数：9,228件



疾 患 名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
歯肉炎及び歯周疾患	慢性歯周炎	3,131	K053
	慢性歯肉炎	18	K051
周術期等口腔機能管理	その他の明示された医学的ケア	1,370	Z518
	健康状態改善以外を目的とするその他の処置	245	Z418
歯顎顔面（先天）異常〔不正咬合を含む〕	歯の位置異常	1,028	K073
	顎関節障害	177	K076
歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	慢性根尖性歯周炎	723	K045
	歯根のう胞	22	K048
埋伏歯	埋伏歯<impacted teeth>	489	K011
	埋伏歯<embedded teeth>	46	K010
口内炎及び関連病変	その他の型の口内炎	195	K121
	口腔粘膜炎（潰瘍性）	43	K123
顎骨のその他の疾患	炎症性顎骨病態	211	K102
	顎骨の発育性障害	15	K100
頭部の開放創	口唇及び口腔の開放創	105	S015
	頬部及び側頭下顎部の開放創	23	S014
舌の疾患	舌痛	62	K146
	舌炎	50	K140
カンジダ症	カンジダ性口内炎	108	B370

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	16,978人	年間外来新患者数	2,830人
年間入院患者数	2,376人	年間入院新患者数	453人

(2) 外来・入院症例数

①外来初診

疾患名	件数(件)
口腔管理	2,075
口腔歯の形態異常	1,290
一般歯科疾患	653
粘膜疾患	253
外傷	262
良性腫瘍	104
炎症感染症	136
嚢胞	103
顎関節疾患	108
神経疾患	55
唾液腺疾患	46
顎顔面の形態異常	48
悪性腫瘍	29
口腔機能疾患	8
唇顎口蓋裂	15
その他	2
計	5,187

②入院

疾患名	件数(件)
口腔歯の形態異常	255
悪性腫瘍	75
嚢胞	41
良性腫瘍	18
唇顎口蓋裂	19
外傷	35
一般歯科疾患	23
顎顔面の形態異常	24
炎症感染症	15
唾液腺疾患	10
粘膜疾患	5
顎関節疾患	2
その他	1
計	523

健診科

1. 概要

健診科（予防医療センター）は、故瀬川元院長が東三河総合健診センターの後継的役割を果たす目的で整備・拡張された事に始まる。受診者は自治体職員や各種企業と個人等よりなる。年齢が進むにつれ、持病を持つ方も多い。

健診診察は、大橋と鳥居が担当。常勤医不在時は予防医療副センター長内藤による迅速サポートを受けている。午前診察は新しい疾患を見つけ出す事もあるが、主な業務は既往歴、現病歴、治療状況の聴取や受診者自ら選択健診コースの確認と必要時コース変更をすること、内服薬をお薬手帳で確認、安全に検査を受けていただくことである。また、診察中、全身に及ぶ質問を受ける事も多く、わかる範囲で返答、適切な専門医受診を助言している。健診一次検査とその判定は各診療科専門医が担当し、中央臨床検査室と放射線技術局の協力を得ている。二次検査とその判定、必要時の治療と経過観察関連はほぼ全科に及ぶ。

当院健診は、関係各科の忙しい診療の中、その妨げとならぬ範囲で行われ、量より質を重視し、医師を始め実に多くの院内職員協力により成立している。その中で、有意義な健診を受診者に提供すべく予防医療センターは院内ハブ的役割を担っている。各専門医実臨床に立脚した高い精度健診成果の一端として、最近12年間に発見されたがんは、胃がん（NET 1例、胃神経鞘腫 1例を含む）85例、大腸がん（NET 2例を含む）60例、前立腺がん 41例、肺がん 14例、食道がん 13例、乳がん 15例、腎臓がん（IgG4腎腫瘍 1例を含む）16例、血液悪性腫瘍（ML 3例、CLL 1例、CML 3例、ATL 1例）8例、十二指腸がん（乳頭部がん 1例、NET 1例を含む）5例、子宮がん 3例、肝臓がん 3例、膀胱がん 2例、転移性肝臓がん（上腕平滑筋肉腫 1例、GIST 1例）2例、縦隔腫瘍 2例、尿管がん 1例、胆のうがん 1例、胆管がん 1例、膵がん 1例、膵がん術後の胃転移 1例、後腹膜腫瘍 1例、甲状腺がん 1例、副腎腫瘍 1例、転移性肺腫瘍（軟口蓋悪性腫瘍）1例の計 264例である。そのほとんどは早期で発見され、治療予後は良好である。

最後に健診受付と会計業務は受付事務員、健診に関わる団体契約、広報、個人情報データ関連等は医事課と医療情報課による支援を受けている。最終結果判定と説明は医師が実施。当センター看護師が各科との連携・調整やデータ取り寄せ、その確認と健診システムに最終登録を行う。受診者の問い合わせや精査・外来予約等の中核的業務を担っている。新型コロナ感染症下でも健康を守る一助としての健診業務を粛々と実施している。

（部長 大橋 信治）

経営企画室

1. 概要

経営企画室は、2019年4月に組織横断的な経営方針の策定や経営改善策を企画、提案し、迅速に実施するため院長直轄の部署として設置された。3年目となる本年は、顧問として医師1名を新たに迎え、副院長である室長を筆頭に4名の専従職員と8名の兼務職員、1名の顧問の計13名で業務を推進した。

2021年度は、毎月開催している定例会において、収益向上に向けた取り組みについて提案や効果測定を行うとともに、令和4年度診療報酬改定による新規算定に向け、項目内容等の検討を行った。また、診療科別に分析した結果に基づき、医師や病棟看護師長など現場スタッフとの意見交換を行い、課題に対する相互理解や積極的な協議を経て、改善に向けた提案を行った。今後も経営改善策の企画、提案と迅速な実施に向けて取り組んでいく。

(室長 成瀬 賢伸)

2. 活動報告

(1) 定例会議題

回	日 付	内 容
1	4月2日	① 業務実施状況の紹介 ② 外科分析
2	4月23日	① 令和2年度診療科別重要経営指標 ② 消化器内科分析
3	5月28日	① トレース一覧（令和2年度） ② 医師の時間外労働上限とタスクシフティングについて ③ 消化器内科分析報告
4	6月25日	① 医学管理料等の算定について ② 令和2年度第2次豊橋市民病院改革プラン取組状況報告書
5	7月30日	① 医学管理料等の算定について ② 高齢者の入院期間について ③ 救急医療管理加算と看護必要度について
6	8月27日	① 薬剤管理指導料1の算定について ② リハビリテーションの算定について ③ 循環器内科分析
7	9月24日	① 循環器内科分析報告 ② 薬剤管理指導料1の算定について ③ リハビリテーション総合計画評価料1（小児科、耳鼻科）の算定に向けて ④ 栄養管理室の昨年度の取り組みと今後に向けて
8	10月29日	① リハビリテーションの算定について ② （循環器内科）アンギオの実施入力について ③ 令和3年度上半期診療科別重要経営指標
9	11月26日	① 脳神経外科分析（2回目） ② トレース一覧（令和3年度上半期）

回	日 付	内 容
10	12 月 24 日	① 脳神経外科分析（2回目）報告 ② 呼吸器内科分析 ③ 令和4年度診療報酬改定について（改定率）
11	1 月 28 日	① 慢性硬膜下血種について ② 令和3年度取り組みのまとめ ③ 令和4年度診療報酬改定について（個別改定項目）
12	2 月 25 日	① 令和4年度診療報酬改定について（概算） ② 令和3年度取り組みのまとめ
13	3 月 25 日	① 令和4年度診療報酬改定について（DPC関連） ② 令和4年度の取り組みについて

(2) 診療科別にカンファレンス等で協議した実績

No.	年 月	診療科名
1	令和 3 年 5 月	消化器内科
2	令和 3 年 9 月	循環器内科
3	令和 3 年 12 月	脳神経外科

医療安全管理室

1. 概要

医療安全管理室は、2005年4月、医療安全の推進を図るため院長直属の専門部署として設置された。現在は、副院長である室長を筆頭に、6名の専従職員と、6名の兼務職員の計13名の組織となっている。

安全管理体制の構築、医療安全に関する教育・研修の実施、インシデント・アクシデント報告の分析・対策立案、対策の周知・対策実施後の評価、医療事故に関する原因究明、他施設との連携・相互チェックなどを行い、安全文化の醸成に努めている。

(室長 成瀬 賢伸)

(文責 副室長 宇田 あゆみ)

2. 活動報告

2021年度は、医療安全重点目標として、①一人ひとりが責任を持って確認行動を実施する ②深部静脈血栓症の院内発症を防止する を掲げた。①については98%、②については88%の部署ができている、だいたいできていると回答した。しかしながら、患者間違いだけでも年間100件以上の報告が上がっている。確認行動を習慣化し、いかなる場合にも正しい行動ができるように、2022年度も改善に取り組んでいく。②については、深部静脈血栓症のリスク評価実施率が、内科系67.3%から79.2%に上昇、外科系は71.6%から92.1%に上昇し、最終的に全体で86.0%となり目標の実施率80%を達成することができた。入院後の肺塞栓症発症は年間4例であり、このうち2例については入院時のリスク評価は実施されていなかった。予防対策の確実な実施については、医師の指示がある場合は概ね問題なく実施できていると考えられるが、医師の指示出し忘れがある場合に適切に対策がとられていないことが懸念される。今後、リスク評価の精度をさらにあげ、必要な対策を確実に実施でき、肺塞栓症予防につながれるように、リスクマネージャーへの指導・教育も行い、活動を継続していく。

「医療安全推進週間」の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大々的には行えなかったが、診療を受ける上で患者に知って欲しいことや協力していただきたいことを各部署の医療安全兼務補佐と共に考え、アトリウムモニターに流すことにより周知を図った。患者参画により間違いに気づけることは多々あるので、今後も様々な形を検討し、患者を巻き込んだ医療安全推進活動を進めていきたい。

医療安全対策地域連携加算1取得に伴う地域連携相互チェックは、2020年度までの豊橋医療センターとの相互チェックを、2021年度からは豊川市民病院及び新城市民病院を加えたグループとし、順次相互チェックを行うように変更した。今までと異なる病院との相互チェックでは、課題や自施設の強みなどに改めて気づくことができた。今後は、医療安全対策地域連携加算2取得施設とのチェック・連携方法についても検討し、地域の医療安全推進活動の強化につなげていきたい。

(1) 医療安全管理たより（19通配信）

配信日	タイトル
4月22日	令和3年度医療安全重点目標が決まりました
5月11日	看護サマリーの誤送付事例
5月11日	その患者確認、大丈夫ですか！？
6月11日	救急カートのマックグラス喉頭鏡のバッテリー残量は大丈夫？
6月14日	麻薬使用中患者の異常時指示に注意
7月1日	手術部位誤認防止マーキングについて
7月2日	患者誤認に注意！
7月26日	シュアシールドプレザパックの正しい使い方
9月7日	患者に誤った治療が行われるのを防げた事例
10月7日	点滴の滴下調節に関する注意
10月27日	様々なタイミングで患者誤認され、レントゲン撮影にまで至ってしまった事例
10月27日	内部監査を実施しました
11月19日	造影CT撮影時の耐圧管について！
11月24日	「X線被ばくの基礎」知っておいて欲しいこと
1月11日	気切カニューレ逸脱・迷入・抜去時の対応
1月21日	患者氏名の漢字登録間違いに気づいた事例
1月25日	One Teamで安全で質の高い医療を提供しよう！
2月2日	ネーザルハイフロー使用中の「加温加湿器の空炊き」に注意！
2月18日	リードスペースメーカーに注意！

(2) 院内安全ラウンド（19回実施）

回	日付	訪問病棟
1	5月18日	東西2階・東3階
2	5月25日	西3階・東西5階
3	6月8日	東6階・東7階
4	6月22日	西7階・東西8階
5	7月6日	東西9階・南病棟
6	7月20日	病棟4階・NMC・手術センター
7	8月3日	救急外来・血液浄化センター
8	8月17日	内科外来・外来1階・外来2階
9	9月7日	放射線技術室・リハビリテーション技術室
10	9月21日	中央臨床検査室・薬局
11	10月5日	東西2階・東3階
12	10月19日	【内部監査】
13	10月26日	西3階・東西5階
14	11月9日	東6階・東7階
15	11月16日	西7階・東西8階
16	12月7日	東西9階・南病棟
17	12月21日	病棟4階・NMC・手術センター
18	1月11日	救急外来・血液浄化センター
19	2月15日	【フォローアップ監査】

(3) 医療安全地域連携相互チェック

日程	チェック対象病院	チェック実施病院
10 月 12 日	豊橋市民病院	新城市民病院
11 月 2 日	新城市民病院	豊橋市民病院
11 月 30 日	弥生病院	豊橋市民病院
12 月 23 日	長屋病院	豊橋市民病院

診療記録管理室

1. 概要

診療記録管理室は、カルテの点検、診療記録監査、紙カルテの貸出管理を主な業務としており、カルテの点検では重点的に「入院診療計画書」「入院時記録」「退院時サマリ」の点検を行っている。

診療記録の質の向上を図るため、医師及び研修医の診療記録を対象に当院独自の評価基準項目により2段階で診療記録監査を行っている。

令和3年度は、監査実施方針を策定し、入院診療計画書の監査を重点的に行った。監査結果は診療記録管理委員会に報告後、監査対象者に通知している。

また、「診療記録 Letter」を6通発行し、診療記録に関する情報の院内周知を継続的に行っている。今後も診療記録管理室副室長やスタッフとともに、さらなる活動を進めていく。

(室長 村松 幹司)

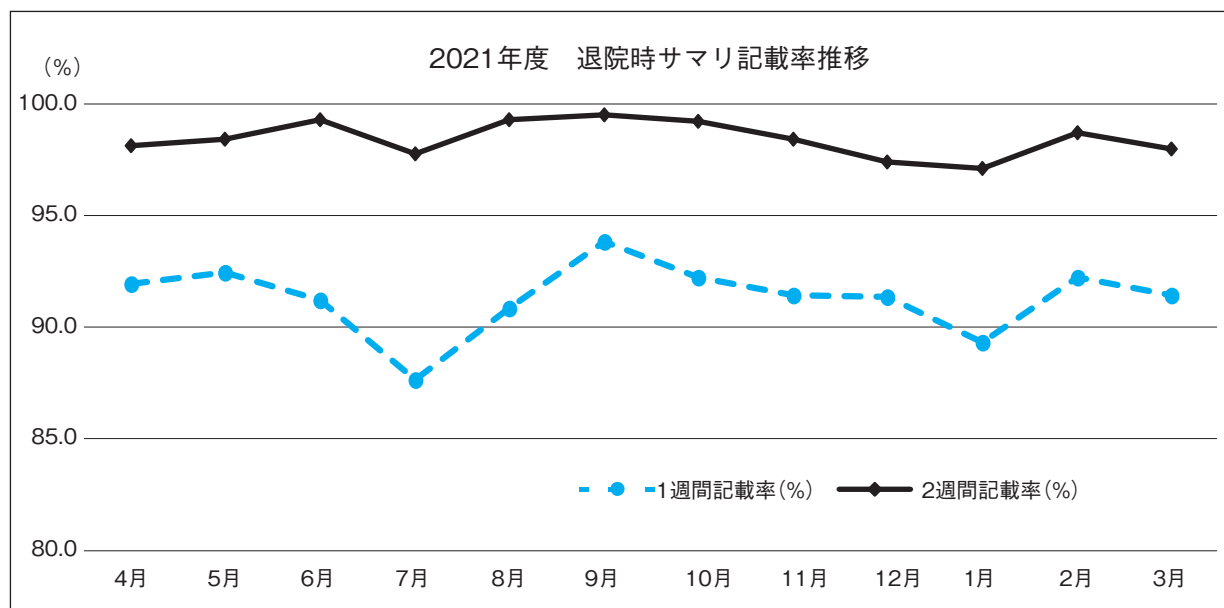
2. 活動報告

(1) 診療記録監査

(件)

		第1回		第2回		第3回	
		医師	研修医	医師	研修医	医師	研修医
令和3年度	一次監査監査対象	80	17	65	20		
	二次監査監査対象	2	0	0	0		
	診療記録管理委員会 <基準点以下報告> 医師：70点 研修医：75点	2	0	0	0		
令和2年度	一次監査監査対象	72	20	65	17		
	二次監査監査対象	2	1	3	0		
	診療記録管理委員会 <基準点以下報告> 医師：70点 研修医：75点	2	0	1	0		
令和元年度	一次監査監査対象	46	24	46	24	46	24
	二次監査監査対象	4	1	1	0	0	0
	診療記録管理委員会 <基準点以下報告> 医師：70点 研修医：75点	2	1	1	0	0	0

(2) 退院時サマリ



	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 週間記載率 (%)	91.9	92.4	91.2	87.6	90.8	93.8	92.2	91.4	91.3	89.3	92.2	91.4
2 週間記載率 (%)	98.1	98.4	99.3	97.8	99.3	99.5	99.2	98.4	97.4	97.1	98.7	98.0

臨床研究管理室

1. 概要

臨床研究管理室設立にご尽力いただいた杉浦顧問が2021年6月をもって退職され、それ以降2021年度は室長（河井副院長）、副室長（医師2名）、事務（3名）の計6名で活動した。

2021年6月30日の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の施行に伴い、豊橋市民病院臨床研究標準業務手順書を改正した。審査体制の変更を行い、審査部門は、それまでの「臨床研究審査委員会」を「臨床研究審査会」に、「臨床研究事前審査会」を「迅速審査会」に名称を改めた。

さらに、個人情報保護法改正に伴い、2022年3月10日付けで生命科学・医学系指針が一部改正された。個人情報保護関連法令等の規定を遵守した上で臨床研究が適正に実施されるよう、e-learningを活用して研究者等の教育・研修の充実を図る。研究者の研究申請を支援しつつ、適正な研究管理に努めたい。

（室長 岩井 克成）

2. 活動報告

(1) 書類受付実績 (件)

	新規申請			変更申請			特定 臨床研究	計
	介入研究	観察研究	指針外	介入研究	観察研究	指針外		
令和元年度	2	61	5	2	21	—	13	104
令和2年度	2	67	6	7	45	2	14	143
令和3年度	0	55	2	6	60	1	22	146

(2) 審査委員会開催実績 (回)

名称	令和3年度	令和2年度	令和元年度
迅速審査会（旧 臨床研究事前審査会）	12	15	13
臨床研究審査会（旧 臨床研究審査委員会）	6	6	6

(3) 実施中の臨床研究 (件)

登録前	登録中	登録終了	観察終了	指針外	計
25	144	22	2	3	196

令和4年3月31日時点

感染症管理センター

1. 概要

感染症管理センターは、医師・看護師・薬剤師・微生物検査技師・事務職員が協同し、患者と医療従事者の双方を医療関連感染から守る活動を行う院長直属の部門である。抗菌薬適正使用支援チーム（AST）と感染対策チーム（ICT）を有する。AST は、近年問題となっている薬剤耐性菌（AMR）対策として、抗菌薬使用状況の定期的な監視と、血液培養陽性者を早期からモニタリングし広域抗菌薬の適正使用を支援している。ICT は、週 1 回定期的に院内巡回ラウンドを行い、院内感染対策事例把握、感染対策防止策の実施状況の確認・指導を行っている。また、当院では、年間 7,000 件以上の手術を行っているため、手術部位感染（SSI）サーベイランスを実施し、手術部位感染発生率の改善に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症の流行は持続しており、感染症病棟を持つ当院の役割は大きく、中等症から重症患者を受け入れている。病床数の調整や陰圧装置、個人防護具などを適切に導入し、発生動向に注視しながら、状況に合わせた院内感染防止対策を実施している。

（センター長 小山 典久）

2. 活動報告

(1) 感染症発生動向調査

①全数報告

(件)

類型	疾患名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
二類	結核	40	44	36
三類	コレラ	0	1	0
	腸管出血性大腸菌感染症	2	2	3
	パラチフス	0	0	0
四類	A型肝炎	0	0	1
	つつが虫病	2	0	1
	デング熱	0	0	1
	マラリア	0	0	0
	レジオネラ症	2	7	8
	狂犬病	0	1	0
五類	アメーバ赤痢	0	0	0
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	0	0	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	1	1
	急性脳炎	0	0	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	6	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	1	0	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	6
	侵襲性髄膜炎感染症	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	9	4	14
	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る）	0	2	3
	梅毒	5	3	5
	播種性クリプトコックス症	2	4	3
	破傷風	1	1	1
	百日咳	0	0	14
	風しん	0	0	0
	麻疹	1	0	0
	新型コロナウイルス感染症	565	106	0

②小児科定点報告

(件)

	疾患名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
週報	RSウイルス	126	7	134
	咽頭結膜熱	0	0	1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	36	56
	感染性胃腸炎	450	502	867
	水痘	7	4	3
	手足口病	1	0	43
	伝染性紅斑	0	0	5
	突発性発疹	7	4	5
	ヘルパンギーナ	4	1	13
	流行性耳下腺炎	0	0	1

③基幹定点報告

(件)

	疾患名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
週報	細菌性髄膜炎	0	1	3
	無菌性髄膜炎	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0	1	2
	クラミジア肺炎	0	0	0
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	1	19
月報	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	111	167	147
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0

④インフルエンザ定点報告

(件)

	疾患名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
週報	インフルエンザ	0	0	377

⑤インフルエンザによる入院患者報告

(件)

	疾患名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
週報	インフルエンザ（入院患者）	0	0	60

⑥職員の感染曝露

(件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
針刺し・切創（EPI-Net A）	48	52	67
皮膚・粘膜汚染（EPI-Net B）	7	8	16
院内結核曝露	1	11	8

⑦職員健康外来

(件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
延べ受診者数	33	50	93

(2) 活動報告

抗菌薬適正使用支援チーム（AST）会議	
2021年度	毎月1回 2021年度 47回開催

院内感染対策チーム（ICT）会議	
2021年度	毎月1回 2021年度 45回開催

感染防止対策地域連携合同カンファレンス	
日 付	
2021年5月20日	第37回 地域連携合同カンファレンス
2021年8月19日	第38回 地域連携合同カンファレンス
2021年11月18日	第39回 地域連携合同カンファレンス
2022年2月17日	第40回 地域連携合同カンファレンス

院内感染対策講習会	
日 付	テーマ
2021年5月20日	2021年度第1回 ぜひ知っておきたいワクチンの知識
2021年8月19日	2021年度第2回 With&After コロナの感染対策
2022年2月17日	2021年度第3回 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）業務で見た当 院の改善点と新たなトピックス

感染防止策対策地域連携加算における相互訪問評価	
日 付	
2021年8月20日	感染防止策対策地域連携加算における相互訪問評価
2021年9月17日	感染防止策対策地域連携加算における相互訪問評価

シミュレーション研修センター

1. 概要

2016年10月に開設されたシミュレーション研修センターの2021年度年間利用実績は、スキルスラボ543件、セミナー室1431件であった。目的別としては医師対象の主なものはカンファレンス243件、ICLS11件、CVC5件があった。看護師やコメディカル対象の主なものとして、看護師補助者研修7件、NCPR7件、BLS & AED10件等が行われた。

セミナー室はインターネット、プロジェクター、スクリーンが完備されていることから、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2021年度はオンライン会議やセミナーの会場としても多く活用された。

今後も、医師のみならず看護師やその他コメディカルの勉強する場として、より一層の運営の改善と設備の充実を目指す所存である。

(センター長 富田 崇仁)

卒後臨床研修センター

1. 概要

2021年度は、NPO法人 卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価更新のため、訪問調査が行われた。研修体制や研修内容を着実に見直していることや、指導医の熱意の高さに呼応して研修医の満足度も非常に高いと評価され、前回同様エクセレント賞を受賞した。

研修体制としては、2020年度より開始したオンライン臨床教育評価システム（EPOC2）の利用や、研修サマリーの記載、一般外来研修などを定着させた。また、新たに小児科、産婦人科プログラムを開始した。

採用関係では、毎年5月に開催されていた東海北陸地区臨床研修病院合同説明会が中止となったため、オンライン説明会への参加や、レジナビやマイナビレジデントなどの情報検索サイトの活用に加え、Instagram・TwitterなどのSNSへ投稿を行い、全国に向け情報発信した。そして以前から検討していたレジナビbookへの掲載を始め、紙媒体での情報発信も強化した。また、年間を通して医学生の見学や臨床実習を受入れ、7月には院内病院説明会を開催するなど、医学生との直接交流を行った。

（センター長 小山 典久）

2. 活動報告

(1) 定期委員会

令和3年5月～令和4年3月	研修管理委員会	全3回
令和3年5月～令和4年3月	研修委員会	全3回
令和3年6月～令和3年12月	研修医ミーティング	全4回

(2) 行事

令和3年4月1日～9日	初期臨床研修医オリエンテーション
令和3年4月～令和3年9月	救急医学講座 全21講座
令和3年7月7日	レジナビフェア Web 説明会参加
令和3年7月10日	医学生向け 病院説明会（院内） 参加者 34人
令和3年7月18日	マイナビレジデント Web 説明会参加
令和3年8月12日、13日、21日	令和4年度採用初期臨床研修医採用試験
	受験者数 医科 40人 歯科 2人
	マッチング数 医科 18人 （フルマッチ）
	歯科 1人 （フルマッチ）
令和3年9月17日	マイナビレジデント Web 説明会参加
令和3年10月22日	NPO 法人卒後臨床研修評価機構 臨床研修評価 訪問調査
令和3年12月1日	NPO 法人卒後臨床研修評価機構 認定（4年） エクセレント賞 受賞
令和4年1月15日	マイナビレジデント リアルセミナー参加
令和4年1月17日、21日、24日	基本的臨床能力評価試験
	受験者数 1年次 18名、2年次 13名
令和4年3月10日	令和4年度採用初期臨床研修医二次募集（医科）
	受験者数 2人 採用者数 1人
令和4年3月17日	令和4年度採用初期臨床研修医二次募集（歯科）
	受験者数 1人 採用者数 1人
令和4年3月25日	令和2年卒研修医初期臨床研修修了式
	進路 院内 医科 13人
	院外 医科 3人、歯科 1人

専門医研修センター

1. 概要

2017年度に後期臨床研修センターが発足し、各種申請等の準備を行い、2018年度に新専門医制度の開始に合わせて専門医研修センターに発展した。当院は基本19領域のうち、内科、外科、小児科、産婦人科の4領域で基幹施設として認定を受けており、その他領域では連携施設となっている。様々な病院と連携することで、高次機能病院での稀な症例をはじめ、地域病院での高齢者医療等の症例も学ぶことができ、多彩で偏りのない充実した研修が可能となっている。

当センターは、新専門医制度での専門研修がスムーズに進むように基幹の各4領域と連携を取りながら、指導者による多職種評価や内科ではJ-OSLER（専攻医登録評価システム）、外科ではNCD登録・研修実績管理システム、小児科では臨床研修手帳、産婦人科では研修管理システムなどの評価ツールにおいて、専攻医の進捗状況を把握し専門医取得の手助けをしていく。

また、日本専門医機構認定共通講習を開催し、院内開催の医療倫理・感染対策・医療安全の必修講習でも受講証明書を発行可能とした。

（センター長 岩井 克成）

2. 活動報告

(1) 定期委員会

令和3年4月～令和4年3月	内科専門研修プログラム管理委員会	全2回
	外科専門研修プログラム管理委員会	全1回
	小児科専門研修プログラム管理委員会	全2回
	産婦人科研修プログラム管理委員会	全2回

(2) 行事

令和3年11月1日～11月12日	令和4年度4月採用専攻医（専門研修プログラム）募集
令和3年11月26日	令和4年度採用専攻医採用試験

基幹4領域	受験者数	採用者数
内科	2	2
外科	3	2
小児科	4	4
産婦人科	2	2

令和3年7月3日、11月27日 JMECC 開催 受講者数6人

豊橋市民病院が基幹施設となる専門領域

領域	連携施設	募集人数	プログラム
内科	愛知厚生連渥美病院 豊橋医療センター 岡崎市民病院 刈谷豊田総合病院 トヨタ記念病院 愛知厚生連安城更生病院 半田市立半田病院 常滑市民病院 日赤愛知医療センター名古屋第一病院 名古屋大学医学部附属病院 中東遠総合医療センター 新城市民病院（特別連携）	12 人	豊橋市民病院 内科専門研修プログラム
外科	静岡厚生連遠州病院 中東遠総合医療センター 静岡厚生連静岡厚生病院 静岡済生会総合病院 愛知厚生連安城更生病院 愛知厚生連豊田厚生病院 名古屋大学医学部附属病院 愛知医科大学病院	6 人	豊橋市民病院 外科専門研修プログラム
小児科	名古屋市立大学病院 あいち小児保健医療総合センター 豊川市民病院 蒲郡市民病院 愛知厚生連渥美病院 【関連施設】 豊橋医療センター 新城市民病院 豊橋市こども発達センター 豊橋市保健所保健センター 豊橋市休日夜間急病診療所	5 人	豊橋市民病院小児科研修医（専攻医）プログラム
産婦人科	日赤愛知医療センター名古屋第二病院 名古屋記念病院 刈谷豊田総合病院 愛知厚生連豊田厚生病院 名古屋掖済会病院 小牧市民病院	4 人	豊橋市民病院 産婦人科研修プログラム

救急外来センター

1. 概要

当院救命救急センターは、東三河の1次から3次までのあらゆる救急患者に対応している。病院からはドクターカーを出動させ、心肺停止や、高エネルギー外傷に対して病院前から積極的治療を展開している。またヘリポートを併設しているため、東三河全域より、ドクターヘリで重症救急患者を受け入れているのが特徴である。

救急外来センターでは、医学生、研修医、地域の救急救命士等に対して毎朝勉強会を行い、また月例のICLSコース（突然の心停止に対して直ちに行う処置）を開催しており、院内医療スタッフ、地域救急隊員ともに、質の向上を目指している。

2021年も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも重症救急患者の受け入れを続け、厚生労働省が行う救命救急センターの充実度評価において、総合点は80点満点中68点で愛知県24センター中5位、「重篤な患者数」は1558名/年で6位の実績であった。

（センター長 平松 和洋）

2. 活動報告

(1) 年齢区分別救急外来受診患者数

診療科	15 歳未満		15 歳以上 65 歳未満		65 歳以上		計(人)
	患者数(人)	構成比率(%)	患者数(人)	構成比率(%)	患者数(人)	構成比率(%)	
総合内科	3	0.2	942	62.0	575	37.8	1,520
呼吸器内科	1	0.1	416	33.7	819	66.3	1,236
消化器内科	12	0.4	1,420	47.2	1,578	52.4	3,010
循環器内科	3	0.2	345	27.0	929	72.7	1,277
腎臓内科	0	0.0	63	25.3	186	74.7	249
糖尿病・内分泌内科	0	0.0	64	33.7	126	66.3	190
脳神経内科	1	0.1	552	35.8	987	64.1	1,540
血液・腫瘍内科	0	0.0	83	24.9	250	75.1	333
一般外科	51	4.7	436	40.3	595	55.0	1,082
小児外科	11	84.6	2	15.4	0	0.0	13
乳腺外科	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
呼吸器外科	4	1.9	98	47.6	104	50.5	206
心臓外科・血管外科	0	0.0	16	29.6	38	70.4	54
移植外科	0	0.0	9	81.8	2	18.2	11
整形外科	339	13.4	1,244	49.2	944	37.4	2,527
リウマチ科	0	0.0	1	14.3	6	85.7	7
脊椎外科	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
形成外科	0	0.0	2	66.7	1	33.3	3
脳神経外科	503	27.7	571	31.4	745	41.0	1,819
小児科	2,913	93.0	215	6.9	3	0.1	3,131
産婦人科	6	0.6	875	93.3	57	6.1	938
耳鼻いんこう科	161	13.3	624	51.7	423	35.0	1,208
眼科	53	15.5	202	59.1	87	25.4	342
放射線科	0	0.0	1	50.0	1	50.0	2
皮膚科	156	14.9	591	56.4	300	28.7	1,047
泌尿器科	29	2.5	502	43.4	625	54.1	1,156
歯科口腔外科	70	27.7	110	43.5	73	28.9	253
こころのケア科	1	1.8	47	83.9	8	14.3	56
感染症内科	0	0.0	2	100.0	0	0.0	2
計	4,317	18.6	9,435	40.6	9,462	40.8	23,214

(2) 救命救急センター「重篤な患者数」実績

病態	患者数(人)
病院外心停止	214
重症急性冠症候群	133
重症大動脈疾患	48
重症脳血管障害	182
重症外傷	422
指肢切断	7
重症熱傷	3
重症急性中毒	20
重症消化管出血	176
敗血症	175
敗血症のうち、敗血症性ショック	59
重症体温異常(熱中症、偶発性低体温)	33
特殊感染症(壊死性筋膜炎、破傷風等)	7
重症呼吸不全	30
重症急性心不全	62
重症出血性ショック	7
重症意識障害	17
重篤な急性腎不全	20
その他の重症病態	2
合計	1,617

(2021.1～12)

救急入院センター

1. 概要

救急入院センターは2013年度より設置され、センター長 富田 崇仁（循環器内科兼任）、副センター長 中島 基晶（麻酔科兼任）、青葉 太郎（一般外科兼任）で運営し、現在に至っている。当センターはICUに隣接し、ICU適応以外の夜間・休日の救急入院患者の受け皿として機能している。基本的に各科主治医が患者の診療を行い、センターメンバーは主に本センターの管理・運営を主体として活動している。実働病床は2013年以来、継続して12床で運営してきている。2021年4月～2022年3月までの各月の推移は以下の表のごとくである。病床利用率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により昨年度よりわずかに減少し、40.4%であった。特定救命救急病床加算算定件数においては、2020年度には1,052件であったのに対し、2021年度は1,018件とわずかに減少した。今年度も引き続き入院数増加に努めていく。

例年どおり本センターの当直体制はセンターのメンバーだけでなく、各科医師にも委託して行い、夜間入院患者の救急管理に当たってきたが、2021年度は特に大きな問題なく経過した。

（センター長 富田 崇仁）

2. 活動報告

(1) 年齢別受診患者数

診療科 区 分	内 科		外 科		心臓血管・ 呼吸器外科		脳神経外科		その他		計	
	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)
80歳以上	283	24.5	158	24.1	60	16.3	208	20.3	29	7.7	738	20.6
70～79歳	334	29.0	194	29.6	161	43.8	319	31.1	138	36.5	1,146	32.0
60～69歳	211	18.3	156	23.8	76	20.7	182	17.8	71	18.8	696	19.4
50～59歳	174	15.1	111	16.9	24	6.5	180	17.6	50	13.2	539	15.1
40～49歳	92	8.0	25	3.8	36	9.8	77	7.5	36	9.5	266	7.4
30～39歳	36	3.1	5	0.8	6	1.6	35	3.4	28	7.4	110	3.1
20～29歳	10	0.9	2	0.3	5	1.4	16	1.6	12	3.2	45	1.3
10～19歳	13	1.1	2	0.3	0	0.0	7	0.7	2	0.5	24	0.7
0～9歳	0	0.0	3	0.5	0	0.0	1	0.1	12	3.2	16	0.4
計	1,153	100	656	100	368	100	1,025	100	378	100	3,580	100

(2) 病床利用率

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
営業日数 A	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
病床数 B	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
日数×病床数 C(A×B)	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	336	372	4,380

救急ベッド (12床)

	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日 あたり
平成30 年度	在室人数 D	150	152	176	214	183	181	235	196	227	248	192	226	2,380	6.5
	利用率 D/C	41.7%	40.9%	48.9%	57.5%	49.2%	50.3%	63.2%	54.4%	61.0%	66.7%	57.1%	60.8%	54.3%	—
	特定入院料算定 件数 E	68	82	98	127	103	98	116	100	121	143	103	108	1,267	3.5
	特定入院料算定 率 E/D	45.3%	53.9%	55.7%	59.3%	56.3%	54.1%	49.4%	51.0%	53.3%	57.7%	53.6%	47.8%	53.2%	—
令和元 年度	在室人数 D	175	196	180	202	220	209	167	214	200	250	190	155	2,358	6.5
	利用率 D/C	48.6%	52.7%	50.0%	54.3%	59.1%	58.1%	44.9%	59.4%	53.8%	67.2%	56.5%	41.7%	53.8%	—
	特定入院料算定 件数 E	89	113	85	97	127	83	63	82	117	137	101	112	1,206	5.1
	特定入院料算定 率 E/D	50.9%	57.7%	47.2%	48.0%	57.7%	39.7%	37.7%	38.3%	58.5%	54.8%	53.2%	72.3%	51.1%	—
令和2 年度	在室人数 D	125	138	137	136	140	174	191	166	190	176	127	166	1,866	2.9
	利用率 D/C	34.7%	37.1%	38.1%	36.6%	37.6%	48.3%	51.3%	46.1%	51.1%	47.3%	37.8%	44.6%	42.6%	—
	特定入院料算定 件数 E	84	95	69	83	91	84	103	108	117	85	71	62	1,052	4.8
	特定入院料算定 率 E/D	67.2%	68.8%	50.4%	61.0%	65.0%	48.3%	53.9%	65.1%	61.6%	48.3%	55.9%	37.3%	56.4%	—
令和3 年度	在室人数 D	146	138	121	137	129	117	143	157	141	182	156	203	1,770	4.8
	利用率 D/C	40.6%	37.1%	33.6%	36.8%	34.7%	32.5%	38.4%	43.6%	37.9%	48.9%	46.4%	54.6%	40.4%	—
	特定入院料算定 件数 E	60	103	83	89	86	73	54	76	82	111	87	114	1,018	2.8
	特定入院料算定 率 E/D	41.1%	74.6%	68.6%	65.0%	66.7%	62.4%	37.8%	48.4%	58.2%	61.0%	55.8%	56.2%	57.5%	—

集中治療センター

1. 概要

当院は、東三河地域の急性期病院として位置付けられている。その中でも、集中治療センターは最重症患者を診ることのできる設備を有しており、地域における「最後の砦」といっても過言ではない場所であると考えている。医師や看護師だけではなく、多職種間での連携を取りながら集中治療患者の早期回復を図ることが最も大切と考え日々の臨床に取り組んでいる。早期リハビリテーションの介入などはその成果を上げつつあり、今後も確実な取り組みを広げていく所存である。

(センター長 中山 雅人)

2. 活動報告

(1) 入院患者の主病名分類

大 分 類	件
感染症および寄生虫症 (A00-B99)	20
新生物 (C00-D48)	520
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構障害 (D50-D89)	4
内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	14
精神および行動の障害 (F00-F99)	1
神経系の疾患 (G00-G99)	29
眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0
耳および付属器の疾患 (H60-H95)	1
循環器系の疾患 (I00-I99)	452
呼吸器系の疾患 (J00-J99)	64
消化器系の疾患 (K00-K93)	168
皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	8
筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	53
腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	10
妊娠、分娩および産褥 (O00-O99)	5
周産期に発生した病態 (P00-P96)	0
先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	2
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	37
損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	128
傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0
健康状態に影響をおよぼす要因および保険サービスの利用 (Z00-Z99)	0
特殊目的用コード (U00-U99)	2
計	1,518

総合周産期母子医療センター（母体・胎児部門）

1. 概要

当院は東三河唯一の総合周産期母子医療センターとして妊娠中の母体・胎児の診断・管理・治療を行っている。感染症指定病院である当院は新型コロナウイルスに感染した妊婦の診療・分娩も当地域で唯一担当している。2021年は愛知県での新型コロナウイルス感染拡大が尾張地域のみならず当地域にもおよび多数の妊婦感染者・濃厚接触者が発生した。当院では5月に濃厚接触者の帝王切開を行ったのを皮切りに7例の分娩を取り扱った。妊婦の感染者・濃厚接触者の情報は当院へ集約することとなり保健所・当院感染症管理センター・助産師・医師で連携し隔離期間中の妊婦について妊婦健診や健康観察を行った。

少子化の影響もあり分娩予約数は減少していたが、母体搬送は例年並みとなっており最終的に分娩数も連年並みとなった。

超緊急帝王切開は新型コロナウイルス検査の結果を待てないため必然的にコロナ対応フルPPEでの手術となり、手術決定一児娩出時間にも影響を及ぼしたが、全例30分以内で娩出可能であった。

助産師主体のバースセンター分娩はハイリスク妊娠の多い当院ではなかなか対象症例がないのが現状であるが、月2-3件のペースで継続している。新型コロナウイルス感染症の影響で産後ケアプランは褥婦の家族の受け入れができない状態が続いているが、豊橋市外の市とも契約を締結し当院新生児医療センターを退院する児の自宅退院前の育児習得の機会を幅広く提供できる体制となった。

（センター長 岡田 真由美）

総合周産期母子医療センター（新生児部門）

1. 概要

新生児医療センターは、NICU12床を擁し、東三河唯一の総合周産期母子医療センター（新生児部門）に指定され、新生児医療の中心的役割を担っている。重症な児を遠方に搬送することは児の予後に悪影響を及ぼすことから、入院依頼を受けた児は断らないことをポリシーとし、最後の砦としての役割を果たしている。

当院は、地域中核災害拠点病院に指定されており、産婦人科とともに広域災害訓練に参加するなど、周産期における災害対策にも取り組んでいる。また、地域の新生児医療のレベルアップを図ることも重要な役割と考え、周産期医療に携わる医師、助産師、救急隊員等を対象に新生児蘇生法講習会や周産期センター報告会・講演会を開催している。

（センター長 村松 幹司）

（文責 小児科(新生児)第二部長 杉浦 崇浩）

総合生殖医療センター

1. 概要

2021 年も前年に引き続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るった 1 年であったが、感染対策を徹底して当センターでは診療を無事継続できた。

当院で体外受精などの生殖補助医療（ART）がスタートしたのは 1996 年 6 月であり、2021 年は 24 年目を迎えた。2007 年 12 月タイムラプスインキュベーター（TLI）の世界初全例導入開始後も様々な最新医療機器と共に High Quality ART に取り組んできた。2018 年には、胚画像情報を中心に 74 項目の特性を人工知能（AI）的に分析して良好胚選択を行う最新型 TLI を導入、2019 年には 2 台目も配備が完了して AI-ART に完全移行できた。タイムラプス実施件数は、国内屈指の 4,000 件を超え、2022 年 4 月の生殖補助医療への保険適用拡大に向けて、先進医療としてこの技術を使いこなしてきたスキルを大いに活かしたいと考えている。

ウェブサイトは保険適用拡大に向けて独自性の高いものに一新した。“先進的で唯一無二の生殖医療を東三河に”を合言葉に、健全な家族形成を地域での医療で完結するという生殖周産期医療の理想を旗印として、生まれてくる子どものことを第一に考えた基本軸のしっかりした医療を今後も展開していく。

（センター長 安藤 寿夫）

リハビリテーションセンター

1. 概要

リハビリテーションセンターは、診療部門、理学療法部門、作業療法部門、言語聴覚療法部門で構成され、脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患、がん患者へのリハビリに対応している。また、これら疾患別リハビリに加え、入院患者の日常生活活動の維持・向上を目的としたリハビリも行っている。

診療部門では、診察、リハビリ処方を行う。

理学療法部門では、日常生活上の基本的動作能力回復目的の運動療法及び呼吸器・循環器疾患や術後の機能回復を目指した運動療法を行う。また筋電図、筋力測定、心肺運動負荷試験等の身体機能を評価する。

作業療法部門では、生活における動作の獲得、家事動作や職業への復帰目的の訓練・援助、上肢の機能および高次脳機能の評価、訓練を行う。

言語聴覚療法部門では、脳血管疾患や脳の外傷、あるいは発声器官の障害により生じた失語症や構音障害の患者、言語発達の遅れや口唇口蓋裂の小児に対する言語訓練を行う。また、摂食・嚥下障害の機能回復目的の訓練・指導も行っている。

多職種と連携した各種のチーム医療にも積極的に参加している。

(センター長 石川 知志)

2. 活動報告

(1) 利用状況

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
延患者数(人)	101,255	99,473	110,992
1日平均(人)	418.4	409.4	462.5
外来開院日数	242日	243日	240日

※病院事業収支及び活動状況（報告）

血液浄化センター

1. 概要

当センターでは、末期腎不全に対する血液透析導入、維持透析患者の入院中の透析管理、急性腎不全に対する急性血液浄化を中心に診療を行っている。血液浄化は臨床工学技士・看護師・外来・病棟など多くのスタッフの協力が重要な治療であり、連携をとりながら安全かつ最善の治療の提供を心掛けている。

また血液透析以外にも、血漿交換・免疫吸着といったアフエレーシスも行っている。近年は肝炎・神経疾患・膠原病・血液疾患など多様な病態に応じるため、技術的により分化・発展を遂げており、適宜更新を行っている。

これら業務において腎臓内科のみでは遂行できず、移植外科からも多大な支援をいただき、運営することができている。

(センター長 渡邊 智治)

予防医療センター

1. 概要

予防医療センターでは、主に消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、眼科、口腔外科など各科の専門医のもと、一般的な人間ドック（二日ドック、日帰りドック）を精度高く行い、糖尿病、脂質代謝異常などの生活習慣病やがんなどの悪性腫瘍の早期発見・早期介入に努めている。脳ドック、女性ドック（乳がん、子宮がん）、肺がん検診は、それぞれ脳神経外科、一般外科、産婦人科、呼吸器内科、放射線科の専門医と連携して行っている。さらに、PET-CT 検診が放射線科専門医の協力を得て開始され、がんの早期発見環境がより整備された。

また、就学、進学、海外留学・海外出張、免許取得、施設入所時の健康診断、被爆者健診、企業の定期健診、有機溶剤等健康診断など様々な健康診断を各科と連携しながら行っている。

さらに、予防医療として、インフルエンザワクチン、B型肝炎ワクチン、破傷風ワクチンをはじめとする各種ワクチンの接種を実施している。

（センター長 内藤 岳人）

2. 活動報告

(1) コース別受診者数

コース名	受診者数（人）
二 日 ド ッ ク	61
日 帰 り 人 間 ド ッ ク	2,214
脳 ド ッ ク	314
肺 が ん 検 診	18
胃 が ん 検 診	43
女 性 の 健 康 ド ッ ク	30
P E T - C T 検 診	15
個 人 健 康 診 断	138
予 防 接 種	322
全国健康保険協会生活習慣病予防健診 （旧 政府管掌生活習慣病予防健診）	1,546
原 爆 被 爆 者 健 診	53
企業団体健診（注1）	402

注1：企業団体契約、その他を含む。

(2) 受診対象者の内訳

①二日ドック

検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼 底	61	7	2	0
胸 部 X 線	61	0	0	0
胃 部 X 線	7	3	1	0
胃 カ メ ラ	54	6	4	0
腹 部 エ コ ー	61	6	5	3
安静時心電図	61	2	1	0
負 荷 心 電 図	40	4	4	0
便 潜 血	60	3	1	0

②日帰りドック

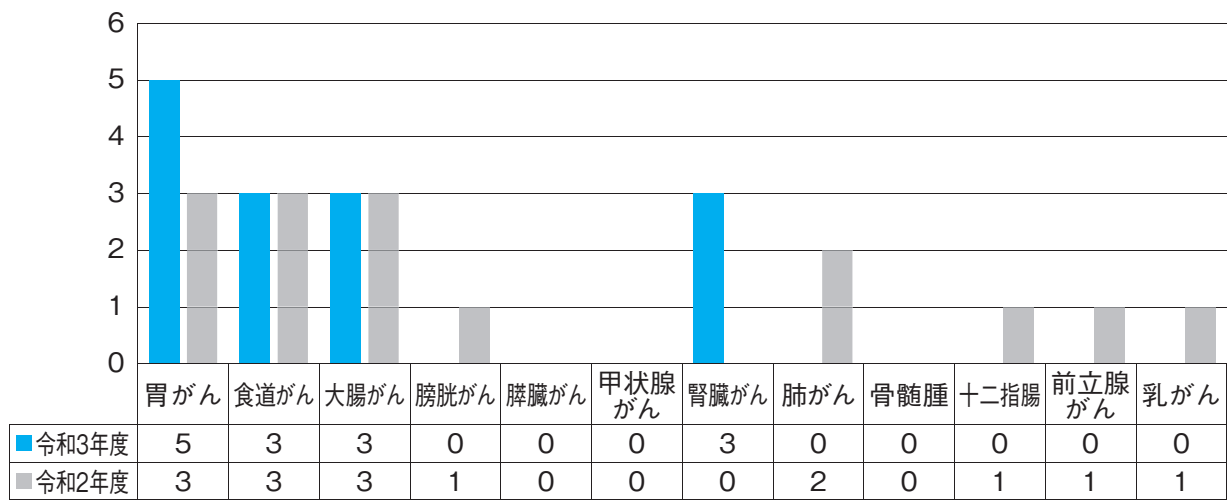
検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼 底	2,214	255	60	6
胸 部 X 線	2,209	29	18	2
胃 部 X 線	1,244	173	49	2
胃 カ メ ラ	869	43	22	11
腹 部 エ コ ー	2,054	109	58	3
安静時心電図	2,211	68	30	0
便 潜 血	2,167	106	55	13

③生活習慣病予防健診

検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼 底	88	8	4	1
胸 部 X 線	1,501	39	29	1
胃 部 X 線	1,148	135	58	8
胃 カ メ ラ	240	13	7	0
腹 部 エ コ ー	76	3	1	0
安静時心電図	1,506	46	13	1
便 潜 血	1,496	72	14	6

(3) 悪性新生物発見数

(人)



(4) メタボリック判定実施者

(人)

区 分	令和3年度	令和2年度
①基準該当	750	708
②予備軍該当	532	525
③非該当	2,495	2,363

輸血・細胞治療センター

1. 概要

輸血・細胞治療センターでは、年6回の輸血療法委員会の開催、年2回の輸血療法院内監査の実施を行い、院内の輸血療法が安全かつ適切に運用されるよう管理している。

2021年は、迅速フィブリノゲン測定機器を導入した。これによりフィブリノゲン値の結果報告時間が短縮され、クリオプレシピートの適正使用につながった。またI & Aは問題なく更新できた。

2022年は、病院機能評価受審のため準備を行う。

今後も院内の輸血療法が安全かつ適正に行われるよう管理していく。

(センター長 倉橋 信悟)

2. 活動報告

(1) 定期委員会

輸血療法委員会開催 (2か月毎予定) * 6回実施

(2) 輸血療法院内監査

輸血療法院内監査実施 * 2回実施

(3) センター業務実績

①輸血関連検査件数

検査項目	総件数(件)	前年比
血液型	17,593	0.97
不規則抗体スクリーニング	12,795	1.00
交差適合試験	6,008	1.02

②血液製剤使用状況

製剤種	総単位数(単位)	前年比
赤血球液 (RBC)	11,901	1.02
新鮮凍結血漿 (FFP)	4,848	1.15
濃厚血小板 (PC)	1,906	0.97

③アルブミン (ALB) 製剤使用状況

製剤種	総本数(本数)	前年比
ALB 25% 50mL	1,099	0.52
ALB 5% 250mL	1,744	1.36

* ALB 使用単位数：11,846 単位

* ALB/RBC=0.82 管理料 I 算定基準：2 未満

④製剤廃棄率

製剤種	廃棄率(%)	前年比
赤血球液 (RBC)	0.12	0.29
新鮮凍結血漿 (FFP)	0.86	1.88
濃厚血小板 (PC)	0.26	1.03

⑤副作用集計報告

製剤種	副作用報告件数(件)	実患者数(人)
赤血球 (RBC)	44	38
新鮮凍結血漿 (FFP)	15	15
濃厚血小板 (PC)	42	38

ゲノム診療センター

1. 概要

臨床検査部門、病理診断科、患者総合支援センターを中心に開始したがん遺伝子パネル検査は、Foundation One の各種コンパニオン診断の適応追加に伴い、2021 年 1 月以降、泌尿器科を中心に検査依頼が飛躍的に増加した。2021 年は 44 例の依頼を受け、34 件に検査を実施した。試行錯誤を重ね、遺伝専門医一名体制で開始したが各部門での業務分担を明確にし、フローを作成することで当院における検査体制がほぼ確立した。今後さらに検査依頼が増加するものと見込まれ、業務の効率化、分担が望まれる。

難病を中心に診断のための遺伝子検査の保険適応も拡大しており、症例数は少ないものの検査の際は臨床遺伝専門医が立ち合い患者様の意思決定の支援を行った。

周産期分野における母体血を用いた出生前遺伝学的検査（NIPT：non-invasive prenatal genetic testing）は 2021 年、46 件の検査を行った。本検査については今後改めて施設認定制度が導入されるが、今後も基幹施設として継続する方針である。

（センター長 岡田 真由美）

外来治療センター

1. 概要

2021 年度の年間利用者の延べ数は、11,879 人（うち癌治療 10,039 人）で、2020 年度の 11,756 人（同 10,049 人）と、昨年度同様に COVID-19 の影響下でも減少は見られない。がんに関する治療数は変わらない一方で、がん以外の治療数は増加している。1 日の平均利用者数も、2021 年度も前年度と比べて同程度となった。

扱うレジメン数は増加しており、外来治療センターで扱うレジメン数は 2021 年度には 380 と増加している（前年度は 368）。使用しなくなったレジメンの削除を各科に依頼しているが、扱う治療の複雑性は増している。新規レジメンは、治療時間が従来より長時間にわたるものが多いことから、治療センターが混雑しており、飽和状態である。従来は入院で施行していた白金製剤含有レジメンは、他施設では外来に移行しつつあるが、当院ではキャパシティ不足により、移行できないでいる。移行が可能なレジメン数は 174 に及ぶと見込んでいる。中・長期的には外来治療センターの拡充が必要である。

増加する患者数・扱うレジメン数に対応する人員は、看護師 12 名 / 日、薬剤師 8 ～ 9 名 / 日、事務 2 名である。こ以上の体制で、治療レジメンに応じたスケジュールの組み立て、など各スタッフの努力により、安全に治療を遂行している。

（センター長 藤井 正宏）

2. 活動報告

(1)治療実績 月別集計表

項目 \ 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
平均年齢(才)		66	67	66	65	63	65	65	65	66	66	64	66		65
男(人)		563	535	567	543	561	494	541	554	528	533	494	609	6,522	544
女(人)		467	406	483	460	487	482	452	433	440	440	394	477	5,421	452
がんに関する治療(人)	内科	371	329	405	363	354	318	358	363	360	374	334	389	4,318	360
	外科	242	248	285	274	305	267	255	254	274	249	243	298	3,194	266
	泌尿器科	64	69	64	61	68	56	62	60	53	75	67	88	787	66
	耳鼻いんこう科	57	58	58	63	58	63	61	54	49	43	42	47	653	54
	婦人科	66	69	84	68	78	79	81	68	66	62	54	69	844	70
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	16	22	15	15	21	27	18	30	16	14	20	29	243	20
	計	816	795	911	844	884	810	835	829	818	817	760	920	10,039	837
	初回	79	75	97	69	76	63	85	75	73	87	68	77	924	77
	内訳	乳腺	81	85	108	97	112	104	95	100	108	98	101	1,196	100
		大腸	121	121	134	134	141	129	124	111	120	122	108	1,504	125
		血液	103	107	156	134	121	118	116	143	141	115	97	1,459	122
		肺	153	134	152	134	143	110	150	138	131	149	126	1,689	141
		胆膵	79	72	90	71	67	63	61	59	63	70	79	854	71
		胃	50	45	41	49	61	44	49	50	55	51	44	599	50
		前立腺	9	12	11	10	15	12	14	16	11	11	11	142	12
		その他	220	219	219	215	224	230	226	212	189	202	194	2,596	216
がん以外の治療(人)	内科	54	64	54	73	58	70	69	60	66	63	56	72	759	63
	整形外科	2	1	2	0	1	0	1	0	2	2	1	2	14	1
	リウマチ科	89	76	79	82	100	91	82	95	77	88	68	89	1,016	85
	皮膚科	3	4	2	2	3	2	3	2	4	2	2	2	31	3
	その他	2	1	2	2	2	3	3	1	1	1	1	1	20	2
	計	150	146	139	159	164	166	158	158	150	156	128	166	1,840	153
合計(人)		966	941	1,050	1,003	1,048	976	993	987	968	973	888	1,086	11,879	990
1日平均(人)		49	50	48	50	48	49	47	49	48	51	49	49	587	49

手術センター

1. 概要

手術センターは、一人一人の患者さんに最良の手術が行われるよう各診療科・麻酔科医・病棟及び手術センターの看護師が連携を図っている。当センターは、地域や患者のニーズに応えるべく以下の特徴及び設備を整えている。

また、超緊急枠を設け、全科の超緊急手術に対応できるようにしている。新型コロナウイルス感染症陽性及び擬陽性の患者の手術にも対応できるようにしている。

① 高度先進医療の施行

- a 内視鏡下手術：腹腔鏡、胸腔鏡、膀胱鏡、関節鏡、耳鼻科内視鏡、神経内視鏡
- b ロボット支援下手術：外科、産婦人科、泌尿器科、呼吸器外科
- c 大動脈瘤に対するステント留置術
- d O-arm 透視下に行う脊椎等の整形外科手術
- e 不妊症に対する産婦人科手術
- f 移植手術：腎移植、副甲状腺移植
- g 顕微鏡下手術：脳神経外科、耳鼻いんこう科、眼科、整形外科
- h ナビゲーション支援下手術：脳神経外科、耳鼻いんこう科
- i 脳死臓器提供手術

② 総合周産期母子医療センターの要望に応じ、手術決定後 30 分以内に娩出する超緊急手術に対応

③ 心臓病、肺疾患、肝疾患、腎疾患等重い合併症を有するハイリスク患者手術に対応

④ 研修機関病院として、研修医、医学生、看護学生、救命救急士等の見学や実習

⑤ 手術診療科 22（一般外科、小児外科、呼吸器外科、心臓外科・血管外科、移植外科、整形外科、脊椎外科、リウマチ科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、産婦人科（生殖医療）、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、泌尿器科、歯科口腔外科、循環器内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、救急科）

⑥ 手術室 16（バイオクリーン・ルーム 1 室、採卵室 1 室、ハイブリッド手術室 1 室、ダ・ヴィンチ手術室 1 室、内視鏡手術室 1 室）

⑦ 空気清浄度

- a クラス 100（1 室）：整形外科で使用
- b クラス 1000（1 室）：呼吸器外科、心臓外科・血管外科で使用
- c クラス 10000（14 室）

⑧ スタッフ 看護師 47 名（2 交代制で、夜勤者 2 名、待機 2 名体制）

また、2020 年 10 月より手術支援ロボットシステム（ダ・ヴィンチ）を 1 台増設し、2 台体制となった。2021 年度の主な実績としては、ロボット支援下手術を計 279 例、ハイブリッド手術を 31 例施行した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で全体の手術実施数は減少した。

（センター長 雄山 博文）

2. 活動報告

(1) 手術件数

診療科	件数(件)
一般外科	1,572
呼吸器外科	232
心臓血管外科	115
小児外科	116
移植外科	53
整形外科	1,391
リウマチ科	12
形成外科	6
脳神経外科	371
産婦人科	1,202
耳鼻いんこう科	400
皮膚科	53
泌尿器科	492
眼科	424
歯科口腔外科	396
生殖医療	283
内科	45
小児科	5
その他	5
計	7,173

麻酔別	件数(件)
全身麻酔	3,914
静脈麻酔	183
腰椎麻酔	1,126
局所麻酔	1,114
伝達麻酔	565
無麻酔	272
その他	0
計	7,174
(うち緊急手術)	1,111
割合	15.49%

(2) 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数

診療科及び術式	件数(件)
一般外科	622
うち、ロボット支援下直腸悪性腫瘍手術	5
うち、ロボット支援下胃悪性腫瘍手術	13
呼吸器外科	212
うち、ロボット支援下肺悪性腫瘍手術	14
小児外科	52
整形外科	53
リウマチ科	0
産婦人科	511
うち、腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術（先進医療）	0
うち、腹腔鏡下広汎子宮頸部摘出術（先進医療）	0
うち、ロボット支援下子宮悪性腫瘍手術	43
うち、ロボット支援下腔式子宮全摘出手術	145
泌尿器科	106
うち、ロボット支援下前立腺悪性腫瘍手術	34
うち、ロボット支援下腎悪性腫瘍手術	17
うち、ロボット支援下膀胱悪性腫瘍手術	8
その他	9
計	1,565

口唇口蓋裂センター

1. 概要

当センターは口唇口蓋裂を含む口腔の先天性疾患、顎発育異常等に対する治療を担当している。豊橋市内外から多くの患者の紹介を頂いており、院内の産婦人科、小児科からの紹介も多い。

口唇口蓋裂は長期の治療期間を要するため、出生してから成人するまでそれぞれの成長発育段階における様々な病態に合わせた治療を行っている。当センターでは出生直後より小児科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科をはじめ関連他科の協力を仰ぎながら治療を行っている。また院内はもとより、市中の医科歯科関連の医療施設と密接に連携を保ちながら、円滑に治療が進むよう当センターが中核となってその対応を行っている。一次症例だけでなく、他院で治療を受けた二次症例でも積極的に対応しており、外来初診症例数や入院症例数は、ともにほぼ例年通りの安定した患者数を維持している。

(センター長 嘉悦 淳男)

2. 活動報告

(1) 外来初診症例数

疾患名	件数(件)
唇(顎)裂	3
口蓋裂	7
唇顎口蓋裂	4
その他の唇顎口蓋裂	1
計	15

(2) 入院症例数

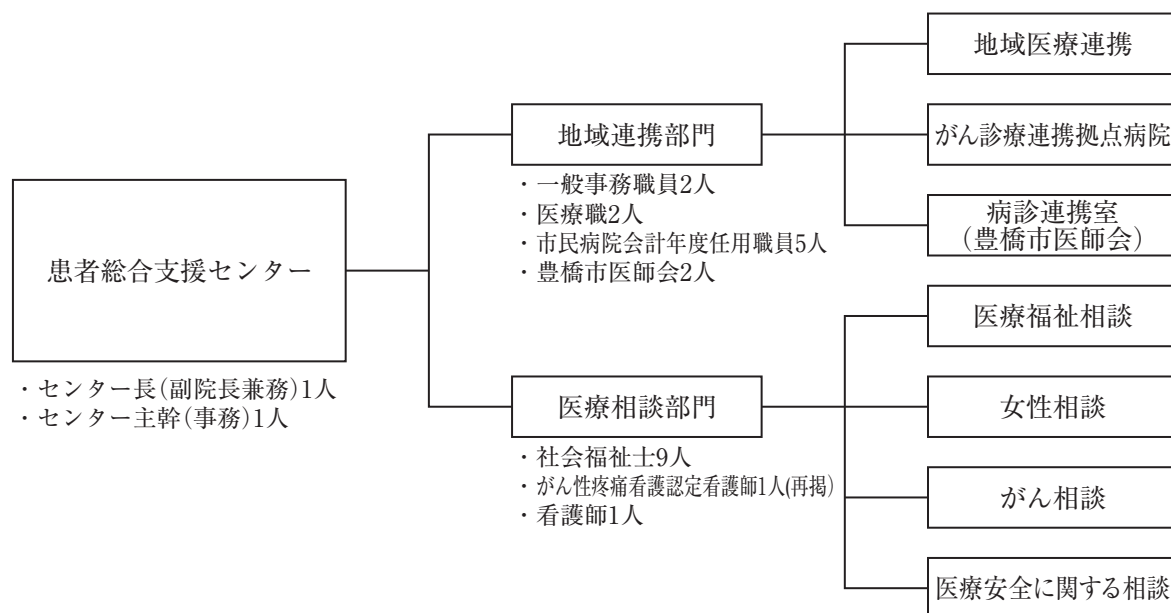
疾患名	件数(件)
唇(顎)裂	1
口蓋裂	4
唇顎口蓋裂	14
その他の唇顎口蓋裂	0
計	19

患者総合支援センター

1. 概要

患者総合支援センターは、患者に安心して治療を受けていただき、地域で快適な生活を送っていただくことを目指している。各種会議や診療所訪問等により地域のニーズを把握し、当院の状況をお伝えしたり、研修会を開催したりするなかで地域の医療機関や介護事業者と連携を図り、患者に効率的で質のよい医療を提供する「地域連携部門」と、ワンストップ相談窓口として、患者が抱える様々な課題に対して寄り添いながら課題解決のお手伝いをする「医療相談部門」で構成されている。

(センター長 雄山 博文)



2. 活動報告

(1) 地域連携部門

① 地域医療支援委員会

委員 29人(院外 17人、院内 12人)

第1回 令和3年 5月13日開催

第2回 令和3年 8月26日開催

第3回 令和3年11月11日開催

第4回 令和4年 2月10日開催

② 地域連携登録医登録者数

561人(令和4年3月末現在)

③ 豊橋市医師会・豊橋市民病院病診連携協議会

委員 8人(豊橋市医師会 2人、豊橋市民病院 6人)

事務局 4人(豊橋市医師会 1人、豊橋市民病院 3人)

(ア) 病診連携協議会

第87回病診連携協議会 令和3年5月28日開催

(イ) MCRフォーラム

第47回MCRフォーラム 令和3年9月8日開催

「高齢者の難聴・めまいの原因と対策」

参加人数 43人

第48回MCRフォーラム 令和4年2月9日開催

「難治性脊椎脊髄疾患への挑戦～臨床から基礎研究まで～」 参加人数 34人

(ウ) 病院・転床施設連携懇談会

第25回病院・転床施設連携懇談会 中止 (*関係施設へ資料配布)

令和2年度の転床入院実績報告

④ 紹介・逆紹介実績

(ア) 紹介・逆紹介率

紹介率	逆紹介率
77.9%	83.7%

(イ) 病診連携室取扱実績

内 訳			件数(件)
病診連携室経由の受診予約数	医 科	市 内	9,766
		市 外	3,131
	歯 科	市 内	1,155
		市 外	214
	保 健 所 保 健 セ ン タ ー		243
	そ の 他		51
	キ ャ ン セ ル		△ 464
	計		14,096
	時 間 外 (再 掲)		705
病診連携室経由の転院先状況	申 込 数		2,690
	内 訳	有 床 診 療 所	2
		病 院	1,725
		キ ャ ン セ ル	938
		転 院 予 約 中	25

(2) 医療相談部門

- ① 医療福祉相談件数 44,092件 *入退院支援センターの実績件数も含む。

病気やケガ等で生活上の課題を抱えた患者が安心して医療を受けられるよう、経済的なこと、在宅での療養や介護、転院先の選定などについて、地域の医療・福祉・介護等の関係機関と連携して、社会福祉士や看護師が支援を行っている。

- ② がん相談件数 1,662件

地域がん診療連携拠点病院指定を受けている当院は、がん相談支援センターを設置、国のがん専門相談員研修を修了した相談員ががんに関する情報提供や、療養生活、就労、がんゲノム、セカンドオピニオン等に関する相談支援を行っている。

- ③ 女性相談件数 21件

女性特有の悩みや受診先について女性看護職（助産師、看護師）が対応している。

- ④ 医療安全に関する相談件数 6件

入退院支援センター

1. 概要

入退院支援センターでは、予定入院の患者への入院前説明と、退院調整看護師が病棟ごとに担当している退院調整を統合し、患者さんが安心して入院生活を送り、退院後も地域で安心して生活するための支援を行っている。本年度より緊急入院患者への入院前説明を開始し、突然の入院に対する患者や家族の不安の軽減に努めた。また、新たに薬剤師も配置され持参薬の確認や、治療に伴う休薬説明など専門職がアセスメントしての説明を開始した。退院支援では、MSW（医療ソーシャルワーカー）と退院調整看護師がそれぞれ1名ずつ各病棟を担当し、医療的な課題と社会的な側面に対して柔軟に介入している。また、地域多職種とも連携して患者が住み慣れた地域で暮らせるよう、退院前カンファレンスを対面に限らずオンラインでも開催している。

入院支援、退院支援の業務は以下のとおりである。

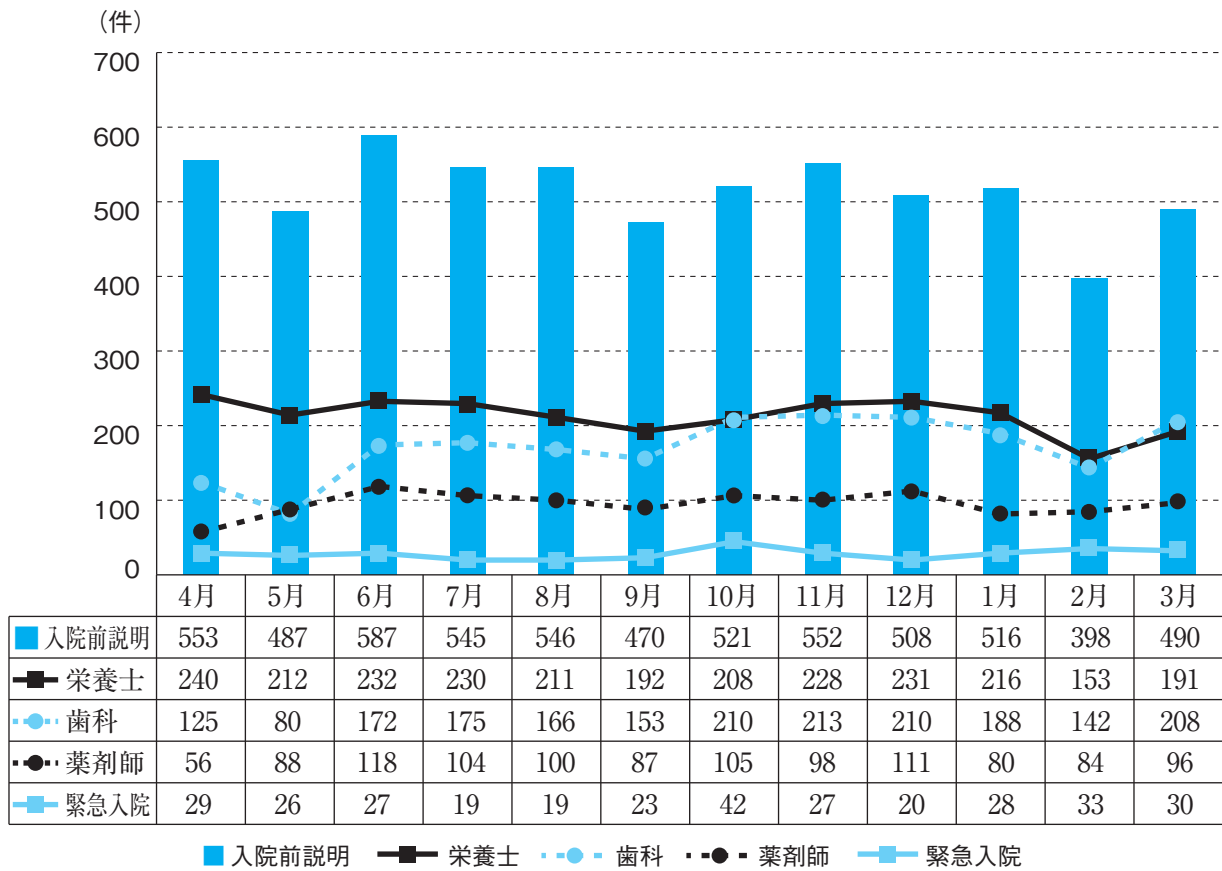
- ① 入院や手術に対して抱えている不安を少しでも軽減し、安心して入院・手術が受けられるように援助する。
- ② リスクのある患者をスクリーニングして安全に手術が受けられるようにする。
- ③ 退院困難要因のある入院患者に早期から介入し、その人らしい暮らしに戻れるよう支援する。
- ④ 院内外多職種との連携を図り、速やかな退院支援を展開する。
- ⑤ 退院前訪問、退院後訪問の実施、訪問看護ステーションとの連携を図る。

（センター長 間瀬 有奈）

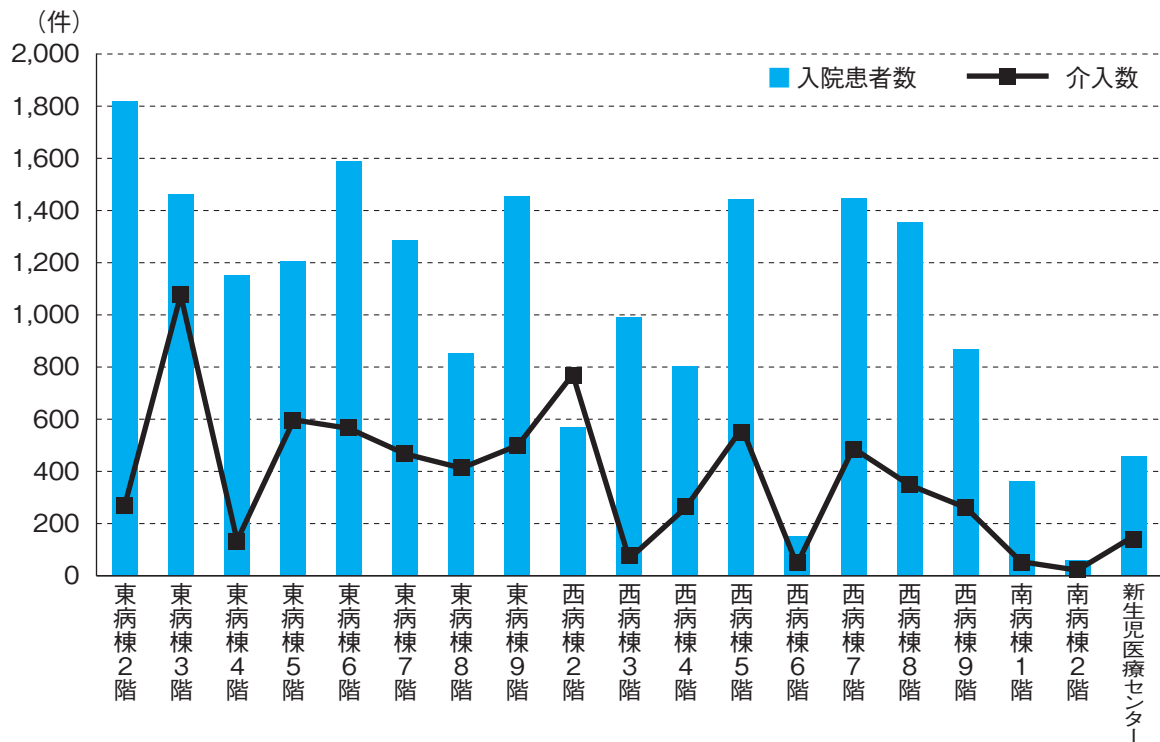
（文責 副センター長 伊藤 恵子）

2. 活動報告

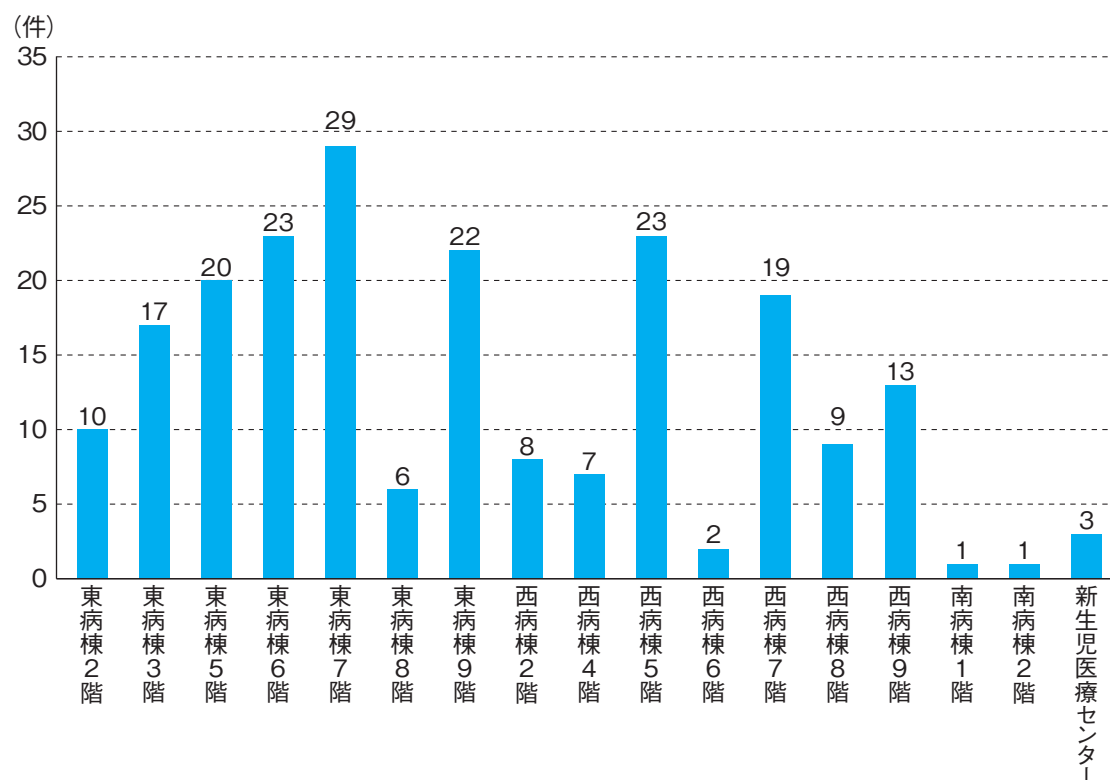
(1) 入院支援



(2) 退院支援



(3) 退院前カンファレンス



(4) 訪問実績

- ① 退院前訪問 13 件
- ② 退院後訪問 16 件
- ③ 外来患者の訪問指導 1 件

一次脳卒中センター

1. 概要

地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療救急医が患者搬入後、可及的速やかに診療（rt-PA 静注療法含む）を開始できる施設が地域医療に必要とされるため、一般社団法人日本脳卒中学会のPSC（Primary Stroke Center）として申請を行い、認定された。

これは、2016年に日本脳卒中学会と日本循環器学会が共同で作成した「脳卒中と循環器病克服5年計画」において充実した医療体制の構築を目的として、一定の施設要件を満たした医療機関を認定するものである。

毎週月曜日夕方、多職種による症例カンファレンスを行っている。毎週2-3例を取り上げて診断・治療・今後の方針等について検討している。

（センター長 岩井 克成）

診療技術局

1. 概要

診療技術局には、放射線技術室、中央臨床検査室、リハビリテーション技術室、臨床工学室、栄養管理室の5部門（7職種）で、医療関係の国家資格を有した約200名の職員によって構成されている。病院事業（診療・経営の質の向上）への貢献はもちろんのこと、医療技術職のステータスの向上と職種の垣根を越え、共通の方針、計画、施策の立案などにより、より効率的な運営に努めている。病院の方針の浸透と現場の意見からのボトムアップ、医療技術職の横断的意思疎通の促進がさらなる活性化につながると考えている。

新型コロナウイルス感染症拡大下でも感染予防に留意し集合的な研修会を徐々に再開し、「高校生職場見学会」についても規模を縮小し実施した。

東三河地域における当院の役割は、様々な勉強会や研修会を積極的に開催し、地域医療に貢献することである。また、コメディカルの医療レベルが現在の医療レベルに直結することと考え、業務を遂行したいと考えている。

（局長 森嶋 直人）

放射線技術室

1. 概要

放射線検査にかかわる診療放射線技師がタスクシフト / シェアによってどう変化するか考えさせられた1年であった。タスクシフト / シェアに向けた講習は順調に進んでいるものの、コロナ感染症の影響で実技研修を行えていない状況であるため、着実に遂行できるよう注視していくことが必要と思われる。また、医師からの検査補助依頼に対して積極的に受けることも重要で、それぞれが自らの能力を生かし、より能動的に対応できるようにする観点から、現行制度の下で実施可能な範囲において、実施可能な業務に対し早急に進める必要があると感じた。TV 室での検査について今まで使われていない時間枠に分散する提案がなされ実行した結果、時間枠の充足率が向上した。今後も時間枠について、効率の良い時間枠の組み直しを積極的に考えたい。地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修については、地域から受講者を迎えて行っている。対面での講習以外にもコロナ感染症蔓延のため来院できない受講者に対し Web 開催を行うなど工夫を行った。今後は受講内容の向上に努め、有意義な講習会にしたい。

(室長 島田 秀樹)

「在籍技師が取得している認定資格等」

資格	認定団体	資格	認定団体
第1種放射線取扱主任者	原子力安全技術センター・文部科学省	医学物理士	医学物理士認定機構
放射線管理士	日本放射線技師会	放射線治療専門放射線技師	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
放射線機器管理士	日本医療情報学会	放射線治療品質管理士	放射線治療品質管理機構
医療情報技師	日本放射線技師会	核医学専門技師	日本核医学専門技師認定機構
医療画像情報精度管理士	日本診療放射線技師会	核医学専門技術者	日本核医学技術学会
診療情報管理士	四病院団体協議会	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
医療安全管理者	日本病院会	乳腺甲状腺超音波診断委員会認定技師	日本乳腺甲状腺超音波診断会議
臨床実習指導教員	日本診療放射線技師会	乳房超音波	マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
X線作業主任者	安全衛生技術試験協会・厚生労働省	超音波検査士（健診）	日本超音波医学会
γ線透過写真撮影作業主任者	安全衛生技術試験協会・厚生労働省	超音波検査士（体表臓器）	日本超音波医学会
X線CT認定技師	日本X線CT専門技師認定機構	超音波検査士（消化器）	日本超音波医学会
血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師	日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構	医療被ばく相談員	日本放射線技師会
日本磁気共鳴専門技師	日本磁気共鳴専門技師者認定機構	小腸カプセル内視鏡読影支援技師	日本カプセル内視鏡学会
救急撮影認定技師	日本救急撮影技師認定機構		

2. 活動報告

(1) 放射線技術室実績

(件)

区分		令和3年度	令和2年度
一般撮影	頭部	2,860	2,833
	胸部	74,836	69,269
	腹部	13,521	12,209
	四肢	43,699	42,265
	椎体	16,249	16,803
	計	151,165	143,379
	骨塩量測定	2,283	2,208
	ポータブル	29,477	26,321

(件)

エコー室	単純	13,118	12,079
	造影	121	160
	計	13,239	12,239

(件)

C T	単純	29,487	28,754
	造影	18,496	17,806
	計	47,983	46,560

(件)

MR I	単純	11,424	10,042
	造影	5,167	5,623
	計	16,591	15,665

(件)

血管撮影	心臓	842	769
	頭頸部	275	266
	胸部	107	129
	腹部	152	210
	四肢	43	60
	計	1,419	1,434

(件)

TV	UGI（胃）	2,704	2,669
	CG（大腸）	46	93
	透視下内視鏡	1,374	1,269
	透視下検査・治療	2,193	2,274
	計	6,317	6,305

(件)

RI	核医学 SPECT	590	558
	核医学静態	194	127
	核医学動態	24	40
	核医学全身	312	379
	PET/CT	1,073	1,082
	計	2,193	2,186

(件)

放射線治療	体外照射	11,982	12,610
	定位照射	467	409
	腔内照射	94	82
	IMRT	3,067	2,606
	全身照射	29	26
	計	15,639	15,733

(2) 令和3年度 豊橋市民病院放射線技術研修会

	演題名	演者名	年月日
第1回	救急CT読影補助	磯部 晃	2021年6月4日
第2回	IMRT治療計画者への道	加藤 貴昭	2021年6月10日
第3回	失敗画像からのパラメータ調整	喜多 和真	2021年6月18日
第4回	胃透視基準撮影法2の説明と大腸X線検査について	西川 宗範	2021年6月24日
第5回	マンモグラフィと乳腺エコーの対比	堀川 智加	2021年7月8日
第6回	DRLs 改定から考えるプロトコル変更	小寺 祐貴	2021年7月16日
第7回	コニカ FPD の物理特性 ～入出力特性の評価～	澤根 康裕	2021年7月29日
第8回	臨床画像に潜む SPECT・PET 画像のアーチファクトを 知ろう！	加藤 豊大	2021年8月6日
第9回	救急 CT 読影補助 パート 2	磯部 晃	2022年1月14日
第10回	失敗画像からのパラメータ調整 パート 2	喜多 和真	2022年1月21日

中央臨床検査室

1. 概要

2021年4月から室長が変わり新体制の中央臨床検査室が始まった。今まで継続してきた「ISO15189：臨床検査における国際規格」も二度の定期審査を経て、2022年度には初の更新を迎えることになる。今後も質の高い検査結果を提供できるように取り組んでいきたい。

新型コロナウイルス感染症の対応として発熱外来の業務に加え、5月からは入院前の検体採取を行うなど、院内クラスターを発生させないよう検査室として最大限の努力を続けている。

2020年度では、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う患者数の減少による検査件数の減少が見られたが、2021年度は患者数が徐々に増加し、検査件数も回復傾向になった。

今後、がんゲノム医療や医師の働き方改革などに柔軟に対応し、病院運営に寄与していきたいと考える。

(室長 内田 一豊)

「在籍技師が取得している認定資格」

認定資格名称	認定団体及び学会	認定資格名称	認定団体及び学会
認定血液検査技師	日本検査血液学会	超音波検査士（体表臓器領域）	日本超音波医学会
骨髄検査技師	日本検査血液学会	認定心電検査技師	日本心電学会
認定サイトメトリー技術者	日本サイトメトリー技術者認定協議会	ソノグラファー	日本リウマチ学会
認定臨床微生物検査技師	日本臨床微生物学会	専門技師（脳波分野）	日本臨床神経生理学会
感染制御認定臨床微生物検査技師	日本臨床微生物学会	体外受精コーディネーター	日本不妊カウンセリング学会
認定輸血検査技師	認定輸血検査技師制度協議会	認定臨床エンブリオロジスト	日本臨床エンブリオロジスト学会
認定病理検査技師	日本臨床衛生検査技師会	生殖補助医療胚培養士	日本卵子学会
細胞検査士	日本臨床細胞学会	糖尿病療養指導士	日本糖尿病療養指導士認定機構
超音波検査士(循環器領域)	日本超音波医学会	栄養サポートチーム専門療法士	日本臨床栄養代謝学会
超音波検査士(健診領域)	日本超音波医学会	遺伝子分析科学認定士	日本臨床検査医学会
超音波検査士(消化器領域)	日本超音波医学会	緊急臨床検査士	日本臨床検査医学会
超音波検査士(血管領域)	日本超音波医学会	認定認知症領域検査技師	日本臨床衛生検査技師会

2. 活動報告

(1) 検査実施件数

(件)

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
院内検査実施件数	6,061,650	5,675,045	5,864,465
委託検査件数	138,033	117,980	124,482
検査判断料件数	441,231	413,593	428,770
輸血管理料 1	2,927	2,984	2,889
外来迅速検体検査加算件数	270,760	262,950	271,492
病理診断管理加算	14,765	13,485	15,096
検体検査管理料加算 I 件数	117,561	107,884	112,467
入院時初回加算件数	12,682	12,495	13,291
時間外緊急院内検査加算件数	10,345	9,614	11,463
採血加算件数	110,025	105,521	111,175

(2) 検査判断料件数

(件)

区 分		令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
尿・糞便等検査判断料	外来	21,665	20,187	19,029
	入院	5,332	4,726	3,567
血液学の検査判断料	外来	99,542	96,734	100,174
	入院	16,782	16,622	18,194
生化学の検査（Ⅰ）判断料	外来	99,551	96,972	100,074
	入院	17,192	16,622	18,261
生化学の検査（Ⅱ）判断料	外来	29,309	26,257	26,286
	入院	6,348	5,629	5,235
免疫学の検査判断料	外来	79,903	73,222	76,635
	入院	16,273	15,714	17,215
微生物学の検査判断料	外来	18,529	11,577	11,623
	入院	6,817	7,216	7,758
病理学の検査判断料	外来	2,496	2,356	2,176
	入院	40	42	31
呼吸機能検査等判断料	外来	4,060	3,567	4,273
	入院	552	553	664
脳波検査判断料	外来	984	1,040	1,046
	入院	813	797	1,043
神経・筋検査判断料	外来	391	391	406
	入院	142	173	225
組織診断料	外来	5,565	5,062	5,948
	入院	4,705	4,442	4,855
細胞診断料	外来	2,855	2,635	2,880
	入院	1,385	1,286	1,172

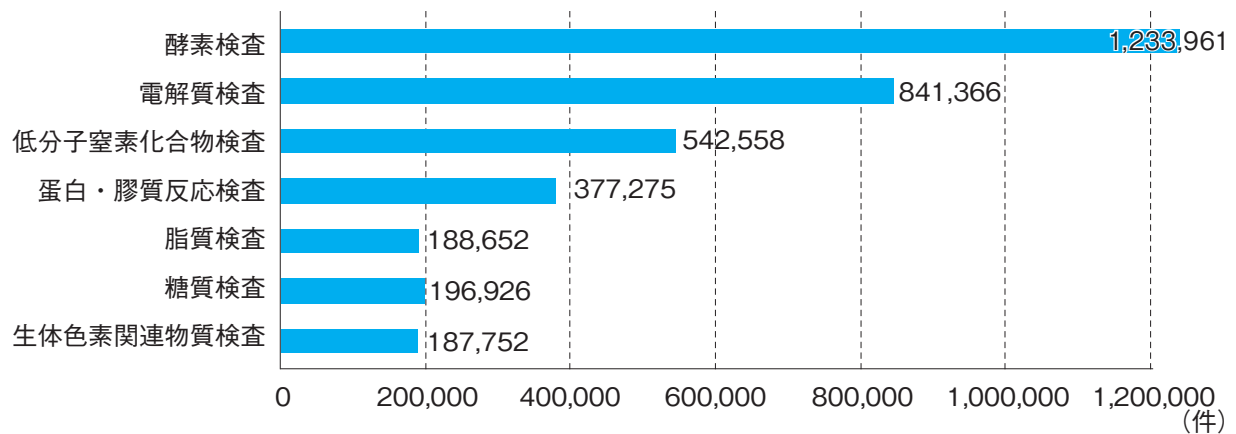
(3) 部門別実績

(件)

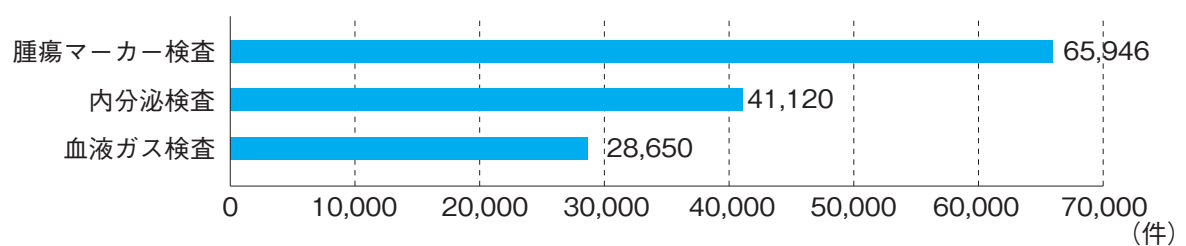
部門	令和3年度	令和2年度	令和元年度
尿・糞便等検査	126,666	115,028	114,758
血液学的検査	994,911	943,951	964,170
生化学的検査	4,243,878	3,996,756	4,134,904
免疫学的検査	460,336	394,268	401,115
微生物学的検査	92,663	88,586	95,932
輸血関連検査	54,719	55,904	65,761
生理機能学的検査	61,912	57,306	63,443
病理学的検査	25,829	22,503	23,565
生殖医療学的検査	736	743	817

(4) 生物化学分析検査

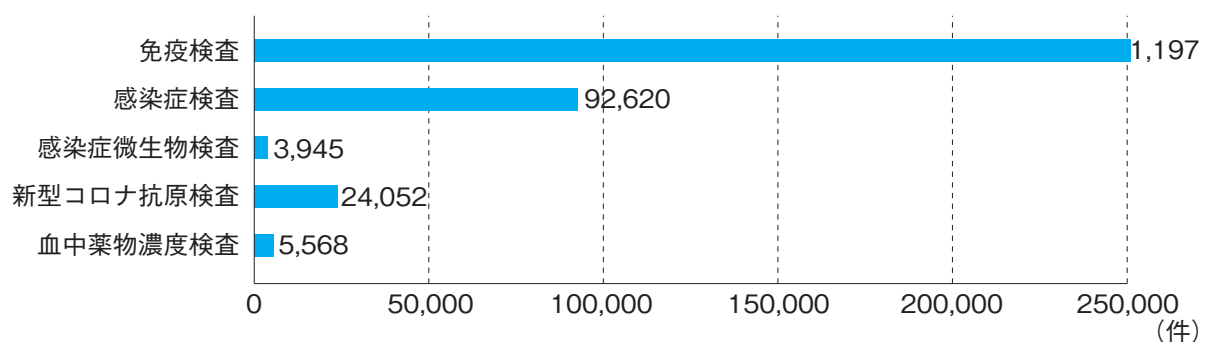
①生化学検査（Ⅰ）検査実績



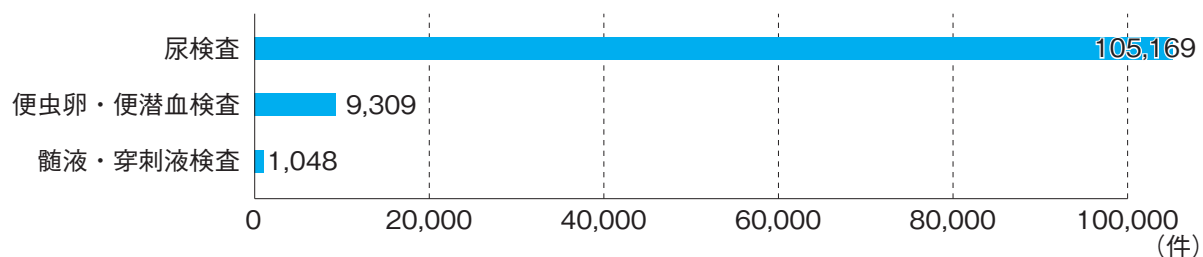
②生化学検査（Ⅱ）・血液ガス検査実績



③免疫学的・薬物検査実績



④一般検査実績



⑤患者検査説明業務実績

(件)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
患者検査説明業務	876	818	914

患者説明業務とは、蓄尿、糖負荷検査（OGTT）、生理検査などの検査方法を患者に対して説明する業務である。

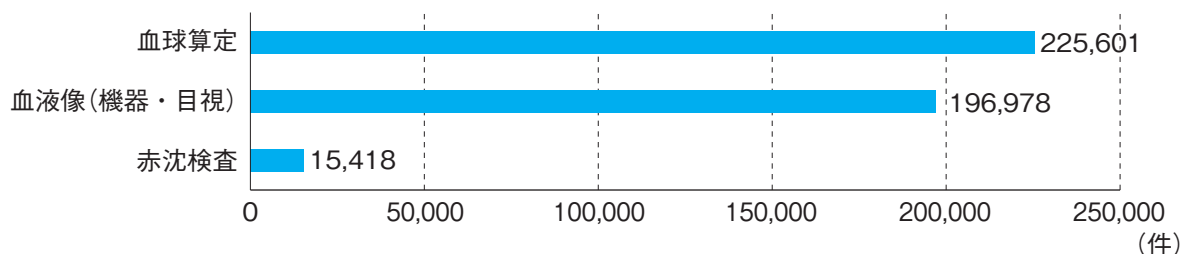
●説明検査項目

尿検査など：蓄尿・酸性蓄尿・糖負荷検査 OGTT・クレアチニンクリアランス・早朝尿

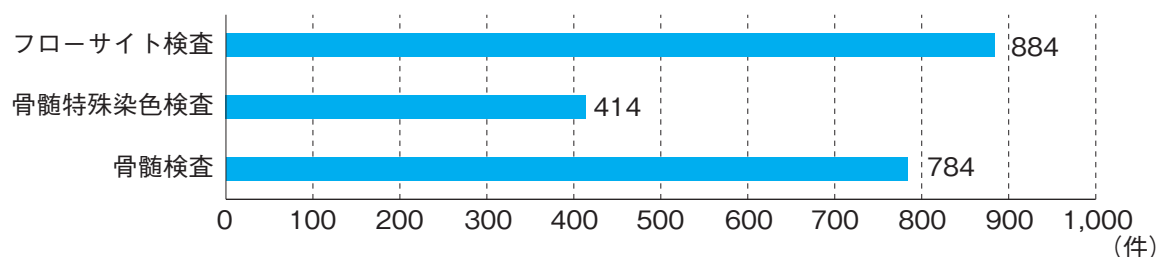
生理検査：超音波検査・ホルター心電図・トレッドミル・24時間血圧測定・負荷サーモグラフィー・吸入誘発試験・脳波・聴性脳幹反応・終夜睡眠ポリグラフィー

⑥血液学的検査 検査実績

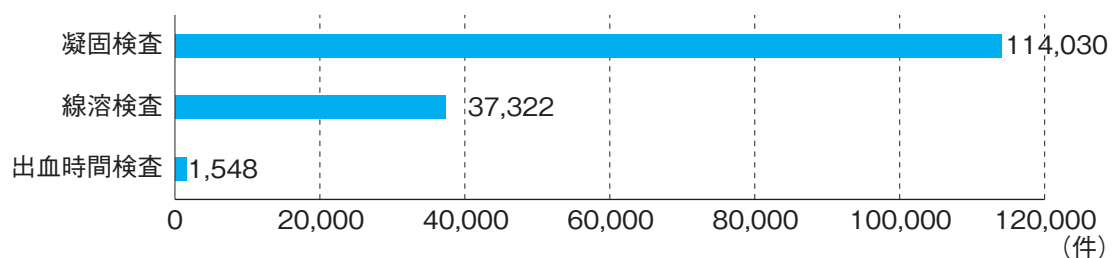
(ア)血液検査



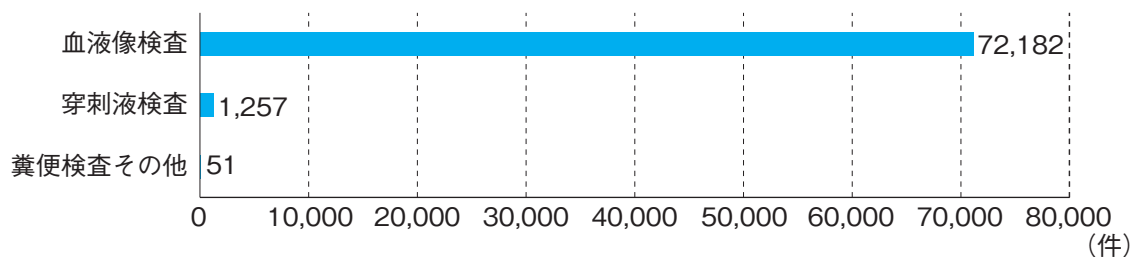
(イ)骨髓検査



(ウ)凝固・線溶検査



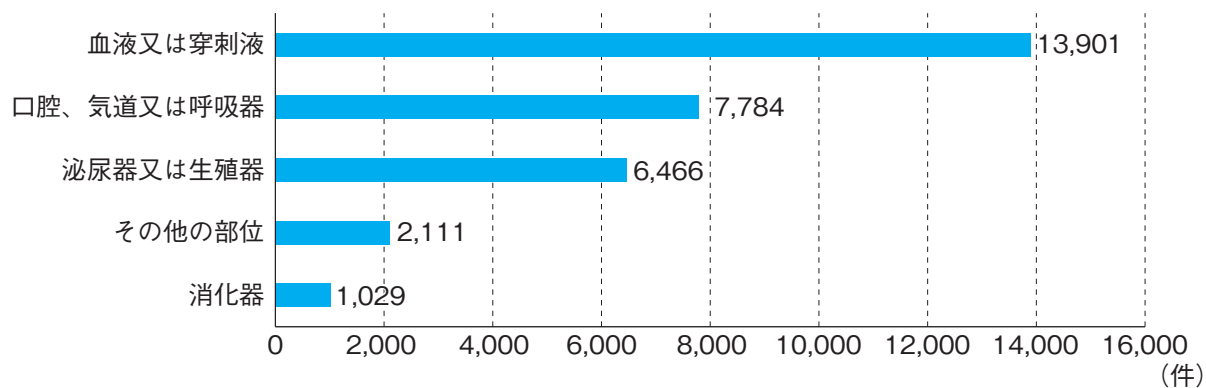
⑦顕微鏡検査 検査実績



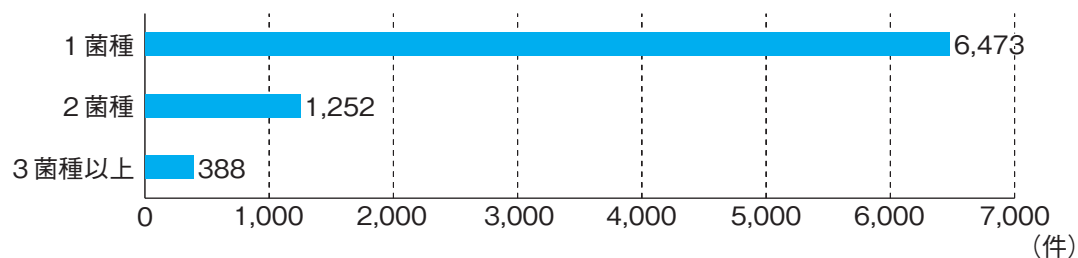
(5) 微生物・感染制御検査

①一般細菌

(ア)培養同定検査実績

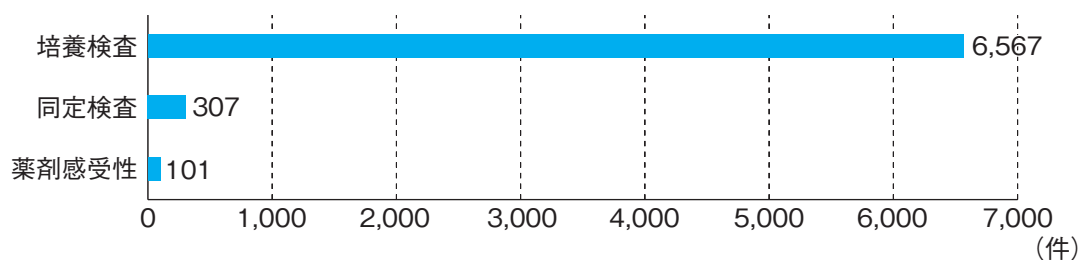


(イ)薬剤感受性検査実績

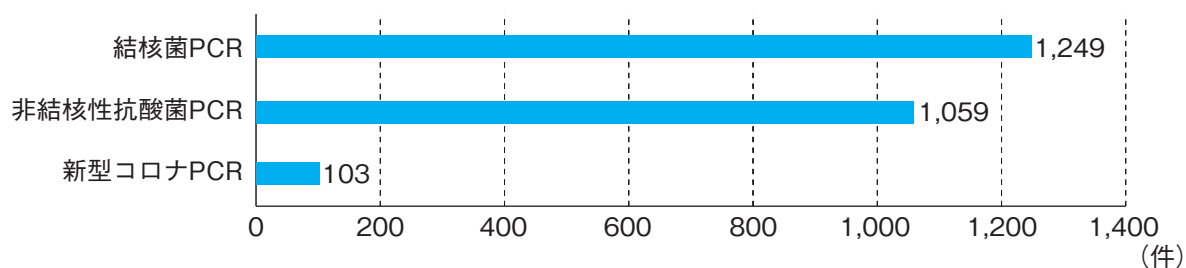


②抗酸菌

(ア)培養同定検査実績

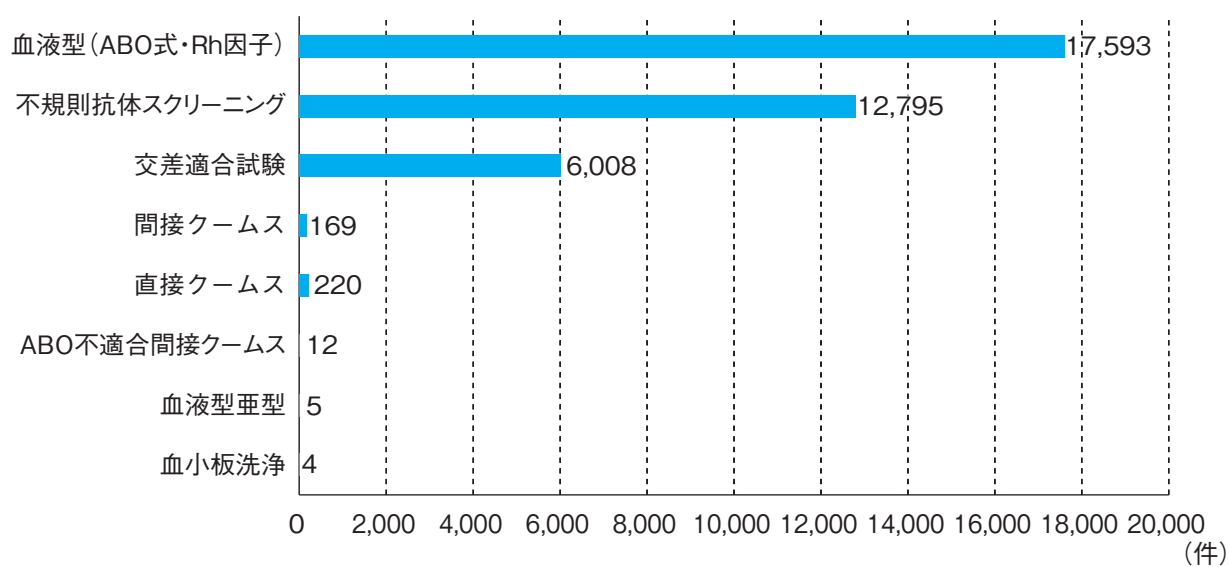


(イ)遺伝子検査(PCR)実績

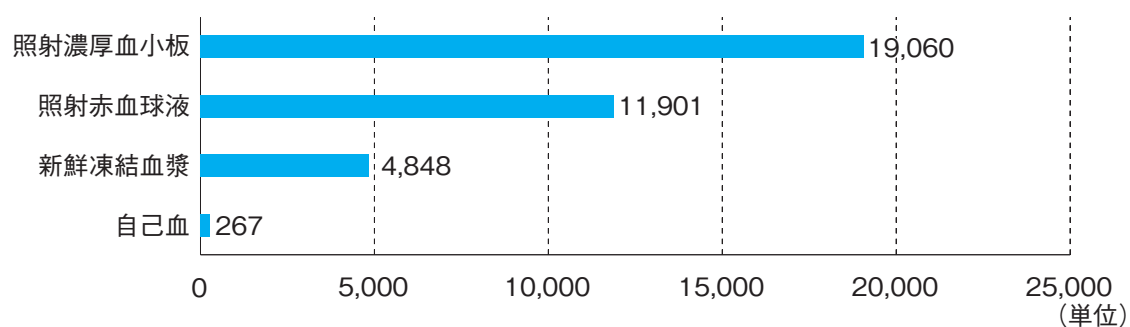


(6) 輸血移植・救命救急検査

①輸血関連検査実績



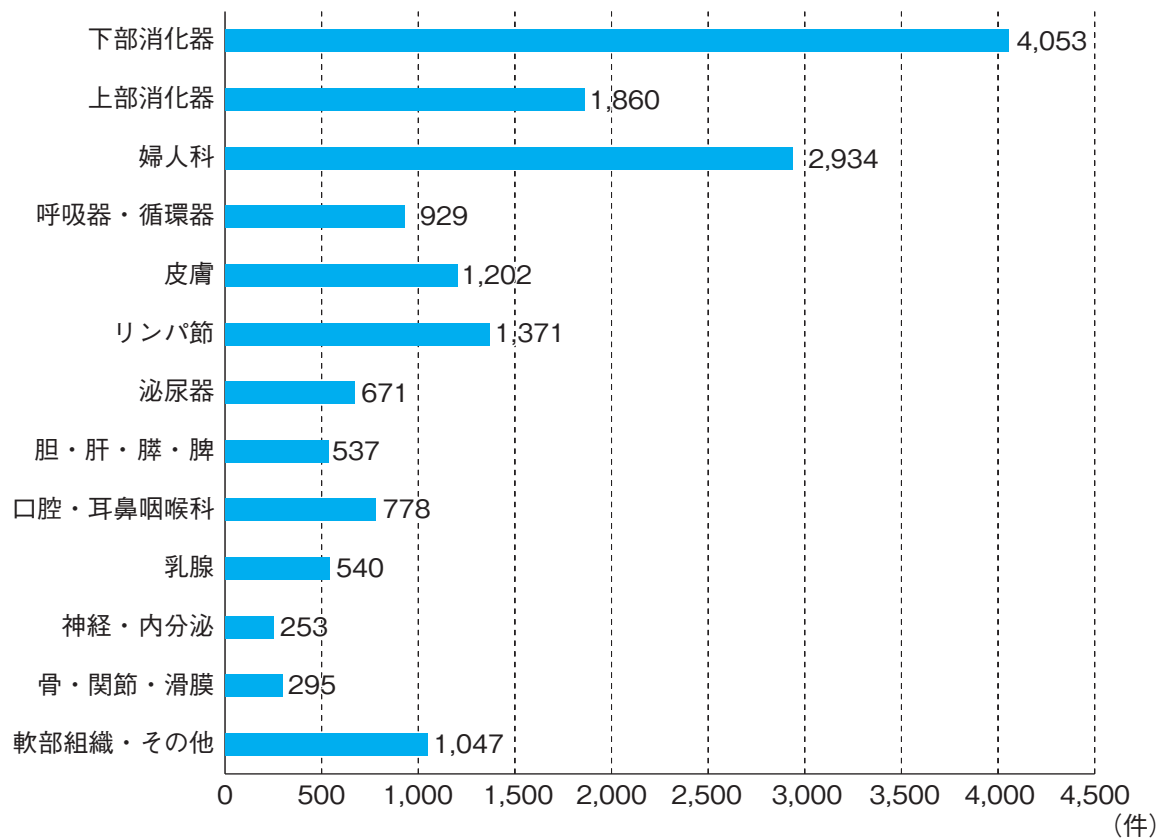
②血液製剤使用状況



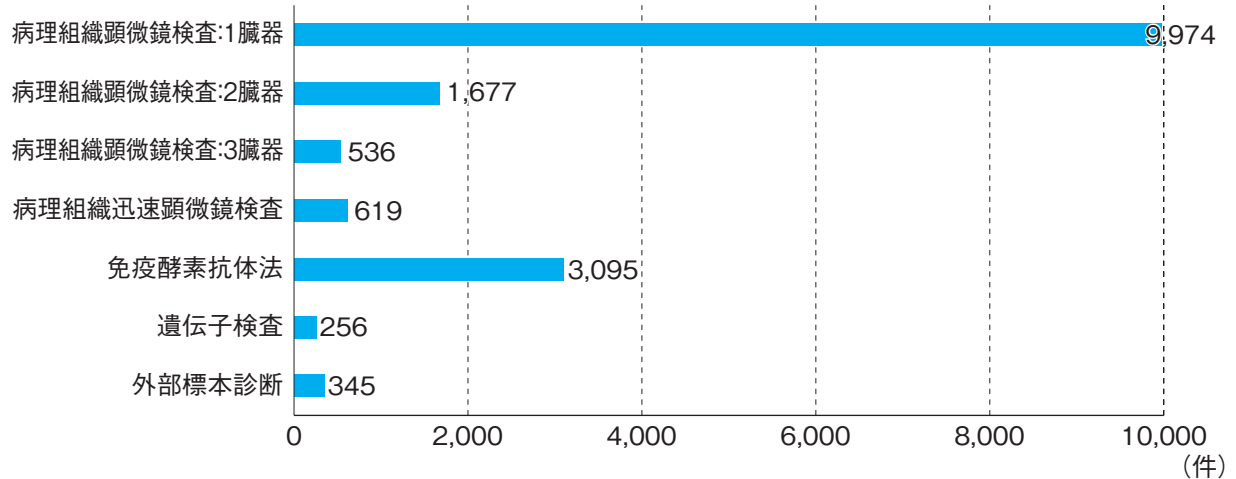
(7) 病理・細胞形態検査

①病理学的・細胞診検査実績

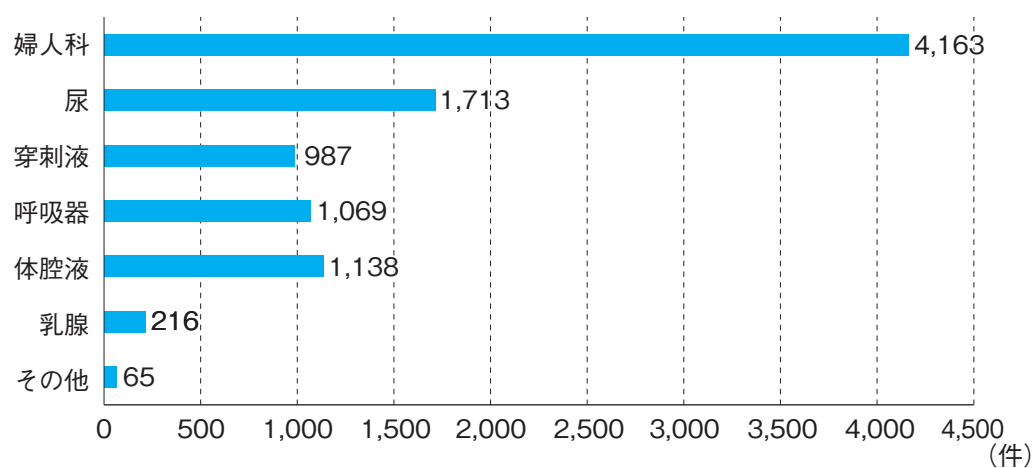
(ア)病理組織検査材料別件数



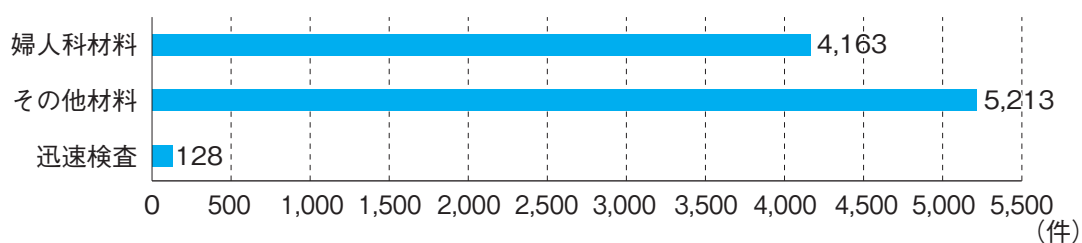
(イ)病理組織検査件数



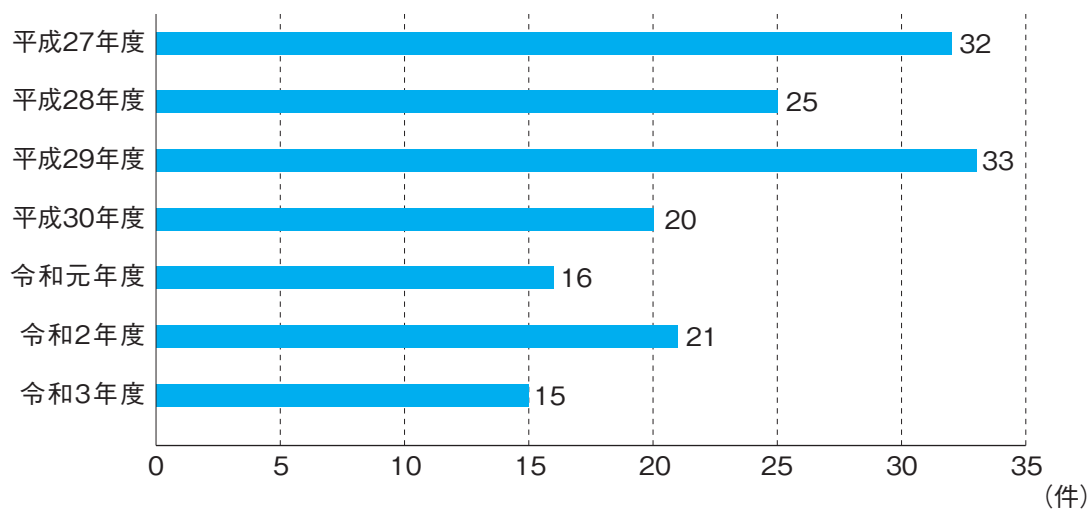
(ウ)細胞診検査材料別件数



(エ)細胞診検査件数



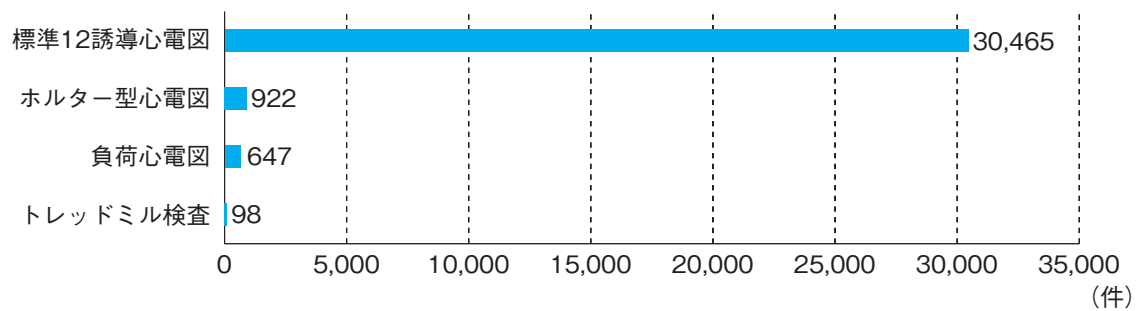
②病理解剖件数



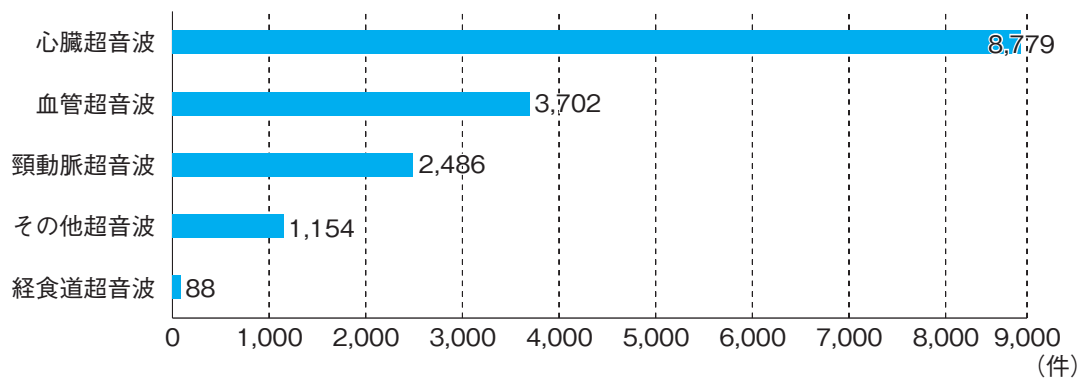
(8) 生理機能・生殖医療検査

①生理機能・画像検査 検査実績

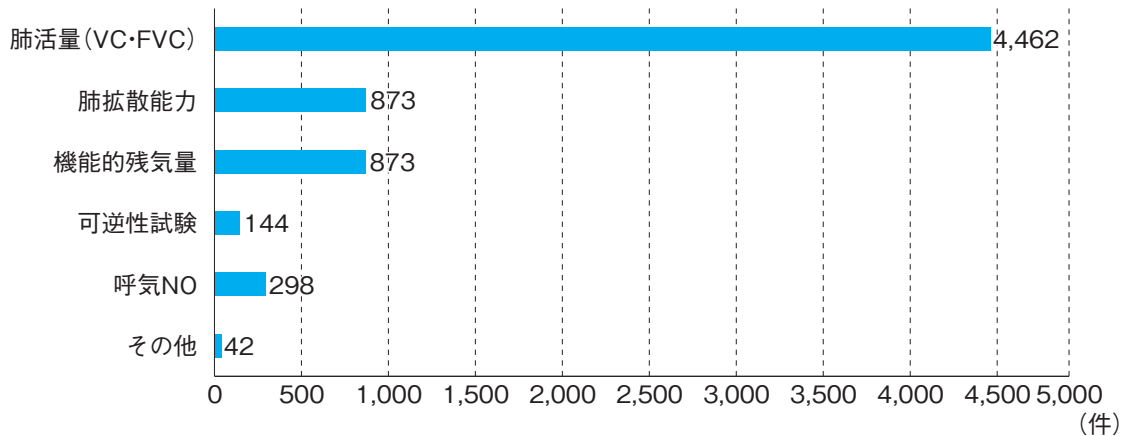
(ア)心電図検査実績



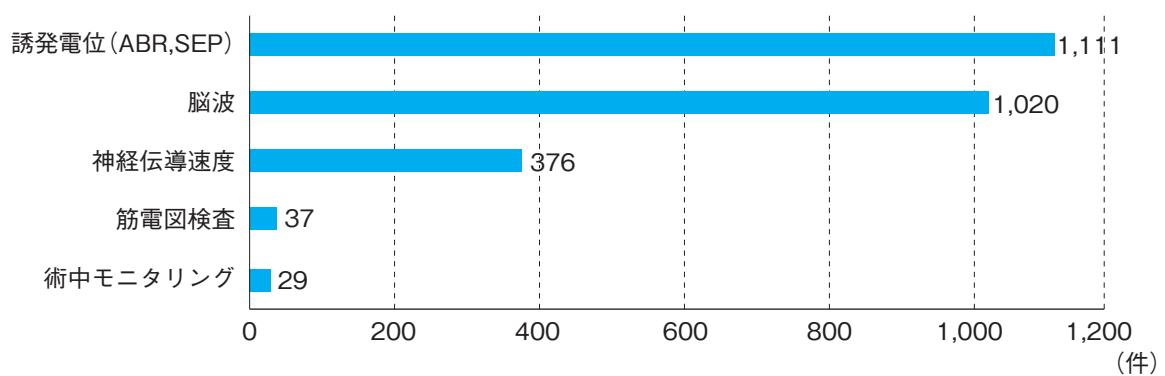
(イ)超音波検査実績



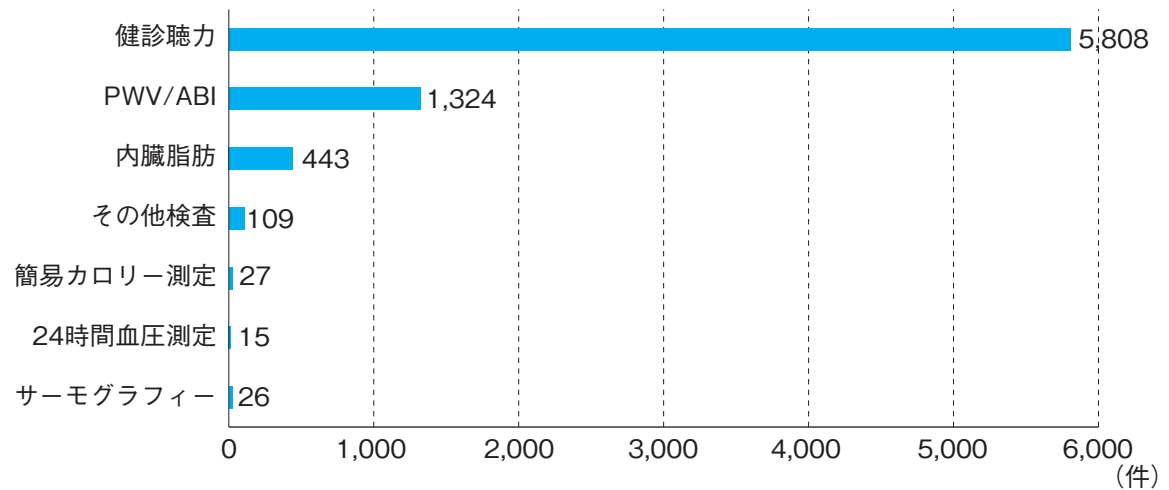
(ウ)肺機能検査実績



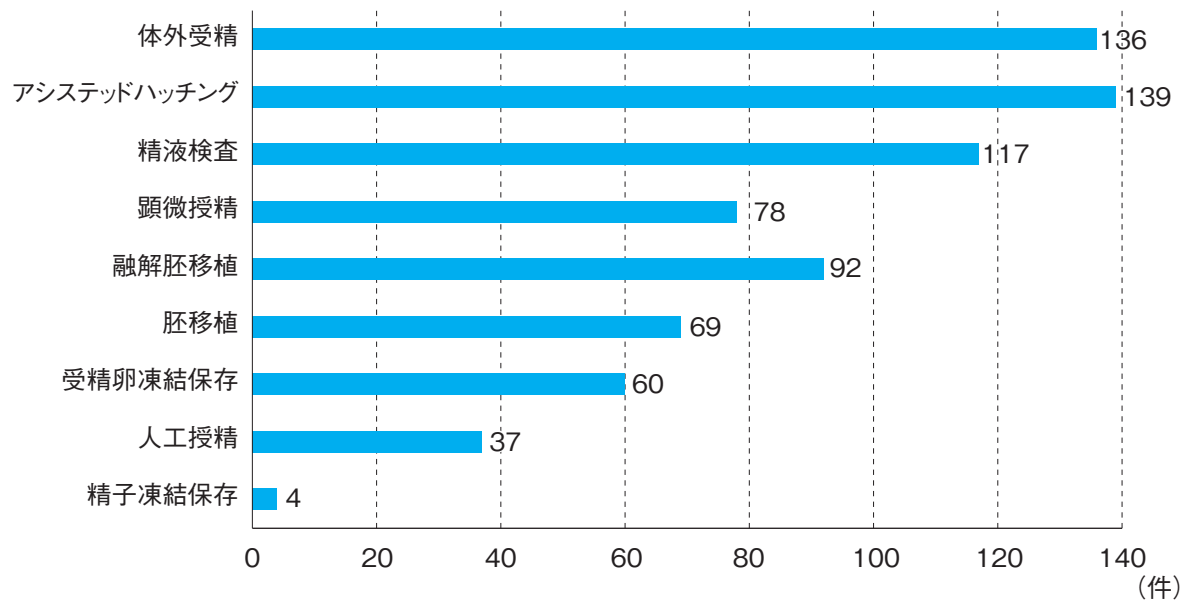
(エ)脳・神経検査実績



(オ)その他検査実績



②生殖医療関連検査実績



リハビリテーション技術室

1. 概要

リハビリテーション技術室は理学療法1・2部門、病棟部門、作業療法部門、言語療法部門より構成される。運動器・脳血管・呼吸・心大血管・がん患者を対象に総合的にリハビリテーションが実施できるよう施設基準を有している。2018年3月からはADL維持向上等体制加算を取得し、2020年3月から病棟を増やし東病棟5階と西病棟6階の2病棟で療法士による病棟専従化を行っている。一方、早期リハビリテーションとして2019年5月からチームの一員として特定集中治療室での早期離床・リハビリテーション加算に関する業務の一端を担っている。さらに栄養、呼吸、褥瘡、認知症、排尿ケア、嚥下等のチーム医療にも積極的に参加している。

1987年より開始した地域病院間のリハビリテーション連絡会は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が所属する施設で構成され、各機能別施設における専門分野からの情報提供や症例検討を行っている。病診や病病連携一体のシステムは、27施設を数え、リハビリテーション分野からの市民サービスの充実を図っている。

2021年度は新型コロナウイルス蔓延化の影響と産育休取得者増加による実職員減少影響を受け実施患者数は減少しているが、コロナウイルス陽性患者に対する理学療法を積極的に行っており、感染症対応病院におけるリハビリテーション機能を果たしている。

(室長 森嶋 直人)

2. 活動報告

(1) 外来入院別単位数

延べ患者件数は116,519件、その内訳として理学療法72,135件、作業療法27,868件、言語療法16,516件であった。

(件)

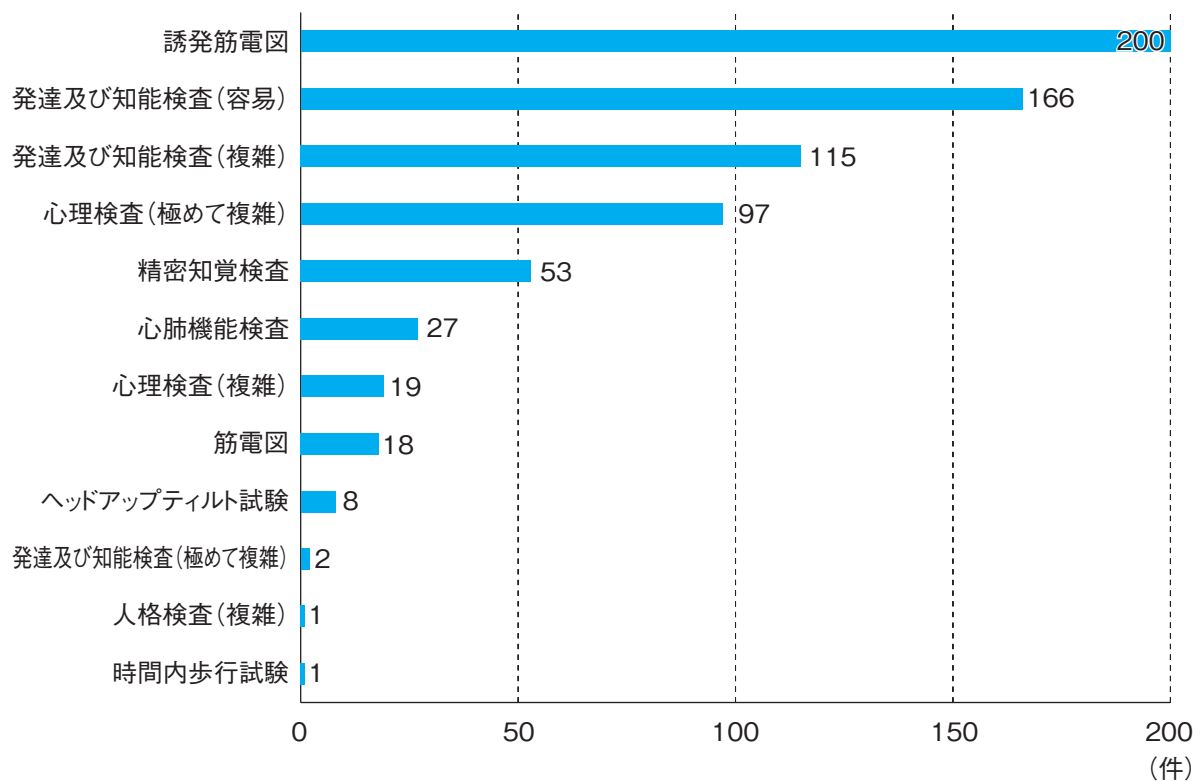
内 容	入外	令和3年度	令和2年度	令和元年度
理学療法	入院	67,980	67,635	72,703
	外来	4,155	4,891	7,158
作業療法	入院	24,785	25,690	25,956
	外来	3,083	2,009	3,407
言語療法	入院	15,282	15,464	17,145
	外来	1,234	1,600	2,660
小計	入院	108,047	108,789	115,804
	外来	8,472	8,500	13,225
合計		116,519	117,289	129,029

(2) 疾患別件数

大分類疾患		代表的小分類疾患	
①脳疾患	1,264 件	ア) 脳梗塞	615 件
		イ) 脳出血	202 件
		ウ) くも膜下出血	73 件
		エ) 小脳出血・小脳梗塞	20 件
		オ) 頭部外傷	101 件
		カ) パーキンソン病	3 件
		キ) その他	250 件
②脳性麻痺	3 件		
③発達障害	150 件		
④脊髄疾患	90 件	ア) 脊髄損傷	26 件
		イ) 脊髄症	64 件
⑤神経疾患	275 件	ア) 顔面神経麻痺	77 件
		イ) 多発神経炎	23 件
		ウ) 変性疾患	87 件
		エ) その他	88 件
⑥先天性異常	7 件		
⑦骨疾患	515 件	ア) 上肢骨折	20 件
		イ) 下肢骨折	300 件
		ウ) 脊椎骨折	52 件
		エ) 脊椎症	51 件
		オ) 脊柱靱帯骨化	3 件
		カ) 無腐性壊死	5 件
		キ) 椎間板疾患	32 件
		ク) その他	52 件
⑧関節疾患	171 件	ア) 変形性関節症	95 件
		イ) 膝内障	30 件
		ウ) 肩関節疾患	2 件
		エ) 筋腱断裂	0 件
		オ) その他	44 件
⑨関節リウマチ	16 件		
⑩切断	21 件		
⑪手の外傷	72 件		
⑫筋疾患	23 件		
⑬循環器疾患	575 件	ア) 心筋梗塞	73 件
		イ) 心不全	363 件
		ウ) 狭心症	28 件
		エ) その他循環器疾患	111 件
⑭呼吸器疾患	905 件	ア) 肺炎	237 件
		イ) 誤嚥性肺炎	221 件
		ウ) 間質性肺炎	119 件
		エ) COPD	52 件
		オ) その他呼吸器疾患	276 件

⑮腫瘍		ア) 頭頸部	85 件
		イ) 甲状腺	5 件
		ウ) 食道	49 件
		エ) 胃	80 件
		オ) 大腸	117 件
		カ) 肝臓	48 件
		キ) 胆道系	34 件
		ク) 膵臓	84 件
		ケ) 肺	257 件
		コ) 骨	7 件
		サ) 乳腺	72 件
		シ) 婦人科	24 件
		ス) 泌尿器	42 件
		セ) 脳腫瘍	95 件
		ソ) 小児腫瘍	0 件
		タ) 造血器	227 件
		チ) その他の腫瘍	33 件
⑯その他	1,240 件	ア) 廃用症候群・運動器不安定症	92 件
		イ) その他	1,148 件

(3) リハビリテーションセンター内検査実施状況



臨床工学室

1. 概要

臨床工学室は病院理念と基本方針に基づき、市民の財産である院内の医療機器を安全且つ良好な状態で臨床提供を行い、公共性と経済性を考慮し効率的な運用を行っている。

生命維持管理装置を用いた手術、治療支援並びにそれに付帯する一切の医療安全業務に携ることが使命である。人員は正規職員 23 名、パート職員 3 名、事務職員 1 名で、医療機器安全管理グループ、血液浄化センターグループ、生命維持装置管理グループの 3 グループ体制としている。

医療機器管理グループでは、医療機器安全管理責任者の下に医療機器の保守管理計画、研修計画及び研修実施記録管理、更新・増設・廃棄業務支援を行っている。地域医療連携においては主治医を中心に、在宅で医療機器を使用する患者・家族への操作指導や退院後のフォローも行っている。多職種間の密な連携協力や計画的な研修・カンファレンスを行いながら、患者の安全・安心を第一に考えた医療技術の提供と診療支援に努めている。また、近年のコロナ禍では重症化した感染症への人工呼吸器の対応、血液透析といった治療にも貢献している。

血液浄化センターグループでは、一般的な血液透析から特殊血液浄化全般までを臨床工学技士と看護師で協働して対応している。基幹病院として、近隣病院より手術目的で紹介される患者の受け入れや、より重篤な透析患者の入院透析を中心に対応している。

生命維持管理装置といった高度医療機器の多くは手術センターで主に使用されている。そのため生命維持装置管理グループは、2017 年から手術センターに常駐の臨床工学技士として配置し、医師のサポート、医療機器の適正使用に貢献している。

手術支援ロボット、ダ・ヴィンチについては、2013 年 10 月に泌尿器科領域から開始し、その後、外科、婦人科、呼吸器外科領域に適応が拡大された。2019 年 4 月からは手術支援ロボット、ダ・ヴィンチ専用の手術室が増設、2020 年からは手術支援ロボット、ダ・ヴィンチの 2 台体制となり、コロナ禍の影響もあったが臨床工学技士の年間立ち合い件数は、2020 年度の 281 件から 2021 年度 321 件と年々増加し、先進医療に貢献している。

(室長 森嶋 直人)

(文責 室長補佐 後藤 成利)

「在籍技士が取得している認定資格等」

認定資格名称	認定団体及び学会	認定資格名称	認定団体及び学会
臨床ME専門認定士	日本生体医工学会 日本医療機器学会	透析技術認定士	日本透析医学会 4学会透析療法合同専門 委員会認定資格
体外循環技術認定士	日本人工臓器学会 日本体外循環技術医学会 日本心臓血管外科学会他 日本心臓血管外科学会	呼吸療法認定士	日本呼吸器学会 日本麻酔科学会 日本胸部外科学会
第1種ME技術者	日本生体医工学会	特定高圧ガス取扱主任者	高圧ガス保安協会
第2種ME技術者	日本生体医工学会	第一種衛生管理者免許	厚生労働大臣指定安全 衛生技術試験協会
院内移植コーディネータ	愛知県 愛知腎臓財団	医療安全認定コーチ： MCCS	国際医療リスクマネー ジメント学会
医療安全管理者	日本病院会	認定血液浄化関連臨床 工学技士	日本臨床工学技士会
認定集中治療関連臨床 工学技士	日本臨床工学技士会	認定医療機器管理関連 臨床工学技士	日本臨床工学技士会
埋め込み型心臓デバイ ス認定士	日本不整脈心電学会	手術室関連専門臨床工 学技士	日本臨床工学技士会

2. 活動報告

(1) 治療手術業務件数 緊急血液浄化・血液成分分離・末梢血幹細胞採取数

(件または回)

区分 内訳	令和3年度	令和2年度	令和元年度
血液浄化療法（HD、HDF、HF、ECUM、PE は血液浄化センターでの施行症例を除く）			
症例件数合計	95	128	96
血液浄化回数合計	242	332	242
HF件数	75	78	62
HF回数	210	194	155
ECUM件数(単独)	1	2	7
ECUM回数	2	2	9
CHD件数	0	0	0
CHD回数	0	0	0
小児CHD件数	9	20	7
小児CHD回数	16	33	13
CHDF件数	2	0	0
CHDF回数	2	0	0
CHF件数	0	0	0
CHF回数	0	0	0
PE件数（HD+PEを含む）	4	18	12
PE回数	5	77	43
小児PE件数	0	0	1
小児PE回数	0	0	1
CPE件数	4	8	4
CPE回数	7	22	12
DFPP件数	0	1	3
DFPP回数	0	3	9
免疫吸着件数	0	0	0
免疫吸着回数	0	0	0
LDL吸着件数	4	4	1
LDL吸着回数	43	31	3
薬物吸着件数	0	3	0
薬物吸着回数	0	16	0
ET吸着件数	0	0	1
ET吸着回数	0	0	5
L-CAP件数	0	1	0
L-CAP回数	0	1	0
G-CAP 件数	0	0	0
G-CAP 回数	0	0	0
L-CAP 件数	0	1	5
L-CAP 回数	0	6	36
G-CAP 件数	8	1	2
G-CAP 回数	62	10	13

末梢血幹細胞採取・骨髄移植関連			
症例件数合計	17	18	18
施行回数合計	21	22	26
PBSC成人件数	10	12	13
PBSC成人回数	12	15	19
PBSC小児件数	0	0	1
PBSC小児回数	0	0	2
健常人 ドナーPBSCH件数	2	2	1
健常人 ドナーPBSCH回数	4	3	2
健常人 ドナーリンパ球採取件数	0	2	1
健常人 ドナーリンパ球採取回数	0	2	1
骨髄濃縮件数	5	2	2
骨髄濃縮回数	5	2	2
顆粒球採取件数	0	0	0
顆粒球採取回数	0	0	0
白血球採取件数	0	0	0
白血球採取回数	0	0	0
その他			
腹水濾過濃縮再静注業務症例数	18	28	29
腹水濾過濃縮再静注業務回数	27	67	95

(2) 人工心肺、補助循環、手術支援業務件数

(件または回)

区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
人工心肺装置業務（開心術）			
成人人工心肺症例数	24	28	32
Off Pump CABG 手術立会い症例数	1	2	1
小児人工心肺症例数	0	0	0
計	25	30	33
補助人工心肺装置管理業務			
V-A ECMO 症例数	5	16	8
V-V ECMO 症例数	0	0	0
計	5	16	8
手術支援業務			
自己血回収装置操作（人工心肺との併用を除く）			
心臓血管外科	3	4	5
整形外科	3	8	4
計	6	12	9
Navigation 手術支援			
脳神経外科	71	86	77
耳鼻いんこう科	13	13	8
計	84	99	85
daVinci 手術支援			
泌尿器科 daVinci 症例数 （前立腺全摘除）	33	62	62
泌尿器科 daVinci 症例数 （腎部分切除）	17	17	22
泌尿器科 daVinci 症例数 （膀胱全摘除）	9	1	11
婦人科 daVinci 症例数 （子宮全摘出）	188	145	136
婦人科 daVinci 症例数 （仙骨腫固定術）	38	23	—
外科 daVinci 症例数 （胃切除）	13	12	16
外科 daVinci 症例数 （大腸切除）	5	10	19
呼吸器外科 daVinci 症例数 （肺切除）	13	9	2
呼吸器外科 daVinci 症例数 （縦隔腫瘍切除）	5	2	—
計	321	281	268

内視鏡手術等支援			
婦人科	220	246	265
呼吸器外科	212	154	157
一般外科	557	499	447
泌尿器科	87	90	106
小児外科	57	48	27
整形外科	41	59	49
脳神経外科	4	6	－
計	1,178	1,102	1,051
眼科手術補助（装置セッティング）			
白内障手術装置（インフィニティ）	325	317	579
硝子体手術装置（コンステレーション）	69	83	180
計	394	400	759
臓器移植支援			
生体腎移植術腎還流	4	6	4
献腎移植術腎還流	0	2	1
計	4	8	5
ステントグラフト挿入術支援			
心臓血管外科 EVER	31	15	14
心臓血管外科 TEVAR	3	－	－
計	34	15	14

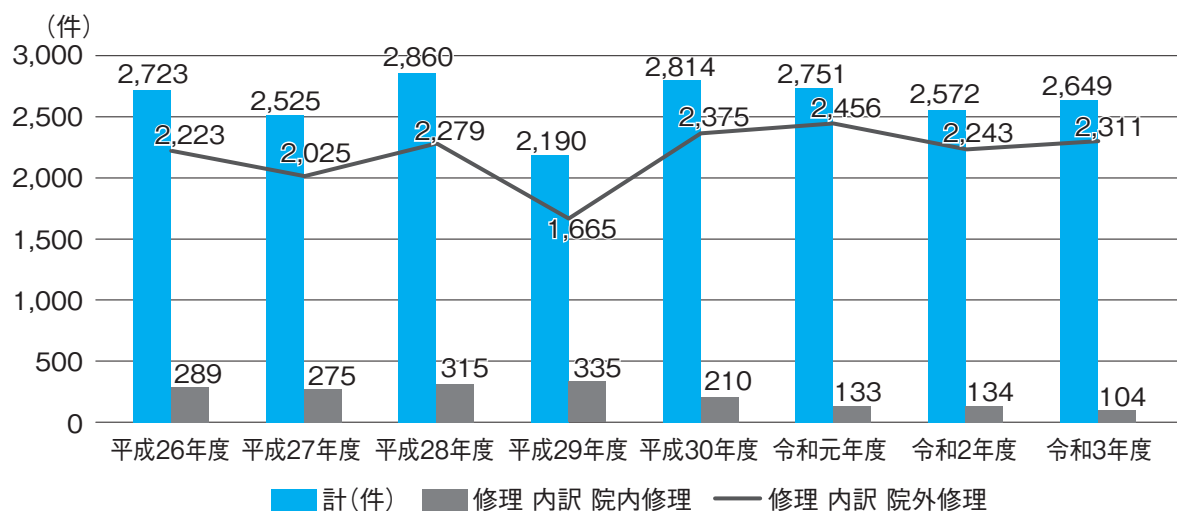
(3) 医療機器管理、修理件数

(件または回)

循環器 device 対応支援			
PM・CRT・ICD 新規植込 立会い	38	26	39
PM・CRT・ICD 電池交換 立会い	16	10	12
PM・CRT・ICD リード交換等 立会い	1	0	0
PM・CRT・ICD 設定術中/CT/MRI対応	186	93	102
ICM 新規植込 立会い	9	4	5
PM・CRT・ICD・ICM遠隔モニタリング件数	206	149	124
計	456	282	282
呼吸療法関連業務			
成人用 人工呼吸器回路組立件数	794	701	453
新生児用 人工呼吸器回路組立件数	297	233	295
計	1,091	934	748
NOガス使用症例数	2	6	11
N2ガス 使用症例数	0	0	0
計	2	6	11

(4) 医療機器修理件数

①年度別修理件数



②修理処理件数内訳

部署名	修理件数	修理 内訳				
		院内修理	院外修理	修理分類別		
				新品交換	異常なし	修理不能
内科外来 (総合・消化器・循環器・呼吸器・アレルギー・血液・腫瘍・腎臓)	12	2	7	3	0	0
糖尿病・内分泌内科	0	0	0	0	0	0
小児科外来	3	0	3	0	0	0
外科外来 (一般・小児・肛門・移植・呼吸器・心臓・血管・麻酔)	9	0	8	1	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0
整形外科	22	0	21	1	0	0
皮膚科	14	0	12	2	0	0
泌尿器科	12	0	11	1	0	0
産婦人科	17	1	13	3	0	0
耳鼻いんこう科	24	0	22	2	0	0
眼科外来	21	0	21	0	0	0
脳神経外科	4	1	1	2	0	0
脳神経内科外来	2	1	0	1	0	0
歯科口腔外科外来	20	0	18	2	0	0
病理診断科	1	0	1	0	0	0
放射線科	1	0	0	1	0	0
外来治療センター	40	6	12	21	1	0
予防医療センター	6	2	2	2	0	0
入退院支援センター	1	0	1	0	0	0
感染症管理センター	1	0	1	0	0	0
総合案内	33	18	11	4	0	0

総合生殖医療センター	0	0	0	0	0	0
東病棟 2 階	32	3	26	3	0	0
西病棟 2 階	87	5	70	12	0	0
東病棟 3 階	72	6	56	10	0	0
西病棟 3 階	91	5	66	18	2	0
総合周産期病棟	76	4	62	9	0	1
東病棟 5 階	52	3	43	6	0	0
西病棟 5 階	53	1	41	11	0	0
東病棟 6 階	35	0	32	3	0	0
西病棟 6 階	8	0	6	2	0	0
東病棟 7 階	50	1	44	5	0	0
西病棟 7 階	65	5	53	7	0	0
東病棟 8 階	60	0	51	9	0	0
西病棟 8 階	60	3	46	11	0	0
東病棟 9 階	44	5	33	6	0	0
西病棟 9 階	42	5	28	9	0	0
南病棟	30	5	19	6	0	0
放射線技術室	245	1	244	0	0	0
放射線治療室	1	1	0	0	0	0
画像検査（看護局）	72	1	70	1	0	0
中央臨床検査室	47	0	46	1	0	0
薬局	24	2	22		0	0
臨床工学室（ME）	183	0	182	1	0	0
血液浄化センター	9	0	7	2	0	0
新生児医療センター （NMC）	71	5	51	13	1	1
救命救急センター	68	6	53	9	0	0
中央滅菌材料室	137	1	136	0	0	0
リハビリテーションセンター	26	1	25	0	0	0
栄養管理室	10	0	10	0	0	0
医局	0	0	0	0	0	0
看護局	13	1	7	5	0	0
管理課（庶務担当）	5	0	4	1	0	0
医事課	11	3	6	2	0	0
医療情報課	15	0	13	0	0	2
物品事務室	0	0	0	0	0	0
手術センター	612	0	594	16	0	2
医療安全管理室	0	0	0	0	0	0
計	2,649	104	2,311	224	4	6

(5) 臨床工学室が管理する医療機器台数

* 各科で購入されているが、保守点検を臨床工学室が行っている機器を含む

管理機器名称	管理台数(台)
人工心肺装置	1
人工心肺用遠心ポンプコントローラー	1
心筋保護液供給装置	1
人工心肺用ヒータークーラーユニット	2
自己血回収装置	2
遠心ポンプ式補助循環装置 (PCPS)	2
IABP	3
成人・小児用人工呼吸器	28
新生児用人工呼吸器	14
在宅用 人工呼吸器 (リース機含む)	59
成人用 NIPPV	9
小児・新生児用 NIPPV	10
可搬型人工呼吸器 (パラパック)	2
パーカッションベンチレーター	2
MRI 対応型人工呼吸器	1
多人数用血液透析患者監視装置	17
手術ナビゲーションシステム	3
個人用血液透析患者監視装置	4
個人用 RO 装置	3
持続的血液ろ過透析装置	3
血漿交換装置	1
腹水濾過濃縮装置	1
除細動装置	20
AED	25
AED 解析装置	1
閉鎖式保育器 (多機能型 4 台含む)	15
開放式保育器 (インファントウォーマー)	12
搬送用保育器	4
輸液ポンプ	315
輸注ポンプ	344
経腸ポンプ	34
医薬品注入コントローラー (滴下式)	20
PCA ポンプ (麻酔用)	9
6 連式シリンジポンプユニット	3
セントラルモニター	30
ベッドサイドモニター	198
無線式送信機台数	204
携帯型受信機	14
心電計	29
血液成分分離装置	1
全身麻酔器	17
低圧持続吸引器	35
連続心拍出力計	16
体外式ペースメーカー (DDD 式を含む)	10
ネブライザーヒーター	60
手術支援ロボットシステム (ダ・ヴィンチ X,Xi)	2
計	1,587

(6) 人工呼吸器平均装着日数および稼働台数（マスクを除く）

診療科別

診療科名	症例数 (件)	延べ稼働 回数(日)	平均装着 日数(日)
一般外科	75	441	5.9
脳神経外科	87	357	4.1
心臓外科・血管外科	26	97	3.7
呼吸器外科	4	7	1.8
循環器内科	38	177	4.7
呼吸器内科	48	645	13.4
消化器内科	9	401	44.6
脳神経内科	8	93	11.6
血液・腫瘍内科	8	28	3.5
腎臓内科	3	6	2.0
糖尿病・内分泌科	1	2	2.0
整形外科	22	98	4.5
リウマチ科	0	0	0.0
泌尿器科	4	8	2.0
産婦人科	5	14	2.8
形成外科	0	0	0.0
皮膚科	1	2	2.0
耳鼻いんこう科	17	37	2.2
歯科口腔外科	3	12	4.0
小児科	28	342	12.2
移植外科	0	0	0.0
総合内科	0	0	0.0
救急科	15	16	1.1
計	402	2,783	6.9
前年度	558	3,943	7.1

※転科を含む

病棟別

病棟名	症例数 (件)	延べ稼働 回数(日)	平均装着 日数(日)
南病棟 1 階	1	1	1.0
南病棟 2 階	3	195	65
西病棟 2 階	18	86	4.8
東病棟 2 階	25	321	12.8
西病棟3階/ICU	340	1,386	4.1
東病棟 3 階	4	39	9.8
西病棟 4 階	0	0	0.0
東病棟 4 階	0	0	0.0
西病棟 5 階	4	59	14.8
東病棟 5 階	3	153	51.0
西病棟 6 階	1	39	39.0
東病棟 6 階	2	302	151.0
西病棟 7 階	4	131	32.8
東病棟 7 階	2	27	13.5
西病棟 8 階	1	1	1
東病棟 8 階	1	15	15.0
西病棟 9 階	1	1	1.0
東病棟 9 階	3	34	11.3
救急外来	89	90	1.0
計	502	2,880	5.7
前年度	603	4,023	6.7

* 西病棟 3 階から病棟転床された症例を含む

* 在宅人工呼吸療法中で入院した症例も含む

病棟別 人工呼吸器稼働(日常点検)台数の報告

病棟	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間365日計算	
	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	延べ稼働台数	1日平均使用台数	稼働台数	1日平均使用台数
南病棟1階	0	0.00	1	0.03	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.0
南病棟2階	40	1.33	55	1.77	58	1.93	29	0.90	13	0.42	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	195	0.5
西病棟2階	3	0.10	5	0.16	9	0.30	11	0.40	7	0.23	30	1.00	5	0.16	9	0.30	1	0.03	5	0.16	1	0.04	0	0.00	86	0.2
東病棟2階	6	0.20	25	0.81	36	1.20	67	2.20	11	0.35	19	0.63	8	0.26	26	0.87	34	1.10	43	1.39	26	0.93	20	0.65	321	0.9
ICU	95	3.17	132	4.26	138	4.60	143	4.60	151	4.87	108	3.60	85	2.74	79	2.63	94	3.03	122	3.94	114	4.07	125	4.03	1,386	3.8
東病棟3階	0	0.00	22	0.71	14	0.47	0	0.00	1	0.03	0	0.00	2	0.06	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	39	0.1
西病棟4階	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.0
東病棟4階	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.0
西病棟5階	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	0.10	19	0.61	29	0.50	8	0.26	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	59	0.2
東病棟5階	11	0.37	0	0.00	0	0.00	0	0.00	9	0.29	60	0.00	50	1.61	10	0.33	0	0.00	0	0.00	13	0.46	0	0.00	153	0.4
西病棟6階	30	1.00	9	0.29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	39	0.1
東病棟6階	10	0.33	23	0.74	30	1.00	31	1.00	31	1.00	2	0.50	24	0.77	30	1.00	31	1.00	31	1.00	28	1.00	31	1.00	302	0.8
西病棟7階	2	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	19	0.61	14	0.70	0	0.00	30	1.00	31	1.00	24	0.77	0	0.00	11	0.35	131	0.4
東病棟7階	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.10	0	0.00	0	0.00	0	0.00	4	0.13	8	0.29	15	0.48	27	0.1
西病棟8階	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.03	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.0
東病棟8階	0	0.00	3	0.10	0	0.00	3	0.10	0	0.00	3	0.10	0	0.00	0	0.00	3	0.10	0	0.00	0	0.00	3	0.00	15	0.0
西病棟9階	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.10	1	0.0
東病棟9階	18	0.00	2	0.06	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	14	0.00	34	0.1
救急外来	4	0.13	2	0.06	2	0.07	5	0.20	9	0.29	8	0.10	10	0.32	9	0.30	7	0.23	13	0.42	10	0.36	11	0.45	90	0.2
合計/日平均台数	219	6.70	279	8.99	287	9.57	292	9.50	272	8.73	273	8.23	192	6.18	193	6.43	201	6.49	242	7.81	200	7.15	230	0.35	2,880	7.8

マスク式人工呼吸器	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間		成人小児比較(日)
	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	症例数/使用日数(件)	使用日数(日)	使用日数(日)	使用日数(日)	
総数	43	142	24	109	20	78	34	97	31	112	9	38	18	40	28	63	29	76	38	85	13	40	22	35	309	915	
(内訳)成人	36	111	18	77	16	41	27	63	24	81	4	7	16	34	24	48	25	61	37	84	10	33	16	20	253	660	2.6
(内訳)小児	7	31	6	32	4	37	7	34	7	31	5	31	2	6	4	15	4	15	1	1	3	7	6	15	56	255	4.6
平均装着日数(日)	3.3		4.5		3.9		2.9		3.6		4.2		2.2		2.3		2.6		2.2		3.1		1.6		3.0		

栄養管理室

1. 概要

栄養管理室では、患者の病状や状態、年齢などに合わせた常食、やわらか食、糖尿食など40種類の食種を用意しており、食事の味や内容について、医師と管理栄養士が検食で確認して改善に努めている。また、選択メニューなど喜んで食べていただける食事や、食事療法を行うための食事を提供することでQOLの向上に努めている。家庭においても栄養管理や食事療法が行えるよう、栄養指導や糖尿病教室などを通して患者の支援をしている。

入退院支援センターに2020年4月から管理栄養士を1名配置し、入院前に栄養状態などの確認を行い、医師へ適切な食事を提案することで入院時から患者の病状に応じた食事の提供や栄養指導ができるようにしている。

入院患者の栄養状態について看護師とともにスクリーニングを行い、栄養管理計画書を作成し、医師が確認している。また、栄養サポートチーム（NST）の専従者を1名配置しており、栄養状態の悪い患者にNST回診を行い、複数の医療職種で患者の栄養状態の把握や栄養状態改善の提案を行うことで治療に貢献している。他にも褥瘡対策チーム、呼吸療法ケアチームなど、チーム医療の一員としても活動している。

（室長 森嶋 直人）

（文責 室長補佐 藤田 克宣）

「取得している認定資格等」

資格	認定団体
栄養サポートチーム専門療法士	日本臨床栄養代謝学会

2. 活動報告

(1) 実績

区 分		令和3年度	令和2年度	令和元年度
食種及び食数	一般食	366,213	363,901	418,096
	特別食	加算食	123,638	133,016
		非加算食	3,503	3,889
		小計（食）	127,141	136,905
	合計（食）		493,354	500,806
			556,206	

選択メニュー	実施日数（日）			365	365	366
	実施食種	一般食	常食	51,999	51,246	63,255
			軟菜食	19,626	19,626	23,909
			小計(人)	71,625	70,872	87,164
		治療食	糖尿食	10,919	13,975	14,396
			心臓食	6,694	7,092	5,363
			肝臓食	323	367	464
			すい臓B食	1,032	1,328	1,298
			小計(人)	18,968	22,762	21,521
		合計(人)		90,593	93,634	108,685

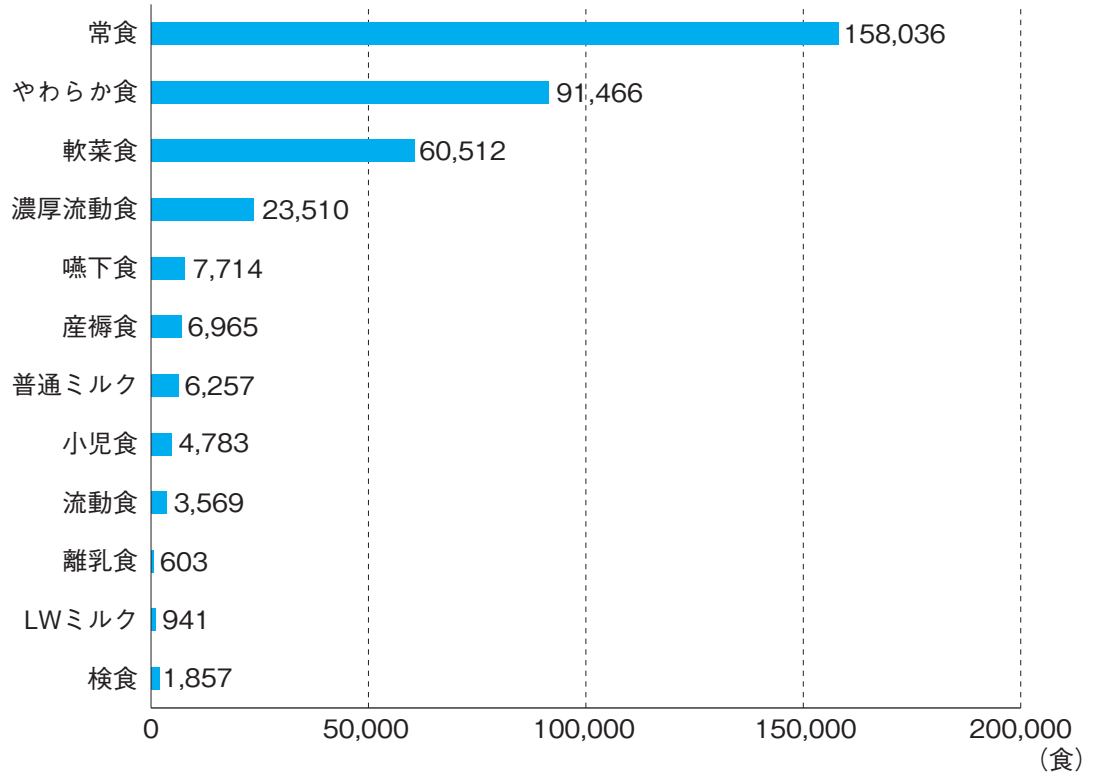
栄養食事指導	外来患者栄養食事指導	1,262	1,280	857
	糖尿病透析予防管理	115	141	126
	入院患者栄養食事指導	2,717	2,376	1,544
	小計（件）	4,094	3,797	2,527
	糖尿病教室	115	117	137
	合計（件）	4,209	3,914	2,664

NST業務	栄養管理計画書（件）	23,029	22,561	24,038
	栄養サポートチーム加算（件）	1,337	1,046	992

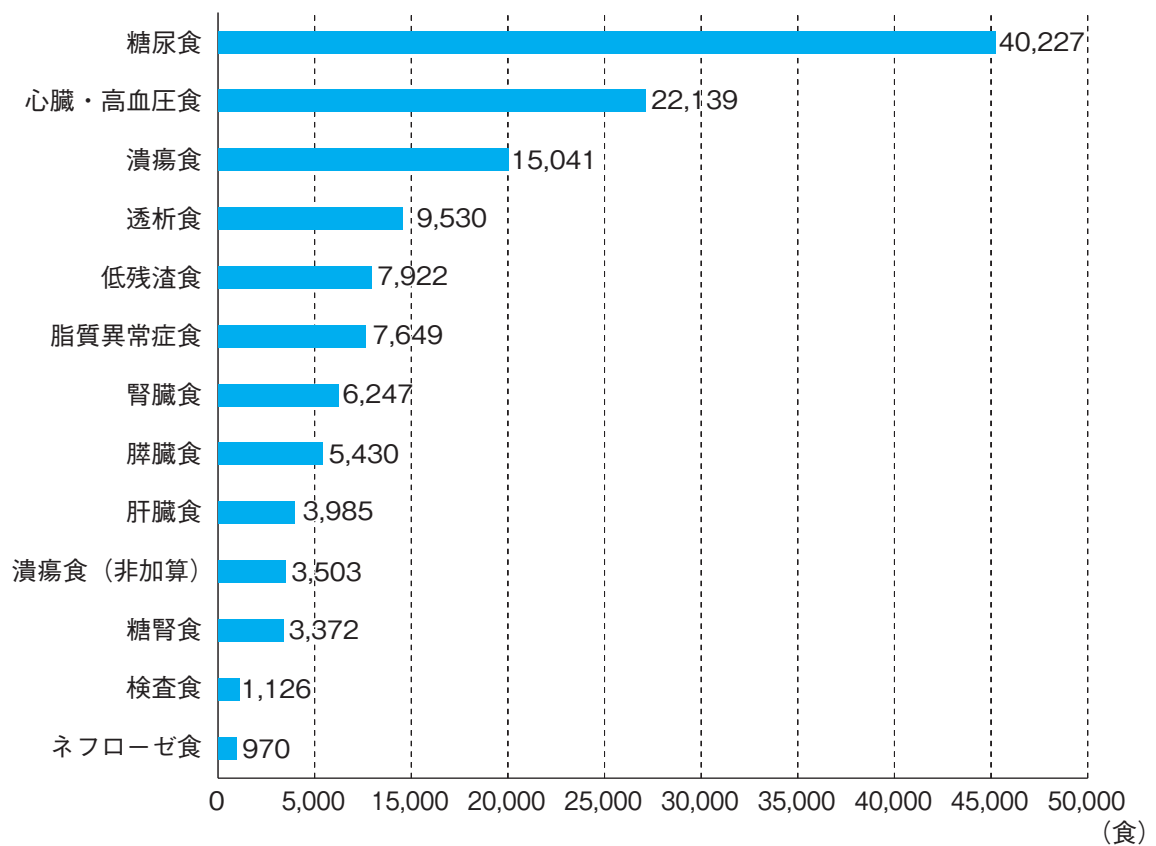
NST定期教育 講演会	実施回数(回)	4	0	7
	参加者(人)	137	0	441

(2) 食種詳細

①一般食 366,213食



②特別食 127,141食



薬局

1. 概要

薬局は薬の専門家として、薬物治療および医療安全に貢献することを目標に各部局と連携し業務を行っている。

セントラル業務として、調剤・麻薬、注射、管理、製剤・注射調製、医薬品情報の5グループからなる基本組織と治験管理センターを設けている。

薬局外での業務としては、各病棟、手術室サテライト薬局、外来治療センターに薬剤師を常駐させている。

病棟では、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務を行い、服薬指導や副作用発現のチェック、他の医療職への情報提供などを実施し、薬物療法における有効性・安全性の向上に貢献している。手術室サテライト薬局では、麻薬、筋弛緩薬などの薬品供給・管理に加え、麻酔薬や麻酔準備薬のセットを行い、医師・看護師の負担の軽減に役立っている。

外来治療センターではがん患者の薬剤指導や副作用管理を実施しているが、今年度より連携充実加算の算定を開始した。情報提供書・トレーニングレポートを保険薬局と相互にやり取りし、連携して外来がん化学療法の質の向上に努めている。一方、昨年度から開始した乳がんの外来内服治療患者に対する薬剤師外来（診察前面談）も実績を積み重ね、医師より評価されているが、マンパワー不足で対象薬を増やすことが出来ない状況である。今後人員を確保し広げていくべき業務と考えている。

薬剤師の専門資格の取得を積極的に奨励している。がん専門薬剤師、感染制御専門薬剤師、感染制御認定薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、栄養サポートチーム専門療法士、日本糖尿病療養指導士、スポーツファーマシストなどの資格を取得し、様々なチーム医療に寄与している。

（局長 柳沼 妙子）

2. 活動報告

(1) 患者数及び処方箋枚数

区分		年度	令和3年度(対前年度)		1日平均	令和2年度(対前年度)		1日平均	令和元年度(対前年度)		1日平均
外来	患者数(人)		463,923	105.1%	1,917	441,527	91.9%	1,817	480,575	101.8%	2,002
	院内	処方箋枚数(枚)	46,898	104.0%	194	45,077	91.0%	186	49,511	105.2%	206
		平均投薬日数(日)	14.9	94.9%		15.7	99.4%		15.8	102.6%	
		注射処方箋枚数(枚)	26,712	127.2%	110	20,997	99.3%	86	21,148	108.8%	88
	院外	処方箋枚数(枚)	147,110	101.2%	608	145,355	91.5%	598	158,918	98.8%	662
		平均投薬日数(日)	31.9	95.8%		33.3	98.2%		33.9	100.6%	
入院	患者数(人)		229,795	99.1%	630	231,804	89.3%	635	259,438	103.1%	709
	処方箋枚数(枚)		105,678	100.5%	290	105,136	90.9%	288	115,659	100.5%	316
	平均投薬日数(日)		5.7	87.7%		6.5	91.5%		7.1	104.4%	
	注射処方箋枚数(枚)		124,543	101.4%	341	122,849	92.4%	337	132,946	104.9%	363
備 考			外来日数 入院日数	242日 365日		外来日数 入院日数	243日 365日		外来日数 入院日数	240日 366日	

(2) 薬剤管理指導実績

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
薬剤管理指導件数(件)	19,998	22,004	21,242
麻薬加算件数(件)	461	526	347

(3) 無菌製剤処理料実績

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
無菌製剤処理料件数(件)	15,723	15,457	15,881

(4) 外来及び入院の科別処方箋枚数

科名	外 来			入 院	
	処方箋枚数(枚)		全処方箋枚数に 対する科別比率 (%)	処方箋枚数 (枚)	全処方箋枚数に 対する科別比率 (%)
	院 内	院 外			
総合内科	617	1,774	1.2	897	0.8
一般外科	4,050	8,113	6.3	10,502	9.9
整形外科	1,639	5,683	3.8	8,256	7.8
脳神経外科	346	3,291	1.9	7,071	6.7
産婦人科	1,933	7,633	4.9	8,201	7.8
小児科	2,297	10,457	6.6	4,401	4.2
耳鼻いんこう科	1,190	7,817	4.6	5,129	4.9
皮膚科	2,195	12,476	7.6	1,709	1.6
泌尿器科	1,142	7,778	4.6	4,226	4.0
眼科	803	6,852	3.9	565	0.5
放射線科	55	438	0.3	0	0.0
こころのケア科	1,219	3	0.6	0	0.0
形成外科	24	148	0.1	0	0.0
歯科口腔外科	492	4,090	2.4	1,226	1.2
リハビリテーション科	2	9	0.0	0	0.0
麻酔科	11	0	0.0	0	0.0
救急科	8,759	17	4.5	－	－
呼吸器内科	1,428	11,707	6.8	15,217	14.4
消化器内科	5,491	15,213	10.7	7,983	7.6
循環器内科	1,860	11,082	6.7	5,718	5.4
アレルギー内科	0	0	0.0	－	－
腎臓内科	1,216	4,750	3.1	2,783	2.6
糖尿病・内分泌内科	3,796	9,670	6.9	2,183	2.1
脳神経内科	459	5,874	3.3	5,713	5.4
血液・腫瘍内科	3,782	4,490	4.3	11,721	11.1
小児外科	8	288	0.2	52	0.0
移植外科	47	647	0.4	190	0.2
リウマチ科	1,602	5,073	3.4	147	0.1
脊椎外科	0	0	0.0	0	0.0
呼吸器外科	329	535	0.4	835	0.8
心臓血管外科	106	1,202	0.7	953	0.9
合 計	46,898	147,110	100.0	105,678	100.0
	194,008				

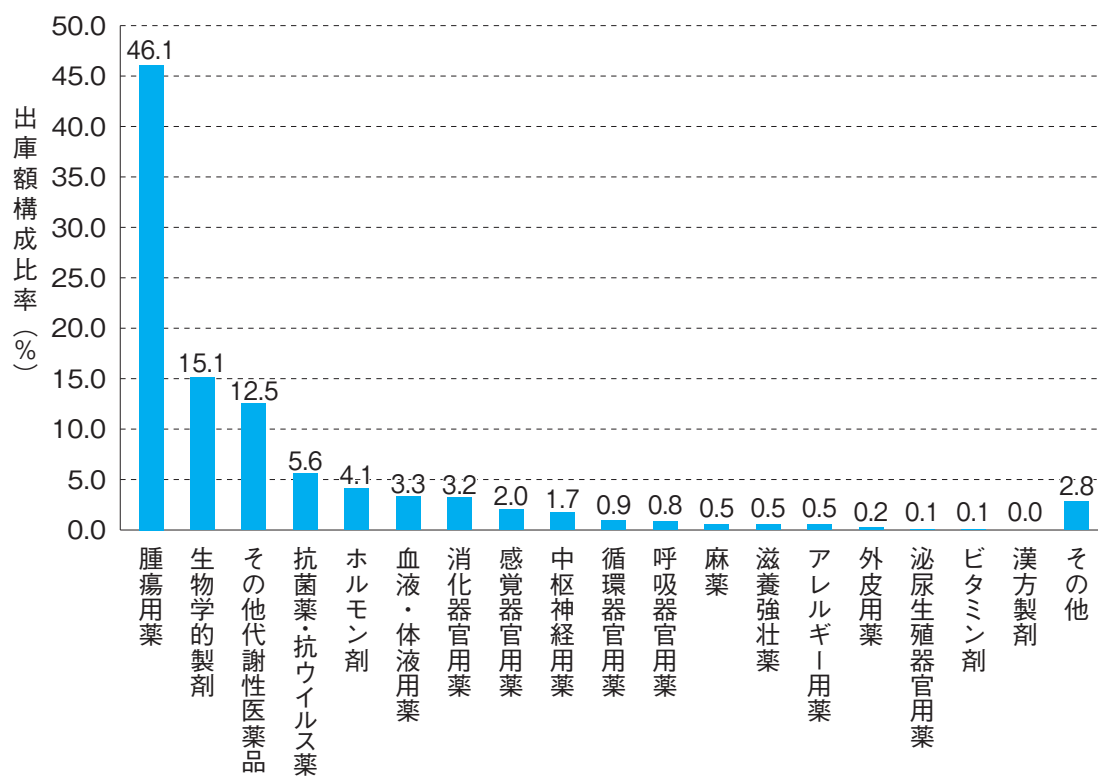
処方箋枚数：外来の肛門科は一般外科、臨床検査科は総合内科、心臓血管・呼吸器外科は呼吸器外科に含む。

入院の膠原病内科は糖尿病・内分泌内科に含む。

(5) 抗がん薬及び TPN 調製本数

	区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
抗がん薬（本）	入 院	6,991	6,798	7,146
	外 来	16,243	17,467	17,276
TPN（本）	入 院	859	1,189	1,137

(6) 薬効別出庫薬品



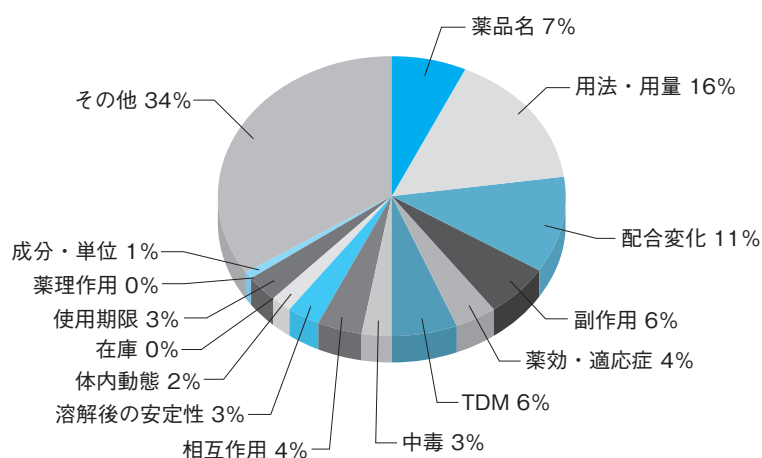
(7) 院内特殊製剤（一部抜粋）

剤形	製 剤 名（出庫単位）	適 応 症 等	主な使用科	製剤量
坐剤・ 腔坐剤	リファンピシン坐薬450mg	結核治療薬（イレウス等で内服困難時）	呼吸器内科	15本
注射剤	3%亜硝酸ナトリウム注(50mL)	シアン中毒の解毒	—	0本
	眼科用アバステン注	加齢黄斑性症、血管新生緑内障	眼科	2本
	10%安息香酸ナトリウム注(50mL)	高アンモニア血症	小児科	2本
	0.606%グルタルアルデヒド液(52mL)	胸部外科手術による心膜固定	心臓外科・ 血管外科	12本
	シリコンオイル眼注(10mL)	増殖硝子体網膜症の硝子体手術における眼内充填物	眼科	24本
	10%フェノールグリセリン注射液(2mL)	難治性の会陰部痛、腰部の痛み	一般外科	0本
	滅菌墨汁(5mL)	内視鏡的点墨法	消化器内科	186本
	2%滅菌パテントブルー注(5mL)	悪性リンパ腫のリンパ管染色	皮膚科	8本
	眼科用マイトマイシン液(5mL)	繊維柱帯切除術（トラベクレクトミー）、小シャール中でMQAを細かく切ってMMC液に浸し、これを強膜弁下に正確に3分間留置	眼科	1本
点眼剤	0.05M EDTA-Na 点眼液(5mL)	帯状角膜変性	眼科	7本
	4%キシロカイン点眼液(5mL)	眼科領域における表面麻酔	眼科	168本
	グリセリン点眼液(5mL)	緑内障患者の角膜浮腫の改善	眼科	6本
	10倍希釈自己血清点眼液(5mL)	重度の角膜上皮障害	眼科	8本
	0.5%デノシン点眼液(5mL)	サイトメガロウイルス角膜内皮炎	眼科	7本
	バンコマイシン点眼液(5mL)	MRSA陽性患者への眼科感染症	眼科	108本
	0.125%ピロカルピン液(4mL)	瞳孔緊張症	眼科	0本
	1%ブイフェンド点眼液(5mL)	角膜真菌症	眼科	3本
	プリビナ点眼液(5mL)	重症筋無力症患者の眼瞼下垂に対する対症療法や添付文書通りの適応	眼科	40本
	0.5%硫酸アトロピン点眼液(5mL)	診断または治療を目的とする散瞳と調節麻痺	眼科	26本
	0.25mg/mLブリリアントブルーG点眼液(5mL)	黄斑円孔、黄斑前膜等に対するガラス体手術での内鏡膜剥離時の染色	眼科	20本
	2.5%滅菌フルオレセインNa液(20mL)	眼圧検査・検査時にベノキシール点眼液に調製後1回1～2滴点眼する	眼科	13本
	0.2%フルコナゾール点眼液(5mL)	角膜真菌症、アカントアメーバ	眼科	5本
内用剤	セレン内服液(10μg/mL)	セレン欠乏症	小児科	12,500mL

外用剤	SAD液	円形脱毛症、疣贅	皮膚科	4,000mL
	0.05%キシロカインB液	鼻の中の吸引をする際、器具挿入の痛みを止める	耳鼻いんこう科	4,400mL
	鼓膜麻酔薬	鼓膜麻酔	耳鼻いんこう科	45mL
	1.5%酢酸液	内視鏡観察時胃内散布（腫瘍との境界を明確にするため）	消化器内科	900mL
	3%酢酸液	コルポスコピー下で行う子宮頸部の組織検査（癌検査用）	産婦人科	7,300mL
	耳水	耳垢栓塞の軟化・1日1～2回点耳	耳鼻いんこう科	130mL
	80%トリクロロ酢酸	焼灼作用によるアレルギー性鼻炎滅菌綿棒にて鼻腔内下鼻用介に塗布	耳鼻いんこう科	40mL
	2%滅菌硝酸銀	粘膜の殺菌 or 収れん	小児科	235mL
	10%滅菌硝酸銀	鼻出血症・口内炎への塗布	耳鼻いんこう科	70mL
	2%滅菌HPC液	肉芽組織の清浄化と形成促進剤	血液・腫瘍内科等	4,500mL
	1%滅菌トリジンブルー液	内視鏡下の食道がんの精査1回2～3mL使用する。(色素散布法)	消化器内科	40mL
	0.02%滅菌ボスミン液	外傷・鼻・抜歯後など局所出血	耳鼻いんこう科等	50,600mL
	1%滅菌ピオクタニン青液	消毒・手術野の線引き	手術室、その他	585mL
	0.05%滅菌ヒビテングルコネート液	皮膚の創傷部位の消毒、手術室の消毒	眼科	7,000mL
	0.05%滅菌ヒビテングルコネート青液	手術部位の消毒	手術室のみ	16,800mL
軟膏剤	1%ヨウ素ヨウ化カリウム液	カメラ室における検査薬	消化器内科	10,100mL
	40%尿素軟膏	爪白癬の角質除去	形成外科	0g
	5%ヒドロキノン軟膏	メラニン色素の破壊・生成抑制	形成外科等	420g
	Mohs氏ペースト	Mohs surgeryにおける組織の固定	一般外科等	1,100g

(8) 医薬品情報室への問い合わせ状況

総件数：637件



(9) 医薬品情報提供

医薬品集	1 回
Drug Information News	12 回
薬局ニュース	12 回
緊急安全性情報・安全性速報	1 件
適応症に関する情報	61 件
使用上の注意に関する情報	34 件
用法・用量に関する情報	18 件
安全性情報	14 件
薬物血中濃度解析	38 件

(10) 持参薬鑑別

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
薬剤鑑別件数(件)	12,824	12,447	13,552

(11) 治験実施数

治験／製造販売後	相	件数	予定症例数	実施症例数
治 験 (件)	ph I / II	2	5	5
	ph II	4	7	5
	ph II / III	1	3	1
	ph III	17	53	37
	ピボタル	1	6	4
	—	1	1	1

(12) 副作用報告

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
厚生労働省報告件数(件)	12	9	10
プリアボイド報告件数(件)	760	767	829

(13) 年間麻薬使用量

薬 品 名	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	院 内	院 外	院 内	院 外	院 内	院 外
オピスコ注(本)	0	－	0	－	2	－
ペチジン塩酸塩注(本)	1	－	0	－	3	－
モルヒネ塩酸塩注10mg(本)	1,215	－	1,404	－	1,348	－
モルヒネ塩酸塩注50mg(本)	352	－	196	－	301	－
モルヒネ塩酸塩注200mg(本)	136	－	114	－	65	－
フェンタニル注0.1mg(本)	10,112	－	10,832	－	10,540	－
フェンタニル注0.5mg(本)	6,726	－	6,052	－	6,135	－
アルチバ静注用2mg(瓶)	3,157	－	3,259	－	3,636	－
アルチバ静注用5mg(瓶)	2,701	－	2,294	－	2,280	－
ケタラル静注用200mg(瓶)	560	－	446	－	542	－
オキファスト10mg(本)	804	－	1,148	－	1,243	－
オキファスト50mg(本)	948	－	1,174	－	804	－
プレベノン注100mgシリンジ(本)	77	－	229	－	75	－
モルヒネ塩酸塩注100mgシリンジ(本)	111	－	－	－	－	－
ナルベイン注2mg(本)	106	－	154	－	207	－
ナルベイン注20mg(本)	7	－	0	－	96	－
M S コンチン錠10mg(錠)	2,914	1,856	1,463	988	2,315	1,096
M S コンチン錠30mg(錠)	1,421	2,792	530	288	563	1,380
モルベス細粒2%10mg(包)	1,564	716	2,037	1,334	1,721	475
モルヒネ硫酸塩水和物徐放細粒分包10mg(包)	918	400	－	－	－	－
モルベス細粒6%30mg(包)	720	664	1,004	294	200	14
モルヒネ塩酸塩錠10mg(錠)	827	1,614	1,087	6,568	2,377	5,556
オプソ内服液5mg(包)	3,290	3,060	3,356	2,744	4,586	1,602
オプソ内服液10mg(包)	3,438	3,696	2,014	2,045	2,626	3,295
オキシコドン徐放錠5mg(錠)	－	－	14,089	17,569	26,182	49,316
オキシコドン徐放錠20mg(錠)	－	－	2,000	2,531	4,996	10,582
オキシコドン徐放錠40mg(錠)	－	－	1,302	1,334	3,059	3,771
オキシコドン徐放錠5mgNX(錠)	28,578	39,164	18,097	18,860	－	－
オキシコドン徐放錠20mgNX(錠)	4,437	4,662	3,239	3,857	－	－
オキシコドン徐放錠40mgNX(錠)	3,085	4,020	1,141	1,885	－	－
オキノーム散2.5mg(包)	4,645	6,277	5,692	3,980	5,300	6,624
オキノーム散5mg(包)	4,782	5,465	8,310	6,966	5,254	8,127
オキノーム散10mg(包)	11,346	5,404	11,467	4,349	8,599	6,237
イーフェンバツカル錠50μg(錠)	69	40	393	130	492	20
イーフェンバツカル錠100μg(錠)	95	0	358	0	247	20
イーフェンバツカル錠200μg(錠)	125	220	267	290	702	50
アブストラル舌下錠100μg(錠)	152	0	－	－	－	－
アブストラル舌下錠200μg(錠)	145	0	－	－	－	－
アブストラル舌下錠400μg(錠)	30	0	－	－	－	－
タペンタ錠25mg(錠)	2,596	1,228	1,555	662	1,474	168
タペンタ錠100mg(錠)	893	36	42	96	84	52

メサペイン錠5mg(錠)	415	0	262	0	75	0
メサペイン錠10mg(錠)	947	0	974	0	183	0
ナルサス錠2mg(錠)	950	701	632	820	1,128	732
ナルサス錠6mg(錠)	276	371	975	992	608	308
ナルラピド錠1mg(錠)	751	380	388	890	694	873
ナルラピド錠2mg(錠)	994	300	1,038	970	444	310
アンベック坐薬10mg(本)	183	0	57	0	124	0
アンベック坐薬30mg(本)	10	0	0	0	0	0
フェントステープ0.5mg(枚)	872	1,129	693	203	174	37
フェントステープ1mg(枚)	2,183	1,493	2,561	1,499	3,648	1,510
フェントステープ2mg(枚)	3,225	2,005	3,854	2,223	4,995	1,806
フェントステープ6mg(枚)	368	240	476	575	1,544	658
アヘンチンキ(mL)	1,703.3	5,368.5	1,478.7	3,391.5	2,347.0	2,979.0
1%塩酸モルヒネ液(mL)	54.2	28	33.85	0	0	0
10%塩酸コカイン液(mL)	3.0	0	2.0	0	1.0	0

* 年度の設定は麻薬関係法令上、令和2年10月1日～令和3年9月30日までとする。

看護局

1. 概要

看護局の重点目標として、以下の4つを掲げ、活動に取り組んだ。

- 1) 良い看護をするために、それぞれの立場で行動する。
- 2) 看護における診療密度の向上を図る。
- 3) 各部署で働き方改革に向け検討し、改善する。
- 4) 信頼できる職場環境を維持し、向上させる。

コロナ禍の状況は変わらず抑制のある中で看護師が個々の役割に対し目標に向かって取り組み、成果を生んだ。委員会や看護体制においても目標達成はでき、一定の質向上に繋がった。特に院内外の受援体制の構築を行い、院内では日々応援活動は行われ定着しつつある。

また、院外の受援体制マニュアルの作成を行い、近隣への受援活動ができる状況にまでなっている。その他にも感染管理認定看護師やDMATは、COVID-19対応で20件院外施設に派遣活動を行えたことは地域支援につながったと考える。

(局長 間瀬 有奈)

2. 看護局の状況

(1) 職員の動向

職員数 973人 助産師 39人 看護師 837人 准看護師 9人
介護福祉士 4人 看護補助者 69人 助手 13人 保育士 2人
ルフト・メディカルケア派遣業務委託病棟看護補助者 12人
退職者 59人 (定年退職者 6人含む)

(2) 看護師確保対策

①採用試験

2021年度新規採用試験 2回実施 (新卒61人)

2021年度中途採用試験 (1人)

②ガイダンス (5回実施 373人参加)

日 程	開 催 名	参加人数
2022年1月29日	ナース専科webガイダンス (於：当院第8会議室)	94人
2022年2月12日	マイナビ就職セミナー「MEGA」 (於：名古屋国際会議場)	24人
2022年3月4日	聖隷クリストファー大学 病院説明会 (於：聖隷クリストファー大学)	158人
2022年3月5日	豊橋創造大学 web合同就職説明会 (於：当院第6会議室)	27人
2022年3月26日	豊橋市民病院就職ガイダンス (於：当院講堂)	70人

③インターンシップ（2回実施 36人）

開催期間	研修名	参加人数
2021年8月10日～8月18日	夏のインターンシップ研修 （COVID19感染症拡大のため8/18で中止）	15人
2022年3月22日～3月29日	春のインターンシップ研修	21人

④施設見学 1人（4月）新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

⑤学校訪問 10校

⑥看護師等再就職チャレンジ支援研修 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

⑦看護体験

高校生看護体験 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

中学生職場体験 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

⑧出前講座 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

⑨育児休業中職員向けに「ぶっちゃけママトーク」開催 19人

(3) 介護福祉士確保対策

①採用試験

2021年度新規採用試験 2回実施（新卒1人）

②インターンシップ 応募なく中止

③学校訪問 3校

(4) 認定看護師

①認定看護師数（31人）

感染管理（3） 救急看護（2） 皮膚・排泄ケア（3） がん化学療法看護（2）
がん性疼痛看護（2） 緩和ケア（1） 集中治療ケア（2） クリティカルケア（1）
新生児集中ケア（1） 摂食・嚥下障害看護（1） 脳卒中リハビリ看護（1）
認知症看護（2） 訪問看護（1） 透析看護（1） 手術看護（1） 看護管理（2）
糖尿病看護（1） 小児救急看護（1） がん放射線療法看護（1） 乳がん看護（1）
慢性心不全看護（1） 呼吸器疾患看護（1）

②2021年度 認定看護師活動実績（資料1）

(5) 特定行為研修修了看護師 特定行為研修修了者数（6人）

(6) 教育活動

①クリニカルラダー認定者数

レベルⅠ 711人 レベルⅡ 292人 レベルⅢ 70人 レベルⅣ 2人

②2021年度 研修受講状況（資料2）

③病棟看護補助者研修 6回 126人参加

(7) その他

医療安全管理者養成研修修了者 15人

専任看護教員養成講習会修了者 18人

愛知DMAT隊員養成研修修了者 4人

災害派遣医療チーム研修修了者（日本DMAT隊員） 8人

愛知県看護協会災害支援ナース登録者 17人

日本DMATインストラクター 2人

（資料1） 2021年度 認定看護師活動実績

【感染管理】

1) 実践

- ① 医療関連感染サーベイランス（耐性菌・ウイルス、CLABSI、CAUTI、VAP、SSI）
- ② 職業感染予防対策の推進（抗体価測定、ワクチン接種事業、他）
- ③ 職員健康外来の開催と診療介助（受診者数31人）
- ④ 院内感染対策委員会の運営
- ⑤ 院内感染対策チーム（ICT）活動（週1回感染対策カンファレンス・院内ラウンド）
- ⑥ 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動（週1回患者カンファレンス）
- ⑦ 感染対策地域連携会議（4回）
- ⑧ 感染対策相互訪問評価（地域連携）
- ⑨ IASR（国立感染症研究所 病原体微生物検出情報）投稿
- ⑩ 新型コロナワクチン接種の実施
- ⑪ 愛知県看護協会『クラスター発生時の看護師等派遣支援制度（第1陣）』要請への対応（市内住宅型有料老人ホームの視察）
- ⑫ 新型コロナウイルス感染症の院内クラスターの対応（5病棟）
- ⑬ 新型コロナウイルス感染症のクラスター施設（外部）への感染対策支援（10施設）

2) 指導

- ① 新規採用者オリエンテーション：講義
- ② 基礎看護技術演習：講義&演習
- ③ 薬学生への感染対策：講義、院内ラウンド（計2回）
- ④ 感染対策リンクナース会：講義
- ⑤ 再就職チャレンジ支援研修：講義
- ⑥ 中途採用者オリエンテーション：講義（計3回）
- ⑦ 豊橋市立看護専門学校 看護第1・2科：講義（計30時間）
- ⑧ 豊橋准看護学校：講義（2クラス計10時間）
- ⑨ 院内感染対策講習会：講義（計3回）
- ⑩ 救急医学講座（初期研修医指導）：講義
- ⑪ 病棟勉強会：講義（5病棟）

3) 相談

年間相談件数：50件/日 （約2500件以上/年）

【皮膚・排泄ケア】

1) 実践

- ① 褥瘡ラウンド（週1回：346件）
- ② 褥瘡フォローアップ回診（週1回：324件）
- ③ 褥瘡ハイリスク患者のリスクアセスメント・予防計画書立案・ラウンド・評価
- ④ ストーマ外来でのケア（週3回：530件）、病棟看護師におけるストーマ外来（75件）
- ⑤ 排尿ケアラウンド・カンファレンス（週1件：84件）
- ⑥ 在宅訪問4名（褥瘡2名、褥瘡とストーマ1名、放射線皮膚炎1名）
- ⑦ 特定行為としての壊死組織の除去：2名（延べ8件）

2) 指導

- ① 褥瘡対策委員会・チームによる全職員対象の勉強会6回
- ② 褥瘡ラウンドを通して、褥瘡予防・褥瘡ケアについてスタッフへ指導
- ③ 西病棟2階へ褥瘡予防ケアについてスタッフ指導
- ④ 西5病棟ヘストーマパンフレット・チェックリストについてスタッフ指導
- ⑤ 基礎看護技術演習：講義・演習「安楽体位・移送と移乗」
- ⑥ 排尿ケア勉強会：年1回
- ⑦ 認定急性期グループ活動
急性期：グループメンバーでの部署ラウンド3件
生活習慣病：グループメンバーでの部署ラウンド6件
がんチーム：がん看護セミナー「コミュニケーションセミナー」
- ⑧ ストーマラダーⅠ・Ⅱ・Ⅲ：Ⅰ 14名（3回）、Ⅱ 21名（5回）、Ⅲ 7名（2回）
- ⑨ 豊橋市立看護専門学校1科2年生 成人看護援助論Ⅲ 消化器看護講師（全10時間）
- ⑩ 豊橋市立看護専門学校2科2年生 消化器看護講師（全8時間）
- ⑪ 愛知県看護協会 令和3年度東三河地区支部公開講座（豊川市）

3) 相談

年間相談件数：96件/年（鈴木9件、春名80件、名倉7件）

【がん性疼痛看護】

1) 実践

- ① 緩和ケアチームラウンド（754件/年）
- ② 緩和ケア外来（191件/年）
- ③ がん患者指導管理ⅠにおけるⅠC同席（26件/年）
- ④ がん患者指導管理Ⅱにおける心理的支援（53件/年）
- ⑤ がん相談支援センターにおけるがん相談（129件/年）
- ⑥ 他部署倫理カンファレンスへの参加（2回/年）
- ⑦ 他部署合同カンファレンスへの参加（3回/年）
- ⑧ 他部署の退院前カンファレンスへの参加（8回/年）

2) 指導

- ① フレッシュ研修「緩和ケアにおける医療用麻薬の使用方法」
- ② 愛知県看護協会東三河地区支部公開講座（豊橋市、豊川市、田原市）
- ③ 愛知県看護協会三職能集会ACP実践報告会
- ④ 豊橋市養護教諭研修会「がん教育-外部講師を活用したがん教育の進め方」
- ⑤ 愛知県立豊橋東高等学校1・2年生「がんってなに？がんのことを正しく知ろう」
- ⑥ がん看護セミナー「コミュニケーションセミナー」
- ⑦ 病棟勉強会3件（PCAポンプの使用方法和看護2件、生活のしやすさに関する質問票の活用方法1件）

3) 相談

年間相談件数：26件

【緩和ケア】

1) 実践

- ① 緩和ケアチームラウンド（754件/年）

- ② 泌尿器科病棟がん患者の全人的ケア、家族ケア、多職種カンファレンス開催

2) 指導

- ① 愛知県看護協会東三河地区支部公開講座（豊橋市、豊川市、田原市）
- ② がん看護セミナー「コミュニケーションセミナー」
- ③ がん患者サロンひまわり「緩和ケア～自分らしく生きるために～」講師
- ④ 救急外来勉強会3件
（エンゼルケアについて1件、生活のしやすさに関する質問票について2件）
- ⑤ 病棟勉強会「コミュニケーションについて」西病棟8階

3) 相談

年間相談件数：8件

【脳卒中リハビリテーション看護】

1) 実践

- ① 自部署における脳卒中患者の急性期看護（脳神経アセスメント・合併症予防・廃用症候群予防等）
- ② 脳卒中再発予防指導（自部署以外3件・外来1件）
- ③ 脳卒中再発予防ラウンド1回/月（西2階3回・東5階1回・東9階3回）
- ④ 脳卒中再発予防関連資料（看護マニュアル・勉強会資料・フローチャート・パンフレット）の掲示板提示と全部署周知
- ⑤ 生活習慣病グループラウンド1回/月（東3階2回・東7回2回・西8階2回・東6階2回）
- ⑥ 看護をつなごうレター11月号執筆 「血压管理は脳卒中予防の要！」
- ⑦ 摂食機能療法Ⅰ・Ⅱの周知に関連した安全な食事開始について現状の調査・検討

2) 指導

- ① 脳卒中再発予防プログラム学習会（各部署1回）
対象：西2階・東5階・東9階・脳神経外科外来
- ② 東病棟9階 脳卒中患者の急性期看護について
- ③ 西病棟3階 脳神経疾患患者の口腔ケアについて
- ④ 豊橋市立看護専門学校2科2年生 脳神経看護講師（全8時間）

3) 相談

相談件数：3件

- ① 東病棟2階 急性リンパ性白血病患児の脳梗塞発症への対応
- ② 東病棟9階 感情失禁（泣く・怒る）に対する対応
- ③ 東病棟9階 社会的行動障害の対応

【糖尿病看護】

1) 実践

- ① 院内糖尿病関連インシデント分析・対策支援
- ② 糖尿病対策委員会・サポートチーム会の運営
- ③ 糖尿病対応難渋患者への看護介入
- ④ 糖尿病内分泌内科外来での療養指導（4件）

2) 指導

- ① 新人基礎看護技術研修「血糖測定、インスリン自己注射」講義・演習

- ② 看護学校講義「内分泌・代謝疾患の看護」(10時間)
- ③ 准看護学校講義「内分泌・代謝疾患の看護」(6時間×2クラス)
- ④ 看護をつなごうレター「食事・運動のバランス」「フットケア」

3) 相談

年間相談件数：2件

- ① インスリン手技獲得困難2件

【小児救急看護】

1) 実践

- ① 病棟における看護実践を通じて看護の質の向上に努めた
- ② 病棟のアクションカードの見直し
- ③ 在宅呼吸器導入患児を持つ親へのPBL指導9件

2) 指導

- ① 「急変時の対応(事例を通して)」(東病棟2階)
- ② 「災害対応」(東病棟2階)
- ③ 「気管カニューレ挿入患者の看護」(東病棟2階)

3) 相談

年間相談件数：1件

- ① 小児用フィジカルアセスメント勉強会について

【救急看護】

1) 実践

- ① 病棟における看護実践を通じて看護の質の向上に努めた
- ② 病棟のアクションカードの見直し
- ③ 病棟急変のカルテを振り返り、担当看護師にフィードバックを行った

2) 指導

- ① 急変時の対応、フィジカルアセスメントⅠの講義
- ② 病棟の新人看護師に心静止の4つの波形、対応について指導
- ③ ICD植え込み患者家族へのBLS講習実施
- ④ 急変時に備えて、シミュレーションの実施
- ⑤ 病棟に対し気管挿管介助のレクチャー
- ⑥ 病棟急変時の振り返りの実施

3) 相談

相談件数：1件

- ① 病棟急変時の病棟スタッフの対応と思考についての相談
(指導にて実施)

【認知症看護】

1) 実践

- ① 認知症や加齢により心身の安寧が得られていない患者に対する症状マネジメント
- ② 高齢者のせん妄患者に対する症状マネジメント
- ③ 高齢患者、認知症のある患者、せん妄のある患者へ介護福祉士と協働しアクティビティケアを

実施

- ④ 認知症サポートチームラウンド（週1回及び適宜臨時 380例）

2) 指導

- ① フレッシュ研修「高齢患者の看護」講義・演習
- ② せん妄勉強会：東病棟8階
- ③ 豊橋市立看護専門学校 看護1科講義：成人看護援助論Ⅲ（10時間）
- ④ 認知症サポートチームラウンドを通して認知症看護についてスタッフに指導
- ⑤ 認定看護師グループラウンド
 - ・急性期グループ：集中治療室退室後の重症患者のラウンド1例（西病棟8階）
 - ・生活習慣病グループ：部署ラウンド8例（西病棟8階 東病棟7階 東病棟6階 西病棟3階）
- ⑥ 愛知県看護協会 令和3年度東三河地区支部公開講座（豊橋市、豊川市、田原市）
- ⑦ 看護をつなごうレター執筆「認知症とうつ」
- ⑧ 認知症対策委員会主催勉強会
 - ・「せん妄勉強会」
 - ・「せん妄」
 - ・「ロールプレイを通して認知症のケアを学ぼう」

3) 相談

年間相談件数：15例

（陽性症状時の対応、薬物療法に対する相談）

【摂食・嚥下障害看護】

1) 実践

- ① 自部署における摂食・嚥下障害看護の実践
- ② 依頼のあった病棟での摂食・嚥下障害看護の実践（東病棟8階、4階病棟）
- ③ 摂食・嚥下障害カンファレンスの実施（毎週金曜日 100件／年）
- ④ 摂食・嚥下障害ラウンド カンファレンス実施患者に適宜（毎週金曜日 40件／年）

2) 指導

- ① 口腔ケア勉強会（西病棟9階、東病棟9階）
- ② 東病棟8階で改訂水飲みテストについて指導
- ③ 4階病棟で摂食訓練方法について指導
- ④ 東病棟7階で食事形態、食事摂取方法について指導
- ⑤ 生活習慣病グループラウンド1回/月（東3階・東7階・西8階・東6階 各2回）

3) 相談

年間相談件数：5件

- ① 改訂水飲みテストの方法について（東病棟8階）
- ② 摂食訓練の姿勢調整について（4階病棟）
- ③ 口腔ケア方法について（西病棟9階、東病棟9階）
- ④ 退院前の食事形態、姿勢調整について（東病棟7階）

【がん化学療法看護】

1) 実践

- ① 抗がん剤投与管理表作成と投与の実践・指導（西病棟9階）

2) 指導

- ① トピックス研修「抗がん剤の取扱い」
- ② フレッシュ研修「がん看護 抗がん剤の取り扱い」
- ③ がん看護セミナー「コミュニケーションセミナー」

3) 相談

- ① 抗がん剤投与管理表の見直しと確認（外来治療センター）
- ② 感染予防と曝露防止について（外来治療センター）
- ③ インフュージョンリアクション出現時の対応について
- ④ 血管外漏出時の対応（東病棟9階）
- ⑤ 土日祝日の抗がん剤調製について（西病棟9階）
- ⑥ 抗がん剤投与時の注意点や器材選択について

【手術看護】

1) 実践

- ① 手術センター褥瘡ハイリスク患者のアセスメントと看護
- ② 臨床での看護実践
- ③ 「看護を語る」で事例の振り返り
- ④ 認定看護師急性期チームでの病棟ラウンド
- ⑤ 手術看護学会東海地区「ロボット支援手術の看護：婦人科領域」講師担当

2) 指導

- ① 豊橋市立看護専門学校 看護第1科「成人看護援助論Ⅰ：手術と看護」（全10時間）
- ② 豊橋市立看護専門学校 看護第2科「成人看護援助論Ⅱ：周術期看護」（全10時間）
- ③ 愛知県看護協会 令和3年度東三河地区支部公開講座（豊川市）

3) 相談

- ① 腎移植後で腹臥位の手術を受ける患者の手術体位の確保についての相談（自部署）
- ② 上肢に拘縮のある患者の手術体位の確保についての相談（自部署）

年間相談件数：2件

【訪問看護】

1) 実践

- ① 退院前訪問 6件
- ② 退院後訪問 15件
- ③ 外来患者への訪問 1件

2) 指導

- ① 愛知県ナースセンター訪問看護職員養成講習会「在宅ケアシステム論」講義
- ② 愛知県看護協会東三河地区公開講座（豊橋市、豊川市）
- ③ ラダー研修Ⅰ「退院支援のながれ」講義

3) 相談

退院前・退院後訪問について

介護保険について

【集中ケア】

1) 実践

- ① 呼吸サポートチーム活動（RST）
人工呼吸器装着患者の早期呼吸器離脱を目指した活動
- ② ICU退室後フォローアップ
ICU退室した患者の重症化回避を目指した活動

2) 指導

- ① 閉鎖式吸引チューブの正しい取り扱いと看護（東病棟7階）
- ② 疼痛・鎮静・せん妄の評価ツールの活用と看護（西病棟3階）
- ③ アンカーファストの正しい取り扱い（西病棟3階）

3) 相談

相談依頼件数：6件

- ① 人工呼吸装着患者の鎮静管理について
- ② 口腔唾液過多の人工呼吸装着患者の看護について
- ③ せん妄の評価とその看護について
- ④ VAP対策について
- ⑤ 酸素化悪化した際の観察するポイントについて
- ⑥ 食道術後患者のストレスに対する看護について

【透析看護】

1) 実践

- ① 糖尿病内科での透析予防指導実践：49件

2) 指導

- ① 糖尿病性腎症学習会

3) 相談

年間相談件数：0件

【新生児集中ケア】

1) 実践

- ① 病棟における看護実践での看護の質向上に努めた

2) 指導

- ① 新生児・乳児の授乳と呼吸（東病棟2階）
- ② 高ビリルビン血症の看護（東病棟2階）
- ③ 新生児のポジショニングとハンドリング（新生児医療センター）
- ④ 豊橋市立看護専門学校 第1科2年生 小児看護学：新生児看護について（全3時間）

3) 相談

年間相談件数：3件

- ① 超低出生体重児の初期処置シミュレーションについて
- ② 新生児の発達促進と評価について
- ③ PIBBSの活用について

【放射線看護】

1) 実践

- ① 放射線治療患者看護（新患+再患）：585件
- ② 婦人科・放射線科合同カンファレンス：（月1回）

2) 指導

- ① 「放射線治療決定後からの開始までの看護師の関わりと患者への説明内容、副作用に対する対応と患者への説明」について（耳鼻科外来）
- ② 愛知県看護協会東三河地区支部公開講座（豊川市）

3) 相談

年間相談件数：4件/年

- ① 照射部位の皮膚炎の処置方法について 4件

【慢性心不全看護】

1) 実践

- ① ICDを植込みした初期青年期の女性患者に対する関りと社会復帰までの支援
- ② 心不全外来11月下旬より開始 8名（25件/年）
- ③ 心不全患者のセルフモニタリング・マネージメント向上の目的で大阪心不全地域連携の会が作成したハートノートを導入するために、院内のコンセンサスを得て大阪心不全地域連携の会と契約を行い、東3階病棟で導入
- ④ 豊橋心不全地域連携研究会準備会の立ち上げをメンバーの一員として実施
- ⑤ 毎週木曜日の心不全カンファレンスのファシリテート
- ⑥ CRT-D留置のための意思決定支援

2) 指導

- ① 実践①の家族に対して、患者家族に対しても救急看護認定看護師と共同し心肺蘇生の方法を指導
- ② 病棟看護師に対し、ICD、CRT-D留置患者の看護について勉強会実施
- ③ 病棟看護師に対し、ハートノート導入に向け勉強会実施
- ④ 内科外来看護師に、心不全についての勉強会を実施
- ⑤ 内科外来看護師に、ハートノート導入に向けた勉強会を実施
- ⑥ 認定看護師グループのラウンド
生活習慣病グループ：部署ラウンド8例（西病棟8階 東病棟7階 東病棟6階 西病棟3階）

3) 相談

年間相談件数：2件

- ① 循環器内科外来から、心不全stageDの患者から面談の希望があると依頼があり患者、患者家族と面談
- ② 渥美病院の心不全チームから依頼があり、心不全チームの意義や活動についての相談あり
webミーティング実施

(資料2) 2021年度 研修受講状況

	日付	研修名	延参加人数	内 容
フ レ ッ シ ュ	4/6 4/7 4/8 4/9	情報研修	61名	・電子カルテの操作方法
	4/12 4/13 4/14 4/15 5/6	基礎看護技術 (19コマ)	305名	・感染対策・中材見学 病棟の流れ・報連相 ・安楽な体位 移送と移乗 オムツ交換 ・血糖測定 インスリン注射 バイタルサイン測定 ・呼吸循環のアセスメント 酸素 吸引 ・高齢患者の看護 高齢者と薬 ・採血 皮下・筋肉注射 ・経管栄養 検査 膀胱留置カテーテル ・点滴静脈内注射 ・NST、嚥下障害に対する看護 ・重症度、医療・看護必要度 ・患者の療養生活を整える 外傷性の止血
	5/19	ME 研修①	61名	・輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い
	5/24	新人フォロー振り返り研修	59名	・働きはじめてからの戸惑いなどを情報交換し、課題 解決に向けて取り組む ・SBARを用いた報告
	6/3 7/1 8/5 9/2 10/7 11/4	BLS 研修	59名	・気道確保、胸骨圧迫などの蘇生方法 ・AED（自動体外式除細動器）の使用法
	6/16	退院支援	59名	・退院支援の基礎知識
	6/16	リフレッシュ研修①	59名	・自己の振り返りとリアリティショックの緩和 ・アロマセラピー、ハンドマッサージ
	6/30	医療安全	57名	・起こしやすいインシデントと改善策
	7/7	消防研修 災害時の初期 対応	57名	・院内消防設備の取り扱い ・エアストレッチャーの体験
	8/2	輸血・血液製剤の取り扱 い、輸血時の看護	58名	・血液製剤の取り扱いと実施方法、輸血を必要とする 患者の看護
	8/2	医療用麻薬の使用と管理	58名	・麻薬の取り扱いと管理 ・麻薬を使用する患者の看護
	8/2	リフレッシュ研修②	58名	・理学療法士によるストレッチ
	9/15	フィジカルアセスメントⅠ 急変時の対応	55名	・急変時の対応と記録 ・胸骨圧迫、挿管介助、AEDの操作
	10/22 10/25 10/26	シミュレーション研修	52名	・多重課題のシミュレーション ・優先順位の考え方
	11/10	ME 研修②	54名	・人工呼吸器の操作方法 ・作動中の管理と看護
	1/23	看護過程の展開	49名	・看護過程の基本的な考え方
	3/14	がん看護 抗がん剤の取 り扱い	50名	・抗がん剤の安全な取り扱い、プリセプターの役割
	3/14	プリセプターシップ研修	50名	・1年の振り返りと次年度の課題 ・プリセプターの役割

レベルⅠ	6/7 9/6	退院支援Ⅰ	70名	・退院支援に向けた看護ケアと社会福祉制度
	7/26 8/18	フィジカルアセスメントⅡ	64名	・急変を予測するための患者評価、急変時の報告と記録
	9/27 11/15	看護ケアのマネジメント	57名	・看護サービスの視点 ・看護ケアのマネジメントの実際
レベルⅡ	6/14	リーダーシップ	59名	・リーダーシップに必要な能力と理論
	8/30	退院支援Ⅱ	48名	・退院支援を効果的にするアセスメント ・退院支援のためのチーム医療と多職種連携
	9/13	人材育成	52名	・人材育成に必要な能力と手法
	10/4 12/6	フィジカルアセスメントⅢ	59名	・急変時の応援要請（コードブルー） ・チーム医療、家族への援助
	11/29	看護理論	41名	・看護の主要概念 ・リフレクションによる自己の看護観の明確化
レベルⅢ	7/12 8/16	看護管理Ⅰ	39名	・問題抽出の方法（PDPフレームワーク） ・課題解決に向けてアクションプランを作成
	7/19	コンフリクトマネジメントⅠ	33名	・コンフリクトとは ・コンフリクトの対応
レベルⅣ	6/21 12/13	看護管理Ⅱ	12名	・部署の課題に対する実践計画の立案、実施、評価（SWOT分析）
	8/23	コンフリクトマネジメントⅢ	17名	・コンフリクトに対する協調的アプローチ
実地指導者	6/28 8/11 10/11 3/7	実地指導者研修	175名	・実地指導者の役割 ・新人が育つ環境作り ・人材育成に必要な力 ・効果的な指導
トピックス	12/15 3/11	がん看護 抗がん剤の取り扱い	47名	・抗がん剤の安全な取り扱いと投与管理

各レベル	コマ数	人数
フレッシュ	35 コマ	1,261名
レベルⅠ	3 コマ	191名
レベルⅡ	5 コマ	259名
レベルⅢ	2 コマ	72名
レベルⅣ	2 コマ	29名
実地指導者	4 コマ	175名
トピックス	1 コマ	47名
合計	45 コマ	2,034名

事務局

1. 概要

事務局は、管理課・医療情報課・医事課の3課で構成され、管理課は、医療スタッフの採用や給与・福利厚生、予算・決算、施設の維持管理、物品購入などに関する業務、医療情報課は、システム開発や管理・運用、セキュリティ対策などに関する業務、医事課は、入院外来に関する医療事務のほか、保険診療に係る請求・収納事務、地域の医療機関との連携推進、がん相談を含む医療福祉相談に関する業務などを行っている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が感染拡大する厳しい状況の中、医療提供体制の維持に努めた医療スタッフの勤務に応えるため、看護師ほか15職種の給料等の引き上げを実施したほか、新たな職種としての介護福祉士の採用や救急外来にA I問診システムの導入、職員の負担軽減を図るなど、労働環境を整備した。

主な事業としては、新型コロナウイルス感染症や今後の新たな感染症の発生に備えるための感染症専用病棟の建設に向けた基本設計及び実施設計を行うとともに、建物の長寿命化を図るため、診療棟の外壁及びエレベーターの改修工事を行ったほか、病棟エレベーターの改修工事にも着工した。また、救急医療体制の充実を図るためドクターカーを導入した。

(局長 渡辺 英仁)

2. 活動報告

(1) 収益的収入及び支出

区分			令和3年度			令和2年度			令和元年度		
			金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)	金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)	金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)
収益的 収入	医業 収益	入 院 収 益	17,606,927,309	56.4	46.7	16,679,951,202	56.5	49.1	17,729,834,798	58.3	54.3
		外 来 収 益	12,174,929,583	39.0	32.3	11,557,867,953	39.1	34.0	11,389,553,143	37.5	34.9
		そ の 他 医 業 収 益	1,434,805,560	4.6	3.8	1,287,159,430	4.4	3.8	1,291,785,612	4.2	4.0
		小 計	31,216,662,452	100.0	82.8	29,524,978,585	100.0	86.9	30,411,173,553	100.0	93.2
	医業外 収益	受 取 利 息	6,983,689	0.0	0.0	7,860,076	0.0	0.0	8,448,892	0.0	0.0
		他 会 計 負 担 金	778,606,405	2.5	2.1	811,596,410	2.7	2.4	864,809,075	2.8	2.7
		他 会 計 補 助 金	407,000	0.0	0.0	301,000	0.0	0.0	0	－	－
		国 庫 補 助 金	111,234,000	0.4	0.3	111,357,000	0.4	0.3	25,362,000	0.1	0.1
		県 補 助 金	4,193,981,500	13.4	11.1	2,246,765,290	7.6	6.6	48,196,000	0.2	0.1
		長期前受金戻入	560,622,743	1.8	1.5	544,526,885	1.8	1.6	556,642,990	1.8	1.7
		その他医業外収益	235,463,020	0.8	0.6	225,740,434	0.8	0.7	232,375,059	0.8	0.7
		小 計	5,887,298,357	18.9	15.6	3,948,147,095	13.4	11.6	1,735,834,016	5.7	5.3
	特別 利益	固定資産売却益	127,839,500	0.4	0.3	0	－	－	0	－	－
		長期前受金戻入	466,640,079	1.5	1.2	503,990,837	1.7	1.5	483,736,487	1.6	1.5
		小 計	594,479,579	1.9	1.6	503,990,837	1.7	1.5	483,736,487	1.6	1.5
	計			37,698,440,388	120.8	100.0	33,977,116,517	115.1	100.0	32,630,744,056	107.3
収益的 支出	医業 費用	給 与 費	13,353,672,365	42.8	40.4	13,109,763,132	44.4	40.4	13,053,398,438	42.9	40.5
		材 料 費	11,555,413,399	37.0	34.9	11,183,842,483	37.9	34.5	11,151,324,242	36.7	34.6
		経 費	4,357,558,333	14.0	13.2	4,321,756,634	14.6	13.3	3,970,847,305	13.1	12.3
		減 価 償 却 費	2,427,471,741	7.8	7.3	2,374,566,696	8.0	7.3	2,411,812,776	7.9	7.5
		資 産 減 耗 費	39,647,236	0.1	0.1	60,145,866	0.2	0.2	150,977,660	0.5	0.5
		研 究 研 修 費	76,915,346	0.2	0.2	76,565,533	0.3	0.2	114,254,951	0.4	0.4
		小 計	31,810,678,420	101.9	96.2	31,126,640,344	105.4	95.9	30,852,615,372	101.5	95.8
	医業外 費用	支 払 利 息	256,756,063	0.8	0.8	311,345,817	1.1	1.0	363,907,268	1.2	1.1
		保 育 費	50,977,038	0.2	0.2	47,308,298	0.2	0.1	36,697,206	0.1	0.1
		貸 倒 引 当 金 繰 入 額	15,656,000	0.1	0.0	22,496,000	0.1	0.1	24,878,400	0.1	0.1
		雑 損 失	935,956,350	3.0	2.8	874,719,105	3.0	2.7	739,408,741	2.4	2.3
		小 計	1,259,345,451	4.0	3.8	1,255,869,220	4.3	3.9	1,164,891,615	3.8	3.6
	特別 損失	引当金繰入額	0	－	－	62,214,549	0.2	0.2	0	－	－
		過 年 度 損 益 修 正 損	0	－	－	0	－	－	202,951,885	0.7	0.6
		小 計	0	－	－	62,214,549	0.2	0.2	202,951,885	0.7	0.6
	計			33,070,023,871	105.9	100.0	32,444,724,113	109.9	100.0	32,220,458,872	106.0
当年度純利益(△純損失)			4,628,416,517	－	－	1,532,392,404	－	－	410,285,184	－	－
前年度繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)			1,267,050,939	－	－	1,266,658,535	－	－	1,024,373,351	－	－
その他の未処 理損金変動額			410,000,000	－	－	597,000,000	－	－	242,000,000	－	－
当年度未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)			6,305,467,456	－	－	3,396,050,939	－	－	1,676,658,535	－	－

※各項目は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合がある。

(2) 行為別入院収益・外来収益

区 分		令和 3 年度		
		金額 (円)	前年度比 (%)	構成比 (%)
入院収益	投 薬 収 入	172,576,850	120.6	1.0
	注 射 収 入	488,745,804	109.4	2.8
	処 置 及 び 手 術 収 入	4,717,817,007	104.8	26.8
	検 査 収 入	309,562,297	135.4	1.8
	放 射 線 収 入	40,936,699	100.4	0.2
	入 院 料	11,101,880,481	105.5	63.1
	給 食 収 入	325,725,485	97.6	1.8
	そ の 他	449,682,686	98.1	2.5
	計	17,606,927,309	105.6	100.0
外来収益	初 診 料	124,166,415	110.3	1.0
	再 診 料	904,033,286	102.4	7.4
	投 薬 収 入	1,213,022,885	97.9	10.0
	注 射 収 入	5,940,540,061	105.0	48.8
	処 置 及 び 手 術 収 入	335,982,820	100.5	2.8
	検 査 収 入	2,054,187,313	115.9	16.9
	放 射 線 収 入	1,261,062,289	103.0	10.3
	そ の 他	341,934,514	102.9	2.8
	計	12,174,929,583	105.3	100.0

(3) 資本の収入及び支出

(円)

区 分		令和3年度	増 減	令和2年度	増 減	令和元年度	増 減
資本の収入	企 業 債	100,900,000	100,900,000	－	－	－	△1,370,400,000
	他 会 計 出 資 金	21,560,000	3,560,000	18,000,000	18,000,000	－	－
	他 会 計 負 担 金	1,387,636,779	36,204,886	1,351,431,893	59,302,096	1,292,129,797	34,268,482
	国 庫 補 助 金	－	△14,846,000	14,846,000	14,846,000	－	－
	県 補 助 金	56,364,500	△76,749,210	133,113,710	133,113,710	－	－
	固定資産売却代金	701,328,389	701,328,389	－	－	－	－
	投 資 回 収 金	10,616,000	2,196,000	8,420,000	△3,908,000	12,328,000	1,864,000
	損益勘定留保資金	2,107,761,945	254,305,690	1,853,456,255	△61,160,689	1,914,616,944	△797,033,418
	減債積立金取崩額	410,000,000	△187,000,000	597,000,000	355,000,000	242,000,000	△462,000,000
	消費税及び地方消費税 資本の収支調整額	3,790,910	376,261	3,414,649	885,708	2,528,941	△3,923,015
	計	4,799,958,523	820,276,016	3,979,682,507	516,078,825	3,463,603,682	△2,597,223,951
資本の支出	施 設 改 良 費	580,735,100	253,276,100	327,459,000	6,867,850	320,591,150	△1,193,426,481
	資 産 購 入 費	1,156,767,312	△195,699,028	1,352,466,340	359,858,093	992,608,247	△659,115,914
	長 期 貸 付 金	23,580,000	△5,176,000	28,756,000	△ 886,800	29,642,800	△6,774,400
	投 資 有 価 証 券	713,285,190	713,285,190	－	－	－	△791,242,618
	企 業 債 償 還 金	2,325,590,921	54,589,754	2,271,001,167	150,274,435	2,120,726,732	53,310,472
	補 助 金 返 還 金	－	－	－	△ 34,753	34,753	24,990
	計	4,799,958,523	820,276,016	3,979,682,507	516,078,825	3,463,603,682	△2,597,223,951

(4) 貸借対照表(令和4年3月31日)

資 産 の 部				(単位:円)
1	固 定 資 産			
(1)	有 形 固 定 資 産			
	イ 土 地		6,377,841,813	
	ロ 建 物	20,374,812,164		
	減価償却累計額	<u>△ 9,672,645,004</u>	10,702,167,160	
	ハ 附 属 設 備	17,023,632,829		
	減価償却累計額	<u>△12,251,743,624</u>	4,771,889,205	
	ニ 構 築 物	1,603,886,296		
	減価償却累計額	<u>△ 845,040,612</u>	758,845,684	
	ホ 器 械 備 品	11,954,627,864		
	減価償却累計額	<u>△ 8,513,024,230</u>	3,441,603,634	
	ヘ 車 両	17,991,211		
	減価償却累計額	<u>△ 15,080,623</u>	2,910,588	
	ト 放 射 性 同 位 元 素	17,946,000		
	減価償却累計額	<u>△ 3,230,280</u>	14,715,720	
	チ リ ー ス 資 産	2,360,306,428		
	減価償却累計額	<u>△ 1,394,955,285</u>	965,351,143	
	リ 建 設 仮 勘 定		<u>21,750,026</u>	
	有形固定資産合計			27,057,074,973
(2)	無 形 固 定 資 産			
	イ 電 話 加 入 権		7,041,831	
	ロ ソ フ ト ウ ェ ア		235,359,836	
	ハ その他無形固定資産		<u>11,169,306</u>	
	無形固定資産合計			253,570,973
(3)	投 資 そ の 他 の 資 産			
	イ 投 資 有 価 証 券		811,614,482	
	ロ 長 期 貸 付 金	100,362,800		
	貸倒引当金	<u>△ 75,442,800</u>	24,920,000	
	ハ 出 資 金		500,000	
	ニ 破 産 更 生 債 権 等	114,381,779		
	貸倒引当金	<u>△ 114,381,779</u>	<u>0</u>	
	投資その他の資産合計			<u>837,034,482</u>
	固 定 資 産 合 計			28,147,680,428

2	流	動	資	産		
(1)	現	金	預	金		8,790,646,782
(2)	未		収	金	6,168,095,322	
	貸	倒	引	当	△ 15,920,524	6,152,174,798
(3)	貯		蔵	品		30,505,964
(4)	前		払	金		88,981,275
	流	動	資	産		<u>15,062,308,819</u>
	資	産	合	計		<u>43,209,989,247</u>

負 債 の 部

3	固	定	負	債		
(1)	企		業	債		
イ	建設改良費等の財源に				<u>9,630,120,527</u>	
	充てるための企業債					9,630,120,527
	企	業	債	合		
(2)	リ	ー	ス	債		744,247,424
(3)	引		当	金		
イ	退職給付引当金				<u>4,832,238,720</u>	
	引	当	金	合		<u>4,832,238,720</u>
	固	定	負	債		15,206,606,671
4	流	動	負	債		
(1)	企		業	債		
イ	建設改良費等の財源に				<u>2,382,240,008</u>	
	充てるための企業債					2,382,240,008
	企	業	債	合		
(2)	リ	ー	ス	債		313,348,278
(3)	引		当	金		
イ	賞与引当金				635,214,954	
ロ	法定福利費引当金				<u>118,583,485</u>	
	引	当	金	合		753,798,439
(4)	未		払	金		2,945,092,682
(5)	未	払	消	費		21,717,200
(6)	地	方	消	費		
	預		り	金		<u>120,371,173</u>
	流	動	負	債		6,536,567,780

5 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金			
イ 受 贈 財 産 評 価 額	18,511,970		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 10,761,028</u>	7,750,942	
ロ 補 助 金	1,335,774,760		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 882,674,464</u>	453,100,296	
ハ 負 担 金	17,948,860,008		
収 益 化 累 計 額	<u>△14,996,770,981</u>	<u>2,952,089,027</u>	
長 期 前 受 金 合 計		<u>3,412,940,265</u>	
繰 延 収 益 合 計			<u>3,412,940,265</u>
負 債 合 計			25,156,114,716

資 本 の 部

6 資 本 金			9,831,502,341
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受 贈 財 産 評 価 額	258,564,805		
ロ 負 担 金	<u>126,339,929</u>		
資 本 剰 余 金 合 計		384,904,734	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 減 債 積 立 金	1,532,000,000		
ロ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>6,305,467,456</u>		
利 益 剰 余 金 合 計		<u>7,837,467,456</u>	
剰 余 金 合 計			<u>8,222,372,190</u>
資 本 合 計			<u>18,053,874,531</u>
負 債 資 本 合 計			<u>43,209,989,247</u>

(5) 主な経営財務分析

区 分	算 式	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1. 平均在院日数 (施設基準上の算定) (日)	$\frac{\text{在 院 患 者 数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$	11.0	11.6	11.7
2. 病床利用率 (一般病床) (%)	$\frac{\text{入 院 患 者 数}}{\text{許 可 病 床 数}} \times 100$	78.4	80.1	90.5
3. 入院患者1人1日 当たり収入額 (円)	$\frac{\text{入 院 収 益 額}}{\text{入 院 患 者 延 数}}$	76,620	71,957	68,340
4. 外来患者1人1日 当たり収入額 (円)	$\frac{\text{外 来 収 益 額}}{\text{外 来 患 者 延 数}}$	26,257	26,177	23,700
5. 剖 検 率 (%)	$\frac{\text{解 剖 数}}{\text{院内死亡患者数}} \times 100$	2.2	2.9	2.3
6. 100床当たり職員数 (人)	$\frac{\text{職 員 数 (年度末)}}{\text{許可病床数 (年度末)}} \times 100$	160.8	159.3	151.4
7. 100床当たり医師数 (人)	$\frac{\text{医 師 数 (年度末)}}{\text{許可病床数 (年度末)}} \times 100$	29.0	28.6	23.4
8. 100床当たり 看護師数 (人)	$\frac{\text{看 護 師 (年度末)}}{\text{許可病床数 (年度末)}} \times 100$	94.9	94.8	93.4
9. 100床当たり器械備品額 (年度末) (千円)	$\frac{\text{器械備品額(減価償却累計額控除額)}}{\text{許 可 病 床 数}} \times 100$	430,200	462,909	474,049
10. 人 件 費 率 (%)	$\frac{\text{給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	42.8	44.4	42.9
11. 流 動 比 率 (%)	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	230.4	167.9	166.4
12. 総 資 本 利 益 率 (%)	$\frac{\text{当 年 度 純 利 益}}{1/2(\text{期首総資産} + \text{期末総資産})} \times 100$	11.1	3.8	1.0

医師事務作業補助者

1. 概要

医師事務作業補助者は、医師の事務作業軽減を目的として2008年に誕生した職種である。当院では、2009年から採用を開始し、現在50人となった。主な業務内容は以下の4つである。

- ①文書作成補助業務：保険会社の入院証明書・通院証明書、介護保険に伴う主治医意見書、傷病手当一時金、障害年金審等の診断書作成補助を行っている。当院は、ドクタークラークと称している。
- ②臨床データ登録業務：診療に関するデータの抽出・整理・登録業務、薬品市販後調査、患者を他院に紹介するための画像CDの作成補助をしている。当院は、ドクタークラークと称している。
- ③がん登録：地域がん診療連携拠点病院の義務である、診断年ごとのがん患者の抽出・登録システムへの入力を行っている。
- ④外来代行入力業務：電子カルテへの代行入力を行っている。当院は、外来クラークと称している。

これらの業務は、業務改善委員会の下部組織である医師事務作業軽減部会で管理している。医師事務作業補助者は、医師の働き方改革において重要な役割を担う存在であり、今後もさまざまな事務作業の代行を支援することで、医師の負担軽減に努めたい。

(部会長 小山 典久)

2. 活動報告

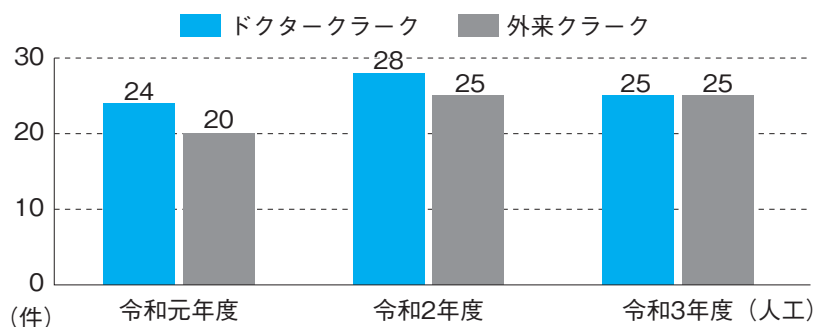
(1) 従事者数（人工）

①ドクタークラーク

チーム名(主な業務)	人数(人工)
Aチーム (入院証明作成)	6
Bチーム (その他書類作成)	6
Cチーム (データの抽出・整理)	6
Dチーム (市販後調査の補助)	5
Eチーム (がん登録の登録支援)	2
計	25

②外来クラーク

診療科	人数(人工)
内科	4.5
糖尿病・内分泌内科	3
外科	2
整形外科	3
脳神経外科	2
小児科	2
産婦人科	1.5
産婦人科(生殖医療)	1
耳鼻いんこう科	1
眼科	1
泌尿器科	3
放射線科	1
計	25



(2) ドクターワーク実績

①入院証明作成補助業務（担当者 6人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
入院証明書(患者申込数)	548	558	617	563	619	591	578	605	611	562	503	633	6,988
中止件数	2	2	0	4	1	1	0	2	2	4	2	1	21
入院証明書(実質作成数)	550	560	617	567	620	592	578	607	613	566	505	634	7,009

②その他書類作成補助業務（担当者 6人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
特定疾患診断書(更新) 特定疾患診断書(新規)	35	811	472	116	47	27	25	28	25	15	15	18	1,634
介護保険主治医意見書	86	99	90	86	120	88	125	99	112	142	99	144	1,290
自賠責保険診断書	140	106	107	91	156	102	139	117	111	139	96	91	1,395
傷病手当金請求書	160	146	172	179	161	172	189	165	179	177	178	221	2,099
労災休業給付申請書	31	32	29	24	28	37	41	32	41	38	33	44	410
生活保護医療要否意見書	52	69	70	56	66	72	79	86	69	53	105	90	867
B型C型肝炎患者医療給付事業 受給者票認定に係わる診断書	4	3	2	3	2	2	1	5	4	7	4	3	40
出産一時金支給申請書	3	3	4	2	2	2	3	1	1	2	1	2	26
出産手当金支給申請書	5	5	5	10	1	5	10	7	4	5	6	8	71
訪問看護指示書	37	39	38	25	40	49	47	47	38	38	41	54	493
障害認定医師意見書	4	5	6	11	10	7	12	6	11	8	8	8	96
自立支援	21	8	15	7	9	2	10	7	9	7	3	13	111
結核定期病状調査報告書	0	0	35	10	0	1	25	16	1	13	0	1	102
小児慢性特定疾病	3	1	2	3	3	3	8	120	106	45	11	7	312
障害年金診断書	25	13	17	25	16	24	16	25	15	16	19	15	226
身体障害者診断書 (神経内科) (H30.12.3～脳神経外科) (H31.2.6～整形外科) (R1.8.7～外科W5Dr柴田) (R3.11.1～小児科肢体)	6	4	5	6	8	4	6	8	10	18	5	9	89
特別児童扶養手当認定診断書	1	1	9	0	1	5	2	1	0	2	5	0	27
受診状況等証明書	8	4	10	6	8	14	5	5	8	7	9	4	88
計	621	1,349	1,088	660	678	616	743	775	744	732	638	732	9,376

③他院紹介・学会用CD作成業務（担当者 6人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
転院・紹介用(申請書あり)	104	82	122	76	108	96	123	116	108	79	70	105	1,189
学会・研究用(申請書あり)	2	6	12	5	11	5	3	3	0	6	3	13	69
転院・紹介用(Dr 作成)	690	579	636	609	673	659	688	776	740	668	610	781	8,109
学会・研究用(Dr 作成)	4	5	7	0	4	12	44	3	5	2	2	5	93
計	800	672	777	690	796	772	858	898	853	755	685	904	9,460

④薬品別市販後調査票作成業務（担当者 2人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
調査票記入数	19	13	17	36	27	28	25	17	21	21	20	23	267
製薬会社提出数	0	0	2	1	1	0	2	2	5	2	1	2	18

⑤症例登録・抽出業務（担当者 11人 ※③・④・⑥担当者兼務）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
DWHを使用したデータ抽出・作成	6	10	7	3	7	8	10	12	7	6	8	7	91
NCD症例登録（一般外科）	131	157	137	126	171	120	116	177	140	135	131	130	1,671
乳癌初回追跡調査	0	141	0	0	0	0	0	101	0	0	0	0	242
全国原発性肝癌追跡調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84	0	0	84
NCD症例登録（先天性心臓外科、血管外科）	13	0	0	9	0	5	1	16	0	35	0	0	79
NCD症例登録（成人心臓外科）	4	0	3	4	6	4	2	0	1	6	4	2	36
NCD症例登録（移植外科）	6	0	23	0	0	0	20	6	14	0	0	0	69
NCD症例登録（泌尿器科）	28	48	42	35	24	26	19	19	14	23	19	25	322
NCD症例登録（循環器内科）	26	13	21	24	25	18	9	19	23	31	25	26	260
NCD症例登録（呼吸器外科）	20	12	17	24	17	20	32	15	22	14	26	23	242
JND症例登録（脳神経外科）	173	155	117	105	137	129	119	117	163	155	116	132	1,618
JOANR症例登録（整形外科）	80	107	102	77	80	96	102	111	113	102	80	69	1,119
JSSR症例登録（脊椎外科）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16	0	0	17
JSIS症例登録（脊椎外科）	0	12	9	6	4	9	10	7	13	4	3	5	82
杉田クリップ後向き観察研究（脳神経外科）	0	0	0	0	0	64	0	0	0	0	0	0	64
COVID-19に関するレジストリ研究（呼吸器内科）	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
臓器がん登録（産婦人科）	307	27	0	37	0	0	0	11	37	0	48	42	509
日本外傷データベース（救急科）	24	35	19	15	25	22	36	28	20	33	31	13	301
HER-SYS登録業務（感染症センター）	549	852	966	962	971	867	983	1,011	843	1,336	1,540	1,359	12,239
日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション全国症例登録研究〔J-AB〕症例登録（循環器内科）	11	15	15	12	9	12	7	9	13	9	100	9	221
周産期医療センターネットワークデータベースハイリスク児のデータ登録（小児科）	2	2	5	2	3	3	4	2	4	5	4	6	42
周産期医療センターネットワークデータベースハイリスク児予後登録（小児科）	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	39	55	132
コロナ検査実施データベース（感染症センター）	1,223	2,011	3,133	2,959	3,372	2,857	3,373	3,542	2,807	3,974	5,346	4,687	39,284

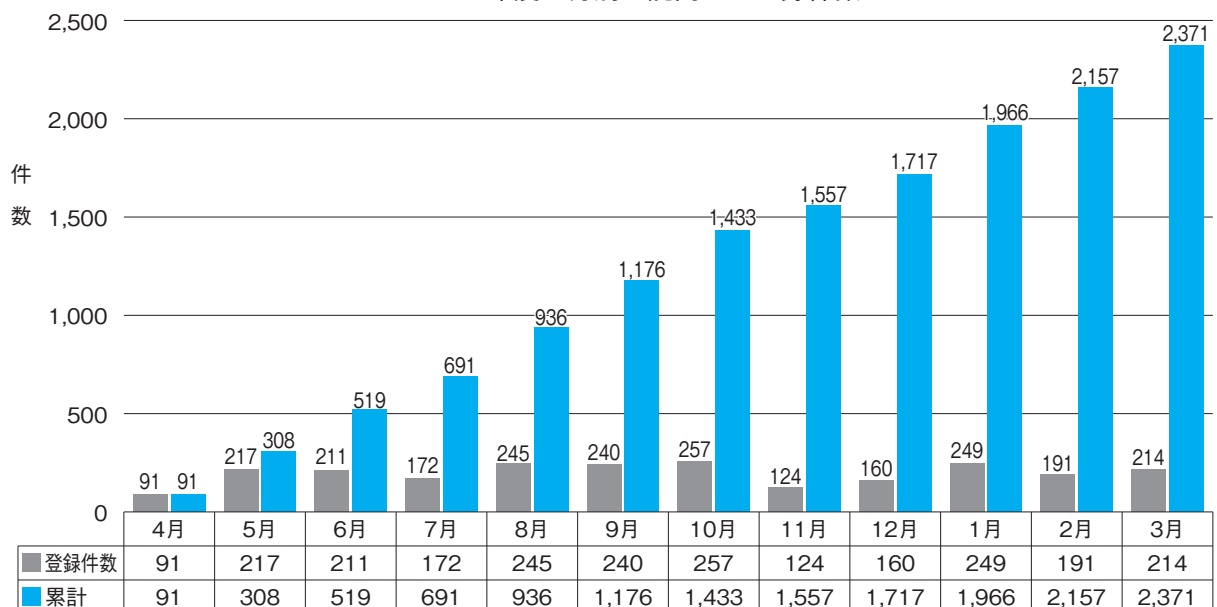
日本血液学会 血液疾患登録 (JSH) (血液・腫瘍内科)	0	0	0	0	33	39	0	0	0	25	0	0	97
日本血液学会 MM-15事業症例登録 (血液・腫瘍内科)	0	0	2	0	0	2	0	0	24	0	0	0	28
成人白血病治療共同機構 (JALSG) (CS-17) 症例登録 (血液・腫瘍内科)	0	23	88	0	2	1	12	27	0	0	0	0	153
日本血液学会 J-SKI事業症例登録 (血液・腫瘍内科)	1	0	2	7	0	19	0	3	11	0	0	0	43
一般社団法人 日本糖尿病学会調査・抽出および症例登録 (糖尿病・内分泌科)	0	0	0	173	0	799	911	0	0	0	0	0	1,883
POME症例登録 (泌尿器科)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
日本人移植登録システム JARTRE-W症例登録 (移植外科)	0	0	0	0	0	0	0	50	69	0	0	0	119
日本小児血液・がん学会症例登録 (Ptosh) (小児科)	0	0	0	0	3	2	3	0	0	0	1	0	9
小児救急医学会 調査研究委員会 小児救急重篤疾患登録調査症例登録 (小児科)	0	0	0	0	0	0	21	24	13	15	20	0	93
PROMISE Study症例登録 (呼吸器内科)	4	1	1	1	4	2	1	5	4	1	2	2	28
日本造血細胞移植データセンター (TRUMP2) 症例登録 (血液・腫瘍内科)	7	5	8	4	5	4	4	2	3	4	4	7	57
計	2,626	3,626	4,717	4,585	4,898	5,128	5,795	5,353	4,360	6,013	7,547	6,599	61,247

⑥各診療科の患者データベース作成業務（担当者 11人 ※③・④・⑥担当者兼務）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
脊椎外科	18	29	13	17	22	21	13	20	21	16	10	13	213
呼吸器外科	11	11	16	7	13	17	1	2	4	7	6	0	95
心臓外科・血管外科	7	8	2	4	4	4	2	6	0	6	4	1	48
脳神経外科(入院患者一覧)	64	75	50	58	77	51	73	53	77	78	14	0	670
脳神経外科(予後mRS)	18	51	41	68	45	58	30	51	114	17	1	0	494
消化器内科(内視鏡検査)	20	23	23	23	24	21	31	25	28	25	23	28	294
消化器内科(RFA)	0	9	2	3	0	7	0	2	1	1	0	0	25
産婦人科(助産録分娩件数)	153	81	33	42	7	24	50	2	57	96	49	87	681
整形外科(学会用)	12	15	7	12	16	11	27	22	15	31	20	13	201
整形外科(パス会議用)	11	15	7	13	16	14	29	23	16	26	0	0	170
歯科口腔外科(外傷)	51	0	0	0	0	0	84	0	0	3	54	4	196
歯科口腔外科(口腔)	196	87	0	0	195	517	53	274	519	197	0	0	2,038
泌尿器科	119	92	103	119	86	84	108	87	104	90	78	96	1,166
救急科(救急外來說明書有無)	0	692	1,900	2,607	2,221	1,793	1,862	2,085	1,663	2,428	1,718	1,691	20,660
リウマチ科(関節リウマチ患者のデータ集積登録)	6	11	13	15	26	25	26	39	41	40	40	38	320
計	686	1,199	2,210	2,988	2,752	2,647	2,389	2,691	2,660	3,061	2,017	1,971	27,271

⑦院内がん登録支援業務（担当者 2人）

2021年度＜月別＞院内がん登録件数



VI 研究・業績

～解説～

① 医 局

(1) 2021 年 1 月 1 日 ～ 2021 年 12 月 31 日の業績を掲載しています。

② 診療技術局・薬局・看護局・事務局

(1) 2021 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日の業績を掲載しています。

学会発表（医局）

（呼吸器内科）

1. 岩出 和馬. 40. 結腸癌を合併したBirt-Hogg-Dubé症候群の1例. 第244回日本内科学会東海地方会. WEB. 2021/6/27
2. 馬場 智也. Nivolumab投与中にVogt-小柳-原田病様ぶどう膜炎を生じた肺腺癌の1例. 第120回日本呼吸器学会東海地方会. WEB. 2021/11/13-2021/11/14
3. 森 康孝. 健康診断を契機に発見された右鎖骨下仮性動脈瘤の一例. 第120回日本呼吸器学会東海地方会. WEB. 2021/11/13-2021/11/14
4. 安井 裕智. ステロイドにより胸水の減少を認めた黄色爪症候群の一例. 第120回日本呼吸器学会東海地方会. WEB. 2021/11/13-2021/11/14
5. 馬場 智也. 無気肺を契機に発見された気管原発悪性リンパ腫の1例. 第62回日本呼吸器内視鏡学会中部支部会. WEB. 2021/12/11
6. 安井 裕智. 経食道的超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法で安全に検査ができた小細胞肺癌の1例. 第62回日本呼吸器内視鏡学会中部支部会. WEB. 2021/12/11

（消化器内科）

1. 小木曾 拓也. 比較的稀な消化管原発濾胞性リンパ腫の1例. 第243回日本内科学会東海地方会. WEB. 2021/2/14
2. 西堀 友美. 粘膜下層深部浸潤を認めた低異度分化型胃癌の1例. 第243回日本内科学会東海地方会. WEB. 2021/2/14
3. 内藤 岳人. 切除不能肝細胞癌に対するAtezolizumab + Bevacizumab併用療法の短期成績. 第29回日本消化器関連学会週間. 神戸市. 2021/11/4
4. 小木曾 拓也. 寛解期潰瘍性大腸炎におけるMMXメサラジン製剤減量の再燃に関連する因子の検討. 第29回日本消化器関連学会週間. 神戸市. 2021/11/5
5. 新田 紘一郎. Crohn病に対してインフリキシマブ使用中に神経梅毒を発症した一例. 日本消化器病学会東海支部第135回例会. 名古屋市. 2021/12/11

（循環器内科）

1. 渡邊 実紀. ペースメーカーによる心拍数増加が奏功した心拍数正常域の慢性心不全の1例. 第243回日本内科学会東海地方会. 名古屋市 (WEB). 2021/2/14
2. 近藤 浩幹. 蜂刺されによるアナフィラキシーによって急性心筋梗塞を発症したKounis症候群の1例. 第45回日本心血管インターベンション治療学会 東海北陸地方会. 名古屋市 (WEB). 2021/10/17

（糖尿病・内分泌内科）

1. 奥村 喬一. 著明な高血糖を契機に診断された高度肥満を伴うACTH単独欠損症の1例. 第21回日本内分泌学会東海支部学術集会. 名古屋市. 2021/9/25
2. 奥村 喬一. 易疲労感・男性不妊症を契機に診断された下垂体原発悪性リンパ腫の一例. 第21回日本内分泌学会東海支部学術集会. 名古屋市. 2021/9/25

（一般外科）

1. 藤井 正宏. 当院のCDK4/6阻害剤の投与状況の検討. 第29回日本乳癌学会学術総会. 横浜市. 2021/7/2-2021/7/3
2. 浅井 真理子. 当院での80歳以上乳癌患者の術式と再発率・死亡率の検討. 第29回日本乳癌学会学術総会. 横浜市. 2021/7/2-2021/7/3
3. 有元 淳記. 脾彎曲部結腸癌に対する、IMV背側から開始する内側アプローチによる脾彎曲授動. 第76回日本消化器外科学会総会. 京都市. 2021/7/7
4. 青葉 太郎. 当院における完全2チーム制による若手外科医の教育と確保. 第76回日本消化器外科学会総会. 京都市. 2021/7/8

5. 平松 和洋. 当院の脾全摘症例の経験. 第76回日本消化器外科学会総会. 京都市. 2021/7/9
6. 青葉 太郎. 腹腔鏡下肝切除のトラブルシューティング. 第34回日本内視鏡外科学会総会. 神戸市. 2021/12/4
7. 平松 和洋. 当院の肥満症外科手術(腹腔鏡下スリーブ状胃切除)の経験. 第34回日本内視鏡外科学会総会. 神戸市. 2021/12/4

(呼吸器外科)

1. 橋本 久実子. 胸腔ドレーン挿入部に対するBarbed sutureの有用性について. 第38回日本呼吸器外科学会総会. ミニオーラル. 長崎市. 2021/5/20
2. 橋本 久実子. Uniportal VATSによる心嚢内血管処理を伴う左上葉切除の経験. 第38回日本呼吸器外科学会総会. ミニオーラル. 長崎市. 2021/5/20
3. 野亦 悠史. 血管奇形を伴う多脾症合併肺癌2症例の手術経験. 第38回日本呼吸器外科学会総会. ミニオーラル. 長崎市. 2021/5/20
4. 野亦 悠史. 胸腺原発neuroendocrine tumorの1例. 第62回日本肺癌学会総会. 示説. 横浜市. 2021/11/28

(整形外科)

1. 三矢 聡. Taylor spatial frameのパーツを使用した松下法による足関節尖足拘縮の治療. 第136回中部日本整形外科災害外科学会. 神戸市. 2021/4/9
2. 三矢 未来. 足関節後果の陥没骨折を伴うposterior pilon fractureに対する後方ロッキングプレート固定法. 第136回中部日本整形外科災害外科学会. 神戸市. 2021/4/9
3. 三矢 聡. Quadrilateral surface fractureを伴う寛骨臼骨折に対するsuprapectineal and infrapetineal plate固定法. 第47回日本骨折治療学会学術集会. 神戸市. 2021/7/2
4. 松野 優司. 下腿、足関節部骨折に対してTaylor spatial frameを使用した一時的創外固定によるlocal damage control. 第47回日本骨折治療学会学術集会. 神戸市. 2021/7/2
5. 三矢 未来. 肩甲骨骨折に対する各種locking plateを使用した内固定法. 第47回日本骨折治療学会学術集会. 神戸市. 2021/7/3
6. 山内 建一. 80歳以上の高齢者に対しておこなったimpaction bone graft法の成績. 第51回日本人工関節学会. 横浜市. 2021/7/7
7. 藤田 護. Charcot足関節に対して同種骨移植を併用して足関節固定術を行った1例. 第19回日本組織移植学会. 福岡市. 2021/8/20
8. 藤田 護. 半月板切除術後に大腿骨内果骨壊死を発症した1例. 第70回東日本整形災害外科学会. 盛岡市. 2021/9/18
9. 三矢 未来. Taylor spatial frameとwireで低侵襲にlocal damage controlを行う下肢外傷に対する一時的創外固定法. 第137回中部日本整形外科災害外科学会. 金沢市. 2021/10/8
10. 武田 真輔. Anterior subcutaneous pelvic internal fixation(ASPIF)における外側大腿皮神経障害に関する検討. 第137回中部日本整形外科災害外科学会. 金沢市. 2021/10/8
11. 三矢 聡. 骨盤輪骨折・寛骨臼骨折に合併した腸骨翼骨折に対するskiver screw固定法. 第137回中部日本整形外科災害外科学会. 金沢市. 2021/10/8
12. 倉橋 真吾. Mesh plateを用いて骨接合術を行った肩峰骨折の2例. 第137回中部日本整形外科災害外科学会. 金沢市. 2021/10/8
13. 武田 真輔. The ular parametacarpal flap for the small finger avulsion injury. 第5回アジア太平洋マイクロサージャリー学会. つくば市. 2021/12/2
14. 武田 真輔. コラーゲン使用吸収性神経再生誘導材(リナーブ)の治療成績. 第48回日本マイクロサージャリー学会学術集会. つくば市. 2021/12/3
15. 倉橋 真吾. 手指皮膚欠損に対してPerifascial areolar tissue(PAT)を用いて治療した3例. 第48回日本マイクロサージャリー学会学術集会. つくば市. 2021/12/4

(リウマチ科)

1. 平野 裕司. 異なる作用機序の生物学的製剤・JAK阻害剤にて寛解あるいは低疾患活動性となった関節リウマチ患者における臨床評価パラメーターと臨床検査値の比較. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会. 神戸市(ハイブリット). 2021/4/26-2021/4/28
2. 平野 裕司. 疾患活動性がよくコントロールされた関節リウマチにおけるエタネルセプト先行品からエタネルセプト後続品への変更の治療成績と自己注射デバイスについての患者報告アウトカム. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会. 神戸市(ハイブリット). 2021/4/26-2021/4/28
3. 平野 裕司. 初診関節リウマチ患者における骨粗鬆症罹患および治療介入の調査(第2報). 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会. 神戸市(ハイブリット). 2021/4/26-2021/4/28
4. 平野 裕司. 様々な背景を持つ骨粗鬆症に対するロモソズマブ6か月治療成績－効果予測因子の探索－. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会. 神戸市(ハイブリット). 2021/4/26-2021/4/28
5. 長谷川 純也. リウマチ性多発筋痛症から関節リウマチへ診断変更した症例の検討. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会. 神戸市(ハイブリット). 2021/4/26-2021/4/28
6. 平野 裕司. 重回帰分析による骨粗鬆症に対するデノスマブ治療の1年時効果予測因子解析. 第94回日本整形外科学会学術総会. 東京都(ハイブリット). 2021/5/20-2021/5/23
7. 平野 裕司. 重回帰分析による骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療の1年時効果予測因子. 第94回日本整形外科学会学術総会. 東京都(ハイブリット). 2021/5/20-2021/5/23
8. Yuji Hirano. Incidence Rates of Difficult-to-treat Rheumatoid Arthritis in Real-world Clinical Practice. 欧州リウマチ学会2021(EULAR2021). パリ. 2021/6/1-2021/6/4
9. 長谷川 純也. カンピロバクター腸炎後に反応性関節炎を発症した一例. 日本リウマチ学会中部支部学術集会第32回中部リウマチ. 浜松市. 2021/9/17-2021/9/18
10. 平野 裕司. 実臨床におけるDifficult to Treat Rheumatoid Arthritis(D2T-RA)の頻度. 日本リウマチ学会中部支部学術集会第32回中部リウマチ. 浜松市. 2021/9/17-2021/9/18
11. Yuji Hirano. Romosozumab Treatment in Patients with Osteoporosis: Results after 6 Months and Predictors of Efficacy. 米国骨代謝学会2021(ASBMR2021). サンディエゴ. 2021/10/1-2021/10/10
12. 平野 裕司. 様々な背景を持つ骨粗鬆症に対するロモソズマブ6か月治療成績－効果予測因子探索－. 第23回日本骨粗鬆症学会. 神戸市. 2021/10/8-2021/10/10
13. 平野 裕司. 実臨床におけるDifficult to Treat Rheumatoid Arthritis(D2T-RA)の頻度. 第36回日本臨床リウマチ学会. 富山市. 2021/12/18-2021/12/19
14. 平野 裕司. 当科における関節リウマチに対するサリルマブ治療成績. 第36回日本臨床リウマチ学会. 富山市. 2021/12/18-2021/12/19
15. 平野 裕司. 当科における関節リウマチに対するバリシチニブ治療成績. 第36回日本臨床リウマチ学会. 富山市. 2021/12/18-2021/12/19
16. 大野 祐輔. 経済的理由にてエタネルセプトバイオシミラー50mgの隔週投与を行った関節リウマチの6症例. 第36回日本臨床リウマチ学会. 富山市. 2021/12/18-2021/12/19

(脊椎外科)

1. 井上 太郎. O-arm based navigation systemを用いた頸椎椎弓根スクリュー刺入精度のアプローチによる違い. 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 名古屋市. 2021/10/1-2021/10/2
2. 井上 太郎. アテトーゼ型脳性麻痺に関連した頸椎症性脊髄症に対する筋解離・後方靱帯形成術を併用した椎弓形成術－術後2年短期成績の報告. 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 名古屋市. 2021/10/1-2021/10/2
3. 舘 寛人. 転移性頸椎腫瘍に対する頸部胸椎移行部後方固定術後、rod折損を障子再手術を要した1例. 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 名古屋市. 2021/10/1-2021/10/2

(脳神経外科)

1. 雄山 博文. 頭部外傷患者の、退院時におけるmodified Rankin Scaleの検討. 第44回日本脳神経外傷学会. 高松市. 2021/2/26-2021/2/27
2. 雄山 博文. 脳動静脈奇形が合併したもやもや病の1例. STROKE2021 (第46回日本脳卒中学会学術集会・第50回日本脳卒中の外科学会学術集会・第37回スパズム・シンポジウム). 福岡市. 2021/3/12-2021/3/13
3. 雄山 博文. 左内頸動脈閉塞に対するSTA-MCA血管吻合術後、左大脳半球の広範な領域に多発性脳梗塞を生じた1例. STROKE2021 (第46回日本脳卒中学会学術集会・第50回日本脳卒中の外科学会学術集会・第37回スパズム・シンポジウム). 福岡市. 2021/3/12-2021/3/13
4. 雄山 博文. 導出静脈の切断術後両下肢の麻痺の悪化を来した胸髄硬膜動静脈瘻の1例. 第36回日本脊髄外科学会. 京都市. 2021/6/3-2021/6/4
5. 若林 建一. 小児大型髄膜腫の1例. 第49回日本小児神経外科学会. 福島市. 2021/6/4
6. 雄山 博文. もやもや病に対する間接的血行再建術後、脱水、高血糖を契機に脳梗塞を生じた2型糖尿病合併患者の1例. 第39回TheMt.Fuji Workshop on CVD. 仙台市. 2021/8/28
7. 雄山 博文. 術後、めまい症状の治療に苦慮した前庭神経鞘腫2例の報告. 第26回日本脳腫瘍の外科学会. 東京都. 2021/9/9
8. 雄山 博文. 三叉神経近傍の腫瘍による有痛性三叉神経ニューロパチーを生じた浸潤型蝶形骨洞真菌症 Trigeminal neuralgia caused by infectious granuloma due to invasive fungal sinusitis of sphenoidal sinus : A case report. 第49回日本頭痛学会総会. 静岡市. 2021/11/20
9. 福井 隆彦. 頭部外傷後早期に発症した両側中硬膜動静脈瘻に対し血管内塞栓術を行った一例. 第37回日本脳神経血管内治療学会. 福岡市. 2021/11/25-2021/11/27

(小児科)

1. 小山 典久. #8000情報収集分析事業2019. 第124回日本小児科学会学術集会. 京都市. 2021/4/16-2021/4/18
2. 小山 典久. 小児救急重篤疾患登録調査 (Japan Registry System for Children with critical disease:JRS) から見えてきたこと 新たに虐待が疑われた入院症例のまとめ. 第124回日本小児科学会学術集会. 京都市. 2021/4/16-2021/4/18
3. 森 一太. 当院における超低出生体重児に対するステロイド投与と暦3歳児の予後の検討. 第65回日本新生児成育医学会・学術集会. 札幌市 (WEB). 2021/5/7-2021/5/9
4. 藤本 英ミレナ. 当院における過去10年間の胎児水腫の検討. 第65回日本新生児成育医学会・学術集会. 札幌市 (WEB). 2021/5/7-2021/5/9
5. 杉本 真里. 出生同日より酵素補充療法を開始した周産期重症型低ホスファターゼ症2年の経過. 第65回日本新生児成育医学会・学術集会. 札幌市 (WEB). 2021/5/7-2021/5/9
6. 若野 泰宏. 当院NICUで診断した声帯外転障害の検討. 第65回日本新生児生育医学会・学術集会. 札幌市 (WEB). 2021/5/7-2021/5/9
7. 小山 典久. 2018年血液製剤使用実態調査における院内分割製剤と交換輸血の実績. 第69回日本輸血・細胞治療学会学術総会. 新宿区. 2021/6/4-2021/6/6
8. 小山 典久. #8000情報収集分析事業報告2019 (#8000情報収集分析事業からみえてきたこと). 第34回日本小児救急医学会学術集会. 奈良市. 2021/6/18-2021/6/20
9. 小山 典久. 地域密着型家庭内トリアージ推進のための指標について 保護者の評価と #8000 休日急病診療所および病院時間外外来における #8000の実態. 第34回日本小児救急医学会学術集会. 奈良市. 2021/6/18-2021/6/20
10. 松林 広樹. 気管支軟化症を合併した49,XXXXXの一例. 第57回日本周産期・新生児学会学術集会. 宮崎市 (WEB). 2021/7/11-2021/7/13
11. 奥田 智也. 新生児期に中枢性無呼吸を認めたSmith-Magenis syndromeの一例. 第57回日本周産期・新生児学会学術集会. 宮崎市 (WEB). 2021/7/11-2021/7/13
12. 稲瀬 広樹. 胎児期よりビタミンB6の母体投与を行い発症を予防し得たピリドキシン依存性てんかんの一例. 第56回中部日本小児科学会. WEB. 2021/8/26
13. 田中 達之. ヘテロ接合性家族性高コレステロール患者 は 神経因性食思不振症発症によりコレステロール著明高値を呈する. 第54回小児内分泌学会学術集会. WEB. 2021/10/28-2021/10/30
14. 望月 聡. スギが感作源と疑われたPru p 7特異的IgE抗体価陽性のリンゴアレルギーの一例. 第58回日本小児アレルギー学会学術集会. 横浜市. 2021/11/13-2021/11/14

(産婦人科・女性内視鏡外科)

1. 長尾 有佳里. 子宮体癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 仙台市 (WEB). 2021/1/29-2021/1/30
2. 古井 憲作. 子宮体癌に対する傍大動脈郭清について腹腔鏡と開腹術との比較. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 仙台市 (WEB). 2021/1/29-2021/1/30
3. 山田 友梨花. 子宮体癌に対するヒト精巢上体蛋白 4 (HE4) の有用性の検討. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 仙台市 (WEB). 2021/1/29-2021/1/30
4. 國島 温志. 子宮体癌1A期における再発リスク因子と再発率の検討. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 仙台市 (WEB). 2021/1/29-2021/1/30
5. 窪川 芽衣. 当院におけるオラパリブ使用経験と安全性の検討. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 仙台市 (WEB). 2021/1/29-2021/1/30
6. 河合 要介. 卵管原発癌肉腫 (heterologous) の1例. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 仙台市 (WEB). 2021/1/29-2021/1/30
7. 永井 智之. 異なる臨床経過を辿ったAggressive angiomyxoma 4症例の検討. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 仙台市 (WEB). 2021/1/29-2021/1/30
8. 梅村 康太. 子宮体癌に対するロボット支援下手術54症例の検討. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 仙台市 (WEB). 2021/1/29-2021/1/30
9. 河合 要介. ロボット支援下仙骨腔固定術 (RSC) 導入初期の経験. 第13回日本ロボット外科学会学術集会. WEB. 2021/1/23
10. 河合 要介. ワークショップ ロボット支援下仙骨腔固定術 (RSC) 導入初期の経験～LSCからの術式移行～. 第9回日本婦人科ロボット手術学会. WEB. 2021/3/5-2021/3/6
11. 河合 要介. Two cases of prolonged retention of lipidized oil suspicious for foreign material in the abdomen. 第33回日本内視鏡外科学会総会. 横浜市 (WEB). 2021/3/10-2021/3/13
12. 梅村 康太. シンポジウム5「これからロボット手術を始める人への提言」子宮頸癌・子宮体癌に対するロボット支援下手術. 第33回日本内視鏡外科学会総会. 横浜市 (WEB). 2021/3/10-2021/3/13
13. 河合 要介. ロボット支援下仙骨腔固定術 (RSC) 導入初期の経験～LSCからの術式移行～. 第73回日本産科婦人科学会学術講演会. 新潟市 (WEB). 2021/4/22-2021/4/25
14. 國島 温志. 子宮頸部glassy cell carcinoma(すりガラス細胞癌)の1例. 第73回日本産科婦人科学会学術講演会. 新潟市 (WEB). 2021/4/22-2021/4/25
15. 古井 達人. 腹腔鏡下広汎子宮頸部摘出術・生殖補助医療・周産期管理を自施設で完結させた生産例. 第42回中部生殖医学会学術集会. 岐阜市. 2021/6/19
16. 河合 要介. 子宮頸部すりガラス細胞癌 (glassy cell carcinoma) の1例. 第62回日本臨床細胞学会総会春期大会. 幕張市 (WEB). 2021/6/4-2021/6/6
17. 河合 要介. 当院における妊娠糖尿病 (GDM) の検討～75gOGTTの結果からみるGDMの診断状況と周産期管理～. 第57回日本周産期・新生児医学会学術集会. 宮崎市 (WEB). 2021/7/11-2021/7/13
18. 嶋谷 拓真. 妊娠中にEvans症候群発症し産後血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) 発症した一例. 第57回日本周産期・新生児医学会学術集会. 宮崎市 (WEB). 2021/7/11-2021/7/13
19. 國島 温志. 計3回の分娩を経たAlport症候群合併妊婦の1例. 第57回日本周産期・新生児医学会学術集会. 宮崎市 (WEB). 2021/7/11-2021/7/13
20. 宮本 絵美里. 妊娠子宮摘出を行なった35例の検討. 第57回日本周産期・新生児医学会学術集会. 宮崎市 (WEB). 2021/7/11-2021/7/13
21. 河合 要介. マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査の現状とペムプロリズマブが奏功したMSI-High子宮体癌の経験. 第63回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 大阪市 (WEB). 2021/7/16-2021/7/18
22. 諸井 條太郎. 当院における子宮頸部小細胞神経内分泌がん10例の検討. 第63回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 大阪市 (WEB). 2021/7/16-2021/7/18
23. 嶋谷 拓真. 当院における子宮体部癌肉腫38例の検討. 第63回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 大阪市 (WEB). 2021/7/16-2021/7/18
24. 窪川 芽衣. 血液透析中子宮体癌に対して外科的治療と術後パクリタキセル・カルボプラチン併用療法を行った1例. 第63回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 大阪市 (WEB). 2021/7/16-2021/7/18
25. 梅村 康太. 子宮体癌に対するロボット支援下手術95症例の検討. 第63回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 大阪市 (WEB). 2021/7/16-2021/7/18

26. 河合 要介. 当院における腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC)とロボット支援下仙骨腔固定術(RSC)の比較検討. 第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. WEB. 2021/9/11-2021/9/13
27. 嶋谷 拓真. 良性疾患におけるロボット支援下子宮全摘・3rdアームの重要性について. 第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. WEB. 2021/9/11-2021/9/13
28. 諸井 條太郎. 卵管切除後に同側卵管間質部妊娠を生じた一例. 第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. WEB. 2021/9/11-2021/9/13
29. 窪川 芽衣. 腎移植後の腹腔鏡下子宮全摘術症例の経験. 第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. WEB. 2021/9/11-2021/9/13
30. 尾瀬 武志. 骨盤臓器脱に対するロボット支援下仙骨腔固定術の利点について. 第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. WEB. 2021/9/11-2021/9/13
31. 梅村 康太. ワークショップ ロボット手術を安全に行うために 子宮体癌に対するロボット支援下骨盤リンパ節郭清の手技について. 第44回日本産婦人科手術学会. WEB. 2021/9/25
32. 河井 通泰. 初期粘液性卵巣癌における系統的リンパ節郭清の意義 プロペンシティブスコア解析. 第59回日本癌治療学会学術集会. 横浜市(WEB). 2021/10/21-2021/10/23
33. 山田 友梨花. 当院において腹腔鏡下及びロボット支援下広汎子宮頸部摘出術, ならびに術後生殖補助医療を行った症例からみえた課題. 第66回日本生殖医学会学術講演会・総会. 米子市(WEB). 2021/11/11-2021/11/12
34. 河合 要介. 当院における腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC)とロボット支援下仙骨腔固定術(RSC)の比較検討. 第34回日本内視鏡外科学会総会. 神戸市(WEB). 2021/12/2-2021/12/4
35. 梅村 康太. ワークショップ 低侵襲手術時代における子宮体癌に対するリンパ節摘出の意義と方法. 第34回日本内視鏡外科学会総会. 神戸市(WEB). 2021/12/2-2021/12/4

(産婦人科(生殖医療))

1. 古井 達人. 腹腔鏡下広汎子宮頸部摘出術・生殖補助医療・周産期管理を自施設で完結させた生産例. 第42回中部生殖医学会学術集会. 岐阜市. 2021/6/19
2. 堂山 瑤. 当院における43歳以上のART成績. 第66回日本生殖医学会学術講演会・総会. 米子市. 2021/11/11
3. 山田 友梨花. 当院において腹腔鏡下及びロボット支援下広汎子宮頸部摘出術, ならびに術後生殖補助医療を行った症例からみえた課題. 第66回日本生殖医学会学術講演会・総会. 米子市. 2021/11/11

(耳鼻いんこう科)

1. 小澤 泰次郎. パクリタキセル投与後にレンパチニブを投与し得た甲状腺低分化癌の1例. 第45回日本頭頸部癌学会. 浦安市. 2021/6/17

(泌尿器科)

1. 寺島 康浩. 当院におけるロボット支援腎部分切除の治療成績. 第73回西日本泌尿器科学会総会. 宮崎市. 2021/11/4-2021/11/6
2. 吉澤 賢祐. 免疫チェックポイント阻害薬を投与中に腫瘍栓による肺塞栓にて死亡した1症例. 第109回日本泌尿器科学会総会. 横浜市. 2021/12/7
3. 永山 洵. variant histologyを要する膀胱癌の検討. 第109回日本泌尿器科学会総会. 横浜市. 2021/12/8
4. 山本 晃之. mHSPCのOSに関する予後因子の検討LATITUDE, CHAARTED分類とICD-P(Intraductal carcinoma of the Prostate)の比較. 第109回日本泌尿器科学会総会. 横浜市. 2021/12/9

(麻酔科)

1. 稲生 光春. 乳児の末梢静脈路確保法「超音波ガイド下末梢静脈穿刺の手技」. 第55回中部歯科麻酔研究会. 瑞穂市. 2021/7/10
2. 齋藤 士貴. 遺伝性血管浮腫患者の麻酔経験. 日本麻酔科学会東海・北陸支部第19回学術集会. 名古屋市. 2021/9/11
3. 齊藤 公紹. 若年者で低侵襲手術にもかかわらず、抜管に難渋した原発性線毛運動不全症(PCD)疑い患者の一症例. 日本臨床麻酔学会第41回大会. 札幌市. 2021/11/5

4. 藤田 靖明, 慢性頸椎損傷患者の脊髄くも膜下麻酔後の自律神経過反射予防戦略, 日本臨床麻酔学会第41回大会, 札幌市, 2021/11/6
5. 齋藤 士貴, 以前プロポフォール注入症候群あるいは悪性高熱症を疑われた患者にレミマゾラムで全身麻酔管理を行った症例, 日本臨床麻酔学会第41回大会, 札幌市, 2021/11/6

(救急科)

1. 岩出 和馬, 維持透析患者に発症した頸髄硬膜外血腫の2例, 第49回日本救急医学会総会・学術集会, 東京都, 2021/11/23

(歯科口腔外科)

1. 松岡 路子, 豊橋市民病院歯科口腔外科における下顎骨骨折症例過去10年間の臨床統計的検討, 第22回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会, 名古屋市(WEB), 2021/8/2
2. 小川 千明, 両側顎下部の疼痛を主訴とした巨細胞性動脈炎の1例, 第46回(公社)日本口腔外科学会中部支部学術集会, 金沢市(WEB), 2021/10/30
3. 早川 依里, 高齢者の上顎歯肉に生じた紡錘細胞扁平上皮癌の1例, 第66回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市(WEB), 2021/11/13

研究会発表（医局）

（呼吸器内科）

1. 牧野 靖. 喘息診療の新たな展開－喘息診療実践ガイドライン2021－. Asthma Forum in 三河. WEB. 2021/11/25

（循環器内科）

1. 成瀬 賢伸. アンジオスカルプトによるStent-less PCI. 第38回PICASSO in Nagoya. 名古屋市 (WEB). 2021/1/16
2. 成瀬 賢伸. Live Demonstration【第1部】. 第28回東海ライブ研究会. 豊橋市 (WEB). 2021/2/6
3. 深谷 兼次. 地域で診る心不全の包括的管理. 心不全医療連携Webカンファレンス. 豊橋市 (WEB). 2021/2/9
4. 深谷 兼次. これからの心不全治療 多職種による包括的地域連携. 東三河学術講演会. 豊橋市 (WEB). 2021/3/17
5. 佐藤 文明. DISCUSSION. 循環器疾患を考える会. 豊橋市 (WEB). 2021/5/14
6. 成瀬 賢伸. 症例とエビデンスから心不全診療を考える. Toyohashi Heart Failure Forum. 豊橋市 (WEB). 2021/5/26
7. 成瀬 賢伸. Live Demonstration 分岐部コース. 第11回豊橋ライブ. 豊橋市 (WEB). 2021/6/26
8. 成瀬 賢伸. 中性脂肪の治療 ～私は、このように捉える。～. 東三河動脈硬化性疾患予防カンファレンス. 豊橋市 (WEB). 2021/7/29
9. 深谷 兼次. 心不全治療における残り50%の課題を解決するために多職種による地域連携. 心不全水利尿WEBカンファレンス. 豊橋市 (WEB). 2021/10/27
10. 佐藤 文明. 肺高血圧症の診断・治療は難しい!?－肺血管拡張治療を行うべきか－. 第7回東三河PHカンファレンス. 豊橋市 (WEB). 2021/11/19
11. 成瀬 賢伸. このLMT-LADどーする??. 第3回40PICASSO in Nagoya. 豊橋市 (WEB). 2021/12/11
12. 佐藤 文明. HBR症例におけるPCI 後抗血栓療法の実践. PCI Web セミナー. 豊橋市 (WEB). 2021/12/14

（整形外科）

1. 倉橋 真吾. Perifascial areolar tissue (PAT) を用いた手指皮膚欠損創の治療経験. 第67回東海整形外科外傷研究会. 名古屋市. 2021/3/27

（リウマチ科）

1. 長谷川 純也. 重症骨粗鬆症の基本戦略. 第59回東三河リウマチ研究会. 豊橋市. 2021/2/27
2. 平野 裕司. 実臨床でのDifficult to Treat RAとは? 当科の新規JAK阻害剤ペフィシチニブの臨床試験組み入れ例供覧とともに. 第59回東三河リウマチ研究会. 豊橋市. 2021/2/27
3. 長谷川 純也. 当院における乾癬性関節炎に対するセクキヌマブの使用経験. 三河脊椎関節炎フォーラム 2021. 豊橋市. 2021/3/6
4. 大野 祐輔. トシリズマブとサリルマブの両剤で注射部位反応を生じた症例の検討. 第8回全三河リウマチ研究会. 豊橋市. 2021/9/4
5. 平野 裕司. 当科における関節リウマチにおけるサリルマブ治療成績. 第8回全三河リウマチ研究会. 豊橋市. 2021/9/4

（脊椎外科）

1. 井上 太郎. 脊椎術後に発生した広範な髄液漏に対する検討－髄液漏閉鎖術は必要か?－. 第94回東海脊椎脊髄病研究会. 名古屋市. 2021/6/5
2. 館 寛人. 頸椎骨折に合併した椎骨動脈損傷の発生頻度についての検討. 第94回東海脊椎脊髄病研究会. 名古屋市. 2021/6/5
3. 井上 太郎. 当院における脊椎硬膜外血腫の治療経験. 第95回東海脊椎脊髄病研究会. 名古屋市. 2021/11/27

座長・司会（医局）

（呼吸器内科）

1. 牧野 靖. irAE(下痢、大腸炎、肝障害)について. Think about irAE in Tokai. WEB. 2021/3/12
2. 牧野 靖. 重症喘息患者を取り巻く現状と今後の病診連携の展望. 第1回ニューノーマル時代の重症喘息治療を考える会. 豊橋市. 2021/5/26
3. 牧野 靖. 当院における重症喘息診療の実際と病診連携. 喘息診療パートナーリングの会. 豊橋市(WEB). 2021/6/17
4. 牧野 靖. 喘息診療の最適化と地域連携の意義. 喘息診療パートナーリングの会. 豊橋市(WEB). 2021/6/17
5. 牧野 靖. 肺癌治療に伴う肺臓炎マネジメント(仮). 愛知県東部Immuno Oncology Seminar. 豊橋市. 2021/8/4
6. 牧野 靖. COPDの吸入療法～ホー吸入の紹介も含めて～. 東三学術講演会. 豊橋市(WEB). 2021/8/18
7. 牧野 靖. 重症喘息患者を取り巻く現状と今後の病診連携の展望(仮). 第2回ニューノーマル時代の重症喘息治療を考える会. 豊橋市(WEB). 2021/10/27
8. 牧野 靖. 間質肺疾患に対する治療戦略. 第82回東三河呼吸器疾患研究会. 豊橋市. 2021/11/10
9. 牧野 靖. Type2炎症制御に根差した重症喘息治療. Severe Asthma seminar. WEB. 2021/11/18
10. 牧野 靖. 非小細胞肺癌 薬物療法up date～エビデンスから導く治療選択～. 非小細胞肺癌1次治療オプション・ヤーボイ併用療法. WEB. 2021/12/1

（消化器内科）

1. 山田 雅弘. 大腸内視鏡における最適な前処置とは. 大腸内視鏡検査安全性WEBセミナー. WEB. 2021/2/19
2. 山本 英子. 胃がん薬物療法の展開と病状に応じた治療戦略. 第19回東三河消化器がん治療セミナー. WEB. 2021/2/26
3. 浦野 文博. 肝細胞癌薬物療法の新たな展開～ラムシルマブの位置付けは～. 東海消化器癌WEBセミナー. WEB. 2021/3/11
4. 浦野 文博. レンバチニブのPotential を最大限に発揮するために. HCC Expert Meeting 東三河 ～新時代における薬物療法を考える～. WEB. 2021/3/19
5. 服部 峻. LDA と消化管出血のUp To Date. 消化器・循環器Joint-Meeting ～新時代の出血リスクマネージメントUP TO DATE～. WEB. 2021/4/23
6. 浦野 文博. 進行性肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブの初期経験. Hepatocellular carcinoma seminar in Aichi. WEB. 2021/5/14
7. 山田 雅弘. JAK 阻害薬の作用機序からみた潰瘍性大腸炎における役割と可能性. ～WEB 講演会～JAK Academy for ulcerative colitis. WEB. 2021/5/18
8. 内藤 岳人. 肝細胞癌治療のUp to Date –アテゾリズマブ+ベバシズマブの登場–. 第74回豊橋がん診療フォーラム. 豊橋市. 2021/5/27
9. 山田 雅弘. 消化器疾患に伴う皮膚病変～壊疽性膿皮症の治療を含む～. IBD Forum in 三河. WEB. 2021/5/28
10. 浦野 文博. 当院におけるHCV・HBV 院内拾い上げの状況と課題. HCV elimination forum in 三河. 安城市. 2021/6/3
11. 浦野 文博. C型肝炎撲滅に向け病院で取り組めること. HCV elimination forum in 三河. 安城市. 2021/6/3
12. 山田 雅弘. IBD 診療における新規バイオマーカーの有用性 LRG vs 便中カルプロテクチン. LRG Users Meeting in Tokai. WEB. 2021/6/15
13. 浦野 文博. テセントリク+アバスタチンによる治療戦略. Chugai HCC Seminar in Mikawa. WEB. 2021/7/9
14. 浦野 文博. HCC-Expert Meeting in 三河 ～免疫療法時代における薬物療法を考える～. WEB. 2021/9/3
15. 浦野 文博. 医師の働き方改革の推進に関する検討会報告－これまでのまとめと最新の状況について－. 東三河Hospital Director Web Conference. WEB. 2021/9/27

(循環器内科)

1. 成瀬 賢伸. 公立陶生病院 院長 味岡正純先生「食塩と高血圧 ～最適な薬物療法とは～」. 高血圧 Web Seminar in 東三河. 豊橋市(WEB). 2021/1/26
2. 成瀬 賢伸. 特別講演Ⅰ：名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学講師坂東素子先生「腫瘍循環器学アップデートーがん治療に伴う循環器合併症をどう診るかー」. VTE Management Web Seminar in 東海. 豊橋市(WEB). 2021/5/28
3. 成瀬 賢伸. 特別講演：愛知医科大学 循環器内科 教授 天野哲也先生「令和時代における心不全治療の最適化 ～ARNIを使いこなす～」. 豊橋内科医会研修会. 豊橋市(WEB). 2021/8/26
4. 成瀬 賢伸. 一般講演：渥美病院 循環器内科 徳田晃太郎先生、渥美病院リハビリテーション室「地域の中規模病院における心リハの実際と課題 ～立ち上げから3年間を振り返って～」. 心不全水利尿薬WEB勉強会. 豊橋市(WEB). 2021/10/27
5. 成瀬 賢伸. 特別講演：浜松医科大学 内科学第三講座 病院講師 早乙女雅夫先生「腎機能障害を有したCTD-PAHの1例ーこれ大丈夫？と思ったときの薬剤選択ー」. 第7回東三河PHカンファレンス. 豊橋市(WEB). 2021/11/19
6. 成瀬 賢伸. SessionⅡ：藤田医科大学 循環器内科 教授 井澤英夫先生「心不全治療における地域連携とベリシグアト」. 三河 Heart Failure Meeting. 豊橋市(WEB). 2021/12/7

(糖尿病・内分泌内科)

1. 山守 育雄. 温故知新：生活習慣病とMRの新たな捉え方 森本玲. 高血圧Webセミナー in 東三河. 豊橋市(WEB). 2021/4/16
2. 山守 育雄. 「見える化」して気づいた症例 濱野邦久. FreeStyleリブレで夜間低血糖を認めた陳旧性心筋梗塞の1例 松井英夫. 血糖コントロールについて考える会. 豊橋市(WEB). 2021/7/5
3. 山守 育雄. 進化するインスリン ～世紀を超えた医療への偉大な貢献～ 加来浩平. インスリン発見100周年記念東三河インスリンWebセミナー. 豊橋市(WEB). 2021/8/5
4. 山守 育雄. 糖尿病の食事について 藤田克宜. 糖尿病の新しい治療薬について 奥村喬一. 豊橋糖尿病友の会総会 糖尿病啓発講習会. 豊橋市. 2021/11/8
5. 山守 育雄. 糖尿病診療を再考する 中西周平. 東三河糖尿病Webセミナー. 豊橋市(WEB). 2021/11/12
6. 山守 育雄. 豊橋市における糖尿病、透析予防の病診連携 大林孝彰. 東三学術講演会. 豊橋市(WEB). 2021/12/1

(一般外科)

1. 深谷 昌秀. 消化器全般：1. 第76回日本消化器外科学会総会. 京都市. 2021/7/9

(呼吸器外科)

1. 成田 久仁夫. 呼吸器8 気腫性嚢胞性肺疾患 3. 第74回日本胸部外科学会定期学術集会. 東京都(WEB). 2021/10/31～2021/11/3

(リウマチ科)

1. 平野 裕司. ひとりひとりの患者様が高い治療目標を達成するために～MTX、BIOJAK阻害剤を考える～ (宮本俊明先生). 第3回東三河JAK Conference. WEB. 2021/1/23
2. 平野 裕司. RCTからみたテリボンオートインジェクターの展望(金山康秀先生). 三遠骨粗鬆症講演会. 浜松市. 2021/1/28
3. 平野 裕司. 高齢RAの病態と治療戦略～トシリズマブの役割について～(川畑仁人先生). 第11回東三河トシリズマブカンファレンス. WEB. 2021/1/30
4. 平野 裕司. RAの薬物治療Update～WoCBAのライフイベントの視点から～(村島温子先生). 東三河 関節リウマチWEB講演会. WEB. 2021/2/3.
5. 平野 裕司. 骨粗鬆症治療の最前線：骨形成促進薬をめぐる動向(川口浩先生). Bone Specialist Seminar. WEB. 2021/2/13
6. 平野 裕司. ディスカッション. 三河RAエキスパートミーティング. WEB. 2021/2/17

7. 平野 裕司. サリルマブのポテンシャル(押領司健介先生). IL-6 RA Meeting in 三河 4th. 豊橋市. 2021/2/20
8. 平野 裕司. 最新骨粗鬆症治療の動向(蛭名耕介先生). 東三河整形外科セミナー. WEB. 2021/2/26
9. 平野 裕司. 脊椎関節炎の診断と治療(森田充浩先生). 三河脊椎関節炎フォーラム. 豊橋市. 2021/3/6
10. 平野 裕司. グループディスカッション. The Consortium RA-Integrity Forum 2021. 東京都. 2021/3/7
11. 平野 裕司. 改めてJAK阻害薬の選択のポイントについて考える～最も新しいJAK1選択的阻害薬フィルゴチニブへの期待～(金子敦史先生). 第一回JAK阻害剤を考える会 In 東三河(最終). 豊橋市. 2021/3/9
12. 平野 裕司. 現在の治療戦略の成果と課題(鳥養栄治先生). Treat to Thrive-RA診療のアンメットニーズを考える-. 豊橋市. 2021/4/10
13. 平野 裕司. 当院におけるサリルマブの使用症例(金山康秀先生). Nagoya Clinical IL-6 Specialist Meeting. 名古屋市. 2021/4/16
14. 平野 裕司. 関節リウマチにおけるIL-6阻害の重要性(押領司健介先生). 第11回三河地区トシリズマブ研究会. 安城市(ハイブリット). 2021/5/15
15. 平野 裕司. 間質性肺疾患合併RAについて(ディスカッション). 呼吸器疾患合併RAを考える会 in 東海. WEB. 2021/5/26
16. 平野 裕司. ディスカッション. 第5回 RA-BETTER WEB研究会. WEB. 2021/6/11
17. 平野 裕司. ディスカッション. RA-SUPREME-研究会. 豊橋市(ハイブリット). 2021/6/18
18. 平野 裕司. JAK阻害薬のEBMと有用性(岡林諒先生)他JAK Frontier. WEB. 2021/6/22
19. 平野 裕司. メトトレキサートの作用機序と新しい関節リウマチ診療ガイドライン(秋元正樹先生). リウマチ Webセミナー. WEB. 2021/6/23
20. 平野 裕司. コロナ時代の骨粗鬆症マネジメント(田中栄先生). 東海骨粗鬆症Webセミナー. WEB. 2021/7/28
21. 平野 裕司. 患者さんの変化に寄り添う関節リウマチ治療のために(宮本俊明先生). 三遠リウマチカンファレンス～ふだん聞けない関節リウマチの話～. 浜松市. 2021/7/31
22. 平野 裕司. 関節リウマチ患者のプレコンセプションケアの重要性和治療戦略-産婦人科との連携も含めて-(平松ゆり先生). 女性のためのリウマチ診療オンライン講演会 in Toyohashi. WEB. 2021/9/8
23. 平野 裕司. 最新の骨粗鬆症治療の動向(蛭名耕介先生). 日本リウマチ学会中部支部学術集会第32回中部リウマチ. 浜松市(WEB). 2021/9/17
24. 平野 裕司. 明らかになってきたJAK阻害薬の特徴(松野博明先生). JAK WEB Conference. WEB. 2021/10/8
25. 平野 裕司. 多様性に対応したRA治療-csDMARDsの臨床的意義-(石黒直樹先生)他. csDMARDsを語る会 in 愛知. WEB. 2021/10/23
26. 平野 裕司. Precision medicineに向けたこれからのリウマチ治療～Treat to Targetの実践と課題～(桃原茂樹先生). 第12回東三河トシリズマブカンファレンス. 豊橋市(ハイブリット). 2021/10/30
27. 平野 裕司. リウマチ肩の治療ストラテジー(永瀬雄一先生)他. RA Online Expert Seminar. WEB. 2021/11/9
28. 平野 裕司. 手外科医からみた手の腫脹～リウマチ性疾患と手外科疾患の鑑別～(岡林諒先生)他. 次世代RAカンファレンス. 浜松市(WEB). 2021/11/10
29. 平野 裕司. 関節リウマチの薬物治療～未解決事項への挑戦～csDMARDsからJAKまで(織部元廣先生). 第8回愛知DMARDs研究会. 名古屋市(ハイブリット). 2021/11/13
30. 平野 裕司. 変化するリウマチ診療～整形外科医の役割～(前田俊恒先生). RA regional exchange WEB seminar. WEB. 2021/11/16
31. 平野 裕司. 関節リウマチの肺病変～気管支拡張症と細気管支炎～(中村祐太郎先生). 呼吸器疾患合併RAを考える会 in 東海. WEB. 2021/11/17
32. 平野 裕司. SpAと画像(川尻真也先生). SpA Bone metabolism and ultrasound conference. WEB. 2021/11/25
33. 平野 裕司. Discussion. 第4回臨床JAK Online Conference. WEB. 2021/11/27
34. 平野 裕司. 高齢化に立ち向かう関節リウマチの治療戦略(尾本篤志先生). 関節リウマチWEBセミナー. WEB. 2021/12/2
35. 平野 裕司. プローブ圧による滑膜、血液シグナルの影響の検討(神藤駿先生)他. 第7回三河関節エコー研究会. 名古屋市(ハイブリット). 2021/12/4

36. 平野 裕司. JAK阻害剤による新たな治療戦略(鳥養栄治先生). 第6回RA-BETTER WEB研究会. 名古屋市(ハイブリット). 2021/12/10
37. 平野 裕司. RA診療におけるJAK阻害剤の位置づけとエビデンスから見るフィルゴチニブへの期待(高橋伸典先生). JAK阻害剤を考える会 in 三河. WEB. 2021/12/15
38. 平野 裕司. イブニングセミナー2 乾癬性関節炎の最新治療戦略. 第36回日本臨床リウマチ学会. 富山市. 2021/12/18
39. 平野 裕司. 関節リウマチガイドライン2020におけるアバタセプトの位置付けと合併症症例に対する治療管理(平田信太郎先生). リウマチエリアWEBセミナー. WEB. 2021/12/20

(脳神経外科)

1. 雄山 博文. 特別講演「絞扼性末梢神経疾患の入り口 – 幾つかのトリビアとともに –」. 第65回中部脊椎外科ワークショップ. 名古屋市. 2021/3/20

(産婦人科・女性内視鏡外科)

1. 岡田 真由美. 大阪府における妊婦に対する新型コロナウイルス感染検査と、産科診療の現状. 令和2年度愛知県周産期医療スキルアップ研修会・愛知県産科・精神科連携研修会. 同時開催. WEB. 2021/2/7
2. 岡田 真由美. 地域の周産期メンタルヘルスの実践に向けて. 令和2年度愛知県周産期医療スキルアップ研修会・愛知県産科・精神科連携研修会. 同時開催. WEB. 2021/2/7
3. 河井 通泰. 婦人科がん治療におけるロボット手術手技について. ニラパリーブWEB講演会. WEB. 2021/3/2
4. 河井 通泰. 失敗から学ぶ婦人科がんのトピックス. Nagoya Gynecologic Cancer Webinar. WEB. 2021/3/19
5. 河井 通泰. 性器ヘルペス～診断と治療のポイント～. 愛知県産婦人科医会第8回学術研修会. WEB. 2021/3/27
6. 河合 要介. 進行卵巣癌の初回治療、PSR再発治療(ディスカッション). Ovarian Cancer Roundtable Meeting in Mikawa. WEB. 2021/6/25
7. 岡田 真由美. 子宮内膜症、子宮腺筋症合併妊娠でわかってきたこと. 愛知県産婦人科医会第2回学術研修会(三河地区)第8回三河地区産婦人科フォーラム. WEB. 2021/6/26
8. 岡田 真由美. 産婦人科における鉄欠乏性貧血. 愛知県産婦人科医会第3回学術研修会(三河地区). WEB. 2021/7/3

(産婦人科(生殖医療))

1. 安藤 寿夫. 子宮内膜症ワークショップ. 第42回中部生殖医学会学術集会. 岐阜市. 2021/6/19

講演（医局）

（総合内科）

1. 稲垣 大輔.「ACP(人生会議)を知ってますか？ 自分らしい生き方を選択しましょう」.県民公開講座.主催：愛知県看護協会東三河支部.豊橋市.2021/5/22
2. 稲垣 大輔.「共同意思決定と語られるいのち」.豊橋市.2021/7/15
3. 稲垣 大輔.「日本の超高齢社会と地域包括ケア」.救急科講習.豊橋市.2021/10/15

（呼吸器内科）

1. 牧野 靖.肺癌の診療と副作用マネジメント.豊橋市薬剤師会講演会.豊橋市.2021/6/23
2. 牧野 靖.免疫チェックポイント阻害剤のirAEについて. Think about irAE in Tokai. WEB. 2021/10/8

（消化器内科）

1. 服部 峻.大腸内視鏡における最適な前処置とは.大腸内視鏡検査安全性WEB セミナー. WEB. 2021/2/19
2. 服部 峻.当院におけるIBD の診療と治療. IBD Forum in 三河. WEB. 2021/5/28
3. 山田 雅弘.チオプリン製剤の最適化. IBD Meeting Tokai ～既存治療について考える～. WEB. 2021/6/4
4. 内藤 岳人.肝疾患の診断と治療・最近の話題.東三学術講演会.豊橋市.2021/6/30
5. 堀田 尋紀. UC における組織学的緩解の意義.炎症性腸疾患脳診断と治療を考える会 in 三河. WEB. 2021/7/29
6. 松原 浩. 膵癌の治療成績向上への最適な治療戦略を考える. 膵がんウェブ講演会. WEB. 2021/8/27
7. 服部 峻.クローン病におけるウスティヌマブの有用性の検討.第2回 IBD Forum for Next-Generation in NAGOYA.名古屋市.2021/9/16

（糖尿病・内分泌内科）

1. 山守 育雄.糖尿病治療薬はどう使われているかー有効活用と適正使用を考えるー.豊橋市薬剤師会研修会.豊橋市(WEB).2021/9/16
2. 山守 育雄.糖尿病を巡るスティグマと医療者によるアドボカシーとは.東三学術講演会.豊橋市(WEB).2021/9/29
3. 奥村 喬一.糖尿病の新しい治療薬について.糖尿病友の会講演会.豊橋市.2021/11/8
4. 岡田 則男.専門医が考えるSGLT2阻害薬の有用性と適正使用 糖尿病内科.東三学術講演会.豊橋市(WEB).2021/12/1
5. 山守 育雄.三河の地域特性と糖尿病治療の現状・課題. DUAL Seminar in 三河.岡崎市(WEB).2021/12/10

（リウマチ科）

1. 平野 裕司.現在の関節リウマチ診療の課題と抗TNF療法およびゴリムマブのポジショニング.関節リウマチWebセミナー. WEB. 2021/1/20
2. 平野 裕司. EULARレコメンデーション2019に載っていない関節リウマチ薬物治療法.一宮 IL-6セミナー. WEB. 2021/1/26
3. 長谷川 純也.リウマチ性多発筋痛症とサイトカイン.第11回東三河トシリズマブカンファレンス. WEB. 2021/1/30
4. 平野 裕司.新時代を迎えた骨粗鬆症の薬物治療～抗スクレロシン抗体の意義～.骨粗鬆症リモート講演会. WEB. 2021/2/10
5. 長谷川 純也.当院における乾癬性関節炎に対するセクキヌマブの使用経験.三河脊椎関節フォーラム2021.豊橋市.2021/3/6
6. 平野 裕司. MTX partial responderに対する次の一手を考える～Shared Decision Making of Treatment Drug～.神奈川整形リウマチフォーラムon WEB. WEB. 2021/3/17
7. 平野 裕司. MTX partial responderに対する次の一手を考える～Shared Decision Making of Treatment Drug～.中東遠地区IL-6 WEBセミナー.浜松市.2021/3/27

8. 平野 裕司. 新時代を迎えた骨粗鬆症の薬物治療～抗スクレロシン抗体の意義～. 東三河整形外科医会 Web講演会. WEB. 2021/5/13
9. 平野 裕司. 関節リウマチ薬物治療のさらなる向上を目指して－治療困難例、MTX、JAK阻害剤－. 第94回日本整形外科学会学術総会. 東京都(ハイブリット). 2021/5/23
10. 平野 裕司. 新時代を迎えた骨粗鬆症の薬物治療～抗スクレロシン抗体の意義～. 八事整形会. 名古屋市(ハイブリット). 2021/6/9
11. 平野 裕司. 骨粗鬆症診療の基本と抗スクレロシン抗体の使いどころ. 各務原 骨粗鬆症 Symposium～人生100年時代を見据えた地域で取り組む骨粗鬆症治療～. WEB. 2021/6/10
12. 平野 裕司. 関節リウマチ薬物治療におけるTNF阻害剤とJAK阻害剤の違いについて考える. Biologics Users' Forum 2021. WEB. 2021/6/12
13. 平野 裕司. 抗TNF療法より学んだこと－アダリムマブを中心に－. 関節リウマチWebセミナー. WEB. 2021/6/16
14. 平野 裕司. 実臨床における関節リウマチ治療の中でのゴリムマブの使いどころ. リウマチ Webセミナー. WEB. 2021/6/23
15. 平野 裕司. 新時代を迎えた骨粗鬆症診療～抗スクレロシン抗体の意義～. 整形外科医のためのWebセミナー～NEXTセミナー～. WEB. 2021/6/24
16. 平野 裕司. 当科における関節リウマチに対するバリシチニブの治療成績. 第2回臨床JAK Online Conference. WEB. 2021/6/26
17. 平野 裕司. 「骨折の危険性の高い骨粗鬆症」を考える. 三河地区骨粗鬆症WEBセミナー. WEB. 2021/7/7
18. 平野 裕司. MTX partial responderに対する次の一手を考える～Shared Decision Making of Treatment Drug～. 豊田関節リウマチWebセミナー. WEB. 2021/7/14
19. 平野 裕司. 現在の骨粗鬆症におけるビスホスホネート製剤治療の意義－年1回点滴投与製剤ゾレドロン酸の使いどころ－. 骨粗鬆症を語る会. 浜松市(ハイブリット). 2021/7/17
20. 平野 裕司. 関節リウマチ薬物治療のさらなる向上を目指して－治療困難例とJAK阻害剤－. 三遠JAKiカンファレンス. 浜松市. 2021/7/30
21. 平野 裕司. 関節リウマチ治療の10年とDifficult to Treat RA. ジセレカ錠インターネットライブセミナー. WEB. 2021/8/6
22. 平野 裕司. 高齢者における最適なRA薬物治療－JAK阻害薬治療の可能性－. JAKi online seminar 2021 in Nagoya. WEB. 2021/8/26
23. 平野 裕司. リウマチ外来で関節リウマチ患者さんからの電話相談にどう対応しますか?. 豊田・知立リウマチメディカルスタッフセミナー. WEB. 2021/8/28
24. 平野 裕司. 関節リウマチ薬物治療における抗TNF療法のポジショニング－ゴリムマブの使いどころを含めて－. 第17回愛知県抗サイトカイン療法研究会. WEB. 2021/9/2
25. 平野 裕司. 高齢者における最適な関節リウマチ薬物治療－JAK阻害剤の可能性－. アステラス関節リウマチWEBシンポジウム. WEB. 2021/9/13
26. 平野 裕司. 関節リウマチの診断を再考する. 第5回若手整形外科医のためのリウマチWEBセミナー. WEB. 2021/9/16
27. 平野 裕司. 安定・安全・安価な関節リウマチの薬物治療を目指して. 日本リウマチ学会中部支部学術集会 第32回中部リウマチ学会. 浜松市(ハイブリット). 2021/9/18
28. 平野 裕司. リウマチ外来で関節リウマチ患者さんからの電話相談にどう対応しますか?. 第3回北海島リウマチチーム医療研究会. WEB. 2021/10/2
29. 平野 裕司. 関節リウマチに対するIL-6阻害療法－当科のサリルマブ治療成績も含めて－. 東三河膠原病セミナー2021. WEB. 2021/10/29
30. 平野 裕司. 乾癬性関節炎診察の実際. Lilly RA PsA Web Conference. WEB. 2021/11/4
31. 平野 裕司. 関節リウマチ薬物治療における抗TNF療法のポジショニング－ゴリムマブの使いどころを含めて－. RA regional exchange WEB seminar. WEB. 2021/11/16
32. 平野 裕司. 安定・安全・安価な関節リウマチの薬物治療を目指して. あゆみWebセミナー. WEB. 2021/12/1
33. 平野 裕司. リウマチ医から見た乾癬性関節炎診療. 乾癬性関節炎スキルアップセミナー. WEB. 2021/12/7
34. 平野 裕司. だんだんわかってきた実臨床におけるバリシチニブ. 第4回JAK Meeting. 名古屋市. 2021/12/22

(小児科)

1. 田島 巖. 新生児の退院前スキンケア. 2020年豊橋市民病院総合周産期センター活動報告. WEB. 2021/2/25
2. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊川市. 2021/4/8
3. 小山 典久. ぜひ知っておきたいワクチンの知識. 令和3年度第1回院内感染対策講習会. 豊橋市. 2021/5/20
4. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊川市. 2021/5/26
5. 伊藤 剛. 小児科医からみた院内学級の意義と課題. 令和3年度近畿東海北陸地区特別支援学校病弱教育副校長・教頭会. WEB. 2021/6/10
6. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊橋市. 2021/6/24
7. 小山 典久. 1. 新型コロナウイルス感染症の対応・注意点 2. ぜひ知っておきたいワクチンの知識 3. 児童虐待とその対応の要点. 令和3年度豊橋保育協会研修会. WEB. 2021/7/17
8. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊橋市. 2021/7/20
9. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊橋市. 2021/7/27
10. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊橋市. 2021/7/29
11. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊橋市. 2021/7/30
12. 伊藤 剛. 小児医療に欠かせない院内学級・病気療養児の教育. 愛知県保険医療局健康医務部健康対策課主催 病気療養児の就学支援に関する研修会. WEB. 2021/8/3
13. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊橋市. 2021/8/5
14. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 豊橋市教育委員会教職員免許更新研修会. 豊橋市. 2021/8/20
15. 田中 達之. 急成長!成長曲線で差がつく内分泌診療. 第9回名古屋市立大学小児科研修セミナー. WEB. 2021/8/22
16. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊川市. 2021/8/24
17. 田島 巖. 学童・生徒の食物アレルギー. 食物アレルギー研修会. 豊川市. 2021/8/27
18. 杉浦 崇浩. 「新生児蘇生(NCPR)アウトライン」. 日本新生児成育医学会第7回医学生・研修医向けNICU入門セミナー. WEB. 2021/8/28
19. 杉浦 崇浩. 「新生児蘇生法ガイドライン2020徹底ガイド」. 大阪小児科医学会第31回救急・新生児研修会. WEB. 2021/9/11
20. 田中 達之. 成長曲線で差がつく内分泌診療. 第204回東三河小児科医学会症例検討会ミニレクチャー. WEB. 2021/10/20
21. 大下 裕法. 外来で遭遇する胸痛・失神. 第204回東三河小児科医学会症例検討会ミニレクチャー. WEB. 2021/10/20
22. 田島 巖. 乳幼児のスキンケア. アレルギーとスキンケア研修会 豊橋市保健所・保育センター. 豊橋市. 2021/11/16
23. 小山 典久. 小児死亡の死因究明における課題 頭部外傷事例の問題点等 1. 小児救急重篤疾患登録調査虐待及び虐待疑い症例の実態と問題点 2. Abusive Head Trauma in Infants and Children (AHT)の概念と課題 3. 過去の症例から学んだこと 4. 臨床の現場から警察・検察に望むこと. 名古屋地方検察庁企画調査課教養指導講演会. 豊橋市. 2021/12/3
24. 杉浦 崇浩. 「新生児蘇生法アップデート ガイドライン2020&コンセンサス2021」. 東北大学病院 総合周産期母子医療センター新生児科 第20回新生児科指導医教育セミナー. WEB. 2021/12/11

(産婦人科・女性内視鏡外科)

1. 梅村 康太. 婦人科領域におけるロボット支援下手術. 第141回東海産科婦人科学会. WEB. 2021/2/20-2021/2/21
2. 岡田 真由美. 豊橋市民病院産婦人科 年次報告. 東三河周産期医療セミナー. 豊橋市(WEB). 2021/2/25
3. 梅村 康太. 婦人科がん治療におけるロボット手術手技について. ニラパリーブWEB講演会. WEB. 2021/3/2
4. 梅村 康太. 共催セミナー1「腹腔鏡手術とロボット手術～高度癒着症例に対する注意点とコツ」癒着症例・難症例に対するロボット支援下手術の実際. 第9回日本婦人科ロボット手術学会. WEB. 2021/3/5-2021/3/6
5. 岡田 真由美. 帝王切開一児娩出までのstep by step. 令和2年度専門相談研修会. 名古屋・尾張中部医療圏. WEB. 2021/3/24
6. 河合 要介. ディスカッション ディスカッサント. Chugai Gynecologic Cancer Seminar in MIKAWA. WEB. 2021/5/28

7. 梅村 康太. ゲノム診療を見据えた卵巣癌の検体採取. ゲノム診療時代における婦人科のDaily Practice. WEB. 2021/6/17
8. 河合 要介. 進行卵巣癌の初回治療、PSR再発治療. Ovarian Cancer Roundtable Meeting in MIKAWA. WEB. 2021/6/25
9. 河合 要介. ディスカッション「プラチナ感受性再発卵巣がんに対する薬物療法を考える」ディスカッション. Ovarian Cancer Online seminar in Aichi. WEB. 2021/11/4
10. 河合 要介. ディスカッション「長期病勢コントロールを目指す再発卵巣癌治療について」ディスカッション. Ovarian Cancer Round table Meeting in Mikawa. WEB. 2021/11/24

(産婦人科 (生殖医療))

1. 安藤 寿夫. シンポジウム：男性不妊症診療のウロ・ギネコラボレーション：産婦人科医による生殖医療：せめて3つの場面で夫の来院を促す理由. 第39回日本受精着床学会総会・学術講演会. 神戸市. 2021/7/16
2. 安藤 寿夫. 数十年先を見据えた先取的若手教育と生殖医療. 第114回愛知産科婦人科学会(指導医講習会). WEB. 2021/10/9
3. 安藤 寿夫. Gn製剤の特徴. ARTフォーラム・特別講演. WEB. 2021/10/27
4. 安藤 寿夫. 【基礎講演】 Gn製剤の特徴－その分子構造と翻訳後修飾－. Special Webinor ギナドトロピン製剤の基礎と臨床. WEB. 2021/12/22

(歯科・口腔外科)

1. 嘉悦 淳男. 「周術期等口腔機能管理を中心とする医療連携について」. 豊橋市歯科医師会1月例会. 豊橋市. 2021/1/22
2. 嘉悦 淳男. 院内感染防止対策及び歯科外来診療環境体制加算の施設基準. 愛知県保険医協会：歯援診，歯初診及び外来環の施設基準に係る研修会. 名古屋市. 2021/5/16

論文・著書 (医局)

(呼吸器内科)

1. Kensuke Nakagawara, Shuko Mashimo, other. Comprehensive and long-term surveys of COVID-19 sequelae in Japan, an ambidirectional multicentre cohort study: study protocol. *BMJ Open Respir. Res.* 2021;8(1):e001015.
2. Mari E. K. Niemi, Shuko Mashimo, other. Mapping the human genetic architecture of COVID-19 COVID-19 Host Genetics Initiative. *Nature.* 2021;600(7889):472-477.

(呼吸器外科)

1. Kumiko Hashimoto, Yuji Nomata, Takayuki Fukui, Akira Takada, Kunio Narita. Massive hemothorax in a pregnant patient with neurofibromatosis. *J Cardiothorac Surg.* 2021;16(1):116.
2. 親松 裕典, 坪内 秀樹, 成田 久仁夫. 胸腺腫の横隔神経合併切除と転移巣切除後の呼吸苦に横隔膜縫縮を併施し肺転移切除を行った1例. *日呼外会誌.* 2021;35(5):584-589.
3. Hironori Oyamatsu, Hideki Tsubouchi, Kunio Narita. Tractotomy using the Penrose drain guide for deep lung injury caused by chest drainage: a case report. *Surg Case Rep.* 2021;7(1):134.

(整形外科)

1. Shinsuke Takeda, So Mitsuya, Katsuyuki Iwatsuki, Miku Mitsuya, Ken-Ichi Yamauchi, Hitoshi Hirata. An intraoperative small distractor for non-open reduction and intramedullary fixation of pediatric displaced diaphyseal forearm fractures. *Nagoya J Med Sci.* 2021;83(3):635-640.
2. Shinsuke Takeda, Michiro Yamamoto, So Mitsuya, Kumiko Hashimoto, Hitoshi Hirata, Ken-ichi Yamauchi. Surgical fixation by mesh plate and intraoperative safe techniques for the manubrium sterni. *Trauma Case Rep.* 2021;33:100462.
3. Hirofumi Ohno, Shinsuke Takeda, So Mitsuya, Hisatake Yoshihara, Ken-Ichi Yamauchi. A Young Boy with Neck Pain. *Clin Pract Cases Emerg Med.* 2021;5(2):253-254.
4. Shinsuke Takeda, Katsuyuki Iwatsuki, So Mitsuya, Miku Mitsuya, Yutaro Kuwahara, Hitoshi Hirata. Ulnar Parametacarpal Flap for Small Finger Avulsion Injury. *J Hand Surg Asian Pac Vol.* 2021;26(3):477-480.
5. Koichiro Makihara, Shinsuke Takeda, So Mitsuya, Ken-Ichi Yamauchi. A Man With Ring Finger Pain. *Ann Emerg Med.* 2021;78(2):306-312.
6. Hirofumi Ohno, Shinsuke Takeda, So Mitsuya, Ken-Ichi Yamauchi. Adolescent Male with Severe Groin Pain Due to Traumatic Injury. *Clin Pract Cases Emerg Med.* 2021;5(2):251-252.
7. Shingo Kurahashi, Shinsuke Takeda, So Mitsuya, Koichiro Makihara, Ken-ichi Yamauchi. Plate fixation of acromion fracture using a mesh plate. *Trauma Case Rep.* 2021;33:100470.
8. Shinsuke Takeda, Yoshihiro Tanaka, Matsuyoshi Maeda, Hikaru Hayakawa, So Mitsuya, Ken-Ichi Yamauchi. The First Fatal Case of *Chromobacterium violaceum* Infection in Japan. *Am J Case Rep.* 2021;22.
9. 三矢 聡, 三矢 未来, 武田 真輔, 福井 順, 長谷川 純也, 牧原 康一郎. Taylor spatial frameのパーツを使用した松下法による足関節尖足拘縮の治療法. *中部整災誌.* 2021;64(4):557-558.
10. 三矢 未来, 三矢 聡, 武田 真輔, 福井 順, 長谷川 純也, 牧原 康一郎. 足関節後果の陥没骨折を伴う posterior pilon fracture に対する後方locking plate固定法. *中部整災誌.* 2021;64(4):551-552.
11. 三矢 未来ほか. Back outを防止するlocking tension band wiring (LTBW)を用いた肘頭骨折の内固定法 LTBWと従来のTBWの比較. *骨折.* 2021;43(3):809-814.

(リウマチ科)

1. 小杉山 裕亘, 平野 裕司. 間質性肺炎を合併した関節リウマチ患者におけるアバタセプトの臨床成績. *臨リウマチ.* 2021;33(1):48-54.
2. 長谷川 純也. 直前の生物学的製剤が有害事象で中止になった関節リウマチ症例に対するアバタセプト治療の有効性と安全性の検討. *リウマチ科.* 2021;66(4):419-426.

(小児科)

1. 藤本 真徳, 戸川 泰子, 杉本 真里, 杉浦 崇浩, 岡田 真由美, 村松 幹司, 小山 典久. 核型46, XY, der (18)t(11;18)(p15.3;q21.1)を示したBeckwith-Wiedemann症候群の1例. 日周産期・新生児会誌. 2021;57(1):119-123.
2. 鵜飼 聡士, 戸川 泰子, 杉本 真里, 杉浦 崇浩, 村松 幹司, 小山 典久. シベレスタットナトリウムを使用した超低出生体重児3例のカルニチン動態に関する検討. 日周産期・新生児会誌. 2021;57(1):135-139.
3. 太田 隆徳, 伊藤 孝一, 杉浦 時雄, 小山 典久, 齋藤 伸治, 村上 周子, 田中 靖人. HBVワクチンエスケープ変異株によりブレイクスルー感染した小児例. 肝臓. 2021;62(7):403-412.
4. 山本 英一, 小山 典久ほか. 小児救急重篤疾患登録調査(Japan Registry System for Children with critical disease: JRSC)から見えてきたこと 化膿性髄膜炎症例のまとめ. 日小児救急医学会誌. 2021;20(3):493-495.
5. 伊藤 陽里, 小山 典久ほか. 小児救急重篤疾患登録調査(Japan Registry System for Children with critical disease: JRSC)から見えてきたこと 小児救急重篤疾患登録調査の登録実績について. 日小児救急医学会誌. 2021;20(3):486-492.
6. 小保内 俊雅, 小山 典久ほか. 小児救急重篤疾患登録調査(Japan Registry System for Children with critical disease: JRSC)から見えてきたこと 死亡症例のまとめ. 日小児救急医学会誌. 2021;20(3):505-509.
7. 岡田 広, 小山 典久ほか. 小児救急重篤疾患登録調査(Japan Registry System for Children with critical disease: JRSC)から見えてきたこと 新たに人工換気療法を実施した症例のまとめ. 日小児救急医学会誌. 2021;20(3):496-501.
8. 若野 泰宏, 小山 典久. 早産児晩期循環不全. 周産期医. 2021;51(3):637-639.
9. Ito Tsuyoshi, Shotaro Iwamoto, Masahiro Hirayama, Yasuharu Yamada, Eiichi Azuma. Transient hypogammaglobulinemia of infancy may be associated with reduced switched memory B cells and del (16)(p11.2p12). Clin. Case Rep. 2021;9:e03837.
10. Shigeharu Nakane, Kennosuke Tsuda, Masahiro Kinoshita, Shin Kato, Sachiko Iwata, Yung-Chieh Lin, Mihoko Mizuno, Shinji Saitoh, Osuke Iwata. Airway gas temperature within endotracheal tube can be monitored using rapid response thermometer. Sci. Rep. 2021;11(1):9537.
11. 渡邊 千裕, 戸川 泰子, 杉本 真里, 戸川 貴夫, 杉浦 崇浩, 村松 幹司. 診断および治療に苦渋した新生児硬膜動静脈瘻の一絨毛膜二羊膜性双胎の一児例. 日周産期・新生児会誌. 2021;57(2):353-359.
12. 谷村 知繁, 杉浦 崇浩, 神農 英雄, 戸川 泰子, 大石 彰, 杉本 真里, 加藤 丈典, 岡田 真由美, 村松 幹司. 父親の性腺モザイクに起因する家族性Campomelic dysplasia. 日周産期・新生児会誌. 2021;57(3):540-544.
13. 若野 泰宏. 周産期医学 特集 新生児医療におけるME機器 新生児体動モニタ 正しい使い方とトラブルシューティング. 東京医学社. 2021;51(10):1421-26.
14. Myra H Wyckoff, Sugiura Takahiro. 2021 International Consensus on Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care Science with Treatment Recommendations: Summary From the Basic Life Support; Advanced Life Support; Neonatal Life Support; Education, Implementation, and Teams; First Aid Task Forces; and the COVID-19 Working Group. Resuscitation. 2021;169:229-311.
15. Katie N Dainty, Sugiura Takahiro. Family presence during resuscitation in paediatric and neonatal cardiac arrest: A systematic review. Resuscitation. 2021;162:20-34.
16. Shigeharu Hosono, Tetsuya Isayama, Takahiro Sugiura, Isao Kusakawa, Yoshimasa Kamei, Satoshi Ibara, Masanori Tamura. Management of infants born to mothers with suspected or confirmed SARS-CoV-2 infection in the delivery room: A tentative proposal 2020. Pediatr Int. 2021;63(3):260-263.

(産婦人科・女性内視鏡外科)

1. Kota Umemura, Yosuke Kawai, Hiroko Machida, Ryosuke Uekusa, Atsushi Kunishima, Mayumi Okada, Hisao Ando, Michiyasu Kawai. An innovative tissue model for robot-assisted radical hysterectomy and pelvic lymphadenectomy. Eur.J.Gynaecol. Oncol. 2021;42(3):482-487.
2. 篠田 真実ほか. 膀胱タンポナーデで発症し血管塞栓術により治療を行った腎動静脈瘻合併妊娠の一例. 東海産婦会誌. 2021;57:95-100.
3. 野崎 雄揮ほか. 周産期低ホスファターゼ症との鑑別が問題になった胎児骨系統疾患の2症例. 東海産婦会誌. 2021;57:137-142.

4. 鈴木 邦昭ほか. 子宮血管周囲性類上皮細胞腫瘍(PEComa)を術前に推定したため子宮温存が可能であった一例. 東海産婦会誌. 2021;57:253-258.
5. 國島 温志ほか. 子宮摘出後の骨盤臓器脱に対して腹腔鏡下仙骨脛固定術を施行した6例. 東海産婦会誌. 2021;57:433-437.
6. 梅村 康太. ロボット支援下手術のセンチネルリンパ節同定について. 産婦手術. 2021;32:85-90
7. 篠田 真実, 岡田 真由美, 河合 要介, 安藤 寿夫, 河井 通泰. 当院初診時15歳以下の患者の検討. 日女性医会誌. 2021;28:597-602.
8. 宮本 絵美里ほか. BRCA1変異を有する卵管原発癌肉腫(heterologous)の1例. 日婦腫瘍会誌. 2021;39:635-641.

(産婦人科 (生殖医療))

1. 安藤 寿夫. 受精卵・胚の観察と評価. <Science and Practice 産婦人科臨床シリーズ 4>不妊症. 中山書店. 2022:233-244.

(歯科・口腔外科)

1. 寺沢 史誉. 口内法にて摘出し得た咬筋内血管奇形の1例. Hosp Dent Oral-Maxillofac Surg. 2018;30(1):31-35.
2. 寺沢 史誉, 白水 敬昌, 近藤 佑亮, 藤田 珠理, 中尾 巧晃, 嘉悦 淳男. 本態性血小板血症を伴った硬口蓋癌の1例. 日口腔科会誌. 2021;70(3):248-253.
(上記1は遅れて2021年に発刊されたものです)

学会発表（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

（放射線技術室）

1. 市川 肇. 被ばく線量および画質の最適化を目的としたSPECT総合画像評価用ファントムの検討. 第15回金沢核医学技術検討会. 金沢市. 2021/9/5
2. 市川 肇. 核医学検査における被ばく線量と画質の適正化を目的としたSPECT総合画像評価用ファントムの開発. 第49回日本放射線技術学会秋季学術大会. 熊本市. 2021/10/17
3. Hajime Ichikawa. Optimization of becquerel calibration factor for quantitative bone SPECT without attenuation and scatter correction in the lumbar spine: Head-to-head comparison with attenuation and scatter correction. 34th European Association of Nuclear Medicine. WEB. 2021/10/20
4. 加藤 大貴. 病室ポータブル撮影におけるアイシールドおよびゴーグルの着用が画像表示モニタへの視認性へ及ぼす影響. 第59回全国自治体病院学会. 奈良市. 2021/11/5
5. 澤根 康裕. 「聞いてみよう！線量管理の実情 ～課題と対策～」Radimetricsを使用した線量管理の実態. 公社）愛知県診療放射線技師会 第3回研修会. WEB. 2022/1/16
6. 鈴木 文菜. 東三河一般撮影研究会：当院の一般撮影における補助具の紹介. 令和3年度東三河診療放射線技師会総会・研究会. WEB. 2022/3/11
7. Hajime Ichikawa. Optimization of VOI settings for quantitative bone metabolism assessment in monitoring treatment response in prostate cancer patients. 第16回金沢核医学技術検討会. 金沢市. 2022/3/26

（中央臨床検査室）

1. 手嶋 充善. 経胸壁心エコー検査が有用であった大動脈弁位人工弁感染の一例. 第46回日本超音波検査学会学術集会. WEB. 2021/5/8
2. 内田 一豊. 顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)と血球形態. 第22回日本検査血液学会学術集会 シンポジウム 1「造血器腫瘍の治療と血液形態」. WEB. 2021/9/12
3. 宮野 汐里. 心臓超音波検査で鑑別に苦慮した大動脈弁輪直下瘤形成の1症例. 令和3年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第59回)(WEB開催). WEB. 2021/9/25
4. 神藤 駿. 非けいれん性てんかん重責状態の1例. 令和3年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第59回). WEB. 2021/9/25
5. 齊藤 知枝. 当院における術中神経モニタリング検査と術後神経合併症の検討. 第59回全国自治体病院学会. 奈良市. 2021/11/4
6. 神藤 駿. プローブ圧による滑膜、血流シグナルの影響の検討. 第7回三河関節エコー研修会. 名古屋市. 2021/12/4
7. 山本 恵子. COVID-19感染症における医療現場・保健所・自治体の対応について. 第38回東三河地区研究会. WEB. 2021/12/4
8. 内田 一豊. 臨地実習生を受入れるための心構え. 令和3年管理運営研修会. WEB. 2022/1/4
9. 中村 藍. ISOでSOP作ってみた！. 令和3年度東三河輸血勉強会. WEB. 2022/1/28
10. 濱田 智博. 令和3年度愛臨技精度管理調査報告. 遺伝子・染色体検査研究会. WEB. 2022/1/31
11. 森下 拓磨. 令和3年度愛臨技精度管理調査報告免疫血清検査部門. 生物化学分析検査研究会. WEB. 2022/2/5
12. 森下 拓磨. 令和3年度愛臨技精度管理調査報告免疫血清検査部門. 令和3年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会. WEB. 2022/3/10
13. 木下 育哉. 三河地区における耐性菌の現状. 第21回三河耐性菌感染症研究会. WEB. 2022/3/11

(リハビリテーション技術室)

1. 森嶋 直人. 豊橋市民病院におけるCOVID-19に対するリハビリテーションについて. 穂の国脳卒中医療連携研究会総会. 豊橋市. 2021/6/24
2. 小倉 葉々子. 言語機能が改善した神経梅毒の一例. 日本言語聴覚学会 in 愛知. WEB. 2021/7/3
3. 深川 主将. 当院における摂食・嚥下障害を伴う脳卒中患者の疾患別予後について. 第22回言語聴覚学会 in 愛知. WEB. 2021/7/3
4. 森嶋 直人. 当院におけるCOVID-19に対するリハビリテーションについて. 第197回豊橋リハビリテーション連絡会. 豊橋市. 2021/7/7
5. 上村 晃寛. 当院におけるCOVID-19対策について. 2021年度第1回ADL維持向上等体制加算研修会. 名古屋市. 2021/9/18
6. 土屋 葵. COVID-19免疫応答残存に伴う急性間質性肺炎を発症した症例に対する理学療法の経験. 第37回東海北陸理学療法学術大会. 浜松市. 2021/10/30
7. 日吉 桜美. 急性期脳梗塞に対する血栓回収術後患者の再開通率と2週間後の歩行能力との関連性について. 第37回東海北陸理学療法学術大会. WEB. 2021/10/30
8. 森嶋 直人. 中枢性顔面神経麻痺の発症頻度と損傷部位との関係-脳梗塞患者における検討. 第44回日本顔面神経学会. 東京都. 2021/11/7
9. 森嶋 直人. 豊橋市民病院におけるCOVID-19に対するリハビリテーションについて -第5波をふまえて-. 第3回豊橋市民病院地域医療支援委員会. 豊橋市. 2021/11/11
10. 神谷 猛. 脳室周囲白質軟化症のDubowitz神経学的評価の特徴. 第8回日本小児理学療法学会学術大会. WEB. 2021/11/27
11. 神谷 猛. 新生児領域における理学療法のスペシャリティーとは. 第8回日本小児理学療法学会学術大会大会テーマシンポジウム. WEB. 2021/11/27
12. 上村 晃寛. 当院におけるCOVID-19患者への理学療法について急性期の現状と課題. 在宅医療リハビリテーション研修会. 名古屋市. 2021/12/12
13. 森嶋 直人. Real time tissue elastography法を用いた表情筋硬度測定の試み-筋厚を含めた検討-. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会. 仙台市. 2021/12/18
14. 中西 哲也. 急性期脳卒中患者に対し装具フローチャートを使用した歩行再建への取り組み. 第19回日本神経理学療法学会学術大会. 盛岡市. 2021/12/18
15. 内藤 善規. The inhibitors of early mobilization in acute phase of intracerebral hemorrhage. 第19回日本神経理学療法学会学術大会. WEB. 2021/12/19

(臨床工学室)

1. 小島 佳澄. 内視鏡手術で使用するカメラコントロールユニットとカメラヘッドの互換表の作成. 第21回中部臨床工学会. 三重県 (WEB). 2021/11/21
2. 渡辺 康太. 透析室兼務者の再教育をおこなって. 第59回全国自治体病院学会. 奈良市. 2021/11/5

(薬局)

1. 坂野 博紀. シスプラチン併用下におけるDOACの適正使用と出血関連有害事象. 第59回全国自治体病院学会. 奈良市. 2021/11/5
2. 原田 哲彦. 連携充実加算算定に向けた院内体制の立ち上げと保険薬局へのアンケートから見てきたこと. 第31回医療薬学会年会. 熊本県 (WEB). 2021/10/9

(看護局)

1. 鈴木 宏昌. 全身麻酔で手術を受ける患者の出棟方法の違いによる不安のVASと唾液アミラーゼ値の変化. 第47回日本看護研究学会. 2021/8/21
2. 宮野 千尋. SHELL分析を用いて類似したインシデントの発生を防ぐ. 第59回全国自治体病院学会. 2021/11/5
3. 鈴木 宏昌. 救急カートを活用し、急変対応を行う練習の効果. 第52回日本看護学術集会. 2021/11/18
4. 坂田 美枝子. 切迫早産で入院した妊婦が行う下肢筋力維持に向けたマッスルプログラムの取り組み. 固定チームナーシング研究会 第20回中部地方会. 2021/12/25
5. 伊藤 晴子. 透析治療を行う認知症・せん妄患者の安全への取り組み～多職種協働し身体抑制の減少を目指して～. 固定チームナーシング研究会 第20回中部地方. 2021/12/25
6. 深谷 小百合. 生命の危機的状況にある超低出生体重児の家族への意思決定支援. 固定チームナーシング研究会第20回中部地方会. 2021/12/25
7. 鈴木 奈々未. 環境ラウンドシートを用いた転倒転落予防への取り組み. 固定チームナーシング研究会第20回中部地方会. 2021/12/25
8. 鈴木 美果. 下肢骨折患者の早期離床に繋げる取り組み. 固定チームナーシング研究会第20回中部地方会. 2021/12/25
9. 小林 美香. 「人間としての私を見て」と言われて感じたこと～ワトソンのケアリングからみるその人らしさ～. 固定チームナーシング研究会 第20回中部地方会. 2021/12/25
10. 鈴木 杏葉. 初めての退室後訪問の取り組み. 固定チームナーシング研究会第20回中部地方会. 2021/12/25
11. 渡邊 香織. 内服自己管理に向けた取り組み～患者が退院後も安心して過ごせるために～. 固定チームナーシング研究会 第20回中部地方会. 2021/12/25
12. 田中 佑芽. CHILD CENTERD CARE～子どもを中心とした看護のかかわり～. 固定チームナーシング研究会 第20回中部地方会. 2021/12/25
13. 河合 陽子. 入院前から退院後につなぐ入退院支援. 固定チームナーシング研究会第20回中部地方会. 2021/12/25
14. 鶴見 志奈子. ACP実践報告会. 愛知県看護協会 三職能集会. 2022/2/16
15. 上村 恵子. 在日ブラジル人の腎移植患者に対し栄養管理の意識向上を目指して. 第55回日本臨床腎移植学会. 2022/2/24
16. 太田 美佐登. 人工呼吸器装着患者へのタッチングケアを導入した看護師の認識変化. 第49回日本集中治療医学会. 2022/3/18

(事務局)

1. 小島 早智. 医学管理料支援システムを用いた救急医療管理加算の算定率増加に向けた取り組み. 第59回全国自治体病院学会. 奈良市. 2021/11/5

座長・司会（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

（放射線技術室）

1. 市川 肇. 第9回 xSPECT ユーザーズセミナー. 横浜市. 2021/4/16
2. 市川 肇. 第82回核医学部会. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会. 横浜市. 2021/4/17
3. 市川 肇. シンポジウム「最新核医学装置」. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会. 横浜市. 2021/4/17
4. 加藤 豊大. 第3回中部核医学セミナー. 日本放射線技術学会 第3回中部核医学セミナー. WEB. 2021/6/20
5. 加藤 豊大. 一般演題発表. 第56回三河・遠州核医学研究会. WEB. 2021/7/3
6. 市川 肇. 一般演題発表. 第15回 金沢核医学技術検討会. 金沢市. 2021/9/5
7. 市川 肇. 第23回核医学画像セミナー. 日本放射線技術学会 第23回核医学画像セミナー. WEB. 2021/9/11
8. 市川 肇. 特別講演：当院における心臓核医学の位置づけ. 第110回東三河RI技術検討会. WEB. 2022/2/19
9. 山本 弘樹. 東三河一般撮影研究会:当院の一般撮影における補助具の紹介. 令和3年度東三河診療放射線技師会総会・研究会. WEB. 2022/3/11

（中央臨床検査室）

1. 大崎 裕介. 一般演題28「遺伝子検査2」. 第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 仙台市. 2022/1/29
2. 内田 一豊. 小児領域の検査について. 令和3年度 愛臨技 スキルアップ研修会. WEB. 2022/2/6

（リハビリテーション技術室）

1. 上村 晃寛. 重症COVID-19症例に対して集中治療室から始まるリハビリテーションー急性期から退院後も続く呼吸機能障害ー. 2021年度 第1回ADL維持向上等体制加算研修会. 名古屋市. 2021/9/18
2. 森嶋 直人. 第11回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会. 第44回日本顔面神経学会. 東京都. 2021/11/6
3. 神谷 猛. 口述発表ー表彰候補演題1ー. 第8回日本小児理学療法学会学術大会. WEB. 2021/11/27
4. 神谷 昌孝. 地域包括ケアシステム構築に向けた地域リハビリテーションの推進. 第8回日本地域理学療法学会学術大会. WEB. 2021/12/5
5. 内藤 善規. 症例検討ーグループBー2021年度 愛知県理学療法士会症例検討会. WEB. 2022/1/23

（薬局）

1. 坂野 博紀. 第16回豊橋薬業連携研修会. 第16回豊橋薬業連携研修会. 豊橋市. 2022/3/10
2. 村上 仁志. 最近の肺がん診療について. 第3回愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会. WEB. 2022/3/23
3. 橋本 雅子. 高齢化社会におけるGLP-1受容体作動薬の利便性と有用性. 第55回愛知県糖尿病薬物療法研究会. 名古屋(WEB). 2021/8/21

（看護局）

1. 青木 真理. セルフケア困難患者への関わり方. 東三河腎不全看護研究会. 2021/10/24
2. 渡津 恵美子. 一般演題「看護ケアの質の向上」. 固定チームナーシング研究会第20回中部地方会. 2021/12/25

（事務局）

1. 原瀬 正敏. 地域医療画像連携における現状・問題点・今後. 2021年度医療画像情報精度管理士セミナー. WEB. 2021/10/8
2. 原瀬 正敏. 「要求仕様書作成 ～いろいろな病院の事例を聞いて一緒に考えましょう～」. 第12回 静岡県医療情報技師会勉強会. WEB. 2022/2/19

講演（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

（放射線技術室）

1. 市川 肇. 研究計画の立て方. 第3回中部核医学研究会. WEB. 2021/6/20
2. 加藤 豊大. ハンズオンセミナー 画像解析してみよう. 第3回中部核医学セミナー. WEB. 2021/6/20
3. 加藤 豊大. 第3回中部核医学セミナー. WEB. 2021/6/20
4. 加藤 豊大. 市川 肇. 核医学領域における医療安全. 第15回中四国医用画像カンファレンス. 岡山市 (WEB). 2021/6/26
5. 加藤 豊大. 出力結果に注目してみよう Q&A症例検討 脳血流シンチ編. 第108回東三河RI技術検討会. WEB. 2021/7/16
6. 市川 肇. ハンズオンセミナー 統計解析を学ぶ. 日本放射線技術学会第23回核医学画像セミナー. WEB. 2021/9/11
7. 加藤 豊大. ハンズオンセミナー ROC解析. 第23回核医学画像セミナー. WEB. 2021/9/11
8. 谷口 裕輝. 当院における肺癌に対する放射線治療. 第76回豊橋がん診療フォーラム. WEB. 2021/9/16
9. 市川 肇. ファントム実験を成功させるポイント. 第58回核医学談話会. 岐阜市 (WEB). 2021/9/18
10. 市川 肇. 精度良く骨SPECT定量を行うための技術. 第26回東海腫瘍核医学研究会. 名古屋市 (WEB). 2021/10/9
11. 市川 肇. 骨SPECT画質評価の現状と課題. 第121回日本核医学技術学会北陸地方会. 金沢市 (WEB). 2021/10/23
12. 大井 康弘. 当院でのカプセル内視鏡運用体制 ～チーム医療を支える読影支援技師～. PillCam Webinar. WEB. 2021/10/27
13. 市川 肇. 骨SPECT画像の標準化とこれからの画質評価. 第41回日本核医学技術学会総会学術大会教育講演. 名古屋市. 2021/11/5
14. 加藤 豊大. 出力結果に注目してみよう Q&A症例検討 脳神経変性疾患編. 第109回東三河RI技術検討会. WEB. 2021/11/26

（中央臨床検査室）

1. 宮野 拓也. アミロイド染色の検討. 愛知県臨床検査技師会病理細胞研究会. WEB. 2021/4/14
2. 平松 由里江. 腹水におけるセルブロック作製の有用性. 第74回豊橋がん診療フォーラム. 豊橋市. 2021/5/27
3. 山本 優. 愛知県三河地区におけるCRE検出状況. 東海エキスパートウェブセミナー. WEB. 2021/7/17
4. 榊原 沙知. 呼吸器：良性・炎症性疾患. 令和3年度細胞学会東海連合会細胞診基礎講座. 岐阜市. 2021/8/1
5. 山本 優. 日常検査を見直す GBSスクリーニングの運用. 三河地区研修会. WEB. 2021/11/19
6. 内田 一豊. 臨床から信頼されるための体腔液検査. 令和3年度日臨技中部圏支部研修会臨床一般部門研修会. 静岡市. 2022/1/8
7. 内田 一豊. R-CPC (巨赤芽球性貧血). 第2回 シスメックス血液形態カンファレンス. WEB. 2022/1/16
8. 近藤 由香. 芽球の見方～急性白血病症例を中心に～. 第2回 形態カンファレンス～形態観察のステップアップを目指そう～. 名古屋市. 2022/1/16
9. 山本 優. 実際どうしてる？微生物検査の精度管理 ISO取得施設の精度管理. 愛知県臨床検査技師会微生物検査研究班研究会. WEB. 2022/2/5

（リハビリテーション技術室）

1. 神谷 猛. Dubowitz評価. 理学療法士講習会「新生児期から赤ちゃんの発達と家族を支援するリハビリテーション」. 豊橋市 (WEB). 2021/9/4
2. 神谷 猛. 新生児理学療法の実状. 理学療法士講習会「新生児期から赤ちゃんの発達と家族を支援するリハビリテーション」. 豊橋市 (WEB). 2021/9/4
3. 上村 晃寛. 一次救命処置と基本処置. 令和3年度 公益社団法人愛知県理学療法士会 新人教育プログラム. 名古屋市. 2021/10/10
4. 森嶋 直人. 第11回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会. 第11回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会. 東京都. 2021/11/6

5. 森嶋 直人, 顔面神経麻痺治療における問題点ーリハビリテーション領域ー, 第44回日本顔面神経学会シンポジウム, 東京都, 2021/11/7
6. 上村 晃寛, 当院感染症病棟及び一般病棟におけるCOVID-19患者への理学療法の現状と課題について, 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 名古屋市, 2021/11/14

(薬局)

1. 坂野 博紀, 医療連携について, 東三河Breast Cancer Seminar～Final Circular～, 豊橋市, 2021/4/7
2. 中神 博充, 注射薬について, リスクマネジメント講習会, 豊橋市, 2021/6/14
3. 町支 優和, 抗がん薬について, リスクマネジメント講習会, 豊橋市, 2021/6/14
4. 橋本 雅子, 処方薬について, リスクマネジメント講習会, 豊橋市, 2021/6/21
5. 大川 昌宏, 麻薬について, リスクマネジメント講習会, 豊橋市, 2021/6/21
6. 森 章典, 薬剤師から見たシステムの活用方法～AST活動を通して～, 第5回感染管理支援システム・カンファランス, WEB, 2021/10/2
7. 坂野 博紀, 実際の流れと副作用対策 ～XELOX療法を例に～, 第15回豊橋薬業連携研修会, 豊橋市, 2021/10/21
8. 村上 仁志, 事前アンケート結果報告 現状と問題点, 第15回豊橋薬業連携研修会, 豊橋市, 2021/10/21
9. 坂野 博紀, シスプラチン併用下におけるDOACの適正使用と出血関連有害事象, 第59回全国自治体病院学会報告会, 豊橋市, 2021/12/22
10. 坂牧 佑一, 災害に対する備え ～東三河5医療機関 糖尿病外来でのアンケート調査～, 愛知県CDLE講演会, 豊橋市, 2022/2/14
11. 鈴木 龍一郎, 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)活動で見た当院の問題点と新たなトピックス, 院内感染対策講習会, 豊橋市, 2022/2/17
12. 坂野 博紀, がん患者における病院薬剤師・保険調剤薬剤師への要望ーアンケート調査ー, 2021年度愛知県病院薬剤師会 がん部会 報告会, WEB, 2022/3/5
13. 村上 仁志, レジメン紹介 乳がんレジメンEC療法を中心に, 第16回豊橋薬業連携研修会, 豊橋市, 2022/3/10
14. 原田 哲彦, トレーシングレポートの活用事例と現状報告, 第16回豊橋薬業連携研修会, 豊橋市, 2022/3/10
15. 原田 哲彦, がん化学療法患者における薬業連携の取り組みについて, 第77回豊橋がん診療フォーラム, 豊橋市, 2022/1/20

(看護局)

1. 鶴見 志奈子, がん教育ー外部講師を活用したがん教育の進め方, 豊橋市養護教諭研修会, 2021/8/4
2. 鶴見 志奈子, がんってなに? がんのことを正しく知ろう, 豊橋市立東高等学校, 2021/11/11
3. 宮地 さやか, 福祉現場のための多職種で取り組む心不全地域連携 心不全患者さんがお家で過ごすために大切なこと, 豊橋心不全地域連携研究会, 2022/2/2
4. 加藤 美樹, 総合的な学習「ナースのお仕事」, 豊橋市立中部中学校, 2021/7/2
5. 三浦 敦子, 森川 里美, 豊橋西高校1年進路ガイダンス「ジョブナビ」, 愛知県立豊橋西高等学校, 2021/6/7

(事務局)

1. 原瀬 正敏, 経営面を考慮したPACSの更新, 第76回日本放射線技術学会総会学術大会 JIRAワークショップ「PACS更新における勘所」, WEB, 2021/4/17
2. 原瀬 正敏, 事業継続計画(IT-BCP)「突然のシステム障害・停止、対応できますか? (コロナ禍対策含む)」, 日本放射線技術学会医療情報部会 第27回PACS Specialistセミナー, WEB, 2021/8/21
3. 原瀬 正敏, 診療情報管理士への期待 ～採用の立場から～, 北海道診療情報管理士研究会第160回北海道診療情報管理研究会学術集会, WEB, 2021/9/5

論文・著書（経営企画室・医療安全管理室・診療技術局・薬局・看護局・事務局）

（放射線技術室）

1. Hajime Ichikawa, other. Automatic quantification package (Hone Graph) for phantom-based image quality assessment in bone SPECT: computerized automatic classification of detectability. Annals of Nuclear Medicine. 2021;35(8):937-946
2. Toshimune Ito, Hirotsu Tsuchikame, Hajime Ichikawa, Masahisa Onoguchi, Koichi Okuda, Takayuki Shibutani, Noriyo Yokotsuka, Hiroshi Tomizawa. Verification of phantom accuracy using a Monte Carlo simulation: bone scintigraphy chest phantom. Radiological Physics and Technology. 2021;14(3):336-344
3. Hajime Ichikawa, Masahisa Onoguchi, Takayuki Shibutani, Toyohiro Kato, Toshimune Ito, Hideki Shimada. Optimization of cross-calibration factor for quantitative bone SPECT without attenuation and scatter correction in the lumbar spine: Head-to-head comparison with attenuation and scatter correction. Nuclear Medicine communications. 2021;42(12):1404-1416
4. Hajime Ichikawa, Noriaki Miyaji, Masahisa Onoguchi, Takayuki Shibutani, Akio Nagaki, Toyohiro Kato, Hideki Shimada. Feasibility of ultra-high-speed acquisition in xSPECT bone algorithm: a phantom study with advanced bone SPECT-specific phantom. Annals of Nuclear Medicine. 2022;36:2:183-190
5. 市川 肇. 骨SPECT画像の標準化とこれからの画質評価. 核医学技術. 2022;42(1):93-95

（中央臨床検査室）

1. 内田 一豊. その他(体腔液の見方). スタンダード検査血液学第4版. 2021;4:163-168
2. 内田 一豊. 顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)と血球形態. 日本検査血液学会雑誌. 2022;23(1):148-156

（リハビリテーション技術室）

1. 森嶋 直人, 上村 晃寛, 石川 知志, 山口 育男. 病棟専従リハビリテーション療法士による入院患者ADL低下予防に向けた取り組み. 全自病協雑誌. 2021;4:507-510
2. 森嶋 直人. 顔面神経麻痺に対するリハビリテーションの進め方 ―エビデンス・保険診療の概要・医療チームについて―. 日本耳鼻咽喉科学会会報. 2021;124:954-958
3. 森嶋 直人. 巻頭言「コロナ禍でこそ考えるべきこと」. 中部リハビリテーション雑誌. 2022;16:1-1
4. 内藤 善規 ほか. 急性期脳卒中患者に対する看護師 連携ADL拡大フローチャートの有用性～「できるADL」と「しているADL」の乖離に着目して～. 愛知県理学療法学会誌. 2021;12(2):108-114

（看護局）

1. 坂田 美枝子. 産科病棟看護職が行う品胎初産婦の宿泊型産後ケアの実際. 第51回日本看護学会論文集
2. 鈴木 康予. 育児休業から復帰した看護師のソーシャルサポートに関する質的研究. 第41回日本看護科学会誌
3. 宮地 さやか. 先輩ナースの書き込みがぜんぶのってる！コッぶっくす 人工呼吸器. メディカ出版
4. 福井 通仁. 日本国内で2020年に発生した狂犬病患者の報告. IASR

VII 院内委員会の 活動記録

1. 幹部会

日 付	内 容 等
2021年4月5日	2021年度 第1回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年2月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ その他 時間外労働・休日労働に関する協定届（36協定）の締結について
2021年4月12日	第2回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② その他 令和3年度 医療安全重点目標 令和3年度 空調（冷房運転）について 紹介率・逆紹介率表の内容について
2021年4月19日	第3回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年度「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」の指定に係る意向調査について
2021年4月26日	第4回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年3月分 病院事業活動状況（速報版） ③ 全国共同購入事業への参加について ④ 保険診療費請求のための施設基準届出について ⑤ その他 愛知県看護協会東三河地区支部主催 県民公開講座について ドクターカーの運行開始について 障害者ワークステーションの開設について
2021年5月10日	第5回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年3月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ 診療科別重要経営指標
2021年5月17日	第6回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年度患者満足度調査の実施について
2021年5月24日	第7回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 「（仮称）豊橋心不全地域連携研究会」準備会の設置について
2021年5月31日	第8回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年4月分 病院事業活動状況（速報版）
2021年6月7日	第9回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年4月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ 「ACPボタン」の名称変更と患者プロフィールの内容変更について ④ その他 令和2年度時間外勤務の状況について

2021年6月14日	第10回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② その他 不適切発言の防止徹底について 院内常設委員会正副委員長一覧等について
2021年6月21日	第11回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 豊橋市民病院臨床研究委員会（仮称）の設置について ③ 夜間の救急ベッドコントロールについて ④ ドクターカー新生児搬送について
2021年6月28日	第12回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年5月分 病院事業活動状況（速報版） ③ 脳死判定・臓器移植が当院で行われる際の新型コロナウイルス感染症への対応について ④ 職員健診における適切な健診項目の実施に向けて ⑤ 「ACPボタン」変更に伴う患者プロフィールの内容変更について ⑥ 退院調整及び病床調整検討委員会について ⑦ 敷地内薬局の設置について
2021年7月5日	第13回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年5月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ 令和2年度 第2次豊橋市民病院改革プラン取組状況報告書について ④ もの忘れ脳ドック（脳ドック＜Dコース＞）の開始について ⑤ その他 令和3年度 工事予定について
2021年7月12日	第14回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 救命救急センターにおける「救急医療領域の人生の最終段階における医療の整備」について ③ AI問診システムの運用開始について
2021年7月19日	第15回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年度第2期（8月～11月）36協定について
2021年7月26日	第16回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年6月分 病院事業活動状況（速報版） ③ 救急・集中治療領域の人生の最終段階における医療の方針決定の基準・手順整備について ④ ホームページリニューアル業務に係る公募型プロポーザルの結果について ⑤ オンライン資格確認のプレ運用への参加について
2021年8月2日	第17回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年6月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ 救急・集中治療領域の人生の最終段階における医療の方針決定の基準・手順整備について ④ その他 時間外労働・休日労働に関する協定届（36協定）の締結について 管理職における休日勤務の取扱い

2021年8月16日	第18回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 正面玄関開扉時間の変更について ③ その他 活動状況報告事業費用の状況（診療材料費・経費）について
2021年8月23日	第19回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告
2021年8月30日	第20回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年7月分 病院事業活動状況（速報版） ③ その他 コロナ専用病床の増床に伴う報道発表について 知事メッセージ掲示用ポスターについて
2021年9月6日	第21回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年7月分 病院事業収支及び活動状況（報告）
2021年9月13日	第22回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 医師の働き方改革について ③ ファイル共有化システム（smoothfile）の運用開始について
2021年9月27日	第23回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年8月分 病院事業活動状況（速報版） ③ 令和3年度インフルエンザワクチン接種について
2021年10月4日	第24回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年8月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ モーニング競輪の開催について ④ 臨床研究標準業務手順書の改正について ⑤ その他 感染症病棟整備事業作業部会の進捗状況について 新型コロナウイルス感染拡大防止における不要不急の外出及び会食の自粛について
2021年10月11日	第25回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② その他 受動喫煙防止及び喫煙ルール・マナーの遵守について
2021年10月18日	第26回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 患者向け院内公衆無線LAN利用エリアの拡充について ③ その他 コロナ今後の見通し（会議資料） 新型コロナウイルス感染拡大防止における職員の感染症対策について AI問診システムの利用状況について 眼科外来「硝子体注射」の新規受け入れ開催に伴う周知について オンライン資格確認の導入状況について 令和3年度 空調（暖房運転）について

2021年10月25日	第27回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年9月分 病院事業活動状況（速報版） ③ その他 糖尿病週間啓発イベントについて
2021年11月1日	第28回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年9月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ 診療科別重要経営指標（上半期） ④ 令和3年度医療安全推進週間における当院の取り組み ⑤ その他 新型コロナウイルス感染拡大防止における職員の感染症対策について 令和3年度患者満足度調査票の回収状況・総合的な満足度について 電子カルテシステムバージョンアップについて
2021年11月8日	第29回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② その他 マイナンバーカード出張申請受付窓口の設置について デジタルサイネージの設置について
2021年11月22日	第30回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年度第3期（12月～3月）36協定について ③ 令和3年度紹介率・逆紹介率の低下について
2021年11月29日	第31回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年10月分 病院事業活動状況（速報版） ③ その他 ME休憩室の確保について 次期ホームページにおける各診療科ページの掲載原稿の作成依頼について
2021年12月6日	第32回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年10月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ オンライン面会について ④ その他 時間外労働・休日労働に関する協定届（36協定）の締結について 代務医師用貸出ロッカーの運用について 新型コロナワクチン3回目接種の大規模集団接種会場開設に伴う接種体制の整備等について
2021年12月13日	第33回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 手術記事等によるフィブリノゲン製剤使用患者調査について ③ その他 当院におけるパワーハラスメント防止に関する取り組みについて 新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の大規模集団接種会場開設について 新型コロナウイルス感染拡大防止における職員の感染症対策について

2021年12月20日	第34回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告について ② その他 カフェ・ド・クリエから当院小児入院患者へのクリスマスプレゼントについて
2021年12月27日	第35回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年11月分 病院事業収支及び活動状況（報告）
2022年1月4日	第36回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 病院機能評価受審準備委員会の立ち上げについて ③ その他 病院事業収支状況（医業収支の推移）について 売店運営事業者選定結果について
2022年1月17日	第37回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② その他 来年度の職員定期健診の実施について 新型コロナウイルス感染拡大防止における職員の感染症対策について 豊橋市斎場における手術肢体の持ち込みについて 入院付添人に対するコロナ検査と紹介率・逆紹介率への影響について
2022年1月24日	第38回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② その他 ハラスメント講演会のアンケート結果等について
2022年1月31日	第39回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年12月分 病院事業活動状況（速報版） ③ その他 電子カルテシステムの自動ログオフ設定について 令和3年度第1回保険診療に関する講習会について
2022年2月7日	第40回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和3年12月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ その他 令和4年度診療報酬改定のポイント
2022年2月14日	第41回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 院内で使用する臨床工学技士の通称の変更について ③ その他 転院患者の直前のCOVID-19関連検査の実施について 令和3年度災害対策訓練について 令和3年度患者満足度調査の結果について
2022年2月21日	第42回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和4年度 組織の変更について ③ その他 第3期病院総合情報システム構築について 医療機関群及び医療機関別係数について 令和4年度診療報酬改定に伴う影響額（概算）について 療養解除と判断された新型コロナウイルス感染症患者の受け入れについて

2022年2月28日	第43回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和4年1月分 病院事業活動状況（速報版） ③ 紙カルテの整理・廃棄について
2022年3月7日	第44回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和4年1月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ③ 治験予算の繰越について ④ HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関の登録について ⑤ その他 - 令和3年度（第2回）保険診療に関する講習会について - ホームページのリニューアルについて
2022年3月14日	第45回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 事例検討会設置要綱の改正及び事例検討判定会議設置要綱の廃止について ③ 令和4年度職員必携（案）について ④ 令和4年度時間外労働に関する協定（36協定）案について ⑤ 治験予算の繰越について ⑥ その他 - 令和2年度QI推進事業(日本病院会)結果報告について - 外来患者用ファイルの変更について
2022年3月28日	第46回 ① 新型コロナウイルス感染症に関する報告 ② 令和4年2月分 病院事業活動状況（速報版） ③ 脳卒中相談窓口の設置について ④ 救命救急センター運用規程の改正について

2. 不正防止対策委員会

【未開催】

3. 運営会議

日 付	内 容 等
2021年4月13日	2021年度 第1回 ① 令和3年2月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（2月13日～3月16日）の集約 ③ 各委員会からの報告
2021年5月11日	第2回 ① 令和3年3月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 令和2年度診療科別重要経営指標 ③ 提案箱（3月17日～4月16日）の集約 ④ 各委員会からの報告 ⑤ 全国共同購入事業への参加について
2021年6月8日	第3回 ① 令和3年4月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（4月17日～5月14日）の集約 ③ 各委員会からの報告
2021年7月13日	第4回 ① 令和3年5月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（5月15日～6月15日）の集約 ③ 各委員会からの報告
2021年8月10日	第5回 ① 令和3年6月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（6月15日～7月16日）の集約 ③ 各委員会からの報告
2021年9月14日	第6回 ① 令和3年7月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（7月17日～8月13日）の集約 ③ 各委員会からの報告
2021年10月12日	第7回 ① 令和3年8月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（8月14日～9月17日）の集約 ③ 各委員会からの報告
2021年11月19日	第8回 ① 令和3年9月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 診療科別重要経営指標（令和3年4～9月） ③ 提案箱（9月18日～10月15日）の集約 ④ 各委員会からの報告
2021年12月14日	第9回 ① 令和3年10月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱（10月16日～11月12日）の集約 ③ 各委員会からの報告 ④ オンライン面会について

2022年1月12日	第10回 ① 令和3年11月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（11月13日～12月14日）の集約 ③ 各委員会からの報告 ④ オンライン面会について
2022年2月8日	第11回 ① 令和3年12月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（12月15日～1月14日）の集約 ③ 各委員会からの報告
2022年3月8日	第12回 ① 令和4年1月分 病院事業収支及び活動状況（報告） ② 提案箱（1月15日～2月15日）の集約 ③ 各委員会からの報告

4. 倫理委員会

日 付	内 容 等
2021年11月22日	2021年度 第1回 ① ロボット支援下手術におけるリモート症例見学の提供 ② Da Vinci Xi systemを用いた単孔式肺葉切除術 ③ 代謝性疾患における安息香酸ナトリウムの使用 ④ 黄斑下出血（血種）への硝子体手術時のクリアクター静注用40万の使用 ⑤ 細菌性眼内炎へのセフトジジム（モダシン）点眼の使用
2022年2月28日	第2回 ① 難治性自己免疫性溶血性貧血に対するタクロリムスの投与 ② インスリン受容体異常症に対するINCRELEXの投与
2022年3月17日	第3回 ① 重症新生児に対するドナーミルクの投与 ② 難治性自己免疫性溶血性貧血に対するタクロリムスの投与

5. 臨床倫理検討委員会

日 付	内 容 等
2021年4月9日	2021年度 第1回 ① 令和3年度新委員の紹介 ② 昨年度の振り返りと今年度の計画（案） ③ 救外部会からの報告 ④ ACPボタン変更の最終確認及び今後の院内周知について ⑤ その他
2021年4月30日	臨床倫理カンファレンス 「胎児水頭症の出生時の対応について」
2021年5月27日	第2回 ① 「ACPボタン変更」の最終確認について ② その他

2021年7月16日	第3回 ① 「豊橋市パートナーシップ制度」についての勉強会 (豊橋市 市民協働推進課) ② 臨床倫理アドバイザー契約について ③ 救命救急センターにおける「救急医療領域の人生の最終段階における医療の整備」について ④ 令和3年度臨床倫理講習会(11/4開催)について ⑤ その他
2021年8月3日	臨床倫理カンファレンス 「経管栄養の中止は倫理的に問題にならないか」
2021年11月4日	2021年度 臨床倫理講習会 テーマ「医療現場における法と倫理 ～終末期医療の在り方について」 講師：中京大学法務総合教育研究機構教授 稲葉一人先生
2021年11月19日	第4回 ① 令和3年度臨床倫理講習会の振り返り ② 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 臨床倫理コンサルテーションカンファレンス見学について ③ 「LGBTQ+に関する講習会」(2/4開催予定)について ④ その他
2021年11月24日	臨床倫理カンファレンス 「持続的鎮静下で長期気管管理中の倫理的課題について」
2021年12月16日	臨床倫理カンファレンス 「本人の意向が病状変化に伴い変化した場合、いつの時点での意向を尊重すべきか」
2021年12月20日	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 臨床倫理コンサルテーションチーム見学(医局2名、事務局1名)
2022年2月4日	LGBTQ+について学ぶ講習会 テーマ「性の多様性理解とセクシュアル・マイノリティへの対応」 講師：特定非営利活動法人 PROUD LIFE 代表理事 安間優希氏
2022年2月18日	第5回 ① 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の臨床倫理コンサルテーションの見学(2021/12/20)の報告について ② 病院機能評価について ③ 「LGBTQ+講習会について」 ④ その他
2022年3月1日	臨床倫理カンファレンス 「意思決定能力のない独居生保受給患者の今後の医療方針等」
2022年3月25日	臨床倫理カンファレンス 「未受診未入籍未成年両親から出生した児の医療方針・療養場所等の決定プロセスにおいて両親の意思をどこまで尊重するのか」

6. 臨床研究審査会（旧 臨床研究審査委員会）

日 付	内 容 等
2021年5月20日	2021年度 第1回臨床研究審査委員会 議題なし
2021年7月15日	第2回臨床研究審査委員会 議題なし
2021年9月16日	第3回臨床研究審査委員会 議題なし
2021年11月18日	第4回臨床研究審査会 議題なし
2022年1月20日	第5回臨床研究審査会 議題なし
2022年3月17日	第6回臨床研究審査会 議題なし

6-1. 迅速審査会（旧 臨床研究事前審査会）

日 付	内 容 等
2021年4月7日	2021年度 第1回臨床研究事前審査会 ① 胆膵領域の腫瘍性疾患に対する超音波造影剤Sonazoid®を用いた造影超音波検査の有効性の検討 ② 希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究 ③ 妊婦に対する自己血輸血の現状に関する研究 ④ 患者レジストリによる脊椎インストゥルメンテーション手術患者の登録調査 ⑤ 消化器内視鏡に関連した偶発症の全国調査 ⑥ 転移性腎細胞癌患者における治療パターン、治療アウトカム及び医療資源利用状況に関する観察研究 ⑦ 同種造血幹細胞移植において移植片中の免疫担当細胞構成が移植成績に及ぼす影響についての検討 ⑧ ICUにおける人工呼吸器装着患者へタッチングケアを導入した看護師の認識変化 ⑨ 特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン+nab-パクリタキセル+ニンテダニブ療法とカルボプラチン+nab-パクリタキセル療法のランダム化第Ⅲ相試験 ⑩ 切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究 ⑪ PREDICT1での血液検体を用いたカルボプラチン+ペメトレキセド併用療法の後治療としての免疫チェックポイント阻害薬の効果予測に関する後ろ向き多施設共同研究 ⑫ 入院を要する肺炎患者における初期抗菌薬治療と予後に関する研究 ⑬ 呼吸器疾患画像の機械学習に関する臨床研究 ⑭ ファビピラビル等の抗ウイルス薬が投与されたCOVID-19患者の背景因子と治療効果の検討（観察研究） ⑮ EGFR遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対するアファチニブとオシメルチニブの後方視的観察研究（CJLSG1903） ⑯ COVID-19に関するレジストリ研究 ⑰ PD-L1発現50%未満高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ+ペメトレキセド療法の第2相試験: CJLSG1901 ⑱ 副甲状腺癌多発家系におけるHPRT2遺伝子変異の検討 ⑲ 育児休業から復帰した看護師の継続就業に関する研究

2021年5月12日	第2回臨床研究事前審査会 ① JALSG参加施設に新たに発生する全AML、全MDS、全CMML症例を対象とした5年生存率に関する観察研究（前向き臨床観察研究） ② 1型糖尿病患者の患者背景に関する東海臨床多施設共同研究 ③ 全国放射線治療症例に基づく放射線治療の実態調査および質評価 ④ ダウン症候群に対するPopulation-based の登録システム、検体バンクの構築 ⑤ ダウン症候群に対する白血病関連遺伝子の変異解析 ⑥ JALSG参加施設において新規に発症した全AML、全MDS、全CMML症例に対して施行された治療方法と患者側因子が5年生存率に及ぼす影響を検討する観察研究（前向き臨床観察研究） ⑦ 我が国のGIST治療におけるイマチニブ使用の実態に関する研究 ⑧ 免疫性神経疾患におけるバイオマーカーの探索と病態解明 ⑨ 急性骨髄性白血病を対象としたクリニカルシーケンスの実行可能性に関する研究 ⑩ 日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究 ⑪ 前向き観察研究に登録された骨髄異形成症候群における、同種移植までの橋渡し治療と移植成績の検討 ⑫ 四肢長管骨および骨盤骨折における手術療法の臨床成績および合併症に関する研究（多施設共同研究） ⑬ 脊椎疾患における上肢痛・下肢痛に関する薬物療法の多施設前向き臨床研究 ⑭ 転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療の有用性と安全性の検討 ⑮ 末梢血幹細胞採取時のsysmex XN systemを用いたHPC値の検討 ⑯ 血液・腫瘍内科における細胞性免疫不全感染症の検討 ⑰ アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究 ⑱ 周産期母子医療センターネットワークデータベース
2021年6月2日	第3回臨床研究事前審査会 ① 小児期発症の胆汁うっ滞性肝疾患を対象とした多施設前向きレジストリ研究
2021年7月7日	第4回臨床研究事前審査会 ① がん化学療法患者のステロイド累積投与量による糖尿病発症率とリスク因子についての検討 ② 急性期脳出血患者の離床開始時期に影響を与える因子の検討 ③ 上腸間膜動脈閉塞症例の治療成績についての検討 ④ 院内がん登録でみる愛知県のがん診療（施設別集計） ⑤ 網羅的遺伝学的解析による遺伝性疾患の病因解析 ⑥ 豊橋市民病院における免疫チェックポイント阻害薬専用の検査セット運用開始前後における検査セット使用率に関する研究 ⑦ 豊橋市民病院における免疫チェックポイント阻害薬院内フローチャート運用開始前後における免疫関連有害事象に関する院内紹介状による紹介率に関する研究 ⑧ トキソプラズマIgG抗体の測定状況と陽性率の検討 ⑨ ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術周術期における下部尿路症状および骨盤底筋訓練の実施状況に関する調査研究 ⑩ 手術を受ける患児への保育士と協働した術前プレパレーションの効果 ⑪ がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究 ⑫ AIを用いた頭頸部癌予後解析に関する多施設研究 ⑬ 当院における食道癌の放射線治療成績 ⑭ ダ・ヴィンチSi 手術システムを用いたロボット支援腹腔鏡下胃手術の有用性と安全性を検討する臨床研究 ⑮ 下垂体腫瘍組織からの細胞株樹立と細胞株が産生する物質を用いた研究および臨床応用 ⑯ 融解胚移植周期における天然型エストラジオール経口剤と経皮吸収貼付剤による無作為割付け前向き比較対照臨床試験

2021年8月4日	第5回臨床研究事前審査会 ① 二次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺摘出術の疫学調査、登録制度 ② 内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 ③ インタクトPTHの各アッセイ間比較 ④ 尿中代謝物を用いた診断マーカーの探索 ⑤ エミシズマブ定期投与中のFVIIIインヒビターを保有しない先天性血友病A患者における、身体活動及び出血イベント、日常生活の質、安全性を評価する多施設共同、前向き観察研究 ⑥ 非血縁臍帯血移植および血縁・非血縁末梢血幹細胞移植においてGVHD予防法とanti-thymocyte globulin投与が移植後免疫再構築へ及ぼす影響についての検討 ⑦ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究 ⑧ 先天奇形症候群における遺伝的要因の探索 ⑨ 人工呼吸器患者における早期離床の障壁の変化と退院時歩行自立との関連を明らかにする多施設後向きコホート研究 ⑩ 敗血症の電子カルテデータとDPCデータを利用した多施設後向きレジストリ研究 ⑪ 自己免疫性溶血性貧血における感染症と、背景となる免疫不全に関する検討 ⑫ 当院で経験した妊娠関連乳癌症例の妊娠分娩管理、治療および予後 ⑬ ICUにおける人工呼吸器装着患者へタッチングケアを導入した看護師の認識変化
2021年9月1日	第6回臨床研究事前審査会 ① 研究参加施設に新たに発生する全ての成人ALL症例を対象とした5年生存率に関する前向き臨床観察研究 ② 多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究 ③ 特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD 診断システムを用いた診断標準化に基づく疫学データの創出 - AI診断システムと新規バイオマーカーの開発 - ④ Effusive constrictive pericarditisの臨床的意義に関する観察研究 ⑤ 高齢者急性骨髄性白血病における遺伝子異常と予後の関連に関する研究（JALSG GML219-Molecular）JALSG-GML219試験（jRCTs041190088）付随研究
2021年10月6日	第7回迅速審査会 ① 名古屋大学腎臓病総合レジストリー ② びまん性大細胞型B細胞リンパ腫におけるMYCおよびBCL2またはBCL6の再構成を伴う高悪性度B細胞リンパ腫の網羅的同定の検討 ③ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究 ④ 前立腺癌組織中遺伝子変異を予測する病理学的スクリーニング法の開発に関する研究 ⑤ 当院で経験した急性虫垂炎合併妊娠の臨床的検討 ⑥ 愛知県における手指切断患者搬送システム（テレトリアージ）の搬送時および病院収容後の治療成績に関わる後ろ向き調査 ⑦ 全国放射線治療症例に基づく放射線治療の実態調査および質評価

2021年11月10日	第8回迅速審査会 ① 転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療の有用性と安全性の検討 ② 小児期発症の胆汁うっ滞性肝疾患を対象とした多施設前向きレジストリ研究 ③ 豊橋市民病院における免疫チェックポイント阻害薬専用の検査セット運用開始前後における検査セット使用率に関する研究 ④ 豊橋市民病院における免疫チェックポイント阻害薬院内フローチャート運用開始前後における免疫関連有害事象に関する院内紹介状による紹介率に関する研究 ⑤ ビタミンB6依存性てんかんの実態調査 ⑥ 低ホスファターゼ症患者に対する同種間葉系幹細胞治療のFeasibility調査 ⑦ 当院における膵体尾部切除後の糖尿病の発症率とそのrisk factorについての検討 ⑧ 厚生労働研究 難治性疾患等政策研究事業「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班・Acute-On-Chronic Liver Failure (ACLF) の全国調査（令和3年～5年度） ⑨ 急性腎盂腎炎に対する腹部単純CTの診断精度に関する検討 ⑩ 救急患者におけるフィブリノゲン迅速測定器の正確性および実用性に関する研究 ⑪ 重症外傷患者における凝固・線溶系マーカーに関する研究 ⑫ 単純MR angiographyによる肺静脈および左心房の描出に関する撮像パラメータの至適条件の検討 ⑬ 人工知能を用いた胆膵・消化管疾患に対する超音波内視鏡検査の診断能向上に向けた研究 ⑭ 新型コロナウイルス感染症の炎症マーカー・背景因子と重症度の検討
2021年12月1日	第9回迅速審査会 ① 悪性卵巣腫瘍に対する疫学的研究 ② 急性脳症・痙攣重積症例の後方視的解析 ③ エミシズマブ定期投与中のFVIIIインヒビターを保有しない先天性血友病A患者における、身体活動及び出血イベント、日常生活の質、安全性を評価する多施設共同、前向き観察研究 ④ 腹腔鏡下胃切除術における術後膵液漏に対するポリグリコール酸シートの有用性の臨床研究
2022年1月5日	第10回迅速審査会 ① 転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療の有用性と安全性の検討 ② 当院で経験した急性虫垂炎合併妊娠の臨床的検討 ③ 救急患者におけるフィブリノゲン迅速測定器の正確性および実用性に関する研究 ④ COVID-19による重症肺炎の特徴を解明するためのリアルワールドデータベースの構築 ⑤ 血液悪性腫瘍における終末期医療の検討

2022年2月2日	第11回迅速審査会 ① レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究 ② リキッドバイオプシーを用いた切除不能RAS野生型大腸癌に対する抗EGFR抗体の効果予測 ③ レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査 ④ 「イレウス（ICD10コード K567）」およびそれに準ずる傷病名で入院した患者の検討 ⑤ 当院における自家蛍光を用いた副甲状腺腫大腺の術中評価 ⑥ 副甲状腺機能亢進症に対する治療効果の評価・検討 ⑦ 頸椎由来の頸肩腕症状に対する薬物治療の臨床経済研究 ⑧ 椎弓根スクリューの刺入方法別の刺入精度、臨床成績への影響 ⑨ 緊急気管切開術を受けた患者が体験する苦悩 ⑩ 骨SPECTの画質の標準化に関する多施設共同研究 ⑪ 「新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID-19ワクチンの開発と評価系の構築」および「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究」の臨床・検査情報連結 ⑫ アグレッシブ NK 細胞白血病に関する多機関共同後方視的研究（ANKL22）
2022年3月2日	第12回迅速審査会 ① 内分泌代謝疾患の遺伝子型・核型・表現型関連等に関する研究 ② ファビピラビル等の抗ウイルス薬が投与されたCOVID-19患者の背景因子と治療効果の検討（観察研究） ③ 呼吸器外科の低侵襲手術における創（ポート）の数や挿入肋間部位と術後疼痛に関する調査 ④ 移植非適応初発多発性骨髄腫患者におけるDRd療法とVRd療法の比較 ⑤ 救急外来リピーター患者の実態調査 ⑥ 本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術（MIS）の実態調査 ⑦ Dubowitz神経学的評価からみた極低出生体重児の新生児期の発達特徴と修正1歳6か月の発達予後の関連 ⑧ リハビリテーション分野から考える末梢性顔面神経麻痺の治癒判定基準の作成 ～Sunnybrook 法での検討～ ⑨ 新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID-19ワクチンの開発と評価系の構築 ⑩ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究 ⑪ 「新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID-19ワクチンの開発と評価系の構築」および「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究」の臨床・検査情報連結 ⑫ ダ・ヴィンチSi 手術システムを用いたロボット支援腹腔鏡下胃手術の有用性と安全性を検討する臨床研究

6-2. 臨床研究委員会

日 付	内 容 等
2021年8月20日	2021年度 第1回 ① 豊橋市民病院臨床研究標準業務手順書（案）の全部改正について ② 臨床研究審査会に係る臨床研究等において発生した有害事象に関する手順書（案）について ③ 臨床研究管理室業務手順書（案）について ④ その他
2021年9月24日	第2回 ① 豊橋市民病院臨床研究標準業務手順書（案）の全部改正について ② 臨床研究審査会に係る臨床研究等において発生した有害事象に関する手順書（案）について ③ 臨床研究管理室業務手順書（案）について ④ その他
2021年12月10日	第3回 ① 令和4年度の臨床研究の教育計画について ② 研究審査前の利益相反の確認について ③ 効果安全性評価委員会の委員候補者について ④ その他

7. 業務改善委員会

日 付	内 容 等
2021年10月28日	準備打合せ会 ① 業務改善委員会の所掌事務について ② 業務改善委員会の進め方について ③ その他
2022年1月25日	第1回 時間外勤務の削減に向けた取り組みについて ① 36協定、特別条項の再確認及び実績について ② タスクシェア・タスクシフトの検討について ③ 宿日直業務について ④ その他
2022年3月15日	第2回 医師の時間外勤務の削減に向けた取り組みについて ① 勤務管理の現状と課題について ② 宿直の現状と課題について ③ 長時間勤務者面談について（産業医の視点から） ④ その他

7-1. 医師事務作業軽減部会

日 付	内 容 等
2021年4月15日	2021年度 第1回 ① 令和2年度 アンケート調査結果について ② 医師事務作業補助者の業務と配置について ③ 令和3年度 医師事務作業軽減計画について ④ 令和3年度 医師事務作業補助業務（継続）の承認について ⑤ 令和3年度 医師事務作業補助業務（新規）の承認について ⑥ 医師事務作業軽減部会設置要綱の改正について ⑦ 令和3年度医師事務作業軽減部会開催の予定について

8. 接遇委員会

日 付	内 容 等
2021年6月28日	2021年度 第1回 ① 接遇研修の対象者について ② 接遇研修の内容検討
2022年 3月	第2回（書面開催） ① 令和4年度接遇目標の選定について ② 令和4年度接遇研修について

8-1. 患者満足度調査検討会

日 付	内 容 等
2021年5月13日	2021年度 第1回 ① 患者満足度調査の概要について ② 調査の実施方針について ③ 調査の実施スケジュールについて
2021年8月20日	第2回 ① 令和4年度患者満足度調査の実施方法について

9. 災害対策検討委員会

日 付	内 容 等
2021年12月27日	2021年度 第1回 ① 災害対応訓練の内容・日程について ② 災害対応マニュアル改訂について
2022年1月20日	第2回 ① 災害対策訓練シナリオについて ② 災害対応マニュアル改訂について
2022年2月10日	第3回 ① 災害対策訓練シナリオについて

9-1. 地震対策部会

【未開催】

9-2. DMAT運営部会

日 付	内 容 等
2021年6月18日	2021年度 第1回 ① 年間スケジュール（各研修・訓練参加者確認） ② DMAT自動待機基準における当院の対応（案）について
2021年9月17日	第2回 ① 年間スケジュール（各研修・訓練参加者確認）
2021年12月17日	第3回 ① 年間スケジュール（各研修・訓練参加者確認） ② 災害時院内情報管理システム（D-HIMS）の導入検討について
2022年3月25日	第4回 ① 令和3年度スケジュール（各研修・訓練参加者確認） ② 豊橋市総合防災訓練について

10. 年報編集委員会

日 付	内 容 等
2022年3月28日	2021年度 第1回 ① 病院年報第31巻（2021年版）について ② 病院年報第31巻（2021年版）作成スケジュール ③ 病院年報第31巻（2021年版）の原稿提出依頼について ④ 編集後記執筆者について

11. 広報紙編集委員会

日 付	内 容 等
2021年5月14日	第29回 ① 青竹第89号の編集について
2021年8月6日	第30回 ① 青竹第90号の編集について
2021年11月16日	第31回 ① 青竹第91号の編集について
2022年2月24日	第32回 ① 青竹第92号の編集について

12. 院内感染対策委員会

日 付	内 容 等
2021年4月13日	第307回 ① 西病棟2階におけるMRSAのアウトブレイク事例について ② 新生児医療センターにおけるMRSAのアウトブレイク事例について ③ COVID-19陽性患者入院状況 ④ 泌尿器科医師におけるCOVID-19の発症事例 ⑤ 脳神経外科医師におけるCOVID-19の発症事例 ⑥ 新型コロナウイルスワクチンの副反応発生事例
2021年5月11日	第308回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ② 外来窓口担当ソラストにおけるCOVID-19の陽性事例 ③ 新生児医療センターにおける患者（新生児）の濃厚接触者発生事例 ④ 令和3年度 第1回 院内感染対策講習会開催について
2021年6月8日	第309回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ② AST（カルバペネム）活動計画（2021.1～2021.3） ③ AST（血培陽性）活動計画（2021.1～2021.3）
2021年7月13日	第310回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ② 老人介護施設利用者における腸管出血性大腸菌感染症集団発生事例について ③ 第1回 院内感染対策講習会参加状況について ④ 院内感染対策委員会の開催日変更について
2021年8月24日	第311回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ② 感染防止対策地域連携加算相互訪問における他者評価について 8/20（金） 成田記念における評価受審
2021年9月28日	第312回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ② AST（カルバペネム）活動集計（2021.4～2021.6） ③ AST（血培陽性）活動集計（2021.4～2021.6） ④ 使用届出集計（カルバペネム系、セフェム系）2021.1～2021.6 ⑤ 使用届出集計（抗MRSA薬）2021.1～2021.6 ⑥ 感染防止対策地域連携加算相互訪問における他者評価について ⑦ 8/20（金） 成田記念における評価受審報告
2021年10月26日	第313回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ② 令和3年度 第2回 院内感染対策講習会開催について
2021年11月30日	第314回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ② 速乾性手指消毒薬 1患者1日あたりの使用量 ③ 面会者の血液曝露事例について
2021年12月21日	第315回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ② 面会者の血液曝露事例についてその後の報告 ③ AST（カルバペネム）活動集計（2021.7～2021.9） ④ AST（血培陽性）活動集計（2021.7～2021.9） ⑤ 令和3年度 第3回 院内感染対策講習会について

2022年1月25日	第316回 COVID-19陽性患者入院状況 西病棟7階COVID-19 アウトブレイク事例 令和3年度 第3回 院内感染対策講習会開催について テーマ「抗菌薬適正使用支援チーム（AST）業務で見えた当院の改善点と新たなトピックス」
2022年2月22日	第317回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ・ 院内でおこったCOVID-19発生事例（東8階、西2階、西8階、医療情報課、東6階） ② 令和2年度 第3回 院内感染対策講習会 集計報告
2022年3月22日	第318回 ① COVID-19陽性患者入院状況 ・ 院内発生報告（東8階） ・ 当院の新型コロナウイルスに対応に対する院外からの評価 ② 使用届出書集計（カルバペネム系、セファム系）2021.7～2021.12 ③ 使用届出書集計（抗MRSA薬）2021.7～2021.12 ④ AST（カルバペネム）活動集計（2021.10～2021.12） ⑤ AST（血培陽性）活動集計（2020.10～2020.12） ⑥ 静注抗菌薬使用量年次推移 ⑦ WHO AWaRe分類による静注抗菌薬の使用割合 ⑧ 抗菌薬使用届書（案） ⑨ 速乾性手指消毒薬 1患者1日あたりの使用量 ⑩ 2022年度 院内感染対策委員会（ICC）開催予定日程（案）

13. 脳死判定委員会

【未開催】

14. 救命救急委員会

日 付	内 容 等
2021年6月18日	2021年度 第1回 ① 報告事項（令和3年2月～4月分） ② ドクターカーの運用について ③ 夜間の救急ベッドコントロールについて
2021年9月17日	第2回 ① 報告事項（令和3年5月～7月分） ② 救命救急センター運用規程の改訂について ③ コードブルーの対応について ④ コロナ診療について
2021年12月17日	第3回 ① 報告事項（令和3年8月～10月分） ② コードブルー連絡票の改訂について

2022年3月25日	第4回 ① 報告事項（令和3年11月～令和4年1月分） ② RRS（Rapid Response System）について ③ BLS・ICLS部会 ④ ICU・救命ベッドの有効利用について
------------	--

14-1. BLS・ICLS部会

日 付	内 容 等
2022年3月23日	2021年度 第1回 ① 今後のBLS・ICLSの運用について

15. 集中治療室運営委員会

日 付	内 容 等
2021年6月18日	2021年度 第1回 ① 集中治療室運営委員会報告
2021年9月17日	第2回 ① 集中治療室運営委員会報告
2021年12月17日	第3回 ① 集中治療室運営委員会報告
2022年3月25日	第4回 ① 集中治療室運営委員会報告

16. 診療材料選定委員会

日 付	内 容 等
2021年4月19日	2021年度 第1回 ① インスリン自己注射器の採用について（管理課）

17. 手術センター運営委員会

日 付	内 容 等
2021年4月26日	2021年度 第1回 ① 令和2年度第12回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（3月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント事例報告について ④ 一般外科における周術期抗血栓療法について ⑤ 麻酔モニターの設定について ⑥ COVID-19対応の途中経過について ⑦ シリコン膀胱留置カテーテル運用について ⑧ 手術予定表（2021年8月）について ⑨ その他

2021年5月24日	第2回 ① 令和3年度第1回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（4月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント事例報告について ④ 手術中の言動について ⑤ 静脈血栓塞栓症予防について ⑥ 外科抗血栓療法の術前休薬について ⑦ イメージ更新に伴う事前デモについて ⑧ 新棟の空調について ⑨ 手術予定表（2021年9月）について ⑩ その他
2021年6月28日	第3回 ① 令和3年度第2回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（5月手術件数等） ③ インシデント・アクシデント事例報告について ④ 医療器械のデモと診療材料試用について ⑤ 手術センター医療機器持ち出し申請について ⑥ 令和3年度購入予定の外科用イメージのデモについて ⑦ 新棟の空調について ⑧ 手術予定表（2021年10月）について ⑨ その他
2021年7月26日	第4回 ① 令和3年度第3回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（6月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント事例報告について ④ タイムアウトの方法について ⑤ 手術センター医療機器持ち出し申請の訂正について ⑥ 手術予定表（2021年11月）について ⑦ その他
2021年8月23日	第5回 ① 令和3年度第4回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（7月手術件数等） ③ 外科用イメージデモの結果と推薦機種について ④ アクシデント・インシデント事例報告について ⑤ 手術予定表（2021年12月）について ⑥ その他（連絡事項）
2021年9月27日	第6回 ① 令和3年度第5回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（8月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント事例報告について ④ COVID-19検査の変更事項について ⑤ 病理組織検体の取扱いについて ⑥ 手術予定表（2022年1月）について ⑦ その他

2021年10月25日	第7回 ① 令和3年度第6回手術センター運営委員会議事録について ② 先月の事例対策とその他報告について ③ 定例報告について（9月手術件数等） ④ アクシデント・インシデント事例報告について ⑤ 来年度手術センター運営委員会の日程について ⑥ 手術予定表（2022年2月）について ⑦ その他
2021年11月22日	第8回 ① 令和3年度第7回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（10月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント事例報告について ④ COVID-19の検査について ⑤ E V 工事について ⑥ 手術予定表（2022年3月）について ⑦ その他
2021年12月27日	第9回 ① 令和3年度第8回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（11月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント報告について ④ 診療材料の共同購入について ⑤ 入室時の体温測定について ⑥ 手術予定表（2022年4月）について ⑦ その他
2022年1月24日	第10回 ① 令和3年度第9回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（12月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント事例報告について ④ 手術センターにおける手術同意書の運用変更について ⑤ 膀胱留置カテーテルについて ⑥ 手術予定表（2022年5月）について ⑦ その他
2022年2月28日	第11回 ① 令和3年度第10回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（1月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント報告について ④ 20R（ハイブリッド手術室）防護板設置について ⑤ COVID対応に備えた手術枠の継続について ⑥ 機能評価に向けた抜管基準について ⑦ 手術に使用したインプラント等のスキャンについて ⑧ 手術予定表（2022年6月）について ⑨ その他
2022年3月28日	第12回 ① 令和3年度第11回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について（2月手術件数等） ③ アクシデント・インシデント報告について ④ メチルロザニリン塩化物（ピオクタニン、皮膚ペン）の使用について ⑤ 手術に使用したインプラント等のスキャンに向けて ⑥ Q I 推進事業について ⑦ 手術予定表（2022年7月）について ⑧ R 4 年度の予定表について ⑨ その他

18. 医療器械・備品機種選定委員会

日 付	内 容 等
2021年7月19日	2021年度 第1回 ① 放射線治療計画システム（放射線技術室）
2021年7月26日	第2回 ① 全自動錠剤分包機（薬局）
2021年7月26日	第3回 ① セントラルモニタシステム（臨床工学室）
2021年9月13日	第4回 ① ガンマカメラ（放射線技術室）
2021年11月8日	第5回 ① 外科用イメージ装置（放射線技術室）

19. 図書委員会

日 付	内 容 等
2021年8月27日	2021年度 第1回 ① 令和2年度の決算報告について ② 令和3年度の予算執行状況について ③ 令和4年度購読雑誌の変更について ④ 雑誌の廃棄について ⑤ 図書室の利用について ⑥ メディカルオンラインの認証方式について

20. 研修委員会

日 付	内 容 等
2021年5月12日	2021年度 第1回 ① 研修委員会委員名簿について ② 臨床研修の理念と基本方針について（報告） ③ 平成31年卒研修医（修了者）の指導環境評価について ④ 令和3年度 オリエンテーション評価について ⑤ 研修医評価等について ⑥ EPOC2入力項目と必須研修項目 ⑦ 診療録・研修サマリーの承認 ⑧ 令和3年卒1年次研修医の夏季休暇取得について ⑨ 学生見学におけるアンケート集計について ⑩ 病院説明会について ⑪ 令和4年度採用 初期臨床研修医選考について ⑫ 令和3年度 委員会等予定について

2021年9月22日	第2回 ① 研修医の評価について ② 勤怠時間管理の徹底化について ③ 卒後臨床研修評価機構 受審について ④ 診療録記載、研修医サマリーの承認について ⑤ 指導医ミーティングについて ⑥ 臨床研修医採用試験について（報告） ⑦ 病院説明会について（報告）
2022年3月22日	第3回 ① 令和2年卒研修医の評価等について ② 令和2年卒研修医評価について ③ マッチング結果について ④ 臨床研修評価 訪問調査結果について ⑤ 研修医アンケートについて ⑥ 令和4年卒1年次研修医ローテートについて ⑦ 令和3年卒2年次研修医ローテートについて ⑧ 令和4年度 オリエンテーションについて ⑨ 令和4年度 委員会等予定について

20-1. 研修医評価委員会

【未開催】

21. 研修管理委員会

日 付	内 容 等
2021年5月26日	2021年度 第1回 ① 院長あいさつ ② 研修医リーダーによる研修状況説明 ③ 令和3年度 研修管理委員会委員名簿について ④ 令和3年度採用初期臨床研修医について ⑤ 令和3年度ローテート表について ⑥ 1年次研修医の夏季休暇について ⑦ 令和3年度オリエンテーション評価について ⑧ 平成31年卒研修医（修了者）指導環境評価について ⑨ 学生見学におけるアンケート集計について ⑩ 院内病院説明会について ⑪ 令和4年度採用 初期臨床研修医選考について ⑫ 令和3年度 研修管理委員会等開催日程について

2021年9月29日	第2回 ① 院長あいさつ ② 研修医リーダーによる研修状況説明 ③ 研修医の評価について ④ 令和2年卒 研修医（研修医2年次）について ⑤ 令和3年卒 研修医（研修医1年次）について ⑥ 臨床研修医採用試験について ⑦ 卒後臨床研修評価機構 受審について ⑧ 指導医ミーティングについて ⑨ 病院説明会について
2022年3月9日	第3回 ① 研修医リーダーによる研修状況説明 ② 令和2年卒 研修医の評価等について ③ 令和3年卒 研修医評価について ④ 令和4年度 当院の研修理念と基本方針について ⑤ 令和3年度 マッチング結果について ⑥ 卒後臨床研修評価機構 訪問調査結果について ⑦ 令和4年卒 1年次研修医ローテートについて ⑧ 令和3年卒 2年次研修医ローテートについて ⑨ 自治医科大学卒業生受入れと地域研修プログラムの新設について ⑩ 令和4年度 オリエンテーションについて ⑪ 令和4年度 委員会等予定について

22. 安全衛生委員会（労働安全）

日 付	内 容 等
2021年4月22日	2021年度 第1回 ① 令和3年度市民病院 安全衛生管理体制について ② 4月の実施状況について ③ 5月の実施目標について ④ 令和2年度事業及び活動報告 ⑤ 令和3年度市民病院交通事故削減目標について ⑥ 長時間勤務者の対策報告書等共有 ⑦ 令和3年度ワクチン接種について ⑧ その他（交通事故等発生状況等）
2021年5月27日	第2回 ① 5月の実施状況について ② 6月の実施目標について ③ 令和2年度事業及び活動報告 ④ 長時間勤務状況 ⑤ 「交通安全標語」募集について ⑥ 交通事故削減キャンペーンについて（案） ⑦ その他（交通事故等発生状況等）

2021年6月24日	第3回 ① 6月の実施状況について ② 7月の実施目標について ③ 「交通安全に関する標語」優秀作品の選考について ④ 令和2年度1回目 労働基準監督署への報告書について ⑤ 交通安全キャンペーンの実施について ⑥ 長時間勤務状況 ⑦ メンタルヘルスについて ⑧ 職員健診の外部委託について ⑨ その他（交通事故等発生状況等）
2021年7月29日	第4回 ① 7月の実施状況について ② 8月の実施目標について ③ 院内インフルエンザワクチン接種対象者について ④ ストレスチェック検査の実施について ⑤ 令和2年度1回目 労働基準監督署への報告書について ⑥ 長時間勤務状況について ⑦ その他（交通事故等発生状況等）
2021年8月26日	第5回 ① 8月の実施状況について ② 9月の実施目標について ③ 令和2年度1回目 労働基準監督署への報告書について ④ 長時間勤務状況について ⑤ その他（交通事故等発生状況等）
2021年9月30日	第6回 ① 9月の実施状況について ② 10月の実施目標について ③ 健康診断の実施について ④ ストレスチェックについて ⑤ 長時間勤務状況について ⑥ その他（交通事故等発生状況等）
2021年10月28日	第7回 ① 10月の実施状況について ② 11月の実施目標について ③ 作業環境測定結果報告について ④ 令和4年度の健診について ⑤ 長時間勤務状況について ⑥ ハラスメントについて ⑦ その他（交通事故等発生状況等）
2021年11月25日	第8回 ① 11月の実施状況について ② 12月の実施目標について ③ 長時間勤務状況について ④ 「厚生労働省の放射線管理の実態アンケートを受けて」について ⑤ 来年度健診の未受診者対応について ⑥ その他（交通事故等発生状況等）

2021年12月23日	第9回 ① 12月の実施状況について ② 1月の実施目標について ③ 長時間勤務状況について ④ 来年度職員健診の未受診者対策について ⑤ その他（交通事故等発生状況等）
2022年1月27日	第10回 ① 1月の実施状況について ② 2月の実施目標について ③ 結核感染調査のための血液検査実施状況 ④ 令和2年度2回目 労働基準監督署への報告について ⑤ 長時間勤務状況について ⑥ 交通安全キャンペーンの途中経過について ⑦ 令和4年度豊橋市民病院職員健康診断業務委託に係る仕様書（案）について ⑧ その他（交通事故等発生状況等）
2022年2月24日	第11回 ① 2月の実施状況について ② 3月の実施目標について ③ 令和4年以降のワクチン接種について ④ 令和4年度からの指導区分通知等について ⑤ 令和4年度 健康講座について ⑥ 電離放射線健診のスケジュール等について ⑦ 長時間勤務状況について ⑧ 結核感染調査のための血液検査実施状況<前回報告補足> ⑨ その他（交通事故等発生状況等）
2022年3月24日	第12回 ① 3月の実施状況について ② 4月の実施目標について ③ 令和4年度 市民病院安全衛生委員会 年間計画について ④ 産育休者等の定期健診について ⑤ 長時間勤務状況について ⑥ その他（交通事故等発生状況等）

23. 教育・研究委員会

【未開催】

24. 省エネルギー推進委員会

日 付	内 容 等
2022年3月7日	2021年度 第1回 ① エネルギーサービス事業の実施報告について ② 照明設備LED化の実績と計画について ③ その他

25. 情報セキュリティ委員会

日 付	内 容 等
2021年6月21日	2021年度 第1回 ① 今年度の事業実施計画について 情報セキュリティ研修の実施 情報セキュリティ内部監査の実施 その他事業の実施 ② 情報セキュリティインシデント等の発生状況について ③ 次年度以降の事業計画について
2021年12月13日	第2回 ① 令和3年度情報セキュリティ内部監査の実施について ② 改正個人情報保護法のポイント ③ 情報セキュリティ研修 受講状況 ④ 疑似メール送付訓練 実施状況 ⑤ 情報セキュリティ研修（管理者）
2022年3月14日	第3回 ① 情報セキュリティマネジメントの実施について ② 情報セキュリティ研修（自己点検）及び疑似メール訓練の結果について ③ 内部監査の結果について ④ 令和4年度における事業計画について ⑤ （速報）個人情報保護法と診療報酬改定について

25-1. 情報セキュリティ部会

日 付	内 容 等
2021年5月6日	2021年度 第1回 ① 前回（令和2年度第5回部会）の宿題確認 ② アクシデント等の発生状況と再発防止策の有効性を検討
2021年7月29日	第2回 ① 前回（令和3年度第1回部会）の宿題確認 ② アクシデント等の発生状況と再発防止策の有効性を検討
2021年9月16日	第3回 ① 前回（令和3年度第2回部会）の宿題確認 ② アクシデント等の発生状況と再発防止策の有効性を検討
2021年11月18日	第4回 ① 前回（令和3年度第3回部会）の宿題確認 ② アクシデント等の発生状況と再発防止策の有効性を検討
2022年1月20日	第5回 ① 前回（令和3年度第4回部会）の宿題確認 ② アクシデント等の発生状況と再発防止策の有効性を検討
2022年3月17日	第6回 ① 前回（令和3年度第5回部会）の宿題確認 ② アクシデント等の発生状況と再発防止策の有効性を検討

26. 医療情報委員会

日 付	内 容 等
2021年8月31日	2021年度 第1回 ① 令和3年度 医療情報委員会 委員について ② 令和3年度における情報システム開発改修関連事業について ③ 第3期 病院総合情報システムの更新スケジュールについて ④ 退院時サマリ標準化に伴う電子カルテシステムの改修について ⑤ 令和4年度 予算要求について
2022年1月14日	第2回 ① 第3期 病院総合情報システムの更新スケジュールについて ② 第3期 病院総合情報システム構築支援業者の選定について ③ 電子カルテシステム自動ログオフ機能の設定について

27. 診療記録管理委員会

日 付	内 容 等
2021年7月21日	2021年度 第1回 ① 令和3年度 第1回診療記録監査 結果報告について ② 標準規格化を見据えた退院時サマリフォームの変更について ③ その他
2021年10月29日	第2回 ① 退院時サマリ標準化ワーキングチーム 活動報告について ② 診療記録監査実施要綱の改正について ③ 令和4年度診療記録監査項目及び実施方針について ④ その他
2022年1月28日	第3回 ① 令和3年度第2回診療記録監査結果報告について ② 令和3年度診療記録監査結果総括について ③ 紙カルテの整理・廃棄について ④ 診療記録に関する管理要綱について ⑤ 入院診療計画書の書式及び通知方法の変更について ⑥ その他

28. がん診療委員会

日 付	内 容 等
2021年12月24日	第13回 ① 地域がん診療連携拠点病院高度型にむけて ② 各部会からの取り組み報告について (1) がん登録部会 (2) 教育部会 (3) 化学療法部会 (4) 緩和ケア・相談支援部会 (5) がん地域連携パス部会

28-1. がん登録部会

【未開催】

28-2. 教育部会

日 付	内 容 等
2021年10月27日	2021年度 第1回 ① 豊橋がん診療フォーラム開催状況について 令和2年度・令和3年度 ② 令和4年度豊橋がん診療フォーラム開催について (1) 開催テーマ・担当診療科等の決定 (2) 開催準備（共催）について (3) 新型コロナウイルス感染症対策等に伴う開催方法関係

豊橋がん診療フォーラム

日 付	内 容 等
2021年5月27日	第74回 参加人数 50人 ① 肝細胞癌治療のUp to Date-アテゾリズマブ+ベバシズマブの登場- ② 腹水におけるセルブロック作製の有用性
2021年7月15日	第75回 参加人数 117人 ① がん疼痛治療 Up to date ② 共同意思決定と語られるいのち
2021年9月16日	第76回 参加人数 56人 ① 肺癌に対する放射線治療の臨床研究の動向と日常診療への活用～緩和照射を含めて～ ② 当院における肺癌に対する放射線治療
2022年1月20日	第77回 参加人数 38人 ① 婦人科がんに対する薬物療法のエビデンスと各種副作用対策 ② がん化学療法患者における薬薬連携の取り組みについて
2022年3月17日	第78回 参加人数 38人 ① NSCLC WTにおけるIO+IOレジメンの有用性 ② 肺がん終末期患者の事例を通して看護師の役割について考える～私のことをわかって!! わかっている人が私を見て～

28-3. 化学療法部会

日 付	内 容 等
2021年5月12日	2021年度 第1回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 ③ PDCAサイクル (B型肝炎再活性化への対策) ④ 時間外オーダー入力件数 (外来処方) 締切り後のオーダー入力件数 (入院処方) 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況 ⑤ その他 外来治療センター当番医について
2021年7月14日	第2回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 ③ PDCAサイクル (B型肝炎再活性化への対策) ④ 時間外オーダー入力件数 (外来処方) 締切り後のオーダー入力件数 (入院処方) 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況
2021年9月8日	第3回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 ③ PDCAサイクル (B型肝炎再活性化への対策) ④ 時間外オーダー入力件数 (外来処方) 締切り後のオーダー入力件数 (入院処方) 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況

2021年11月10日	第4回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 ③ PDCAサイクル (B型肝炎再活性化への対策) ④ 時間外オーダー入力件数 (外来処方) 締切り後のオーダー入力件数 (入院処方) 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況
2022年1月12日	第5回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 ③ PDCAサイクル (B型肝炎再活性化への対策) ④ 時間外オーダー入力件数 (外来処方) 締切り後のオーダー入力件数 (入院処方) 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況 調剤依頼がかかっていなかった件数 ⑤ その他 令和3年12月24日「がん診療委員会」からの報告
2022年3月9日	第6回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 ③ PDCAサイクル (B型肝炎再活性化への対策) ④ 時間外オーダー入力件数 (外来処方) 締切り後のオーダー入力件数 (入院処方) 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況

28-4. 緩和ケア・相談支援部会

日 付	内 容 等
2021年4月30日	2021年度 第1回 ① 各実績について (1) 緩和ケアチーム (2) がん患者支援チーム (3) オピオイドの使用状況 ② 今年度緩和ケア研修会等について ③ 今年度の計画（案）について (1) 緩和ケアチーム (2) がん患者支援チーム ④ その他
2021年9月24日	第2回 ① 部会員の変更について ② 各実績について (1) 緩和ケアチーム ・令和3年度の活動経過 (2) がん患者支援チーム ・令和3年度の活動経過 ③ 地域がん診療連携拠点病院の更新について ④ がん患者サロンについて
2022年1月21日	第3回 ① 各実績について (1) 令和3年度の活動経過 (2) がん患者支援チーム ② 緩和ケア研修会について ③ 来年度のがん患者サロンについて ④ その他 令和4年度「まちづくり出前講座・学校版」について

28-5. がん地域連携パス部会

日 付	内 容 等
2021年4月16日	2021年度 第1回 ① がん種別、結日記運用状況について報告 ② パス拡大に対する各科の考え ③ 今後について
2021年10月15日	第2回 ① がん種別、結日記運用状況について報告 ② パス拡大に対する各科の考え ③ その他

29. 保険診療委員会・DPC コーディング委員会

日 付	内 容 等
2021年5月19日	第163回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 （返戻事例）：癌確定患者の腫瘍マーカー検査について （返戻事例）：検体採取料の算定がない病理組織標本について 皮肉及び筋肉内注射の手技料について 令和2年度 退院患者包括／出来高比較推移 ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について
2021年7月21日	第164回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 （返戻事例）プレセプシン定量について 腫瘍マーカー検査について 在宅療養指導料について （査定事例）乳癌患者に対するBRCA1/2遺伝検査について 令和3年度 退院患者包括／出来高比較推移 ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について
2021年9月15日	第165回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 症状詳記について 入院診療計画書の診断名について 在宅療養指導料について（回答） 令和3年度 退院患者包括／出来高比較推移 ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について
2021年11月17日	第166回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 悪性腫瘍手術について フォローアップCTについて 病名登録について 救急医療管理加算の算定について ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について

2022年1月26日	第167回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 MRSA感染症病名について 人工肛門閉鎖後の局所陰圧閉鎖処置について 救急医療管理加算の算定について 令和3年度第1回保険診療に関する講習会について 令和3年度 退院患者包括／出来高比較推移 ④ DPCコーディング委員会 慢性硬膜下血腫病名について DPCコーディング事例報告について
2022年2月8日	令和3年度（第1回）保険診療に関する講習会 演題「令和4年度診療報酬改定に向けて」 講師 一般社団法人日本血液製剤機構 事業戦略部 谷澤 正明 氏
2022年3月11日	令和3年度（第2回）保険診療に関する講習会 演題「2022年度診療報酬改定の概要」 講師 株式会社ソラスト 東海ブロック 東愛知支社 松本 俊彦 氏
2022年3月16日	第168回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 HBV核酸定量の算定について 救急医療管理加算の算定について フォローアップCTについて 令和4年度診療報酬改定について 令和3年度 退院患者包括／出来高比較推移 ④ DPCコーディング委員会 診療内容・点数比較によるコーディング検討例

30. クリニカルパス委員会

日 付	内 容 等
2021年5月28日	第31回 ① クリニカルパスの審査について ② 委員会活動計画について ③ 新規クリニカルパスの審査申請について ④ 院内クリニカルパスの整理状況について（報告）
2021年8月27日	第32回 ① クリニカルパスの審査について ② 新規クリニカルパスの審査申請について ③ クリニカルパス使用実績（2019年度・2020年度）について（報告）

2021年10月22日	第33回 ① クリニカルパスの審査について ② 新規クリニカルパスの審査申請について ③ クリニカルパスの整理結果について（報告） ④ 院内クリニカルパスの評価（2019年見直しパス）について（報告）
2021年12月23日	第34回 ① クリニカルパスの審査について ② 新規クリニカルパスの審査申請について ③ その他
2022年2月25日	第35回 ① クリニカルパスの審査について ② 新規クリニカルパスの審査申請について ③ 院内クリニカルパス分析結果報告（2019年度承認分）

31. 健康診断事業運営委員会

【未開催】

32. 患者総合支援センター運営委員会

日 付	内 容 等
2022年3月22日	2021年度 第1回 ① 令和3年度患者総合支援センター実績について ② 地域連携の取組について ③ 病院機能評価について ④ その他 ・ オンライン面会について ・ （仮称）心不全地域連携研究会準備会について

33. 虐待対策委員会

日 付	内 容 等
2021年5月27日	2021年度 第1回 ① 今年度の委員について ② 今年度の予定 ③ その他
2022年2月25日	第2回 ① 実績報告 ② 成人虐待対策セミナーについて ③ 病院機能評価について ④ その他
2022年3月3日	高齢者虐待防止研修会 テーマ「医療機関としての気づきや対応」 講師：日本福祉大学・人間環境大学非常勤講師 塚本鋭裕先生

33-1. 児童虐待専門部会

日 付	内 容 等
2021年10月28日	2021年度 第1回 ① 今年度の委員について ② 令和3年度虐待通告の実績について ③ 来年度のセミナーについて ④ その他

33-2. 成人虐待専門部会

日 付	内 容 等
2021年10月21日	2021年度 第1回 ① 虐待通告・未通告ケース報告 ② 虐待対策委員会セミナー開催について ③ 外来主任会での周知について ④ 高齢者・障害者・配偶者虐待対応の流れについて ⑤ その他

34. 退院調整及び病床調整検討委員会

日 付	内 容 等
2021年6月25日	2021年度 第1回 ① 今年度委員の紹介 ② 当委員会の目的について ③ 活動内容について ④ その他
2021年7月21日	○病棟ラウンド ○長期入院患者検討会
2021年8月18日	病棟ラウンド
2021年9月15日	○病棟ラウンド ○長期入院患者検討会
2021年10月20日	病棟ラウンド
2021年11月17日	○病棟ラウンド ○長期入院患者検討会
2021年12月15日	病棟ラウンド
2022年1月19日	○病棟ラウンド ○長期入院患者検討会
2022年2月9日	病棟ラウンド
2022年3月16日	○病棟ラウンド ○長期入院患者検討会 第2回 ① 今年度の実績 ② 意見交換 ③ その他

35. 呼吸療法運営委員会

日 付	内 容 等
2021年8月6日	第21回 ① 前回議事録の確認 ② 要綱及び委員会名簿について ③ RST活動のまとめ ④ 人工呼吸器使用状況からの報告 ⑤ 呼吸ケアチーム加算算定実績について ⑥ その他 人工呼吸器の予算要求について（4台分）
2022年3月30日	第22回 ① 前回議事録の確認 ② RST活動のまとめ ③ 人工呼吸器使用状況からの報告 ④ 呼吸ケアチーム加算算定実績について ⑤ その他 令和4年度予算申請した人工呼吸器の納品について

36. 医療安全管理委員会・リスクマネジメント部会

日 付	内 容 等
2021年4月8日	2021年度 第1回 ① 令和3年度委員会委員について ② 令和3年2月分インシデント報告について ③ 医療安全管理の動向について ④ 令和3年度年間計画について ⑤ その他
2021年5月13日	第2回 ① 令和3年3月分インシデント報告について ② 令和2年度インシデント年間集計について ③ 医療安全管理の動向について ④ その他
2021年6月3日	第3回 ① 令和3年4月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2021年7月1日	第4回 ① 令和3年5月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2021年8月5日	第5回 ① 令和3年6月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2021年9月2日	第6回 ① 令和3年7月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ 内部監査について ④ その他

2021年10月7日	第7回 ① 令和3年8月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2021年11月11日	第8回 ① 令和3年9月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2021年12月2日	第9回 ① 令和3年10月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2022年1月6日	第10回 ① 令和3年11月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2022年2月3日	第11回 ① 令和3年12月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2022年3月3日	第12回 ① 令和4年1月分インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他

医療安全に関する講習会の実施

日 付	内 容 等	受講者数
2021年6月14日	リスクマネジメント講習会 「抗がん薬・注射薬」	57名
2021年6月21日	リスクマネジメント講習会 「処方薬・麻薬」	44名
2021年7月16日 7月20日	リスクマネジメント講習会 「院内の電源設備・ライフライン」	73名
2021年 8 月11日	第1回医療安全講習会 「患者・家族とのコミュニケーション」	146名
2021年9月29日 ～10月29日 ※集合研修を中止して eラーニング実施	リスクマネジメント講習会 「MRIに潜む危険性」 「放射線被ばくの基礎知識」 「診療用放射線の安全利用」	1,046名
2021年10月28日	リスクマネジメント講習会 「医療ガスの安全な取り扱い」	140名
2021年11月16日	リスクマネジメント講習会 「インスリン関連インシデント対策」	119名

2021年12月17日	リスクマネジメント講習会 「輸液ポンプ・シリンジポンプ」	90名
2022年3月4日	第2回医療安全講習会 「今、当院で何が起こっているか！？」	74名

37. 医療機器安全管理委員会

日 付	内 容 等
2022年3月5日	第13回 ① 令和3年度医療機器保守実施報告 ② 令和3年度医療機器研修実施報告 ③ 令和3年度AED使用状況報告 ④ 令和4年度医療機器研修・保守管理計画案について ⑤ 単回使用機器の再滅菌申請件数確認 ⑥ 令和3年度PMDA報告事例 ⑦ その他

37－1. 透析機器安全管理部会

日 付	内 容 等
2021年9月16日	第19回 ① 令和3年度透析機器安全管理委員会委員確認 ② 令和3年度水質管理、細菌検査報告(令和3年度上半期) ③ 令和3年度透析機器管理報告 ④ その他
2022年3月17日	第20回 ① 令和3年度水質管理・細菌検査報告（令和3年度下半期） ② 令和3年度水質管理に関する予定報告（令和4年度計画） ③ 令和3年度透析機器管理報告 更新対象機器報告 ④ 令和4年度更新機器更新計画 ⑤ その他

38. 栄養管理委員会

日 付	内 容 等
2021年6月11日	第35回 ① 令和3年度栄養管理委員会名簿について ② 患者満足度調査検討会における食事の改善報告について ③ 病院給食改善会議、検討項目集計について ④ 栄養指導の実績について ⑤ 濃厚流動食等の採用について ⑥ 食事箋について ⑦ 豊橋市民病院患者給食業務に係る公募型プロポーザルの実施について
2022年2月4日	第36回 ① 令和3年度患者満足度調査（入院中の食事）の結果について ② 令和3年度食事アンケート調査について ③ 病院給食改善会議、検討項目集計について ④ 栄養指導について ⑤ 食事箋の変更案について ⑥ 早期栄養介入管理加算の算定について

39. 栄養サポートチーム（NST）運営委員会

日 付	内 容 等
2021年5月14日	第41回 ① 令和3年度NST運営委員会名簿について ② 令和2年度NST活動実績について ③ 栄養管理計画書について ④ 栄養サポートチーム加算について ⑤ NST年間計画について
2022年3月11日	第42回 ① 栄養管理計画書について ② 栄養サポートチーム加算について ③ NSTマニュアルの改訂について ④ 令和4年度NST活動年間活動案について

NST定期教育講演会

日 付	内 容 等
2021年5月14日	第152回 医療機関におけるInBodyの活用について 講師 カガコーポレーション株式会社 吉川
2021年9月10日	第153回 SECA（医療用体組成計）について 講師 SECA取扱業者 周術期の腸内細菌叢と腸内環境のコントロールによる感染抑制 講師 ヤクルト本社

2021年11月12日	第154回 高齢者の慢性便秘症の特徴と治療方針 講師 愛知医科大学 消化器内科 教授 春日井邦夫医師
2021年12月2日	第155回 ※褥瘡勉強会と共催 栄養管理計画書を正しくアセスメントし患者にあった栄養改善をめざそう 講師 栄養管理室 管理栄養士

40. 褥瘡対策委員会

日 付	内 容 等
2021年6月25日	第40回 ① 前回議事録の確認 ② 今年度の運営要綱について ③ 昨年度の活動状況について ④ 今年度の活動計画 ⑤ その他 床ずれ予防寝具のご提案
2021年8月20日	第41回 ① 前回議事録の確認 ② 高機能エアマット購入・レンタル比較 ③ レンタル開始に伴う問題点と課題 ④ その他 当院エアマットの現状
2022年3月3日	第42回 ① 前回議事録の確認 ② 令和3年度褥瘡対策チーム・褥瘡対策活動報告 ③ 活動状況について ④ 令和3年度褥瘡勉強会について ⑤ 令和4年度予算見積書について

41. 薬事委員会

日 付	内 容 等
2021年5月26日	2021年度 第1回 ① 前回議事録について報告 ② 採用薬品19品目について審議 ③ 試用薬品15品目について審議 ④ 院外専用薬品 2品目について審議 ⑤ 変更薬品について ⑥ 削除薬品について ⑦ その他
2021年6月30日	第2回 ① 前回議事録について報告 ② 試用薬品5品目について審議 ③ 変更薬品について ④ 日医工製品の出荷調整について ⑤ 削除薬品について ⑥ 漢方薬削除・変更について ⑦ その他

2021年8月25日	第3回 ① 前回議事録について報告 ② 採用薬品10品目について審議 ③ 試用薬品12品目について審議 ④ 院外専用薬品2品目について審議 ⑤ 変更薬品について ⑥ 削除薬品について ⑦ その他
2021年9月29日	第4回 ① 前回議事録について報告 ② 採用薬品8品目について審議 ③ 試用薬品5品目について審議 ④ 変更薬品について ⑤ 削除薬品について ⑥ その他
2021年11月24日	第5回 ① 前回議事録について報告 ② 採用薬品4品目について審議 ③ 試用薬品12品目について審議 ④ 院外専用薬品1品目について審議 ⑤ 後発医薬品への変更について審議 ⑥ 変更薬品について ⑦ 削除薬品について ⑧ その他
2022年1月19日	第6回 ① 前回議事録について報告 ② 採用薬品19品目について審議 ③ 試用薬品12品目について審議 ④ 後発医薬品への変更について審議 ⑤ 変更薬品について ⑥ 採用区分変更について ⑦ 販売名変更薬品について ⑧ 削除薬品について ⑨ その他
2022年2月16日	第7回 ① 前回議事録について報告 ② 採用薬品6品目について審議 ③ 試用薬品4品目について審議 ④ 変更薬品について ⑤ 販売名変更薬品について ⑥ 削除薬品について ⑦ その他
2022年3月23日	第8回 ① 前回議事録について報告 ② 試用薬品3品目について審議 ③ 院外専用薬品1品目について審議 ④ 後発医薬品への変更について審議 ⑤ 採用区分変更薬品について ⑥ 削除薬品について ⑦ その他

42. 治験審査委員会

日 付	内 容 等
2021年5月26日	2021年度 第1回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 重篤な有害事象に関する報告 ⑤ 治験実施計画の変更 ⑥ 治験実施状況の報告 ⑦ 治験終了の報告 ⑧ 治験迅速審査の報告 ⑨ 開発中止の報告 ⑩ 製造販売後調査迅速審査の報告（12件） ⑪ その他
2021年6月30日	第2回 ① 前回議事録について報告 ② 安全性に係る報告 ③ 重篤な有害事象に関する報告 ④ 治験実施計画の変更 ⑤ 治験実施状況の報告 ⑥ 開発中止の報告 ⑦ 製造販売後調査迅速審査の報告（13件）
2021年8月25日	第3回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 重篤な有害事象に関する報告 ⑤ 治験実施計画の変更 ⑥ 治験実施状況の報告 ⑦ 開発中止の報告 ⑧ 製造販売後調査迅速審査の報告（17件）
2021年9月29日	第4回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 重篤な有害事象に関する報告 ⑤ 治験実施計画の変更 ⑥ 治験実施状況の報告 ⑦ 製造販売後調査迅速審査の報告（5件）
2021年11月24日	第5回 ① 前回議事録について報告 ② 安全性に係る報告 ③ 重篤な有害事象に関する報告 ④ 治験実施計画の変更 ⑤ 治験実施状況の報告 ⑥ 治験終了の報告 ⑦ 治験迅速審査の報告 ⑧ 開発中止の報告 ⑨ 製造販売後調査迅速審査の報告（13件） ⑩ その他

2022年1月19日	第6回 ① 前回議事録について報告 ② 安全性に係る報告 ③ 重篤な有害事象に関する報告 ④ 治験実施計画の変更 ⑤ 治験実施状況の報告 ⑥ 治験終了（中止・中断）の報告 ⑦ 製造販売後調査迅速審査の報告（14件）
2022年2月16日	第7回 ① 前回議事録について報告 ② 安全性に係る報告 ③ 治験実施計画の変更 ④ 治験実施状況の報告 ⑤ 製造販売後調査迅速審査の報告（12件）
2022年3月23日	第8回 ① 前回議事録について報告 ② 安全性に係る報告 ③ 治験実施計画の変更 ④ 治験実施状況の報告 ⑤ 治験終了（中止・中断）の報告 ⑥ 開発中止の報告 ⑦ 製造販売後調査迅速審査の報告（11件）

43. 輸血療法委員会

日 付	内 容 等
2021年4月20日	第160回 ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 輸血関連査定 ④ 廃棄率集計 ⑤ 輸血副反応集計 ⑥ 製剤の大量使用・ノークロス依頼事例およびクリオプレシピレート使用状況 ⑦ 2020年度臨時輸血療法院内監査報告 ⑧ 迅速フィブリノゲン測定について ⑨ 「輸血療法委員会規約」の改定について ⑩ その他
2021年6月15日	第161回 ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、PC、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 製剤廃棄 ④ 輸血副反応 ⑤ 大量輸血・ノークロス事例およびクリオプレシピレート使用状況 ⑥ 輸血関連インシデント報告 ⑦ 輸血関連査定 ⑧ 迅速フィブリノゲン測定について ⑨ 「輸血療法委員会規約」の改定について ⑩ （審議）2021年度第一回輸血療法院内監査について ⑪ その他

2021年8月17日	第162回 ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、PC、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 製剤廃棄 ④ 輸血副反応 ⑤ 大量輸血・ノークロス事例およびクリオプレシピテート使用状況 ⑥ 輸血関連インシデント報告 ⑦ 輸血関連査定 ⑧ 迅速フィブリノゲン測定について ⑨ 2021年度第一回輸血療法院内監査報告 ⑩ その他
2021年10月19日	第163回 ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、PC、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 製剤廃棄 ④ 輸血副反応 ⑤ 大量輸血・ノークロス事例およびクリオプレシピテート使用状況 ⑥ 輸血関連インシデント報告 ⑦ 輸血関連査定 ⑧ 迅速フィブリノゲン測定について ⑨ 日本輸血細胞治療学会輸血機能評価認定制度（I&A）予定 ⑩ その他
2021年12月21日	第164回 ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、PC、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 製剤廃棄 ④ 輸血副反応 ⑤ 大量輸血・ノークロス事例およびクリオプレシピテート使用状況 ⑥ 輸血関連インシデント報告 ⑦ 輸血関連査定 ⑧ 日本輸血細胞治療学会輸血機能評価認定制度（I&A）報告 ⑨ その他
2022年2月22日	第165回 ① 前回議事録の確認 ② RBC、FFP、PC、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 製剤廃棄 ④ 輸血副反応 ⑤ 大量輸血・ノークロス事例およびクリオプレシピテート使用状況 ⑥ 輸血関連インシデント報告 ⑦ 輸血関連査定 ⑧ 2021年度第二回輸血療法院内監査予定 ⑨ その他

44. 臨床検査連絡委員会

日 付	内 容 等
2021年10月14日	2021年度 第1回 ① 定期報告事項 (1) 委員名簿 確認 (2) 第49回臨床検査連絡委員会 議事録 (3) 検査実施状況について (4) 令和3年度機器更新について ② 報告および協議事項 (1) 令和3年7月29日ISO15189 第2回定期サーベランス受審について報告。 (2) 新型コロナウイルス検査（院内）の現状について報告。 (3) 新規検査登録申請書（未保険収載）申請方法について報告。 (4) TSHの測定法変更について報告。 (5) タスクシフト/シェアについて (6) その他各科からの要望

45. 剖検・CPC 委員会

日 付	内 容 等
2021年6月24日	2021年度 第1回 ① 前回の議事録の確認 ② 委員会メンバーについて ③ 令和2年度解剖数について ④ 剖検結果連絡の現状について ⑤ CPCの運用について ⑥ 剖検依頼時の連絡先について
2021年11月25日	第2回 ① 前回の議事録の確認 ② 「病理解剖に関する遺族の承諾書」書式変更について ③ 遺族がいない患者の病理解剖について ④ 時間外剖検依頼時の対応について

46. 放射線技術室連絡委員会

日 付	内 容 等
2021年8月24日	第27回 ① 令和3年度放射線技術室連絡委員会について ② 診療放射線技師法改正について ③ 高度放射線棟 核医学検査ガンマカメラの更新について ④ TV室優先枠について ⑤ 平日日勤帯のCT3番の運用について

47. リハビリテーションセンター運営委員会

日 付	内 容 等
2021年9月21日	第9回 ① 病棟ADL維持向上体制加算病棟の拡充について ② 西3病棟の専従療法士配置について

48. 臨床工学室連絡委員会

日 付	内 容 等
2021年10月29日	第3回 ① 令和3年度臨床工学室連絡委員会委員確認 ② 臨床工学室実績報告 令和3年4月～令和3年9月実績 ③ 令和3年度医療機器の更新報告 ④ 令和3年度医療機器更新報告 ⑤ 令和2、3年度愛知県COVID-19補正予算購入機器 および厚生労働省無償譲渡機器について ⑥ 令和4年度新規事業について ⑦ 臨床工学室 勤務形態の変更について ⑧ 臨床工学技士改正法について ⑨ その他
2022年3月18日	第4回 ① 令和3年度臨床工学室連絡委員会委員確認 ② 臨床工学室実績報告 令和3年4月～令和4年2月実績 ③ 令和3年度医療機器の更新報告 ④ 令和4年度医療機器更新（予定）について ⑤ 令和4年度新規事業について ⑥ 院内で使用する臨床工学技士の通称の変更について ⑦ その他

49. 放射線安全委員会

日 付	内 容 等
2021年6月24日	2021年度 第1回 ① 令和3年度放射線安全委員会について ② 令和2年度年度従事者登録と教育および健康診断の実施報告 ③ 令和2年度管理状況報告書について ④ 令和2年度特定放射性同位元素の所持に係る報告書（線源登録制度）について ⑤ 放射線障害の防止に関する業務の改善について ⑥ 定期検査、定期確認について ⑦ 放射線障害予防規程の変更について ⑧ 豊橋市民病院における眼の水晶体の線量モニタリング指針について

50. PET 診療放射線安全委員会

日 付	内 容 等
2021年6月24日	2021年度 第1回 ① PET業務従事者の被ばく線量と安全管理について ② 業務改善について

51. 特定放射性同位元素防護委員会

日 付	内 容 等
2021年6月24日	2021年度 第1回 ① 令和3年度特定放射性同位元素防護委員会について ② 令和2年度防護従事者の教育訓練について ③ 特定放射性同位元素の防止に関する業務の改善について

52. 医療ガス安全・管理委員会

日 付	内 容 等
2022年3月11日	2021年度 第1回 ① 令和3年度医療ガス設備保守点検の結果について ② 液化酸素ガスの保有数量の状況について ③ 医療ガス工事に係る工事について ④ 令和4年度委員及び実施責任者の選任について ⑤ その他

53. 豊橋市医師会・豊橋市民病院病診連携協議会

【V 診療業務概要、活動報告 患者総合支援センターに記載】

54. 地域医療支援委員会

日 付	内 容 等
2021年5月13日	2021年度 第1回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 令和2年度紹介率・逆紹介率の状況 令和2年度の地域連携登録医の状況 令和2年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 令和2年度の地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績 令和3年度地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修計画 ② 豊橋市民病院からの情報提供事項について ③ その他

2021年8月26日	第2回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 令和3年度紹介率・逆紹介率の状況 令和3年度の地域連携登録医の状況 令和3年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 令和3年度の研修実績計画について ② 豊橋市民病院からの情報提供事項について ③ その他
2021年11月11日	第3回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 令和3年度紹介率・逆紹介率の状況 令和3年度の地域連携登録医の状況 令和3年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 令和3年度の研修実績計画について ② 豊橋市民病院からの情報提供事項について ③ その他
2022年2月10日	第4回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 令和3年度紹介率・逆紹介率の状況 令和3年度の地域連携登録医の状況 令和3年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 令和3年度の研修実績計画について ② 豊橋市民病院からの情報提供事項について ③ その他 次年度委員の選出及び委員会開催日程について

54－1. 共同利用運営委員会

【未開催】

54－2. 地域医療従事者研修委員会

【未開催】

55. 総合周産期母子医療センター運営委員会

日 付	内 容 等
2021年4月23日	2021年度 第1回 ① 委員会設置要綱及び委員名簿（案） ② 2020年度総合周産期母子医療センター活動状況 ③ 症例検討 ④ その他（パースセンター症例、産後ケア）

56. 認知症対策委員会

日 付	内 容 等
2021年6月11日	2021年度 第1回 ① 令和3年度認知症委員会事業計画について ② 第1回認知症研修会について ③ 認知症サポートチームラウンド実績について ④ せん妄ハイリスク患者ケア加算に向けた進捗状況 ⑤ その他
2021年7月8日	令和3年度 第1回 認知症研修会 テーマ「せん妄について」 講師：こころのケア科部長 古水克明先生 認知症看護認定看護師 請井綾子主任
2021年11月11日	令和3年度 第2回 認知症研修会 テーマ「不穏の接遇研修 ～間違えないで!高齢者のせん妄対応～」 講師：おいまつクリニック 院長 山崎孝浩先生
2021年11月12日	第2回 ① 認知症サポートチームラウンド実績について ② 認知症ケアマニュアル改訂について ③ せん妄ハイリスク患者ケア加算に向けた進捗状況 ④ 令和3年度第3回認知症研修会について ⑤ その他
2022年3月24日	第3回 認知症研修会 テーマ「認知症ケアについて～薬物的ケアを中心に～」 講師：こころのケア科部長 古水克明先生

57. 臓器提供運営委員会

日 付	内 容 等
2021年6月22日	令和3年度 第1回 ① 愛知県施設内移植情報担当者会議の状況報告 ② ポテンシャルドナーの事例報告 ③ 脳死移植提供者が現れた際の外部の医療従事者に関する対応について
2021年9月28日	第2回 ① 第57回移植学会の状況報告 ② ポテンシャルドナーの事例報告
2022年12月21日	第3回 ① 愛知県施設内移植情報担当者会議の状況報告 ② ポテンシャルドナーの事例報告
2022年3月22日	第4回 ① 愛知県施設内移植情報担当者会議の状況報告 ② ポテンシャルドナーの事例報告 ③ 脳死判定シミュレーションについて

58. ハラスメント防止対策委員会

日 付	内 容 等
2021年4月30日	2021年度 第1回 ① ハラスメントアンケートについて ② ハラスメント防止ポスターについて
2021年8月6日	第2回 ① 「パワーハラスメントに関するアンケート」の集計・分析結果について ② ハラスメントの種類について
2021年11月12日	第3回 ① ハラスメント防止対策研修について
2021年12月15日	ハラスメント防止研修 第1回 医療安全推進に向けたハラスメント講演会 「Disruptive Behavior ～患者の安全を阻害する破滅的言動～」
2022年1月17日	第4回 ① 医療安全推進に向けたハラスメント講演会のアンケート結果について ② 第2回ハラスメント講演会の開催について
2022年3月9日	ハラスメント防止研修 第2回 ハラスメント防止に向けた講演会 「ハラスメントのない職場環境に向けた法律知識」
2022年3月29日	第5回 ① 第2回ハラスメント防止対策研修のアンケート集計結果について ② 令和4年度ハラスメント防止対策研修の講師の候補者について

59. 糖尿病対策委員会

日 付	内 容 等
2021年8月6日	第9回 ① 前回議事録の確認 ② 運営要領及び名簿 ③ 糖尿病サポートチームの年次活動報告 インジデント・リスクマネジメント レター・糖尿病教室・イベント インスリンシステム ④ インスリンシステムの改修について
2022年2月25日	第10回 ① 前回議事録の確認 ② サポートチームからの活動報告 インジデント・リスクマネジメント レター・糖尿病教室・イベント インスリンシステム ③ 多職種カンファレンスの再開について

60. 血液浄化センター運営委員会

日 付	内 容 等
2022年2月9日	第6回 ① 血液浄化センター実績報告 ② 部門システムへの指示代行入力について ③ 臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修受講者の業務追加について ④ その他

61. 施設基準管理委員会

日 付	内 容 等
2021年8月30日	第7回 ① 前回（第6回）議事録の確認について ② 要綱及び名簿の確認 ③ 令和2年度の施設基準届出状況について ・施設基準届出状況〈8/1現在の一覧表〉 ・基本診療料リスト ・特掲診療料リスト ・令和3年度新規施設基準届出状況及び今後の予定 ④ 施設基準の点検の状況について ・各部局による点検結果等 ⑤ 病院による届出施設基準の自己点検について ・病院による届出施設基準の自己点検について ・自己点検を対象とする施設基準一覧表について ・自己点検事項について
2022年3月17日	第8回 ① 前回（第7回）議事録の確認について ② 施設基準届出状況について ・施設基準届出状況〈4/1予定の一覧表〉 ・基本診療料リスト ・特掲診療料リスト ・令和3年度 新規施設基準届出状況 ③ 施設基準の点検の状況について ・各部局による点検結果等 ・施設基準にかかる年間実績報告 ④ 令和4年度診療報酬改定に向けて

62. ゲノム診療委員会

日 付	内 容 等
2022年2月10日	2021年度 第1回 ① 今年度の実績について ② 件数増加に伴う今後の業務方針 (1) 増加する件数への対応策 (2) C-CATの症例登録入力 (3) ゲノム診療センターの方針について ③ その他 (1) 受付から結果報告までの担当者確認について (2) 他院からのがん遺伝子パネル検査依頼があった際の対応について

63. 医療放射線管理委員会

日 付	内 容 等
2021年6月24日	2021年度 第1回 ① 令和3年度医療放射線管理委員会について ② 放射線診療の Protokol 管理及び被ばく線量管理について ③ 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修について

64. シミュレーション研修センター運営委員会

日 付	内 容 等
2021年8月25日	2021年度 第1回 ① 令和3年度委員について ② 令和4年度シミュレーター予算要求について ③ シミュレーター一覧について
2021年9月17日	第2回（書面開催） ① 備品予算要求書について

編集後記

病院年報「第31巻」が完成しました。前巻に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた内容となりましたが、比較すると多くの項目で件数の増加が見られました。当院においては、発熱外来を継続的に開設していることや、入院・検査前の新型コロナウイルス検査の対象を拡充したことにより、現在までに病院内で大きなクラスターは発生しておりません。

2021年は東京オリンピックが無事に開催され、自粛を余儀なくされていた様々なイベントも少しずつではありますが行われるようになってきました。未だ収束の気配が感じられませんが、ウイルス感染症と戦いながらも医療の質を低下させることなく、患者さんに安心して病院に来ていただけるよう努力したいと思います。

(編集委員 中央臨床検査室室長補佐 山本 恵子)

編集委員

区 分	職 名	氏 名
委 員 長	副院長 兼感染症管理センター長 兼卒後臨床研修センター長	小 山 典 久
編 集 委 員	消化器内科第一部長	松 原 浩
編 集 委 員	糖尿病・内分泌内科部長	山 守 育 雄
編 集 委 員	一般外科第三部長 兼卒後臨床研修センター副センター長 兼専門医研修センター副センター長	青 葉 太 郎
編 集 委 員	麻酔科第三部長 兼卒後臨床研修センター副センター長	中 田 純
編 集 委 員	産婦人科第二部長 兼女性内視鏡外科部長 兼シミュレーション研修センター副センター長	梅 村 康 太
編 集 委 員	放射線技術室主査	寺 部 充 昭
編 集 委 員	中央臨床検査室室長補佐	山 本 恵 子
編 集 委 員	薬局次長補佐	佐 藤 勝 紀
編 集 委 員	看護局管理科長	渡 津 恵美子
編 集 委 員	管理課主幹	宮 下 卓 也
編 集 委 員	医療情報課主査	倉 知 弥 生
編 集 委 員	医事課課長補佐	橋 本 俊 輔

事 務 局	医療情報課情報管理グループ	都 築 磨美子
事 務 局	医療情報課情報管理グループ	小 島 早 智
事 務 局	医療情報課情報管理グループ	小 林 喜代美

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

- 1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
- 1. よく働き豊かな町をつくりましょう
- 1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
- 1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
- 1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

病院年報 第31巻

令和4年(2022)年9月発刊

発刊：豊橋市民病院

〒441-8570

豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL (0532) 33-6111 (代表) FAX (0532) 33-6177

編集：豊橋市民病院年報編集委員会

印刷：有限会社 伊藤印刷



豊 橋 市 民 病 院

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL 〈0532〉 33-6111

FAX 〈0532〉 33-6177

インターネットホームページ

<https://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>